

川崎市外国人市民意識実態調査 報 告 書

令和7（2025）年3月

川 崎 市

は じ め に

令和 6（2024）年 12 月末日現在、川崎市には 148 の国籍・地域の 5 万 5 千人を超える外国人市民の方々が住んでおり、全市民に占める割合は約 3.6%となっています。

本市は、外国人市民を共にまちづくりを進めるかけがえのない一員と考え、平成 8（1996）年に、全国に先駆けて「外国人市民代表者会議」を条例で設置し、その後、平成 17（2005）年に、「多文化共生社会推進指針」を策定（平成 20（2008）年／平成 27（2015）年／令和 6（2024）年改定）するなど、多文化共生社会の実現に向けて様々な取組を進めてまいりました。

近年、国においては平成 31（2019）年の出入国管理及び難民認定法の改正による「特定技能」の創設をはじめ、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策や外国人との共生社会の実現に向けたロードマップが策定されるなど、外国人市民を取り巻く環境は年々変化しており、令和 9（2027）年には技能実習制度から育成就労制度への移行も予定されています。

こうした中、川崎市に住む外国人市民の実態や意識、ニーズなどを把握し、市の施策に生かすため、5 年ぶりとなる外国人市民意識実態調査を実施いたしました。

昨年 7 月に市制 100 周年を迎えた本市は、戦前・戦後を通じて、京浜工業地帯の中核として発展してきた工業都市で、国内はもとより海外からも多くの人に移り住んできた「多文化のまち」です。今般の調査結果を今後の施策に反映させるとともに、次の 100 年に向けて多様性の価値をより一層大切に、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認めあい、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現に向けた取組を進めてまいります。

最後になりましたが、今回の調査に当たって御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

令和 7（2025）年 3 月

川崎市長 福田 紀彦

目 次

序 章

調査の概要および報告書について	3
-----------------------	---

第Ⅰ部 集計結果と分析

第1章 回答者のプロフィール	11
第2章 行政情報の受容と日本語能力	35
第3章 住まいと防犯、安全	65
第4章 医療・保険・福祉	78
第5章 子育て・教育	86
第6章 地域活動・市政参加	104
第7章 雇用・労働	110
第8章 行政の対応と市への要望	120

第Ⅱ部 テーマ別考察

第1章 外国人市民と日本語学習	127
第2章 川崎市に居住する外国人市民の余暇活動	140
第3章 多様化する外国人市民家族のかたちと、言語・子育て・教育	149
第4章 川崎市に暮らす外国人市民の特徴と推移	156

第Ⅲ部 参考資料

第1章 自由記述欄への回答一覧	169
第2章 調査票	206
第3章 外国人市民に関する統計資料	224

序 章

序章 調査の概要および報告書について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

川崎市では、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した個人として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現を目指している。今回、市内に在住する外国人市民の意識や実態、ニーズなどを把握し、市の施策に生かすことを目的に、2019年の前回調査から5年ぶりに実態調査を実施した。

(2) 調査地域

川崎市全域

(3) 調査対象

川崎市在住で満18歳以上の外国人住民・個人

(4) 標本数・標本抽出方法

5,000 標本・住民基本台帳から単純無作為抽出

(5) 調査方法

調査票を郵送配布、郵送回収（途中、封書による督促を行った。）

(6) 調査期間

2024年6月28日から同年7月31日まで ※8月末日消印分までを回収調査票とした。

(7) 調査票対訳言語および数量

10言語（対象者1人に対し、日本語版と多言語版いずれか1言語を1組として送付）
言語と数量については次のとおりである。

	調査票言語	数 量		調査票言語	数 量
1	日本語	5,000	6	ポルトガル語	88
2	英語	1,093	7	スペイン語	91
3	中国語（簡体字）	1,541	8	フィリピン語	520
4	中国語（繁体字）	141	9	ベトナム語	565
5	韓国・朝鮮語	745	10	ネパール語	216

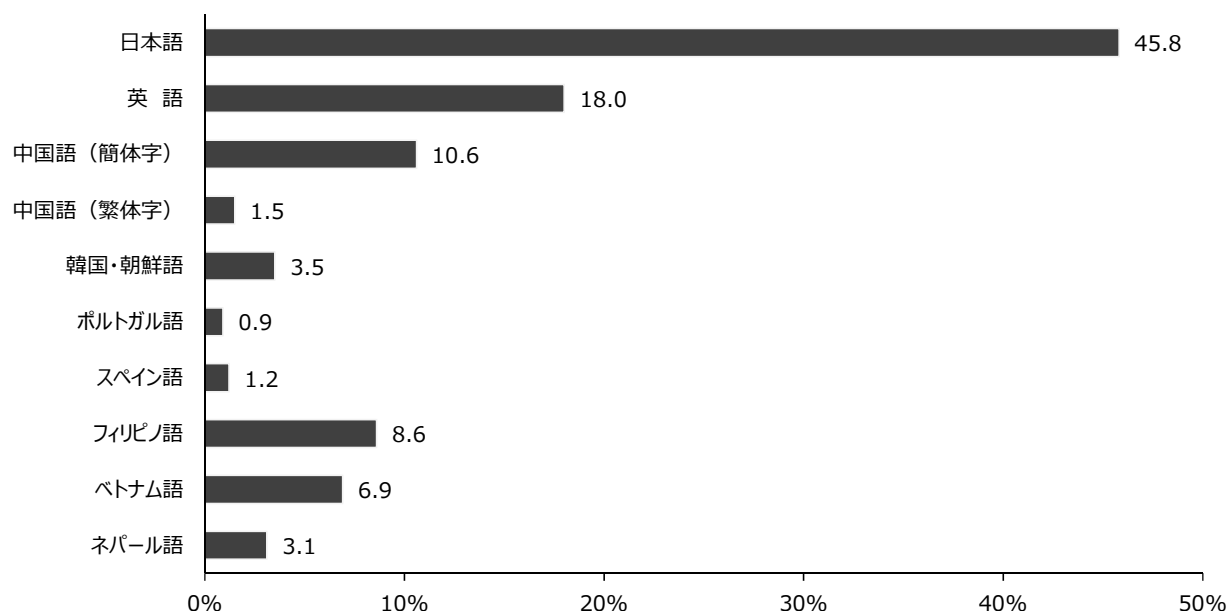
(8) 調査項目

- I. あなたのふだんの生活について
- II. あなたの住まいと安全・安心について
- III. 医療・保険・福祉について
- IV. 子育て・教育について
- V. 地域などでの活動、市政参加について
- VI. あなたの仕事について
- VII. 行政の対応と市への要望について

2 回収数および回答調査票の言語別の割合

有効回収数は1,031 標本（回収率 20.6%）であった。回答調査票の言語別の数量と割合は次のとおりである。なお、回答言語には次の10 言語のほか、アラビア語、フランス語、シンハラ語、タイ語での回答があった。

	調査票言語	n	%		調査票言語	n	%
1	日本語	472	45.8	6	ポルトガル語	9	0.9
2	英語	186	18.0	7	スペイン語	12	1.2
3	中国語（簡体字）	109	10.6	8	フィリピン語	89	8.6
4	中国語（繁体字）	15	1.5	9	ベトナム語	71	6.9
5	韓国・朝鮮語	36	3.5	10	ネパール語	32	3.1
	全 体					1,031	100.0

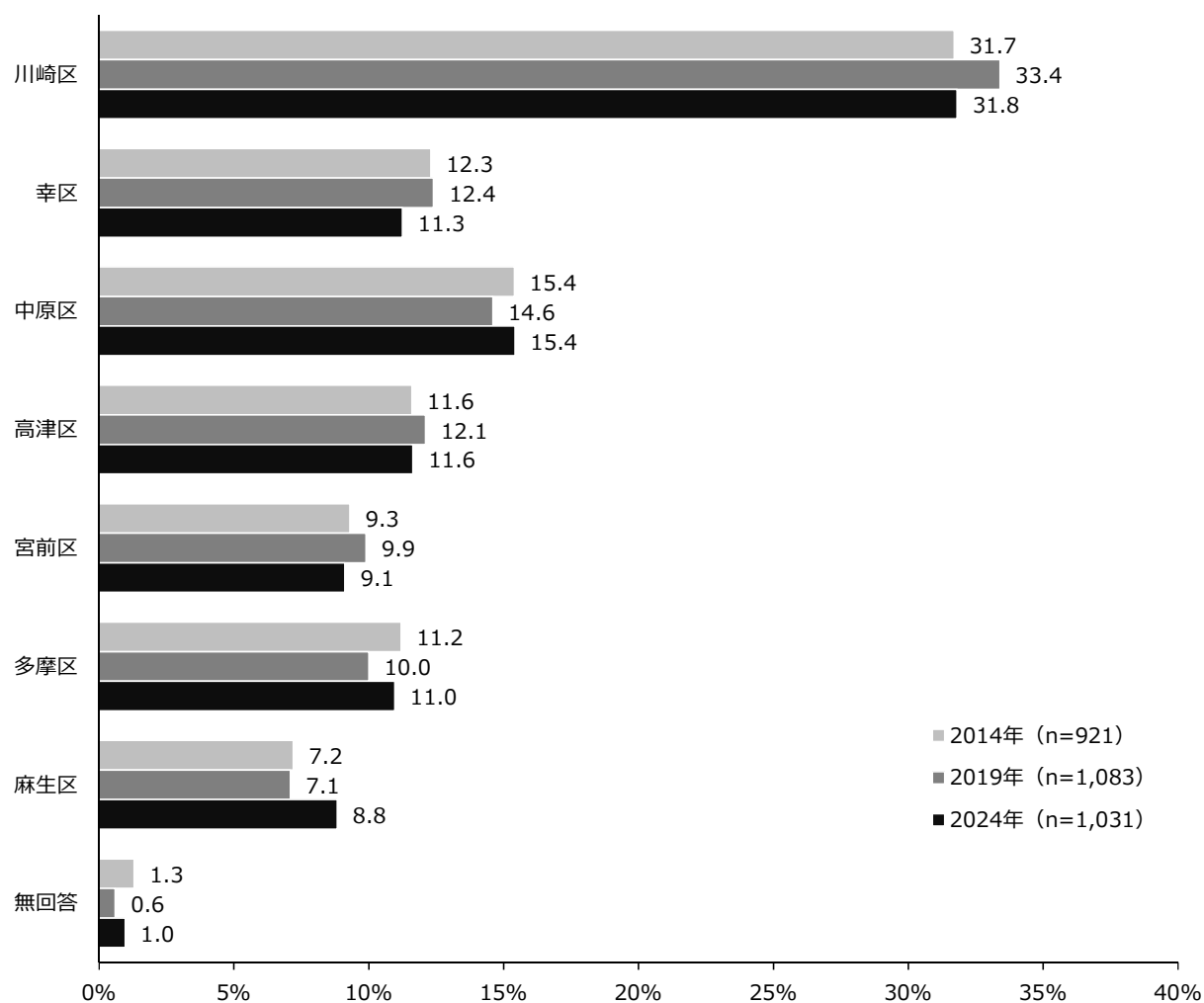


3 過年度比較

本編では前回調査（2019 年）と今回調査（2024 年）の比較が取れる調査項目について掲載している。ここでは参考までに、居住区、年齢、性別の過年度比較（前々回調査（2014 年）、前回調査（2019 年）、今回調査（2024 年）の 3 回分）を掲載する。

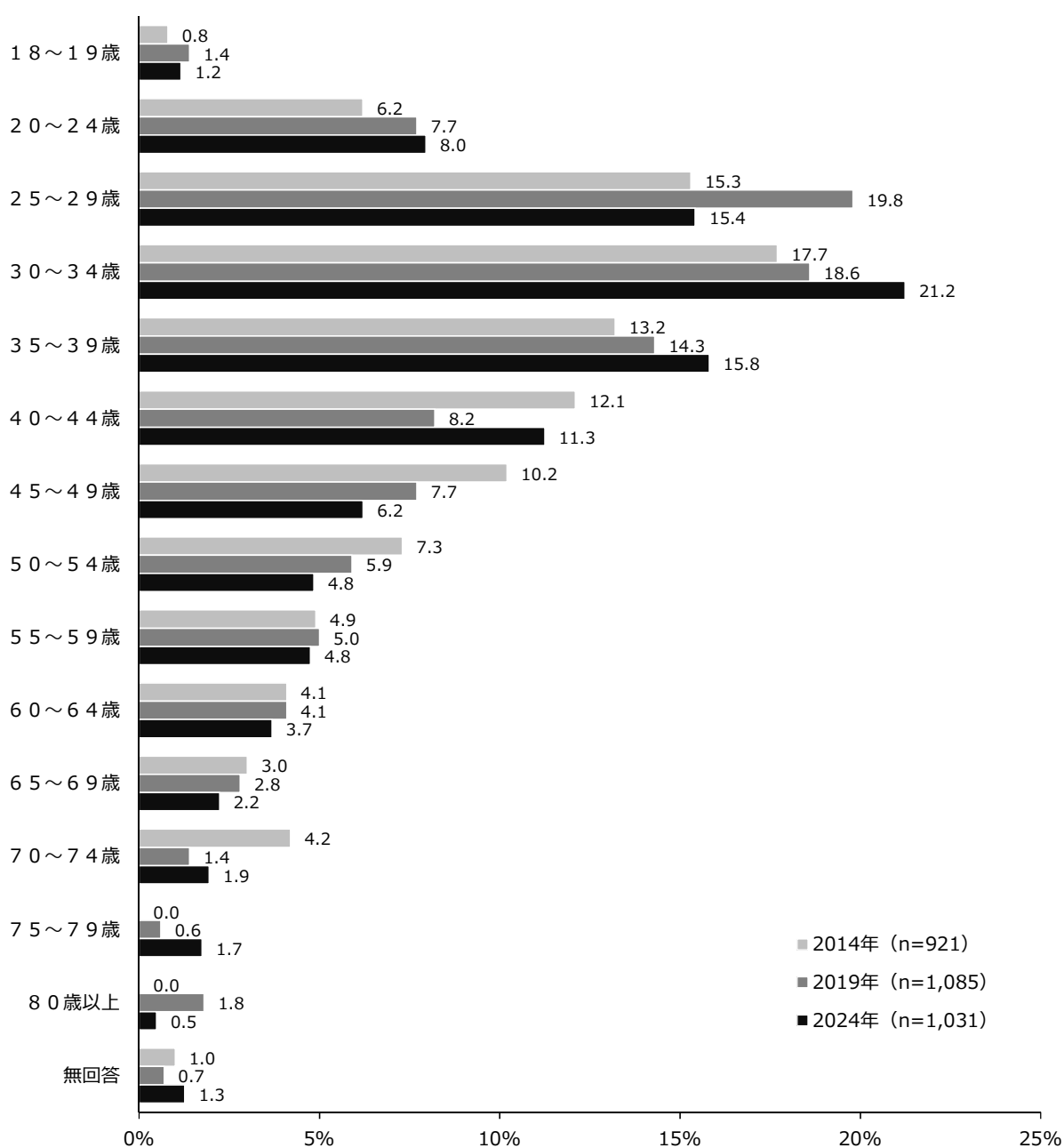
■居住区（件数・割合）比較

年 度	(n) 割 合	川 崎 区	幸 区	中 原 区	高 津 区	宮 前 区	多 摩 区	麻 生 区	無 回 答
2014 年	921	292	113	142	107	86	103	66	12
	100.0	31.7	12.3	15.4	11.6	9.3	11.2	7.2	1.3
2019 年	1,083	362	134	158	131	107	108	77	6
	100.0	33.4	12.4	14.6	12.1	9.9	10.0	7.1	0.6
2024 年	1,031	328	116	159	120	94	113	91	10
	100.0	31.8	11.3	15.4	11.6	9.1	11.0	8.8	1.0



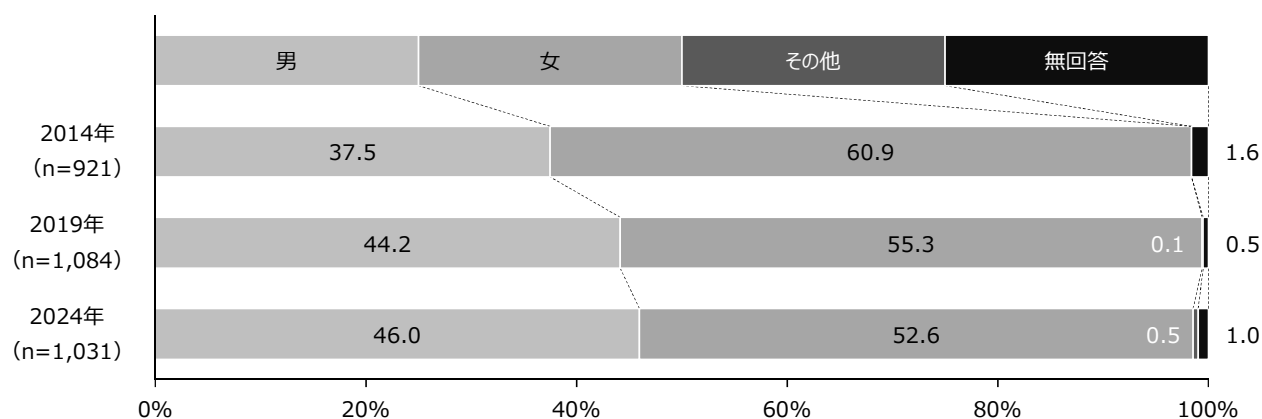
■年齢（件数・割合）比較

年 度	(n) 割 合	1 8 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 2 4 歳	2 5 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 4 歳	3 5 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 4 歳	4 5 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 4 歳	5 5 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 4 歳	6 5 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 4 歳	7 5 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以上	無 回 答
2014 年	921	7	57	141	163	122	111	94	67	45	38	28	39	—	—	9
	100.0	0.8	6.2	15.3	17.7	13.2	12.1	10.2	7.3	4.9	4.1	3.0	4.2	—	—	1.0
2019 年	1,085	15	84	215	202	155	89	84	64	54	44	30	15	7	19	8
	100.0	1.4	7.7	19.8	18.6	14.3	8.2	7.7	5.9	5.0	4.1	2.8	1.4	0.6	1.8	0.7
2024 年	1,031	12	82	159	219	163	116	64	50	49	38	23	20	18	5	13
	100.0	1.2	8.0	15.4	21.2	15.8	11.3	6.2	4.8	4.8	3.7	2.2	1.9	1.7	0.5	1.3



■性別（件数・割合）比較

年 度	(n) 割 合	男	女	そ の 他	無 回 答
2014 年	921	345	561	—	15
	100.0	37.5	60.9	—	1.6
2019 年	1,084	479	599	1	5
	100.0	44.2	55.3	0.1	0.5
2024 年	1,031	474	542	5	10
	100.0	46.0	52.6	0.5	1.0



4 報告書について

(1) 報告書の構成について

本報告書は3部構成からなる。

第Ⅰ部 集計結果と分析

単純集計・クロス集計の結果と分析

第Ⅱ部 テーマ別考察

学識経験者による論考

※なお、各論考は各自の関心にもとづいて執筆したものであり、そこで示されている見解は、各個人に属するものである。

第Ⅲ部 参考資料

自由回答、調査票、統計資料

(2) 執筆担当について

小ヶ谷 千穂（フェリス女学院大学教授）

・・・第Ⅱ部第3章

本田 量久（東海大学教授）

・・・第Ⅱ部第2章

高橋 誠一（川崎市外国人市民施策担当専門調査員、法政大学兼任講師）

・・・序章、第Ⅱ部第1、4章、第Ⅲ部、報告書全体の編集

5 集計結果の表記規則について

本報告書の集計結果の表記規則は次のとおりである。

- 全体で 1,031 の回答を得た (n=1,031)。表およびグラフ中の「n」は、各設問に対する回答比率の基数である。
- 母数「n」を基に算出した数値は百分率で表記し、小数点第 2 位を四捨五入している。そのため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- 無回答の扱いについて
無回答数は一部の集計を除き、単一回答および複数回答可の設問ともに表およびグラフに表記する。
- グラフ内割合の表記について
グラフ内割合の表記において、すべての値について表記するのを原則としているが、紙面の制約上省略しているもの（0.0%や低割合数値など）が一部ある。
- グラフ表記について
単一回答のグラフは円グラフ表記、複数回答可のグラフは棒グラフ表記を基本とするが、回答項目の多い設問などの場合、見やすさを優先して例外表記としたものも一部ある。
- 複数回答可の設問における表およびグラフについて
回答件数の合計は母数（n）を超え、また回答比率の合計は 100.0%を超えた表記となっている。
- クロス集計による分析において、分析軸の項目母数「n」が 30 未満のものは、全体比率と顕著な差がある選択肢であっても本文中ではふれていないことがある。
- 図表で「MA」と表記してあるのは、その質問が複数回答可であったことを表している。

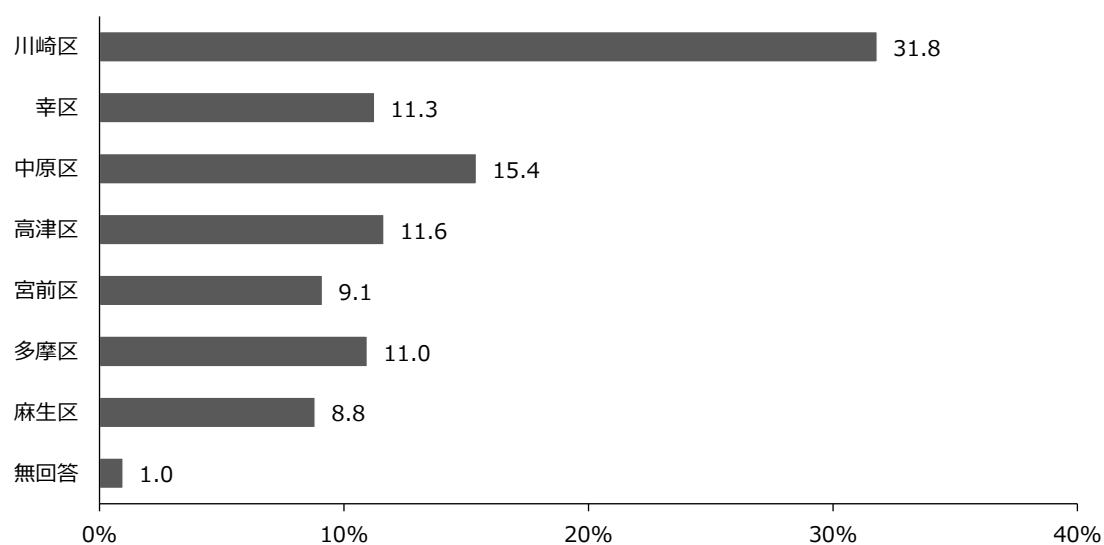
第 I 部 集計結果と分析

第1章 回答者のプロフィール

1 居住者、性別、年齢などの基本属性

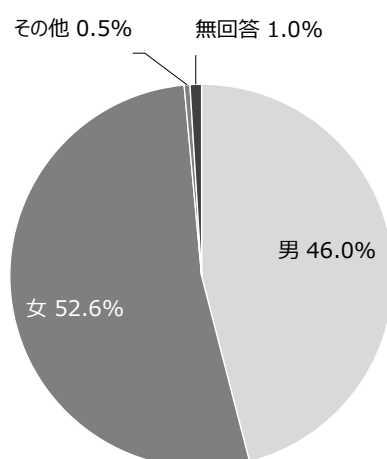
今回の調査対象となった外国人住民が居住する区について見てみると、「川崎区」に居住する人の割合が最も高く、31.8%と全体の約3分の1を占めている。次いで「中原区」が15.4%、そして「高津区」が11.6%、「幸区」が11.3%、「多摩区」が11.0%とほぼ同程度の割合で続き、最も少ないのが「麻生区」の8.8%という結果になっている。

■図表1 居住する区 (n=1,031)



回答者の性別構成では、「男性」が46.0%、「女性」が52.6%、「その他」が0.5%であった。今回の調査の母集団における男女構成は、「男性」が23,908人で50.2%、「女性」が23,721人で49.8%で、男女構成では「男性」が「女性」を上回っているが、今回の調査の回答者では「女性」が「男性」を上回っている。

■図表2 性別 (n=1,031)

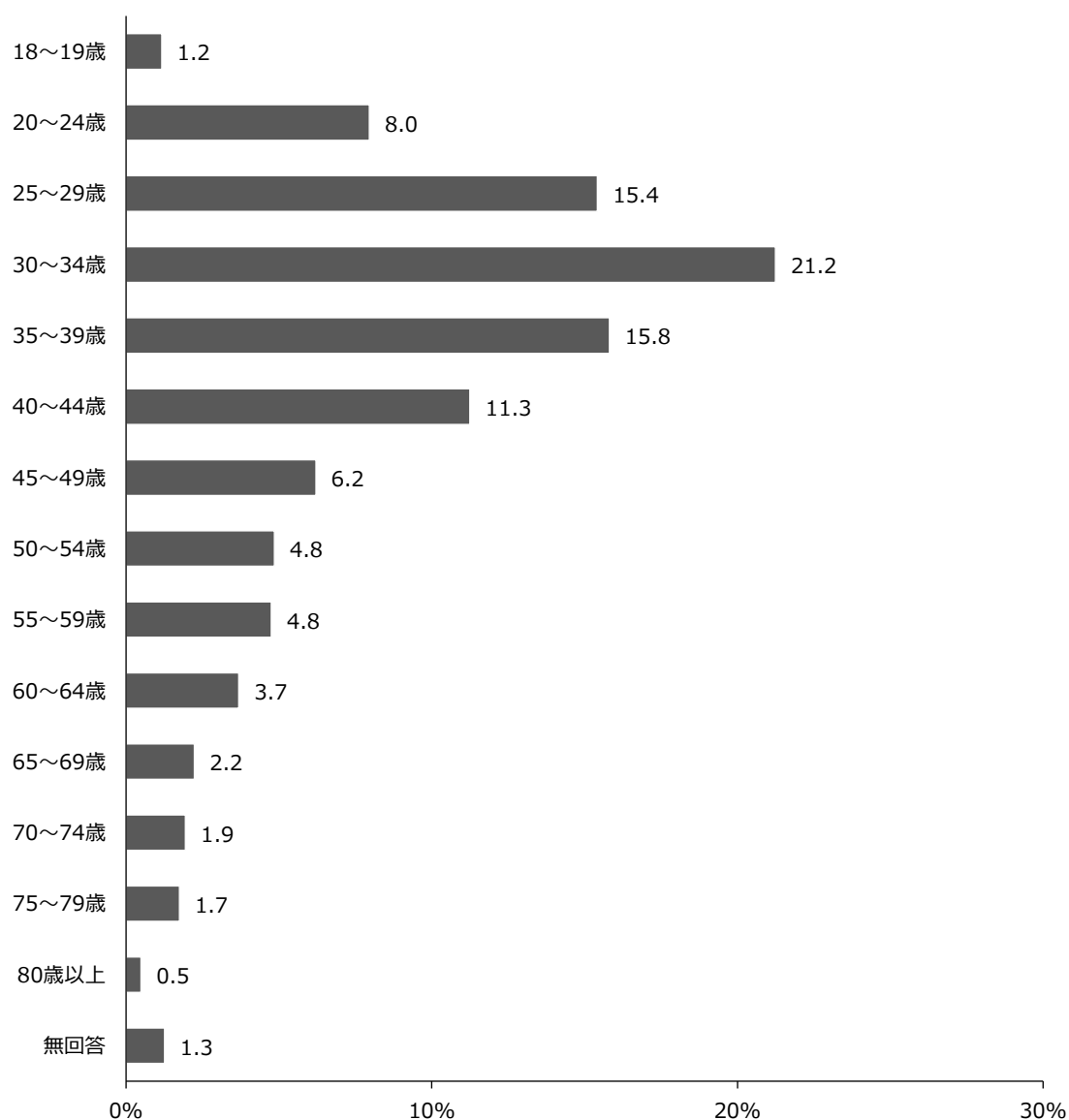


回答者の年齢構成を見てみると、「30～34 歳」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 15.8%、「25～29 歳」が 15.4%と続いており、25～39 歳の合算で約 5 割を占めている。一方、50～80 歳以上の割合はいずれも 5.0%を下回っており、合算では 19.6%であった。

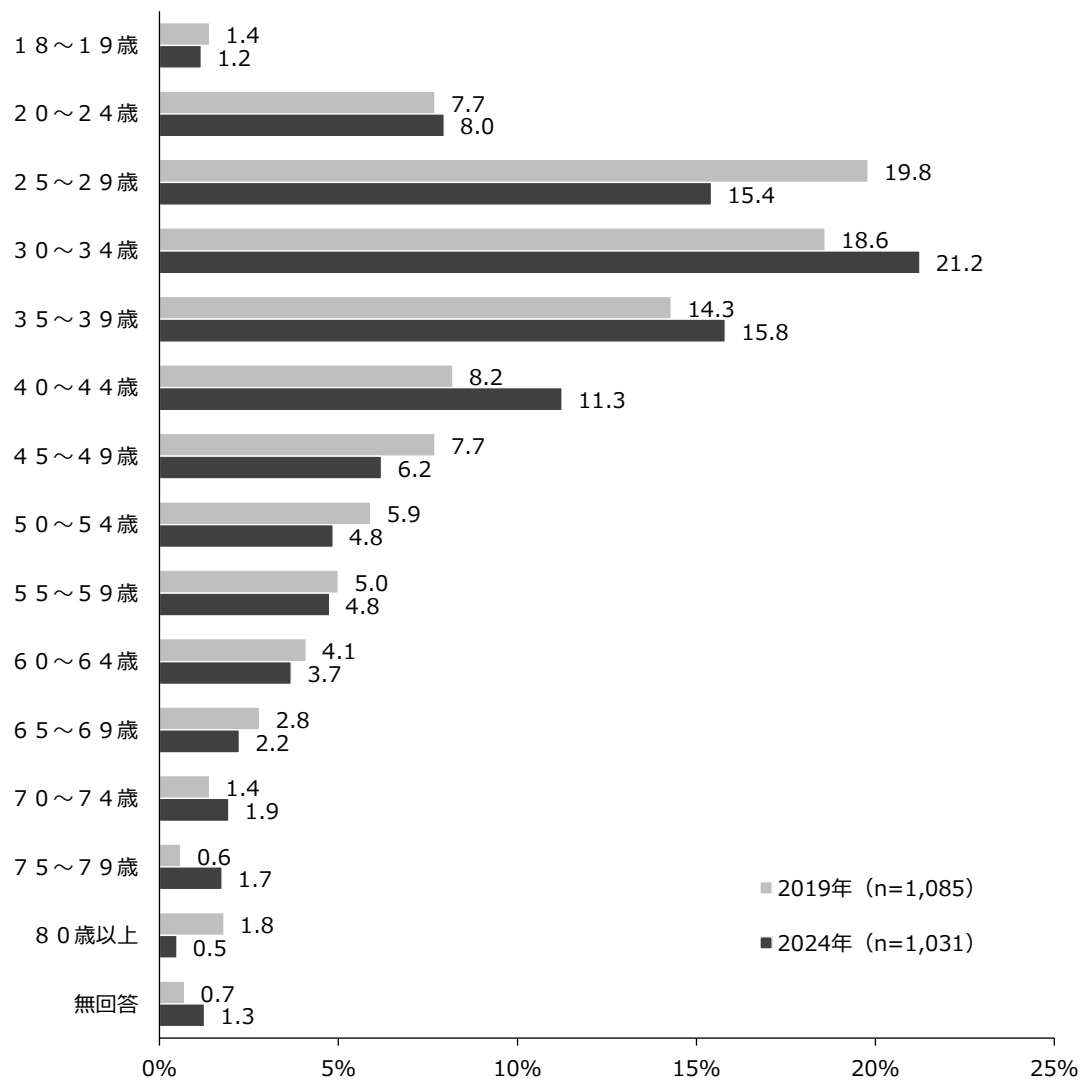
回答者の年齢構成と調査対象者の抽出時点における母集団の年齢構成を比較すると、母集団では「18～19 歳」の構成比は 2.0%であるが、本調査の回答者は 1.2%にとどまっている。同様に、「20～24 歳」の 20 歳代前半では 12.0%であるが、回答者は 8.0%と少ない。一方、30 歳代と 40 歳代前半、70 歳以上では回答者の構成比が母集団の構成比を上回った。

2019 年に実施した前回調査と比較してみると、今回の方が「25～29 歳」で 4.4 ポイント低く、「40～44 歳」で 3.1 ポイント高くなっている。ただし、前回調査も今回調査も 20 歳代と 30 歳代の合算は 60.4%となっており、回答者の約 6 割を占めた。

■図表 3 年齢構成 (n=1,031)

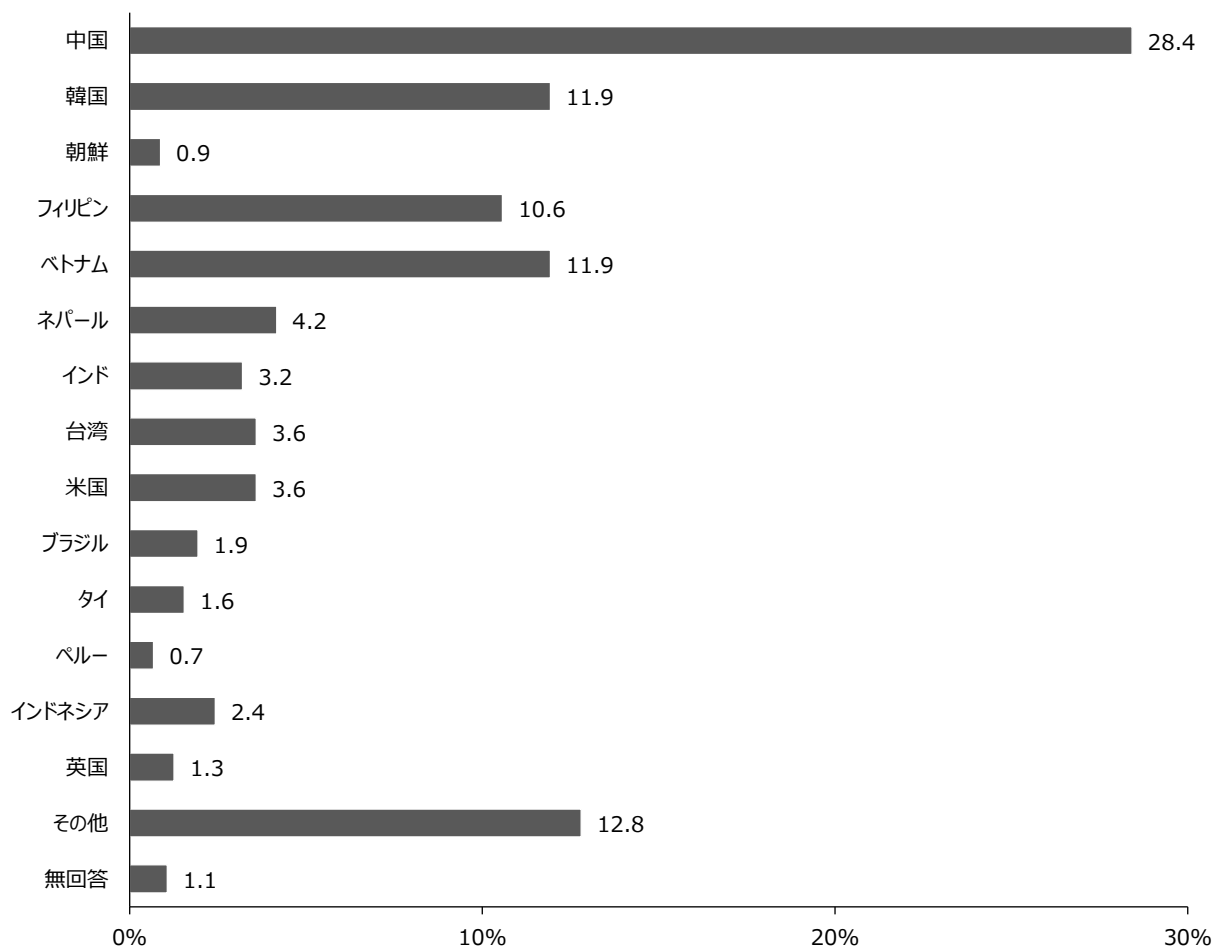


■【参考1 2019年調査との比較】

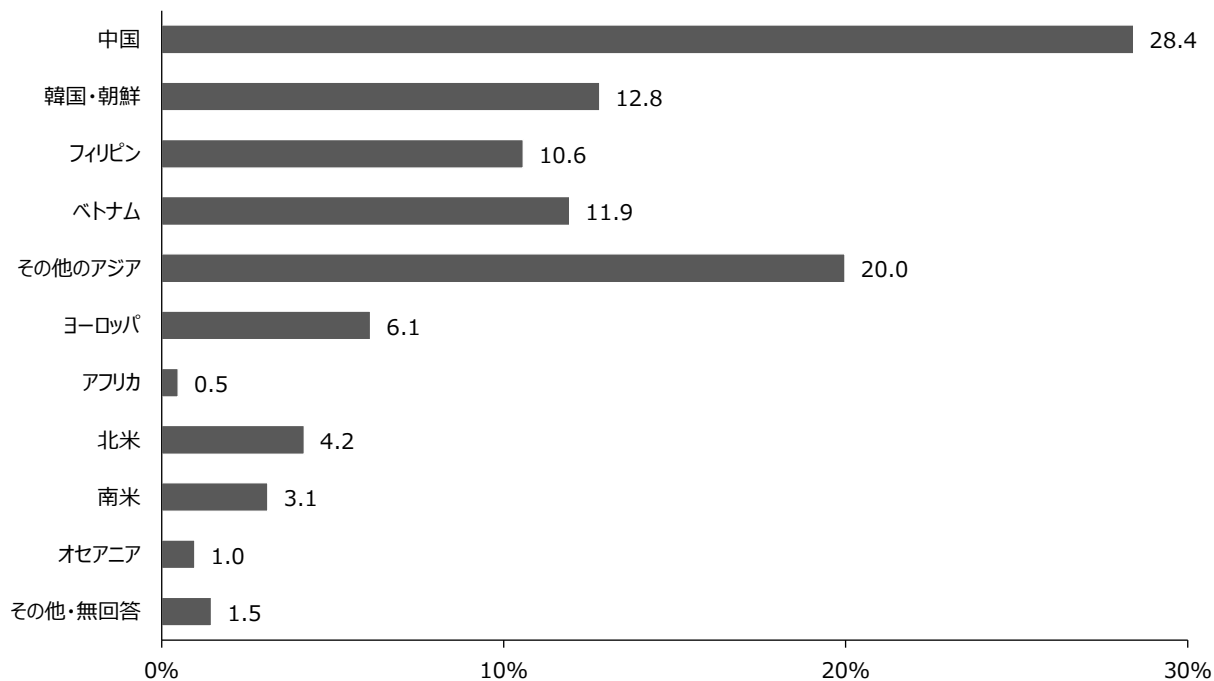


■図表 4 国籍・地域 (n=1,031)

●国籍・地域



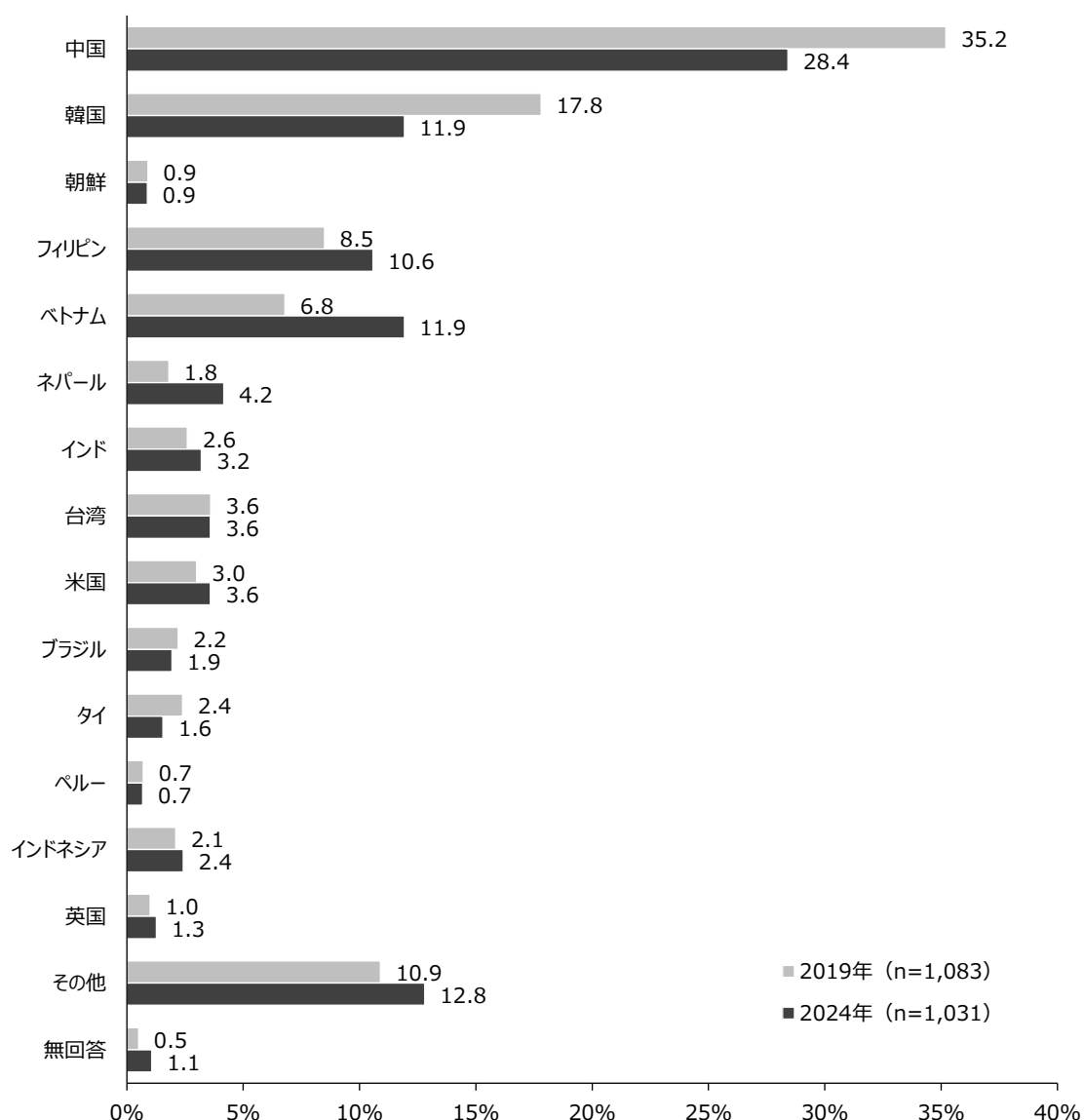
●主要アジア・地域



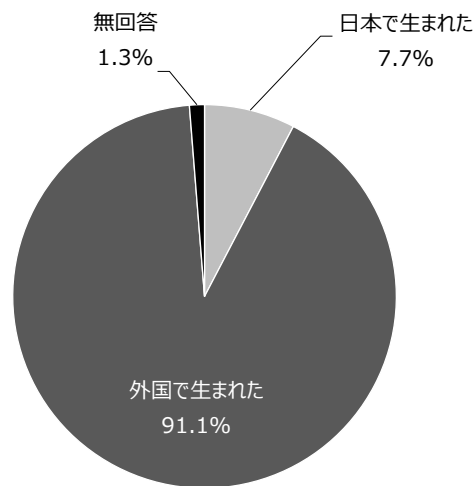
次に、回答者の国籍・地域についてたずねた。最も高かったのは「中国」の28.4%で、次いで「韓国」と「ベトナム」の11.9%、「フィリピン」の10.6%と続いており、川崎市の外国人人口の上位4つで全体の約6割を占めている。上記の4つ以外の出身については、いずれも5.0%以下であった。

前回調査と比較してみると、今回の調査で割合が高かった「中国」「韓国」では、「中国」が6.8ポイント、「韓国」が5.7ポイント減少しているが、同様に割合の高かった「フィリピン」「ベトナム」では、「フィリピン」が2.1ポイント、「ベトナム」が5.1ポイント増加している。

■【参考2 2019年調査との比較】



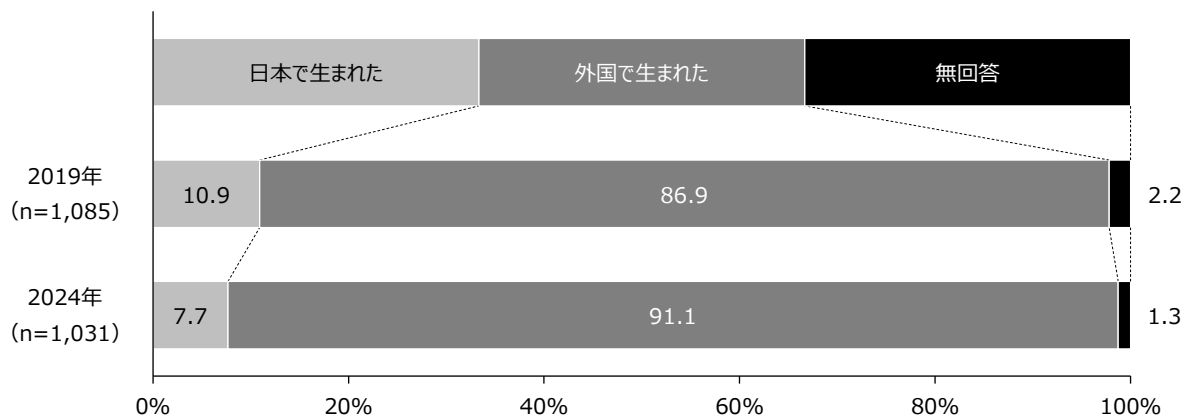
■図表 5 出生地 (n=1,031)



回答者の出生地では、回答者の91.1%が「外国で生まれた」であり、「日本で生まれた」は7.7%という結果であった。

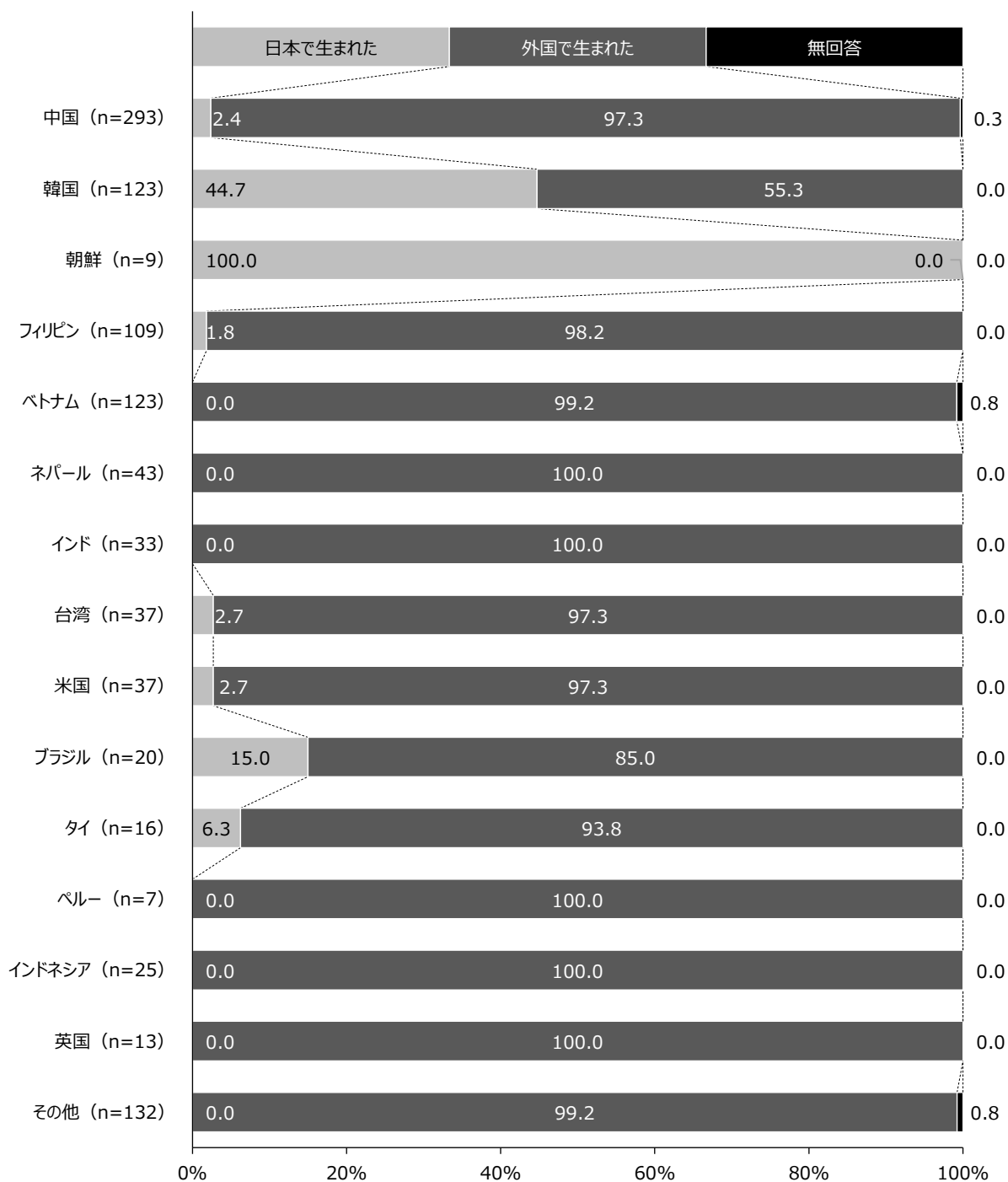
前回調査と比較してみると、「日本で生まれた」は3.2ポイント減少し、「外国で生まれた」は4.2ポイント増加している。

■【参考3 2019年調査との比較】



回答者の出生地と国籍・地域の関係では、「日本で生まれた」の割合が最も高かったのは、9人と母数が少ないものの「朝鮮」が100.0%という結果であった。次いで「韓国」が44.7%、「ブラジル」が15.0%と続いている。一方、「ネパール」「インド」「ペルー」「インドネシア」「英国」では「外国で生まれた」が100.0%であった。

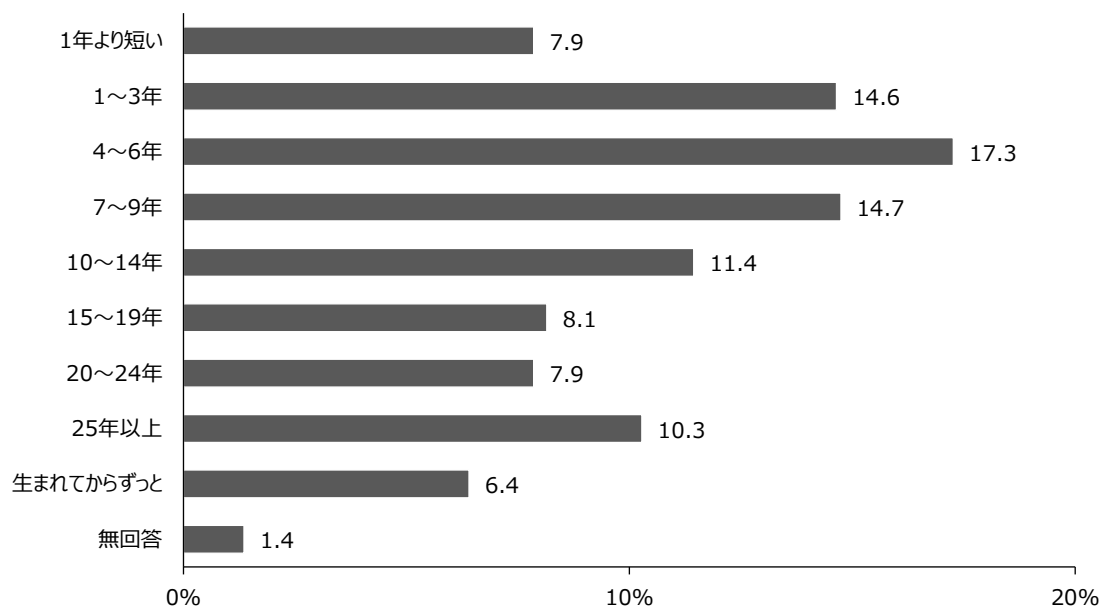
■図表6 国籍・地域と出生地の関係



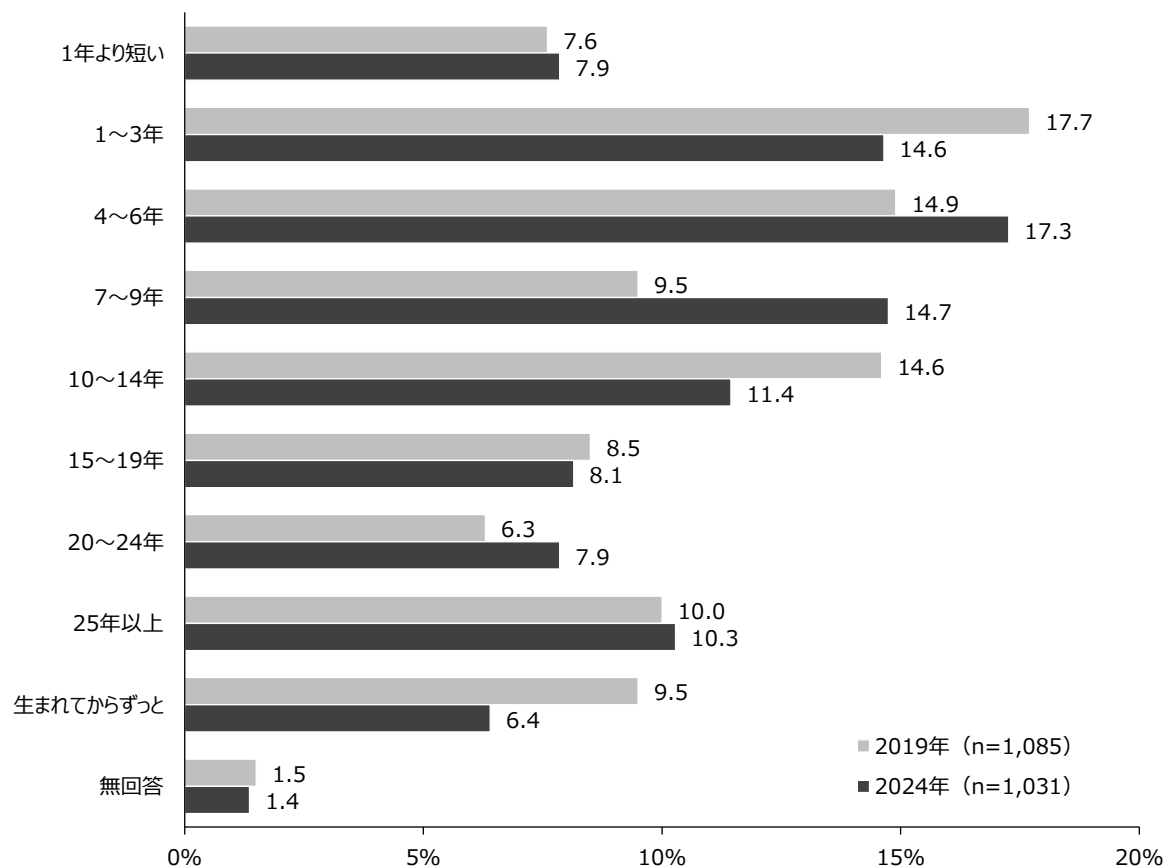
日本での滞在年数では、「4～6年」の割合が17.3%と最も高く、最も低かったのは「生まれてからずっと」の6.4%であった。

前回調査と比較してみると、2019年では「1～3年」が17.7%、「4～6年」が14.9%なのに対し、2024年では「4～6年」が17.3%、「7～9年」が14.7%となっており、5年前にいた人たちの多くがそのまま滞在している可能性がある。

■図表 7 日本での滞在年数 (n=1,031)



■【参考 4 2019 年調査との比較】



■図表 8 国籍・地域と日本での滞在年数の関係

●国籍・地域

国籍・地域	(n) 割合	1 年 より 短い	1 ～ 3 年	4 ～ 6 年	7 ～ 9 年	10 ～ 14 年	15 ～ 19 年	20 ～ 24 年	25 年 以上	生まれてからずっと	無回答
中 国	293	15	37	34	48	53	40	36	25	4	1
	100.0	5.1	12.6	11.6	16.4	18.1	13.7	12.3	8.5	1.4	0.3
韓 国	123	2	8	6	9	9	8	16	15	50	0
	100.0	1.6	6.5	4.9	7.3	7.3	6.5	13.0	12.2	40.7	0.0
朝 鮮	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
フィリピン	109	11	19	20	8	5	7	12	26	1	0
	100.0	10.1	17.4	18.3	7.3	4.6	6.4	11.0	23.9	0.9	0.0
ベトナム	123	14	22	45	31	6	4	1	0	0	0
	100.0	11.4	17.9	36.6	25.2	4.9	3.3	0.8	0.0	0.0	0.0
ネパール	43	4	5	9	10	8	5	0	1	0	1
	100.0	9.3	11.6	20.9	23.3	18.6	11.6	0.0	2.3	0.0	2.3
インド	33	5	8	9	3	5	2	0	1	0	0
	100.0	15.2	24.2	27.3	9.1	15.2	6.1	0.0	3.0	0.0	0.0
台 湾	37	2	4	12	7	6	3	1	1	1	0
	100.0	5.4	10.8	32.4	18.9	16.2	8.1	2.7	2.7	2.7	0.0
米 国	37	3	6	9	5	2	4	0	8	0	0
	100.0	8.1	16.2	24.3	13.5	5.4	10.8	0.0	21.6	0.0	0.0
ブラジル	20	0	0	1	2	3	1	4	8	1	0
	100.0	0.0	0.0	5.0	10.0	15.0	5.0	20.0	40.0	5.0	0.0
タ イ	16	1	1	5	4	3	2	0	0	0	0
	100.0	6.3	6.3	31.2	25.0	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
ペルー	7	0	1	0	0	0	2	2	2	0	0
	100.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0
インドネシア	25	6	9	3	2	2	2	0	1	0	0
	100.0	24.0	36.0	12.0	8.0	8.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0
英 国	13	3	0	2	1	0	0	3	4	0	0
	100.0	23.1	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	30.8	0.0	0.0
その他	132	15	31	23	21	16	4	6	14	0	2
	100.0	11.4	23.5	17.4	15.9	12.1	3.0	4.5	10.6	0.0	1.5

●地 域

地 域	(n) 割 合	1 年 より 短 い	1 ～ 3 年	4 ～ 6 年	7 ～ 9 年	10 ～ 14 年	15 ～ 19 年	20 ～ 24 年	25 年 以 上	生 ま れ て か ら ず つ と	無 回 答
全アジア	863	66	125	155	128	102	75	69	76	65	2
	100.0	7.6	14.5	18.0	14.8	11.8	8.7	8.0	8.8	7.5	0.2
主要アジア	657	42	86	105	96	73	59	65	66	64	1
	100.0	6.4	13.1	16.0	14.6	11.1	9.0	9.9	10.0	9.7	0.2
その他アジア ※	206	24	39	50	32	29	16	4	10	1	1
	100.0	11.7	18.9	24.3	15.5	14.1	7.8	1.9	4.9	0.5	0.5
ヨーロッパ	63	9	11	10	11	5	1	5	10	0	1
	100.0	14.3	17.5	15.9	17.5	7.9	1.6	7.9	15.9	0.0	1.6
アフリカ	5	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北 米	43	3	7	10	6	3	4	1	9	0	0
	100.0	7.0	16.3	23.3	14.0	7.0	9.3	2.3	20.9	0.0	0.0
南 米	32	0	3	1	2	4	4	6	11	1	0
	100.0	0.0	9.4	3.1	6.3	12.5	12.5	18.8	34.4	3.1	0.0
オセアニア	10	1	1	2	4	1	0	0	0	0	1
	100.0	10.0	10.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
その他無回答	15	0	2	0	1	2	0	0	0	0	10
	100.0	0.0	13.3	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

※全アジアから主要アジア（「中国」「韓国」「朝鮮」「フィリピン」「ベトナム」）を除いたアジア圏

次に、各国籍・地域の集団がどの程度長い滞在期間の人で構成されているかを調べるためにクロス集計を行った。3年以下と滞在年数の短い割合が高かったのは「インド」と「インドネシア」で、「インド」は39.4%と約4割、「インドネシア」は60.0%と6割を占めた。「生まれてからずっと」を見てみると、母数が小さいものの「朝鮮」の100.0%が最も高く、次いで「韓国」の40.7%となっており、他の国籍・地域ではすべて5.0%以下であった。

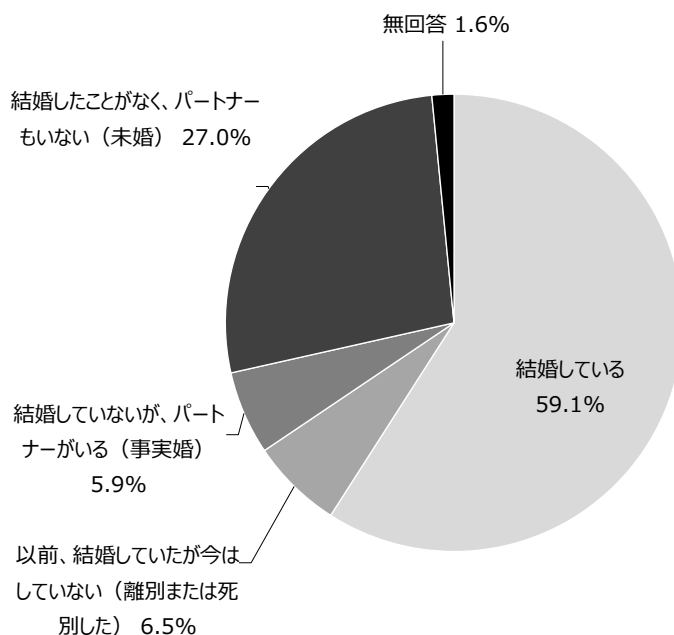
地域別で見ると、3年以下では5人と母数が少ないものの「アフリカ」が80.0%と顕著に高く、次いで「ヨーロッパ」が31.8%、「その他アジア」が30.6%と続いた。

2 家族関係

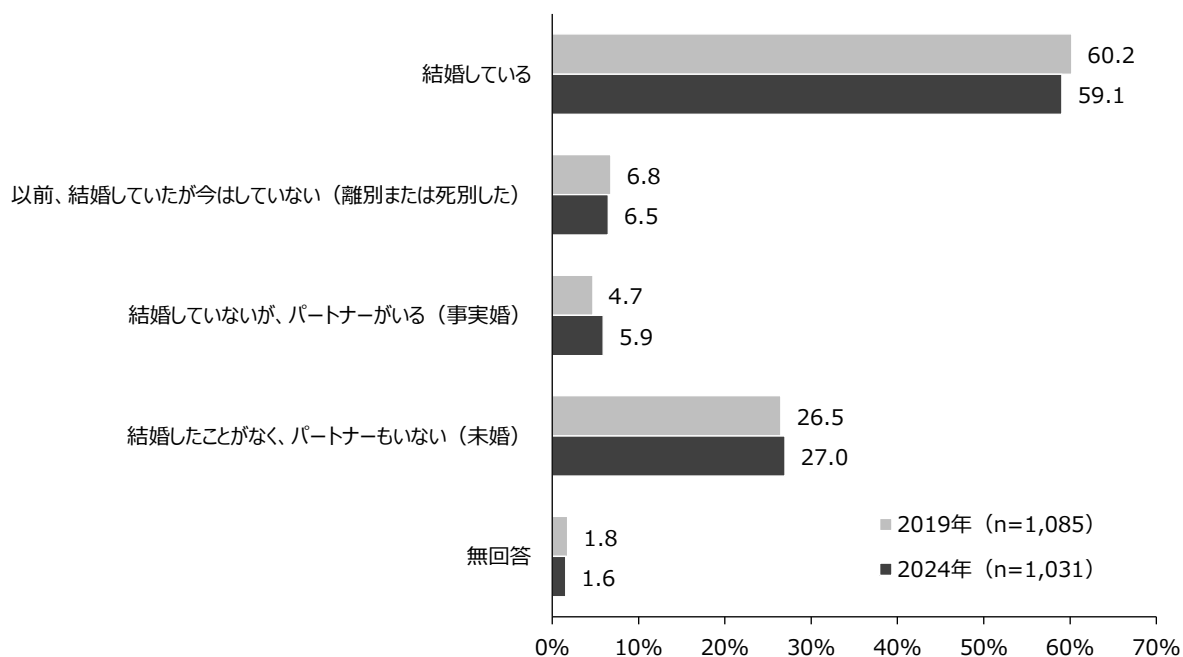
回答者の婚姻状況についてたずねたところ、「結婚している」が59.1%で最も高く約6割を占めた。次いで「結婚もしたことがなく、パートナーもいない（未婚）」が27.0%、「以前、結婚していたが今はしていない（離別または死別した）」が6.5%、「結婚していないが、パートナーがいる（事実婚）」が5.9%と続いている。

前回調査と比較してみると、「結婚している」の割合が1.1ポイント減少し、「結婚したことがなく、パートナーもいない（未婚）」の割合が0.5ポイント増加している。

■図表9 婚姻状況（n=1,031）

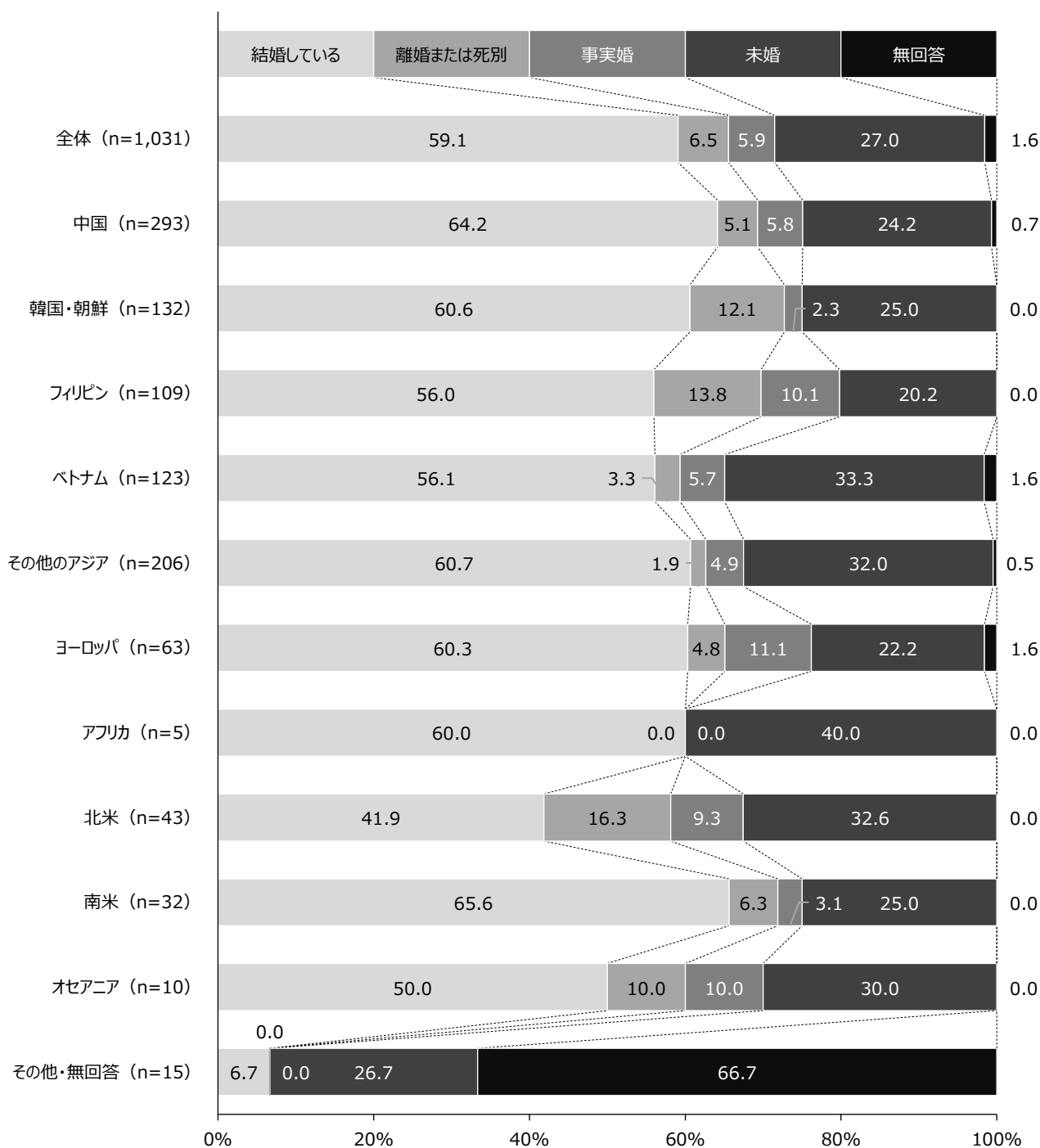


■【参考5 2019年調査との比較】



国籍・地域と婚姻状況の関係について見てみると、「北米」を除くすべての国籍・地域で「結婚している」が50.0%を超えており、なかでも「南米」の65.6%が最も高く、すべての国籍・地域で「結婚している」が「未婚」を上回っている。「未婚」が最も高かったのは「アフリカ」の40.0%で、次いで「ベトナム」が33.3%、「北米」が32.6%で続いている。「以前、結婚していたが今はしていない（離別または死別した）」では、「北米」の16.3%が最も高かった。

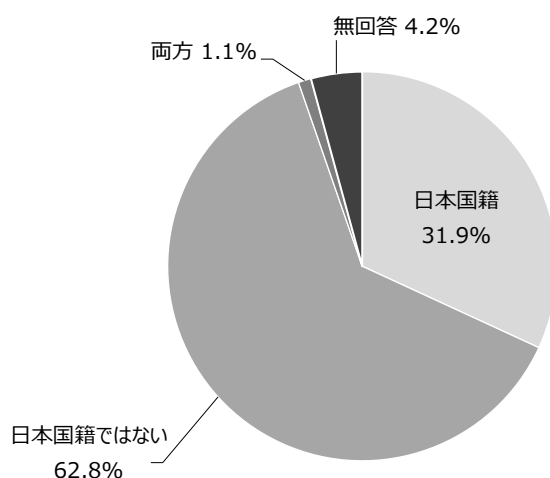
■図表 10 国籍・地域と婚姻状況の関係



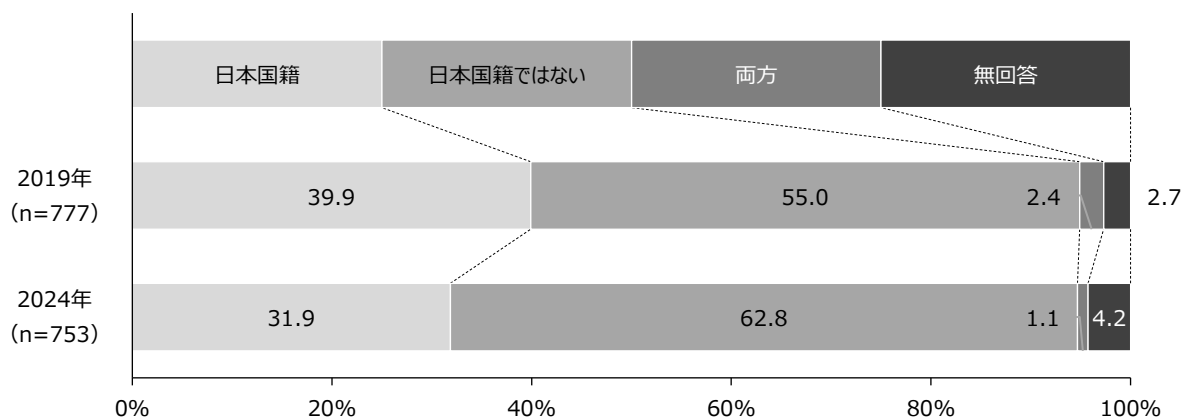
配偶者・パートナーの国籍についてたずねたところ、「日本国籍ではない」が62.8%、「日本国籍」が31.9%で、「日本国籍ではない」が「日本国籍」の約2倍という結果であった。

前回調査と比較してみると、「日本国籍」が8.0ポイント減少しており、「日本国籍ではない」が7.8ポイント増加している。なお、2014年の前々回の調査では「日本国籍」が48.7%、「日本国籍ではない」が46.5%、「両方」が1.8%、「無回答」が3.0%で、「日本国籍ではない」よりも「日本国籍」の方が高かった。「日本国籍ではない」の推移を見てみると、前々回が46.5%、前回は55.0%、今回は62.8%となっており、外国籍同士の配偶者・パートナーの割合が年々増加していることがわかる。

■図表 11 配偶者・パートナーの国籍 (n=753)

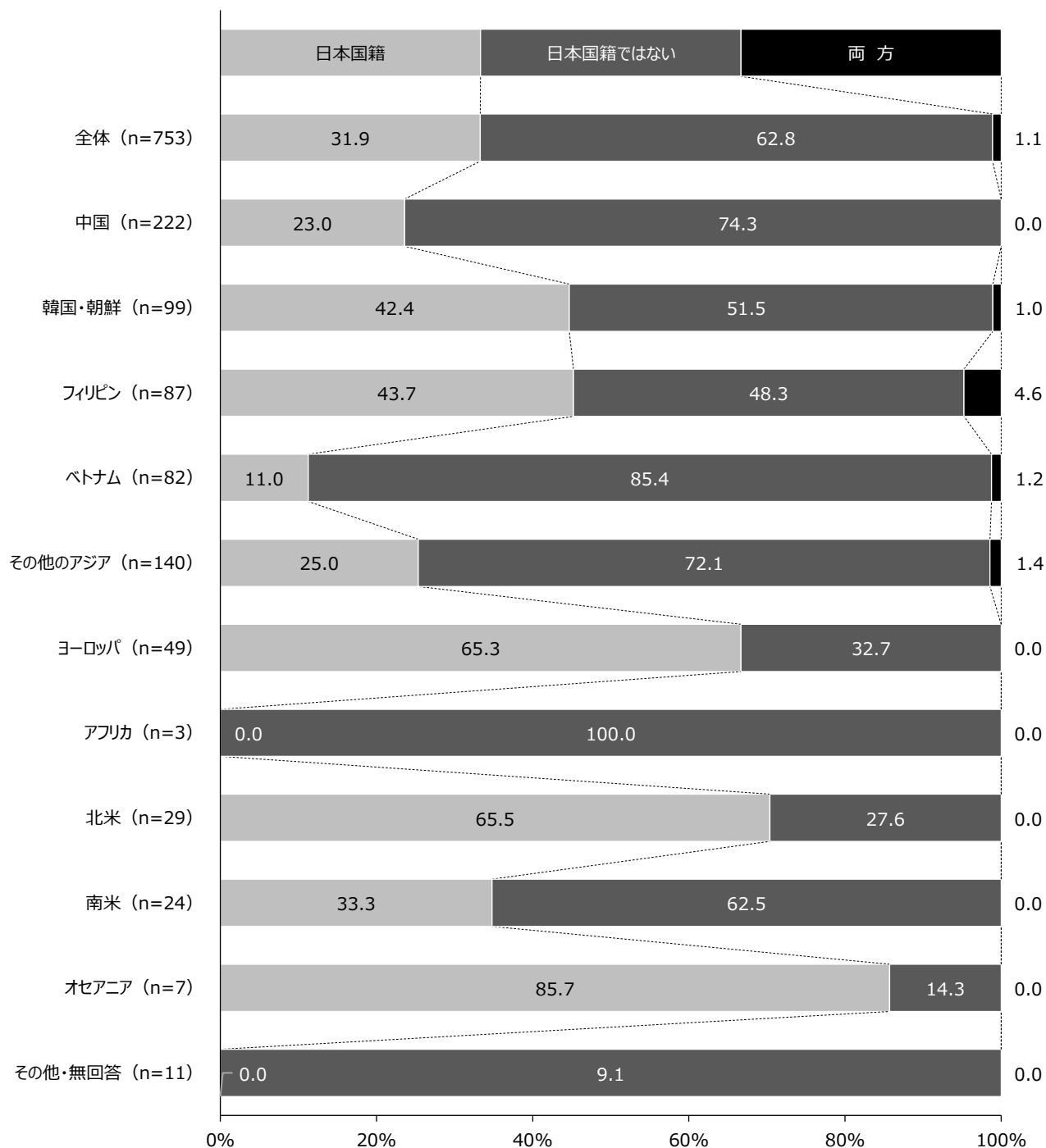


■【参考 6 2019 年調査との比較】



次に、回答者の国籍・地域と配偶者・パートナーの国籍・地域との関係を見てみると、「日本国籍ではない」の割合は母数の少なかった「アフリカ」を除くと「ベトナム」が85.4%で最も高かった。一方、「ヨーロッパ」「北米」「オセアニア」では「日本国籍」が6割を超えていた。

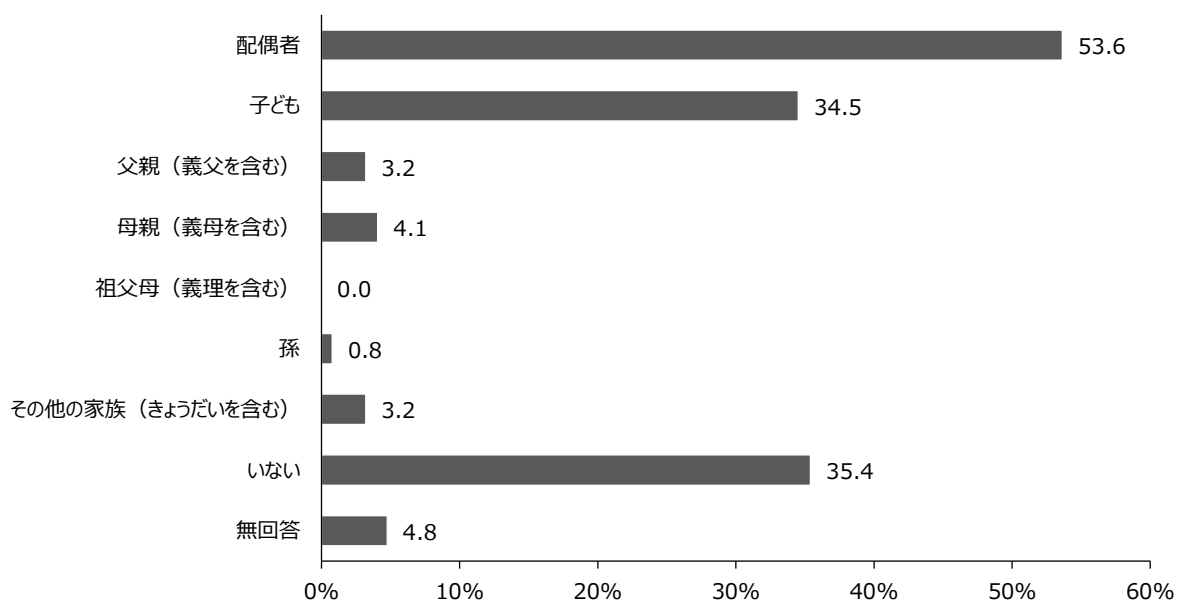
■図表 12 国籍・地域と配偶者・パートナーの国籍との関係



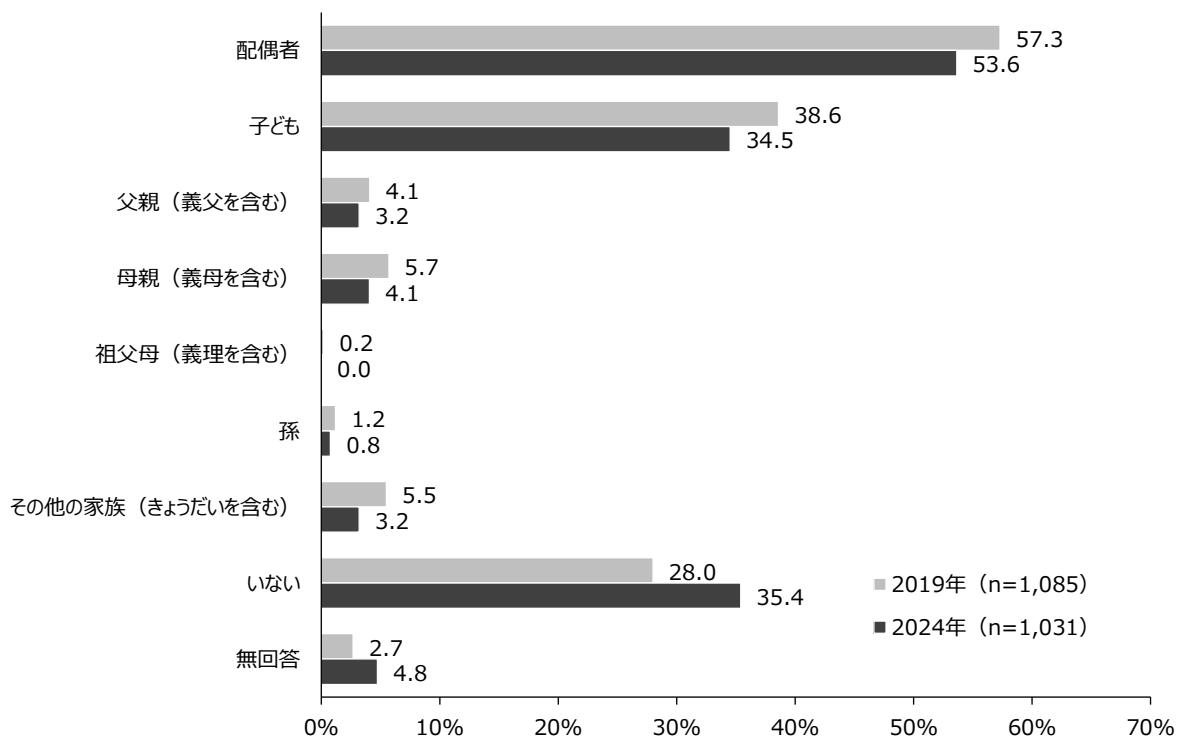
同居家族の構成についてたずねたところ、53.6%と回答者の半数以上が「配偶者」と同居しており、次いで「いない」が35.4%、「子ども」が34.5%と続いている。

前回調査と比較してみると、「いない」の割合が7.4ポイント増加しており、単身で生活している人の割合が増えている。

■図表 13 同居家族の構成 (n=1,031)

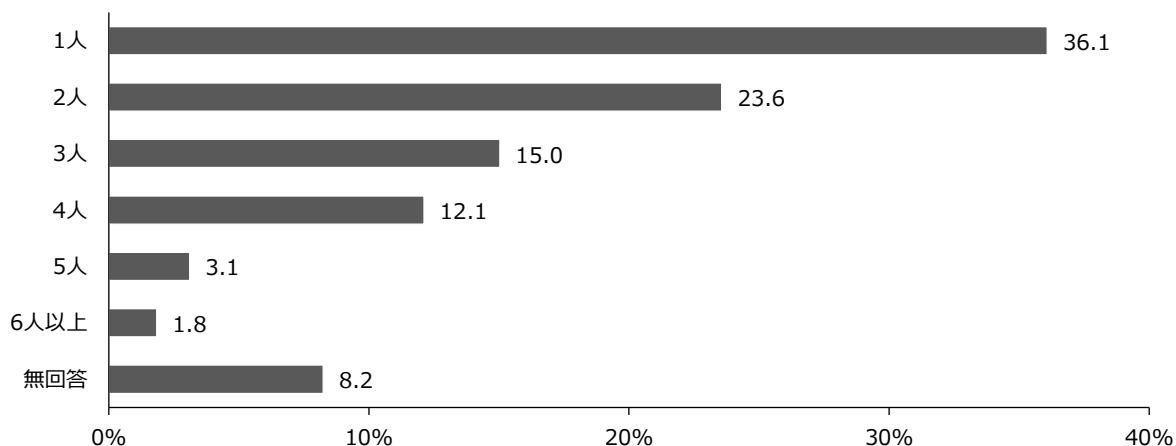


■【参考 7 2019 年調査との比較】

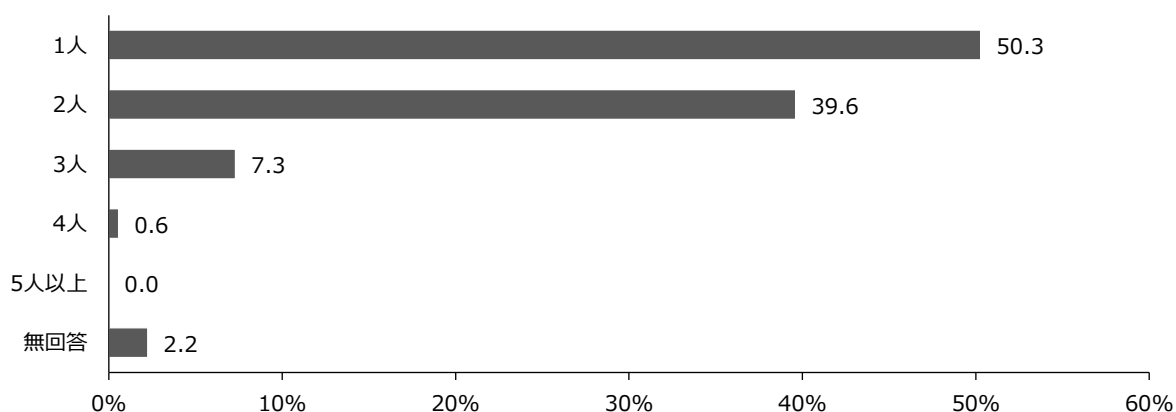


世帯（家族）人数と子どもの人数についてたずねたところ、「1人」が36.1%で最も高く、次いで「2人」が23.6%、「3人」が15.0%が続いている。「6人以上」は非常に少なく1.8%であった。子どもの人数についても、人数が増えるほど割合が低くなっている。

■図表 14 世帯人数（n=1,031）

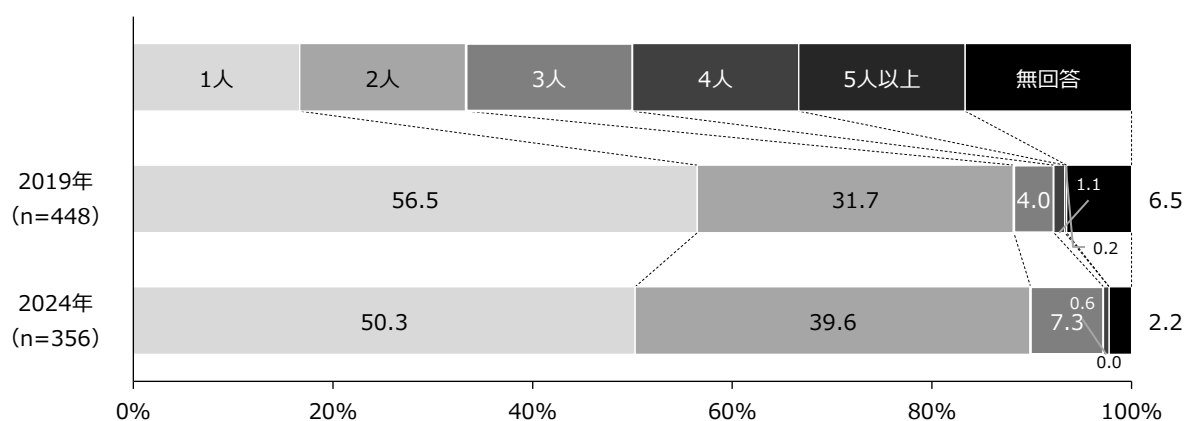


■図表 15 子どもの人数（n=356）



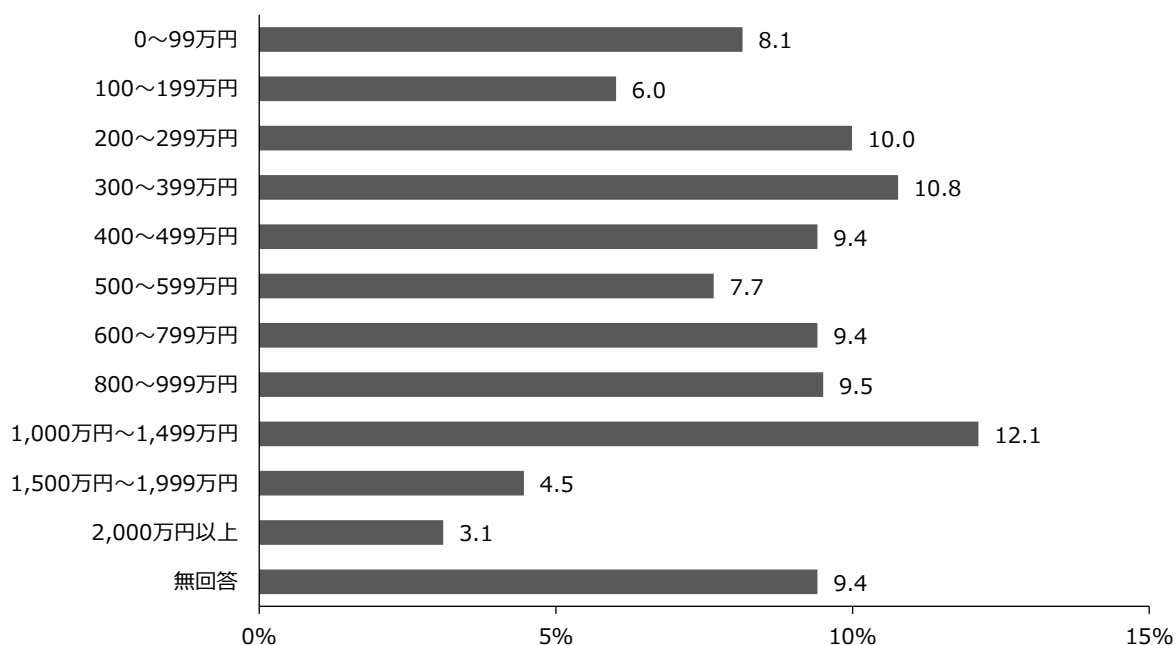
世帯人数について前回調査と比較してみると、「1人」は6.2ポイント減少しているが、「2人」は7.9ポイント、「3人」は3.3ポイント増加している。

■【参考 8 2019年調査との比較】



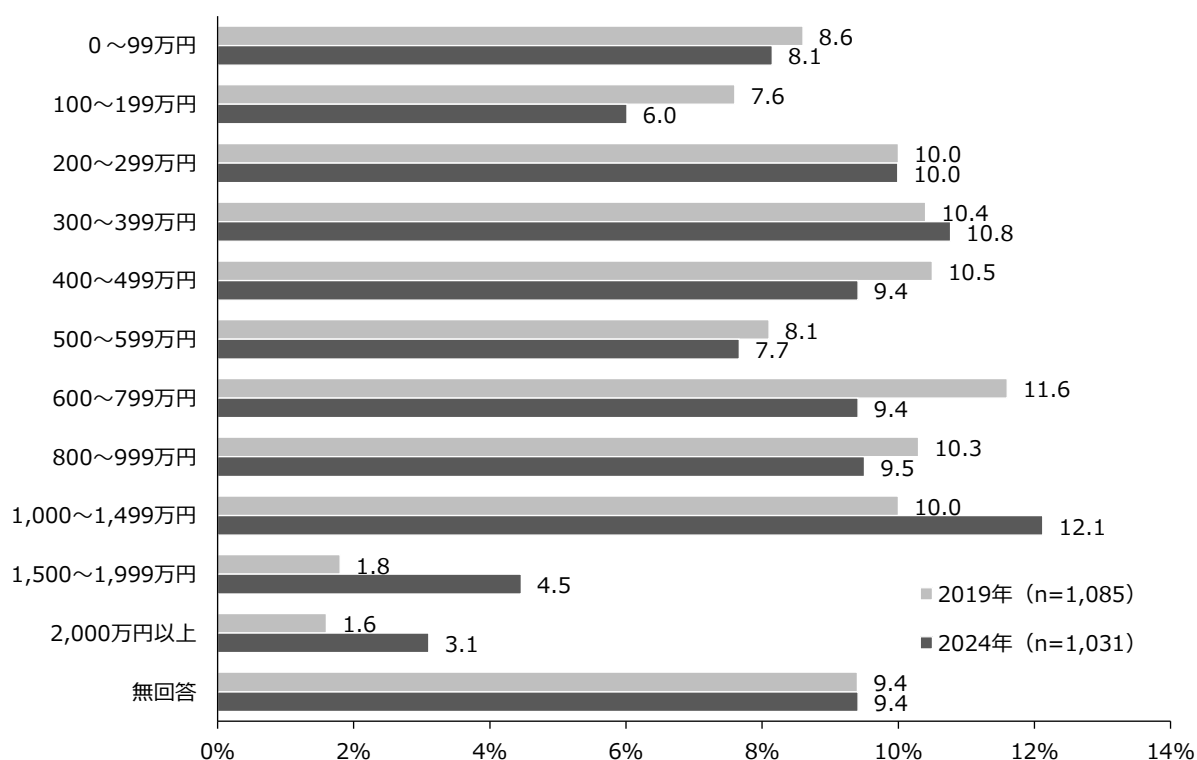
世帯年収（同居している家族全体の年収）についてたずねたところ、最も高かったのは、「1,000万円～1,499万円」の12.1%で、次いで「300～399万円」の10.8%、「200～299万円」の10.0%と続いている。1,000万円を超える世帯が19.7%と約2割を占める一方で、200万円未満の世帯も14.1%いた。

■図表 16 世帯年収（n=1,031）



前回調査と比較してみると、200万円未満の世帯は2.1ポイント減少しており、一方で1,000万円以上の世帯は6.3ポイント増加している。

■【参考 9 2019年調査との比較】



次に、世帯収入と国籍・地域の間関係を見てみると、「0～99 万円」では母数の少ない「アフリカ」を除くと「フィリピン」の 9.2%が、「100～199 万円」では「ベトナム」の 13.0%が、「200～299 万円」でも「ベトナム」の 19.5%が最も高かった。一方、1,000 万円以上では母数の少なかった「オセアニア」を除くと、最も高かったのは「ヨーロッパ」の 36.4%で、次いで「北米」が 30.3%、「中国」が 28.0%で続いた。

■図表 17 世帯年収と国籍・地域との関係

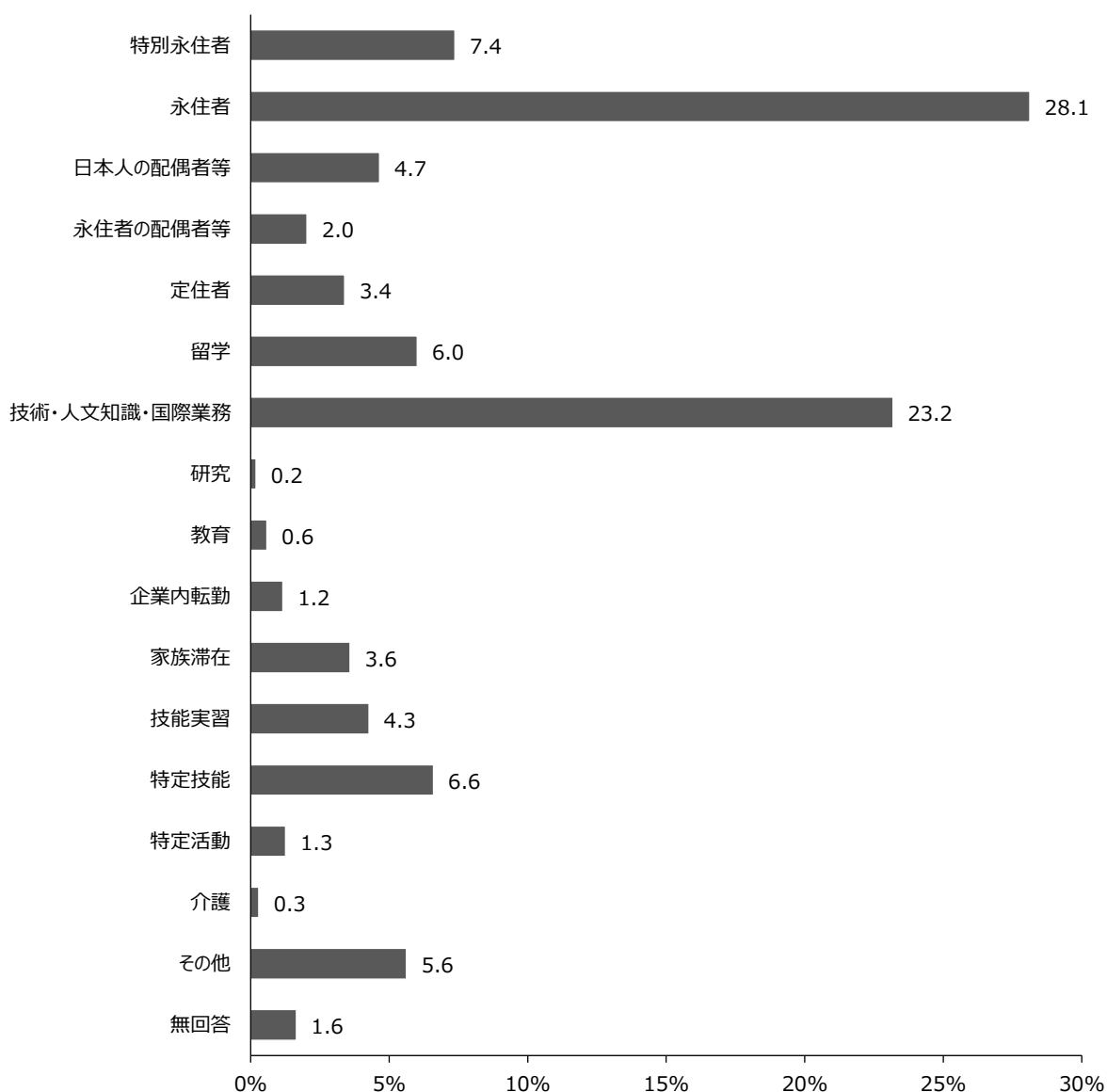
国籍・地域	(n) 割合	0 ～ 99 万円	1 0 0 ～ 1 9 9 万円	2 0 0 ～ 2 9 9 万円	3 0 0 ～ 3 9 9 万円	4 0 0 ～ 4 9 9 万円	5 0 0 ～ 5 9 9 万円	6 0 0 ～ 7 9 9 万円	8 0 0 ～ 9 9 9 万円	1 0 0 0 ～ 1 4 9 9 万円	1 5 0 0 ～ 1 9 9 9 万円	2 0 0 0 万円 以上	無 回 答
中 国	293	26	8	17	22	28	30	37	32	55	14	13	11
	100.0	8.9	2.7	5.8	7.5	9.6	10.2	12.6	10.9	18.8	4.8	4.4	3.8
韓国・朝鮮	132	7	8	9	11	16	12	13	21	14	6	5	10
	100.0	5.3	6.1	6.8	8.3	12.1	9.1	9.8	15.9	10.6	4.5	3.8	7.6
フィリピン	109	10	12	17	10	11	7	8	3	9	2	3	17
	100.0	9.2	11.0	15.6	9.2	10.1	6.4	7.3	2.8	8.3	1.8	2.8	15.6
ベトナム	123	11	16	24	23	10	1	7	5	9	0	0	17
	100.0	8.9	13.0	19.5	18.7	8.1	0.8	5.7	4.1	7.3	0.0	0.0	13.8
その他アジア	206	18	12	28	30	20	9	16	24	12	12	4	21
	100.0	8.7	5.8	13.6	14.6	9.7	4.4	7.8	11.7	5.8	5.8	1.9	10.2
ヨーロッパ	63	4	3	1	5	5	8	4	6	12	7	4	4
	100.0	6.3	4.8	1.6	7.9	7.9	12.7	6.3	9.5	19.0	11.1	6.3	6.3
アフリカ	5	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
	100.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
北 米	43	3	1	3	3	3	2	8	4	8	3	2	3
	100.0	7.0	2.3	7.0	7.0	7.0	4.7	18.6	9.3	18.6	7.0	4.7	7.0
南 米	32	2	1	4	5	3	5	4	2	4	0	0	2
	100.0	6.3	3.1	12.5	15.6	9.4	15.6	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	6.3
オセアニア	10	1	0	0	0	1	2	0	1	2	2	1	0
	100.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0

3 在留資格と学歴

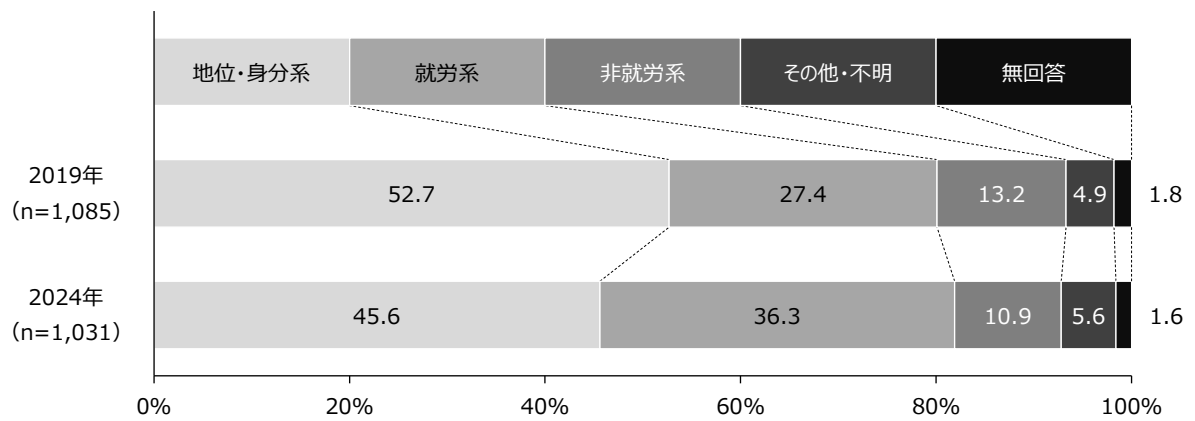
在留資格について見てみると、最も高かったのは「永住者」の28.1%で、次いで「技術・人文知識・国際業務」の23.2%、「特別永住者」の7.4%と続いた。「特別永住者」「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」の地位・身分系の在留資格が45.6%と高い割合を占めており、「技術・人文知識・国際業務」「研究」「教育」「企業内転勤」「技能実習」「特定技能」「介護」等の就労系の在留資格は36.3%であった。

前回調査と比較してみると、地位・身分系の在留資格は6.7ポイント減少しており、一方、就労系の在留資格は12.1ポイント増加している。特に「技能実習」と2019年に新設された「特定技能」は合わせて7.5ポイント増加している。

■図表 18 在留資格 (n=1,031)



■【参考 10 2019 年調査との比較】



地位・身分系：特別永住者／永住者／日本人の配偶者等／永住者の配偶者等／定住者

就労系：技術・人文知識・国際業務／研究／教育／企業内転勤／技能実習／特定技能／介護等

非就労系：留学／家族滞在／特定活動等

国籍・地域と在留資格の関係について見てみると、「永住・定住」では「朝鮮・韓国」が71.2%で最も高く、次いで「フィリピン」の48.1%、「中国」の44.5%と続いている。「技能実習」では、「ベトナム」が24.4%と顕著に高く、「ベトナム」以外では7.0%未満であった。「留学」では、母数が少ないものの「アフリカ」が25.0%で最も高く、次いで「中国」が11.0%で続いた。

■図表 19 国籍・地域と在留資格との関係 (n=1,014)

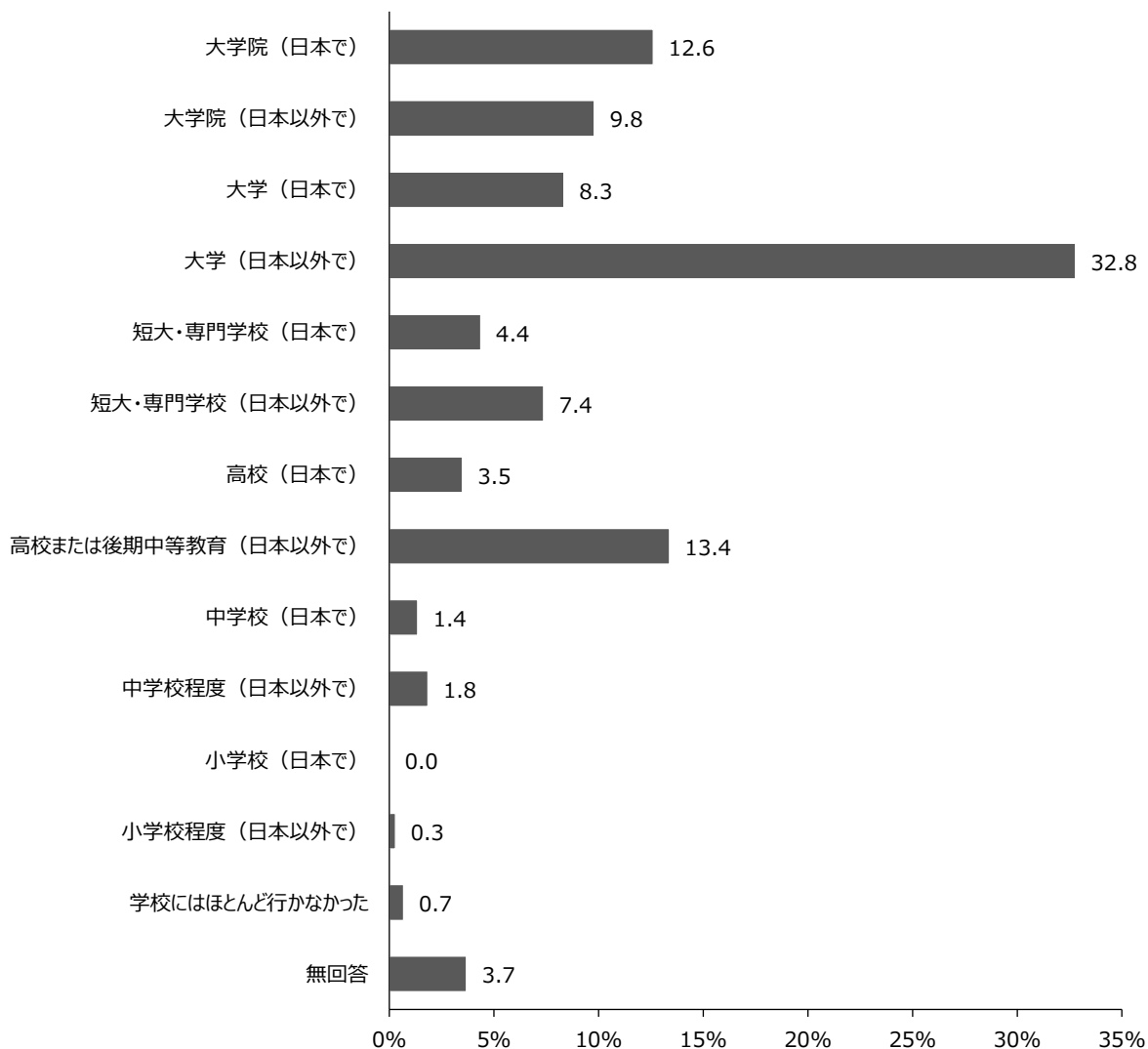
国籍・地域	(n) 割合	永住・定住	日本人・永住者の配偶者等	専門職	技能実習	家族滞在	留学	その他
中国	290	129	16	74	1	12	32	26
	100.0	44.5	5.5	25.5	0.3	4.1	11.0	9.0
韓国・朝鮮	132	94	8	20	0	2	4	4
	100.0	71.2	6.1	15.2	0.0	1.5	3.0	3.0
フィリピン	106	51	8	27	7	1	0	12
	100.0	48.1	7.5	25.5	6.6	0.9	0.0	11.3
ベトナム	123	12	2	64	30	7	6	2
	100.0	9.8	1.6	52.0	24.4	5.7	4.9	1.6
その他アジア	203	41	18	89	6	13	12	24
	100.0	20.2	8.9	43.8	3.0	6.4	5.9	11.8
ヨーロッパ	62	18	11	21	0	1	4	7
	100.0	29.0	17.7	33.9	0.0	1.6	6.5	11.3
アフリカ	4	0	0	2	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0
北米	42	17	4	13	0	1	2	5
	100.0	40.5	9.5	31.0	0.0	2.4	4.8	11.9
南米	32	28	1	3	0	0	0	0
	100.0	87.5	3.1	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0
オセアニア	10	5	1	3	0	0	1	0
	100.0	50.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0
その他無回答	10	6	0	2	0	0	0	2
	100.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

※在留資格「無回答」を除外

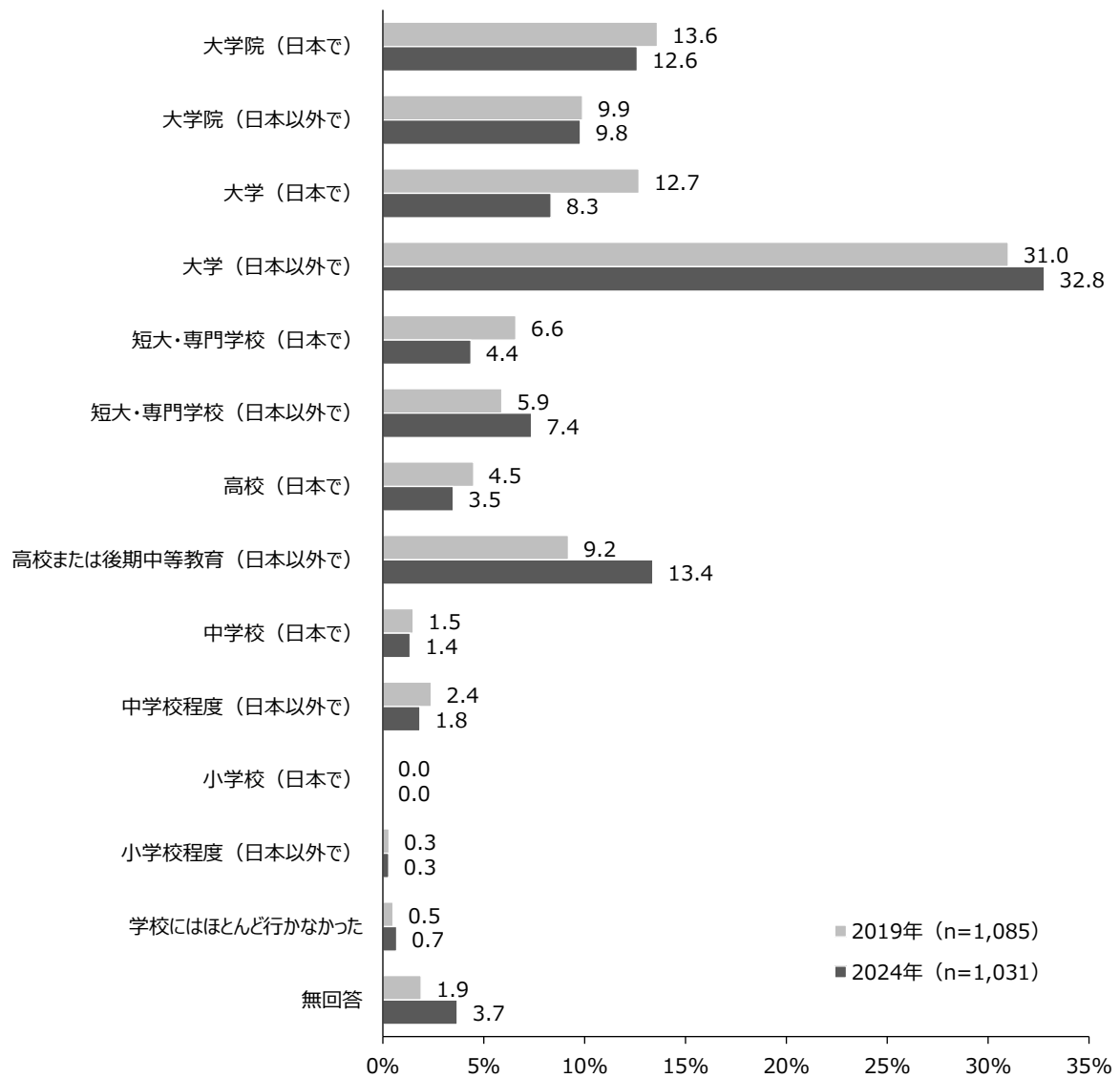
最後に、回答者の学歴について見てみる。最も高かったのは「大学（日本以外で）」の32.8%で、約3人に1人が日本以外で大卒の学歴を獲得している。次いで「高校または後期中等教育（日本以外で）」が13.4%、「大学院（日本で）」が12.6%と続いている。

前回調査と比較してみると、「大学（日本で）」が4.4ポイント減少し、「大学（日本以外で）」が1.8ポイント増加している。最も増加したのは「高校または後期中等教育（日本以外で）」の4.2ポイントで、これは「技能実習」や「特定技能」が増加していることの影響によるものと考えられる。

■図表 20 学歴（n=1,031）



■【参考 11 2019 年調査との比較】



次に、国籍・地域と学歴の関係をしてみると、全体の割合が高い「大学（日本以外で）」では、母数の少なかった「アフリカ」「オセアニア」を除くと「ヨーロッパ」の 49.2%が最も高く、次いで「フィリピン」が 45.9%、「その他アジア」が 38.3%で続いており、一方で最も低かったのは「ベトナム」の 13.8%であった。

前回調査と比較してみると、「ベトナム」の大卒以上の割合が 63.9%から 21.1%へと顕著に減少している。

■図表 21 国籍・地域と学歴の関係

国籍・地域	(n) 割合	大学院 (日本で)	大学院 (日本以外で)	大学 (日本で)	大学 (日本以外で)	短大・専門学校 (日本で)	短大・専門学校 (日本以外で)	高校 (日本で)	高校 (日本以外で)	中学校 (日本で)	中学校 (日本以外で)	小学校程度 (日本以外で)	ほとんど行かなかった	無回答
中 国	293	80	14	43	85	11	18	4	19	1	8	2	1	7
	100.0	27.3	4.8	14.7	29.0	3.8	6.1	1.4	6.5	0.3	2.7	0.7	0.3	2.4
韓国・朝鮮	132	9	2	20	37	10	6	24	11	11	0	0	0	2
	100.0	6.8	1.5	15.2	28.0	7.6	4.5	18.2	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	1.5
フィリピン	109	1	11	0	50	1	8	1	25	0	3	0	1	8
	100.0	0.9	10.1	0.0	45.9	0.9	7.3	0.9	22.9	0.0	2.8	0.0	0.9	7.3
ベトナム	123	1	7	1	17	9	28	3	46	0	3	0	5	3
	100.0	0.8	5.7	0.8	13.8	7.3	22.8	2.4	37.4	0.0	2.4	0.0	4.1	2.4
その他アジア	206	28	32	18	79	7	7	1	23	0	4	0	0	7
	100.0	13.6	15.5	8.7	38.3	3.4	3.4	0.5	11.2	0.0	1.9	0.0	0.0	3.4
ヨーロッパ	63	3	15	0	31	1	5	0	6	0	1	0	0	1
	100.0	4.8	23.8	0.0	49.2	1.6	7.9	0.0	9.5	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6
アフリカ	5	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北 米	43	2	17	2	17	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	100.0	4.7	39.5	4.7	39.5	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	7.0
南 米	32	2	1	1	8	4	4	1	7	0	0	1	0	3
	100.0	6.3	3.1	3.1	25.0	12.5	12.5	3.1	21.9	0.0	0.0	3.1	0.0	9.4
オセアニア	10	0	1	1	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	10.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他・無回答	15	2	0	0	5	2	0	1	0	1	0	0	0	4
	100.0	13.3	0.0	0.0	33.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	26.7

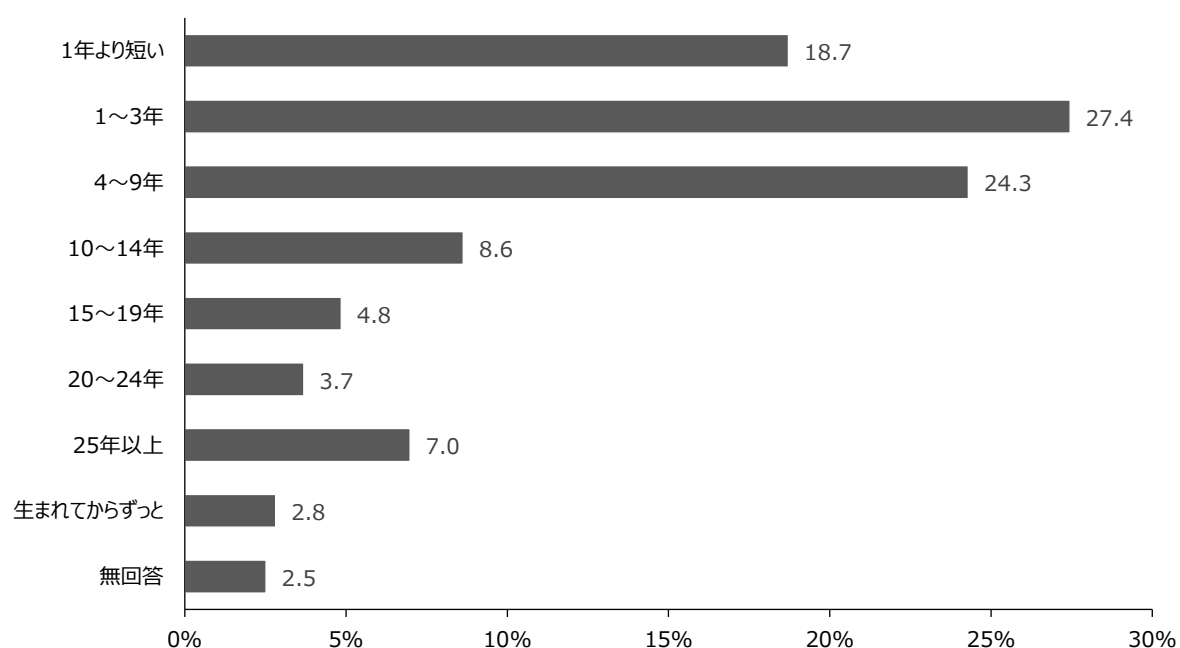
第 2 章 行政情報の受容と日本語能力

1 川崎市内居住年数

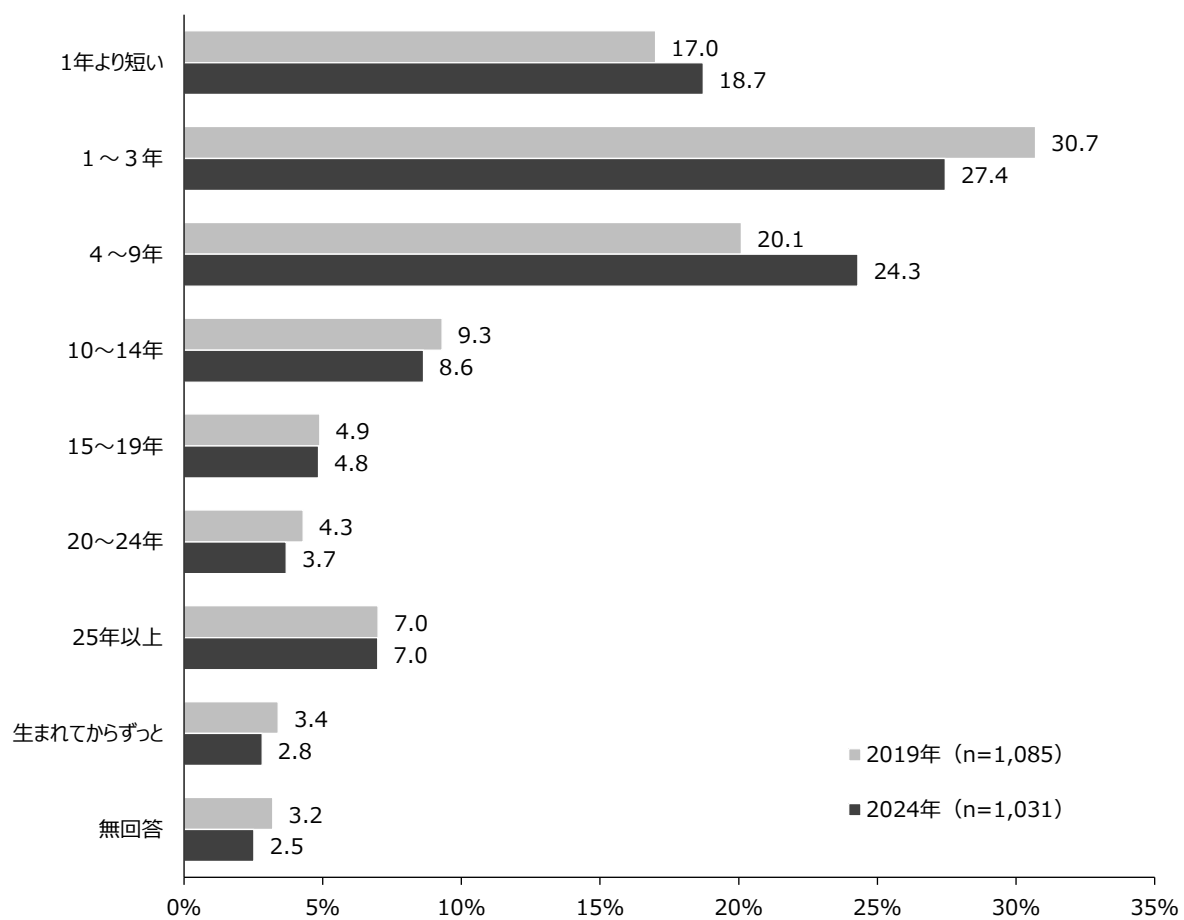
川崎市に居住している年数についてたずねたところ、46.1%と約半数が3年以内と回答している。ここに9年以内まで合わせると70.4%と約7割に達する。一方、20年以上と「生まれてからずっと」を合わせると13.5%となる。

前回調査と比較してみると、「1年より短い」が1.7ポイント、「4～9年」が4.2ポイント増加している。「1～3年」は3.3ポイント減少しているが、これはコロナ禍での入国制限が影響しているためだと思われる。

■図表 22 市内居住年数 (n=1,031)



■【参考 12 2019 年調査との比較】

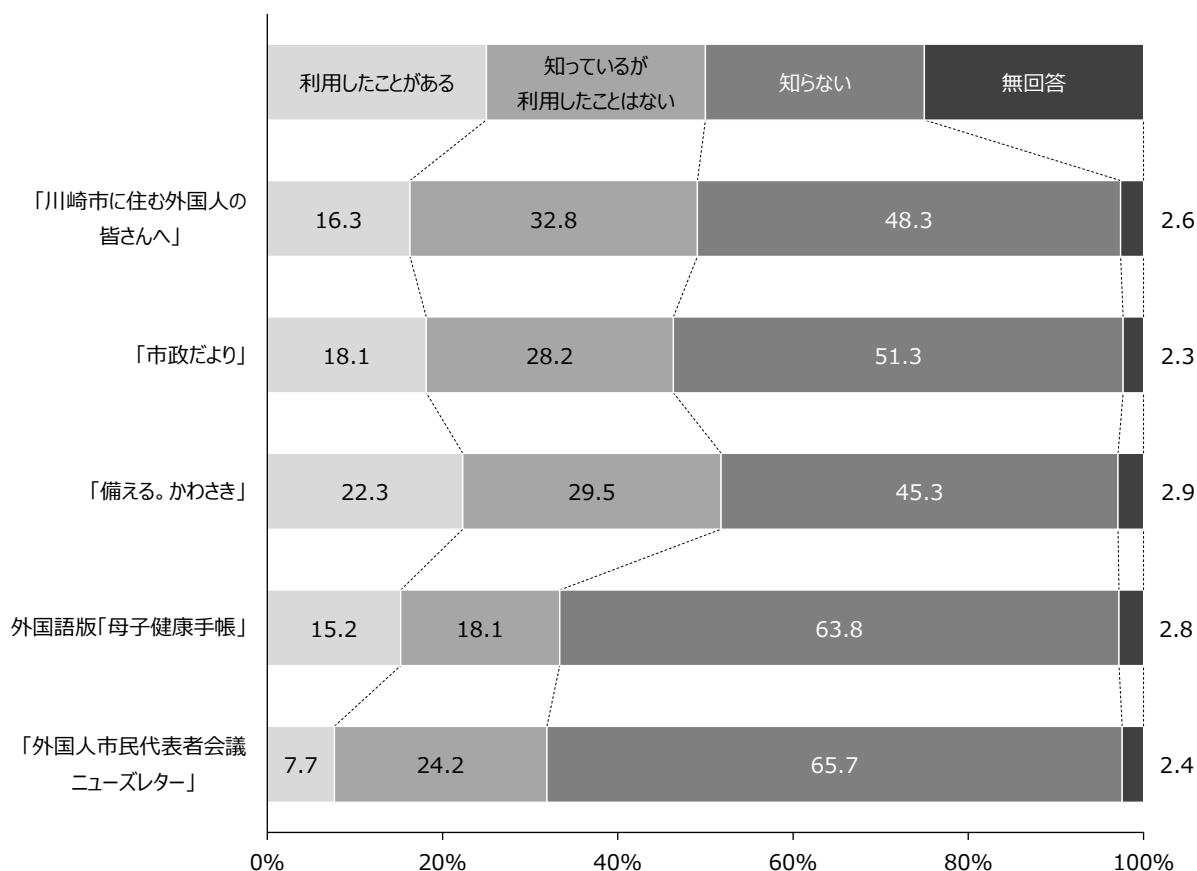


2 市からの情報発信の認知・利用状況

川崎市の広報媒体（紙媒体）の認知・利用状況についてたずねたところ、いずれの媒体も「知らない」が40.0%を超えていた。「利用したことがある」では、最も高かったのは「備える。かわさき」の22.3%で、次いで「市政だより」の18.1%、「川崎市に住む外国人の皆さんへ」の16.3%と続いている。

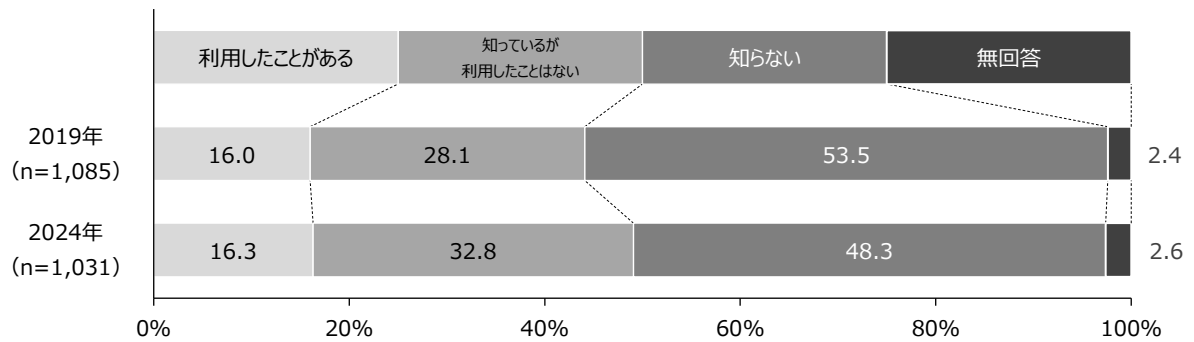
前回調査と比較してみると、「外国語版『母子健康手帳』」を除く他の広報媒体では「知らない」の割合が減少傾向にある。一方、「利用したことがある」の割合では前回から大きな変化はみられなかった。

■図表 23 市の広報媒体（紙媒体）の認知・利用状況（n=1,031）

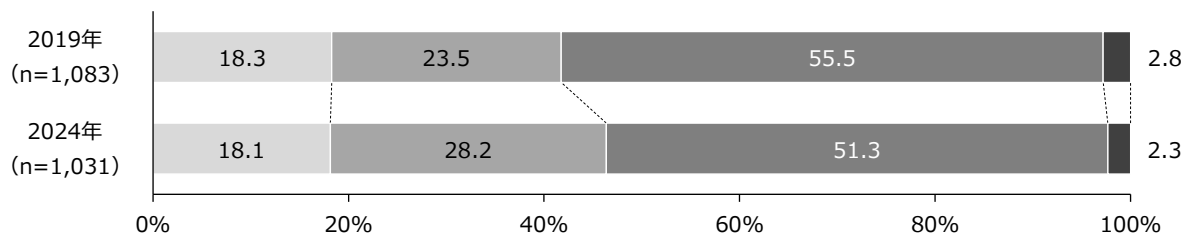


■【参考 13 2019 年調査との比較】

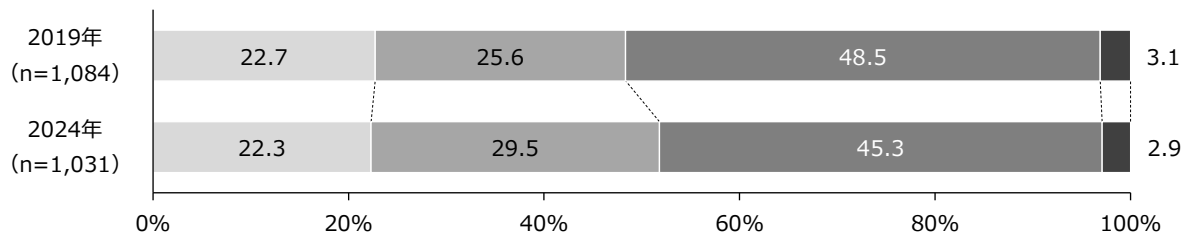
●「川崎市に住む外国人の皆さんへ」



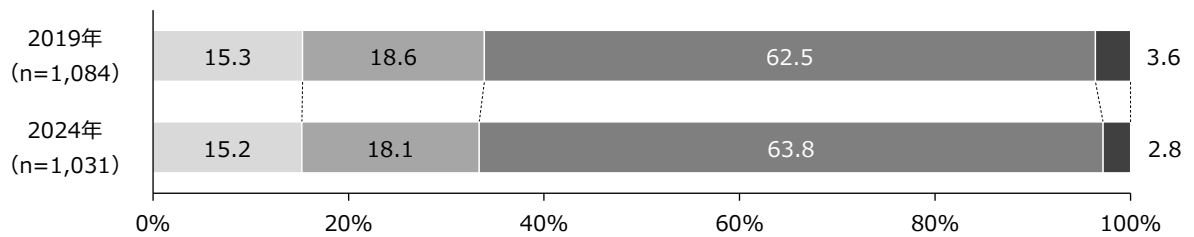
●「市政だより」



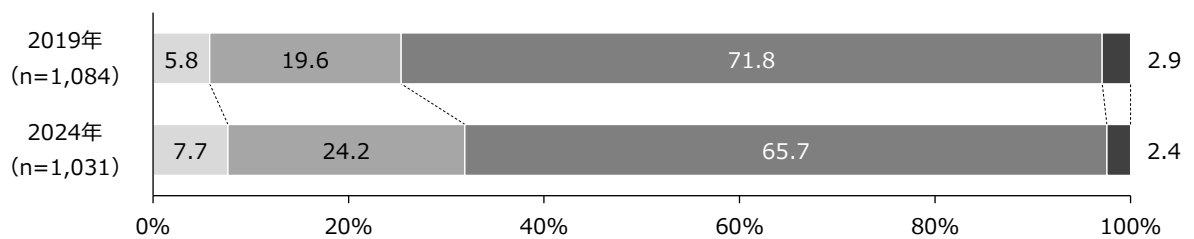
●「備える。かわさき」(防災情報)



●外国語版「母子健康手帳」



●「外国人市民代表者会議ニュースレター」



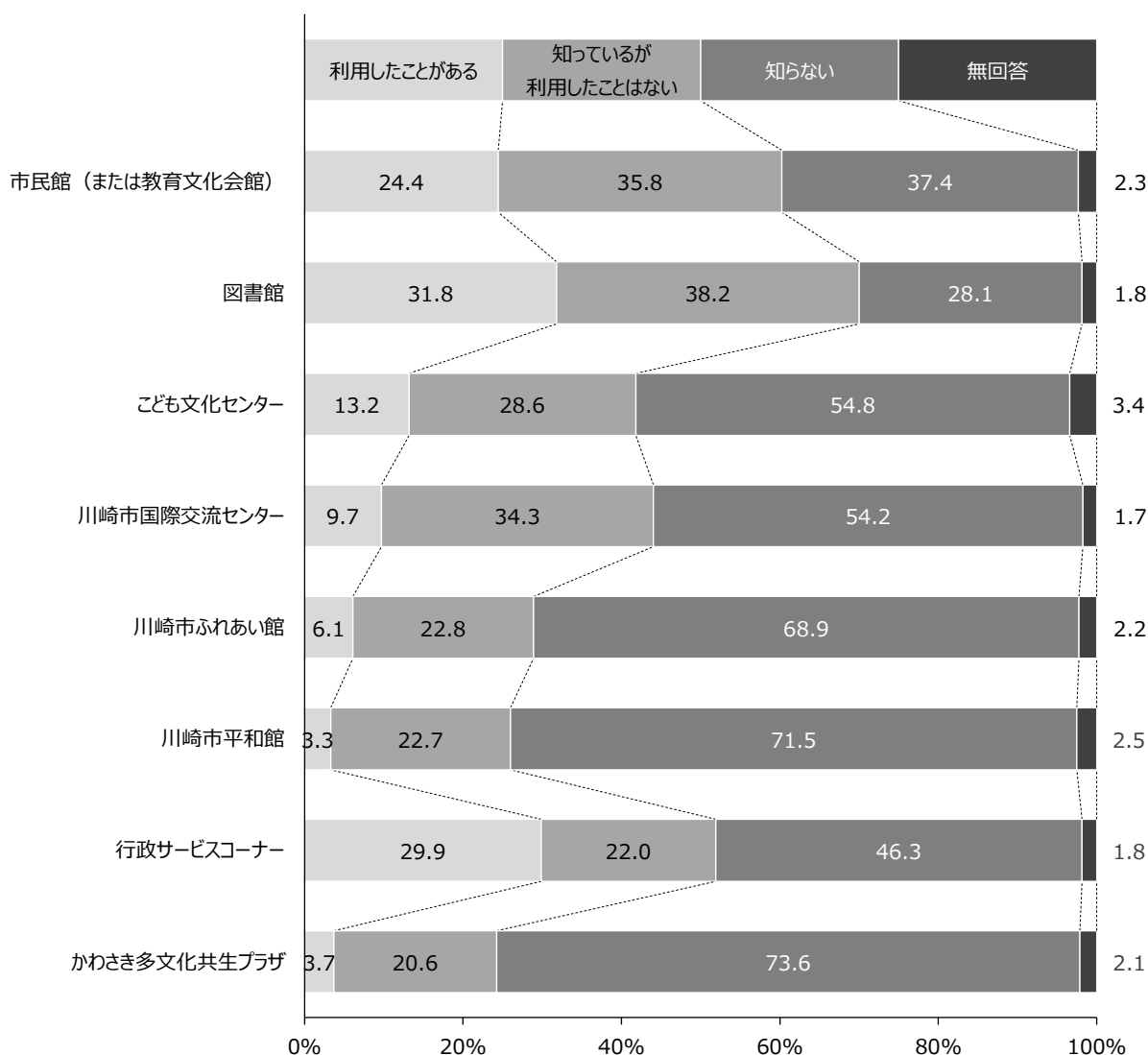
3 市の施設の認知・利用状況

川崎市の主な施設の認知・利用についてたずねたところ、「利用したことがある」では「図書館」が31.8%と最も高く、次いで「行政サービスコーナー」が29.9%、「市民館」が24.4%であった。

「かわさき多文化共生プラザ」は2024年3月1日に電話相談等の一部機能を開始し、7月8日に本格オープンしたばかりであったが、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合算すると24.3%となり、外国人市民からの関心やニーズの高さがうかがえる結果となった。

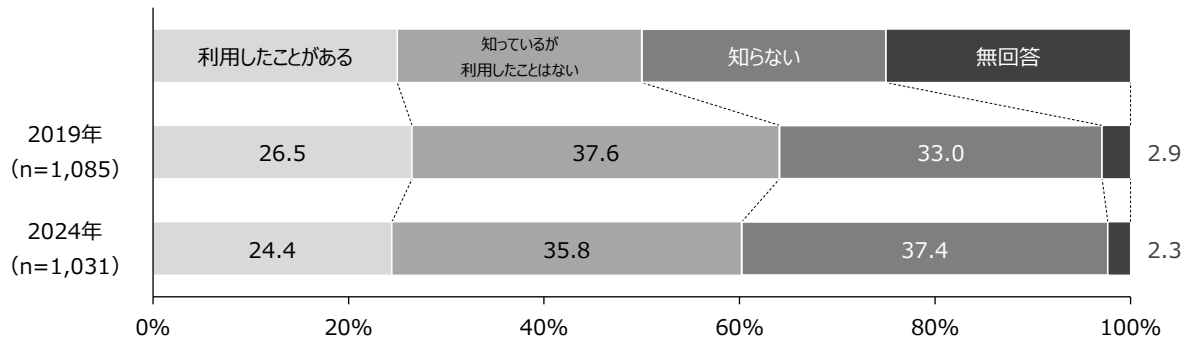
前回調査と比較してみると、「川崎市平和館」を除いて全体的に「利用したことがある」の割合が減少し、「知らない」の割合が増加している。

■図表 24 市の施設の認知・利用状況 (n=1,031)

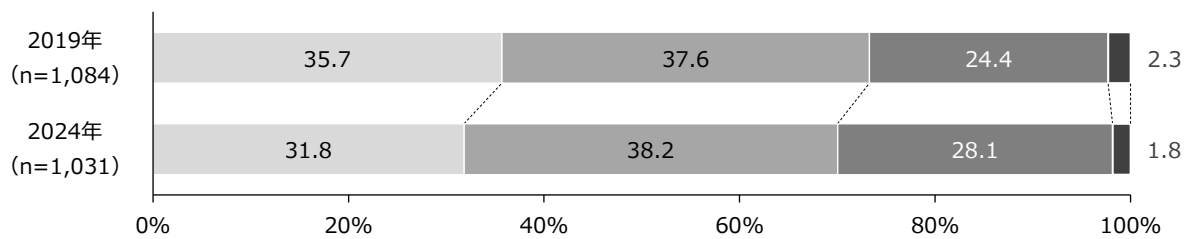


■【参考 14 2019 年調査との比較】

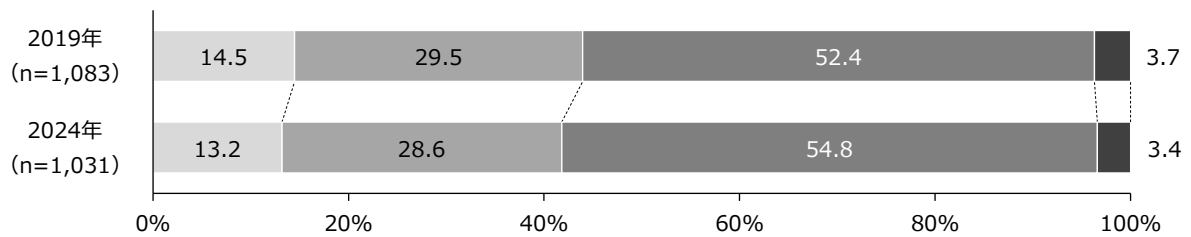
●市民館（または教育文化会館）



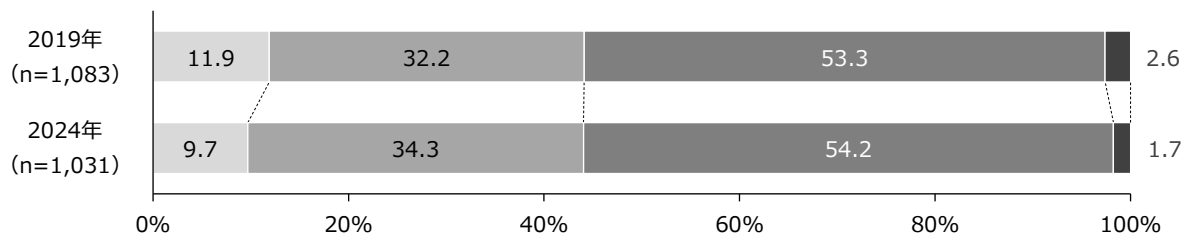
●図書館



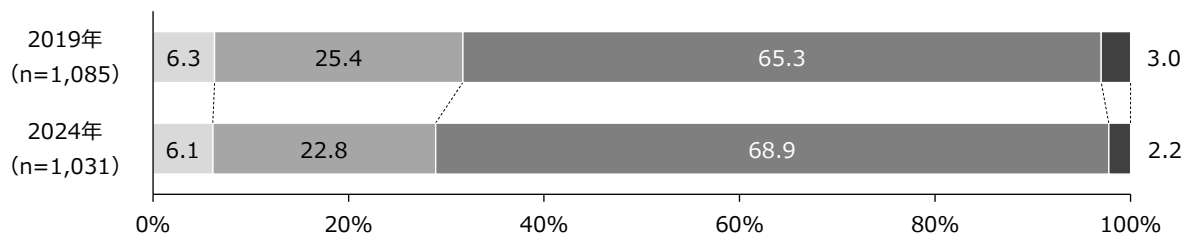
●こども文化センター



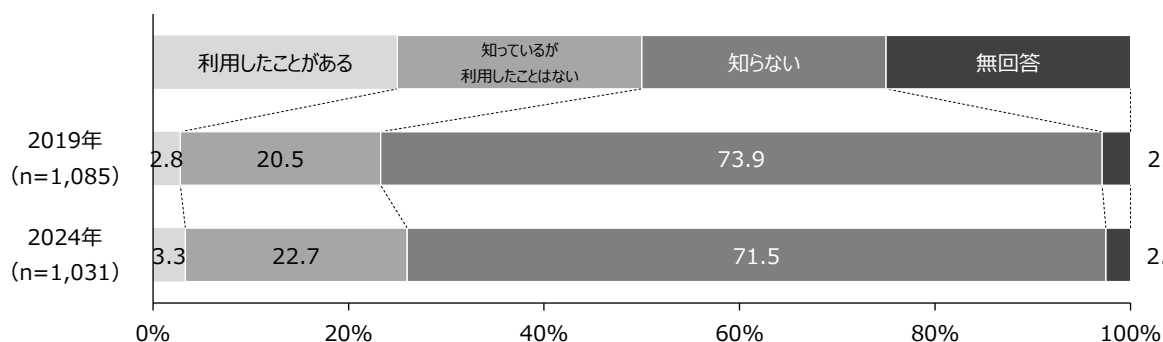
●川崎市国際交流センター



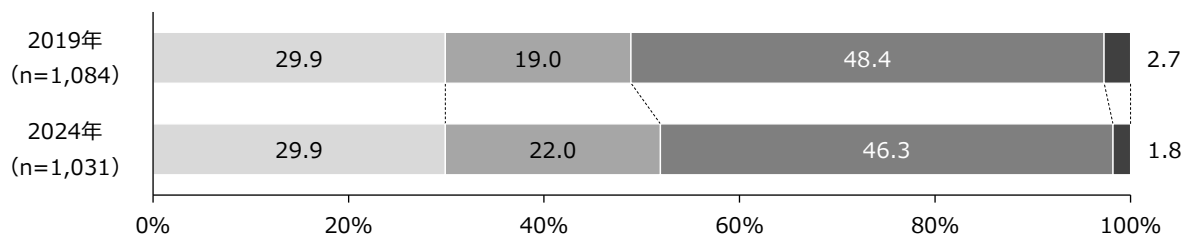
●川崎市ふれあい館



●川崎市平和館



●行政サービスコーナー



区ごとの利用状況を見てみると、「川崎市ふれあい館」は他区では6.0%以下だが、所在地の「川崎区」では13.4%と高かった。「川崎市国際交流センター」も他区では11.2%以下だが、所在地の「中原区」では22.6%と高かった。「市民館」に関しては、「中原区」でやや低かった。「図書館」「行政サービスコーナー」に関しては、いずれの区でも比較利用されていた。

■図表 25 居住区と「利用したことがある」市の施設との関係

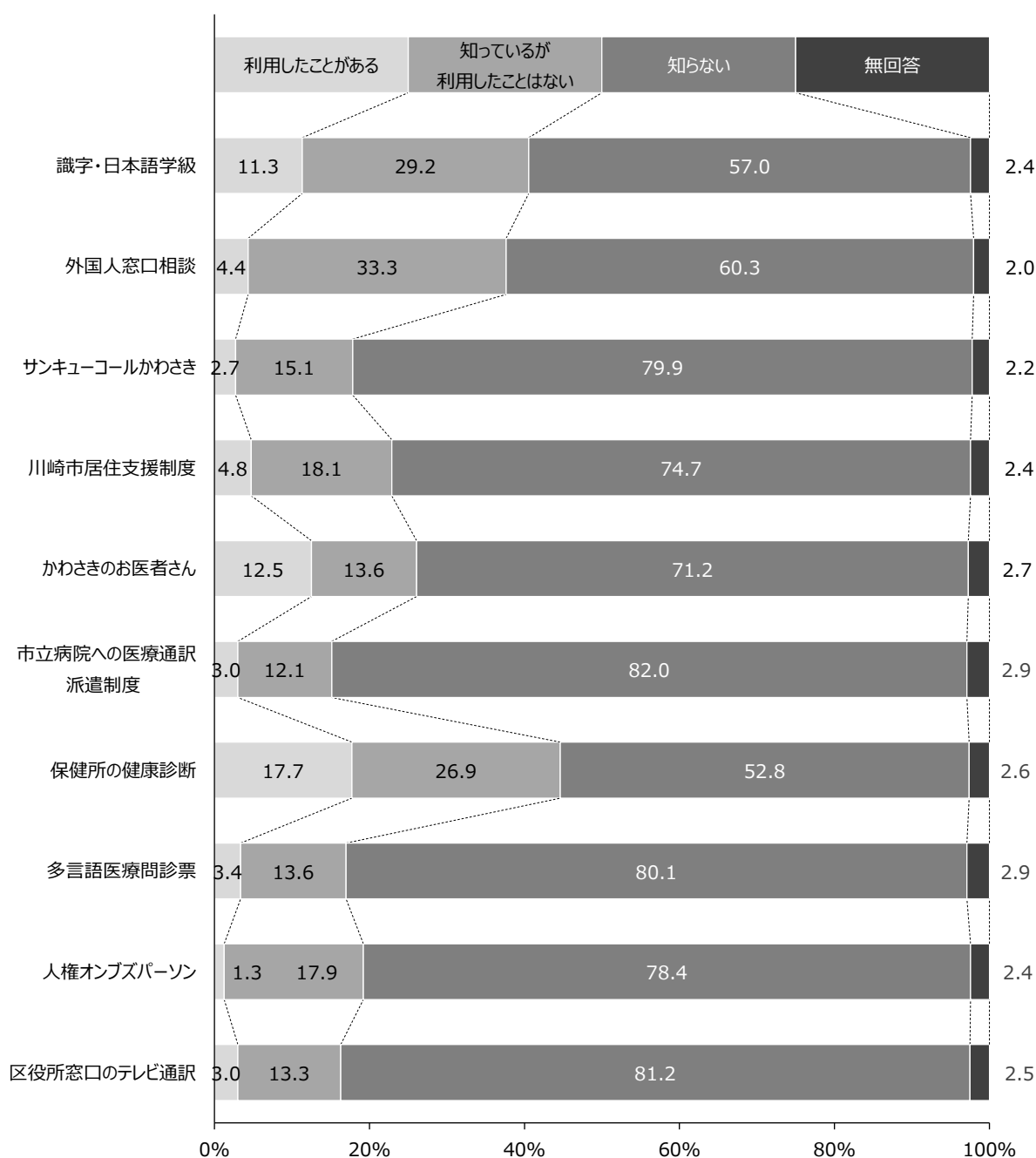
居住区	(n) 割合	市民館(または 教育文化会館)	図書館	こども 文化センタ―	川崎市国際交流 センタ―	川崎市ふれあい館	川崎市平和館	行政サービス コーナー	かわさき多文化 共生プラザ
川崎区	328	84	97	45	23	44	6	103	15
	100.0	25.6	29.6	13.7	7.0	13.4	1.8	31.4	4.6
幸 区	116	31	41	19	13	7	7	39	5
	100.0	26.7	35.3	16.4	11.2	6.0	6.0	33.6	4.3
中原区	159	28	53	21	36	2	12	39	5
	100.0	17.6	33.3	13.2	22.6	1.3	7.5	24.5	3.1
高津区	120	27	31	13	5	3	3	36	6
	100.0	22.5	25.8	10.8	4.2	2.5	2.5	30.0	5.0
宮前区	94	26	30	10	7	2	1	32	2
	100.0	27.7	31.9	10.6	7.4	2.1	1.1	34.0	2.1
多摩区	113	27	37	13	9	4	3	33	4
	100.0	23.9	32.7	11.5	8.0	2.1	2.7	29.2	3.5
麻生区	91	26	34	15	7	1	2	26	1
	100.0	28.6	37.4	16.5	7.7	1.1	2.2	28.6	1.1

4 市のサービス・制度の認知・利用状況

市のサービス・制度についてたずねたところ、「利用したことがある」では最も高かったのは「保健所の健康診断」の17.7%で、次いで「かわさきのお医者さん」の12.5%、「識字・日本語学級」の11.3%と続いた。「知っているが利用したことはない」では、「外国人窓口相談」が33.3%で最も割合が高かった。また、「知らない」では、「市立病院への医療通訳派遣制度（MIC かながわ）」が82.0%、「多言語医療問診票」が80.1%、「区役所窓口のテレビ通訳」が81.2%でいずれも8割を超えた。

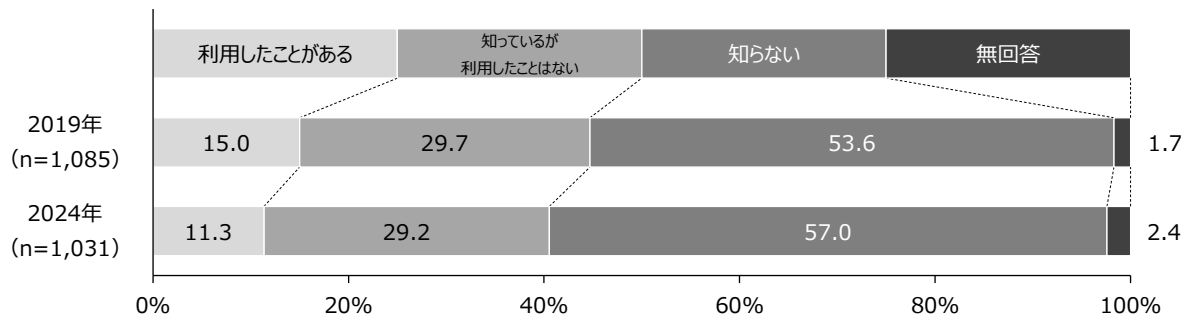
前回調査と比較してみると、全体では「知らない」の割合が増加しているものの、「川崎市居住支援制度」では、「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」ともにわずかではあるが増加している。

■図表 26 市のサービス・制度の認知・利用状況（n=1,031）

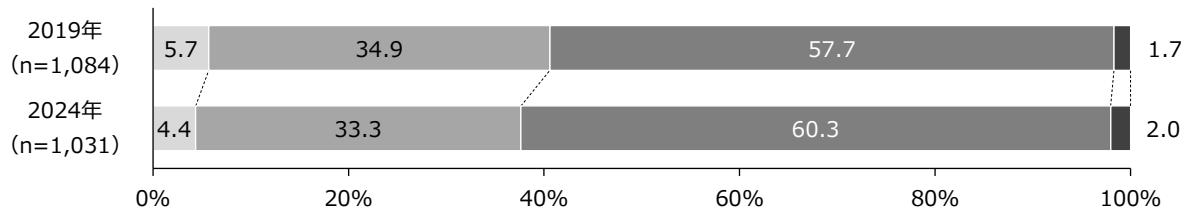


■【参考 15 2019 年調査との比較】

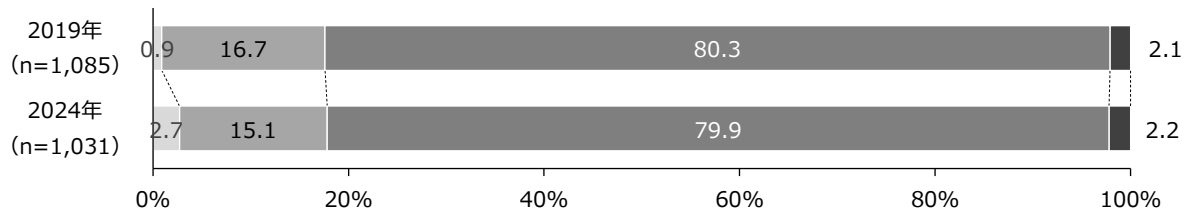
●識字・日本語学級



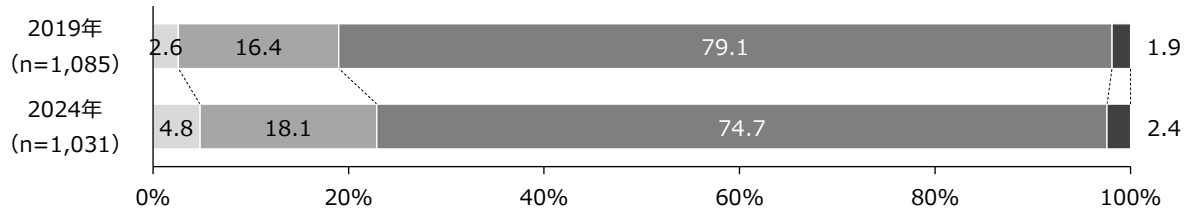
●外国人相談窓口



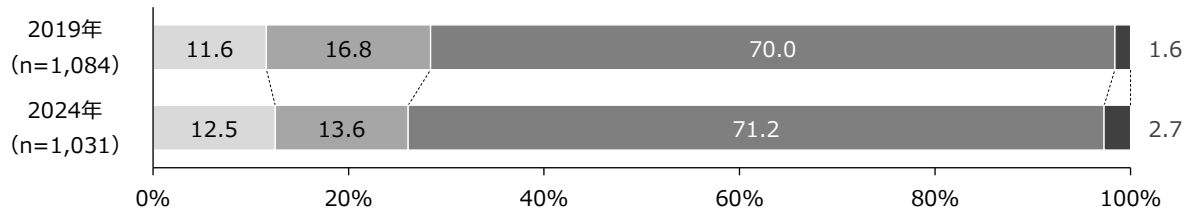
●サンキューコールかわさき



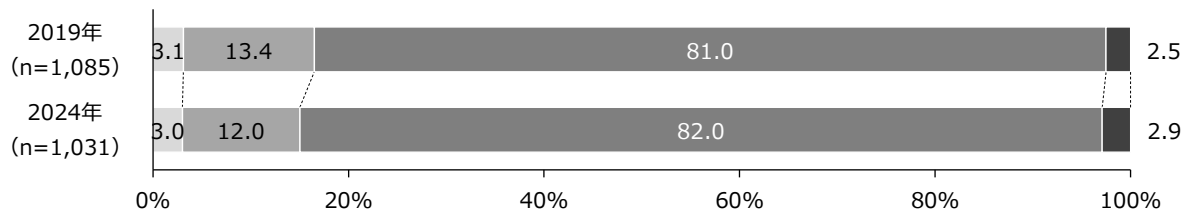
●川崎市居住支援制度



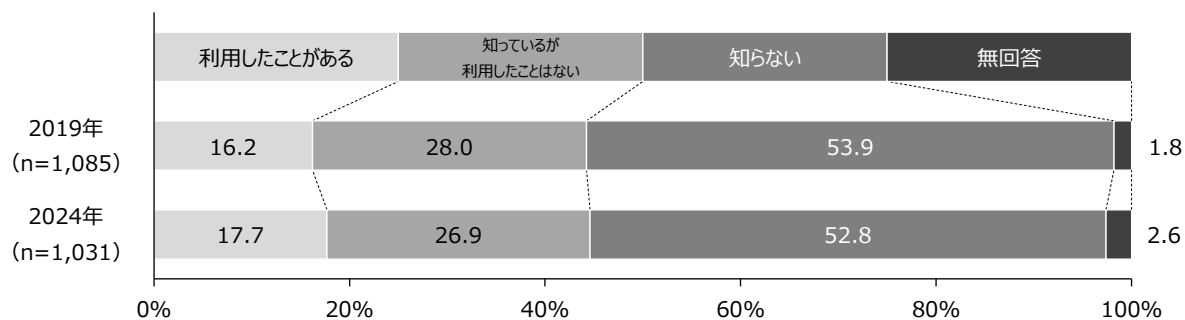
●かわさきのお医者さん



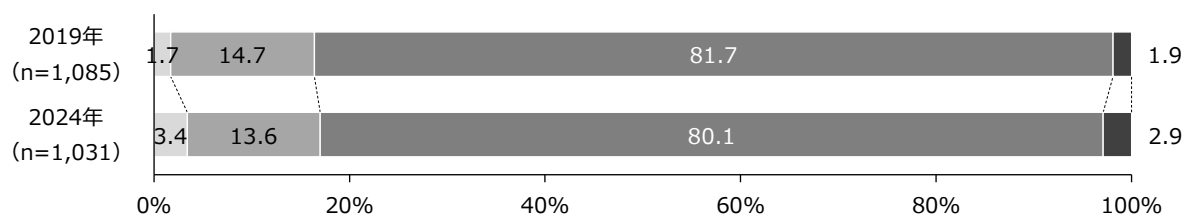
●市立病院への医療通訳派遣制度



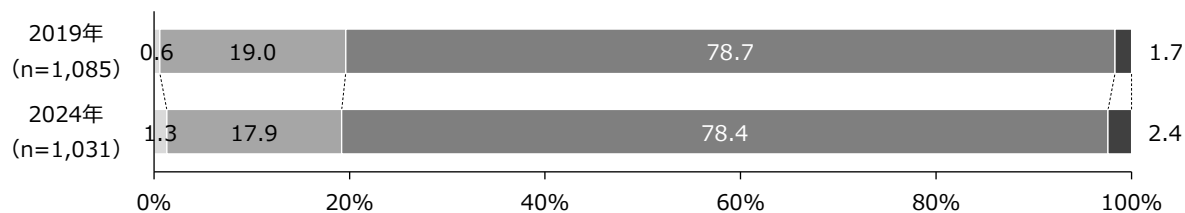
●保健所の健康診断



●多言語医療問診票



●人権オンブズパーソン



●区役所窓口のテレビ通訳 ※2019年調査では、調査項目なし

区ごとの利用状況を見てみると、最も高かったのは「識字・日本語学級」では「宮前区」の17.0%、「かわさきのお医者さん」では「川崎区」の18.3%、「保健所の健康診断」では「高津区」の21.7%であった。「区役所窓口のテレビ通訳」では、「高津区」が5.0%、「中原区」が4.4%で比較的高かったが、「麻生区」では0.0%で「利用したことがある」という回答者はいなかった。

■図表 27 居住区と「利用したことがある」川崎市のサービス・制度との関係

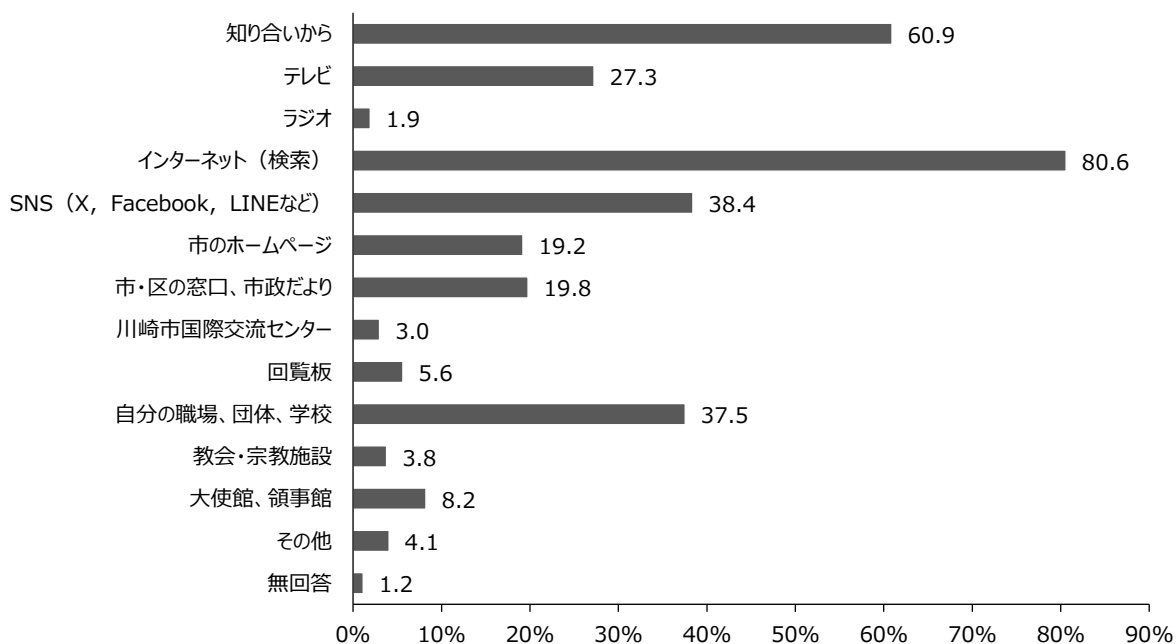
居住区	(n) 割合	識字・日本語学級	外国人相談窓口	サンキューコールかわさき	川崎市居住支援制度	かわさきのお医者さん	市立病院への医療通訳派遣制度	保健所の健康診断	多言語医療問診票	人権オンブズパーソン	区役所窓口のテレビ通訳
川崎区	328	31	15	6	18	60	16	61	12	4	9
	100.0	9.5	4.6	1.8	5.5	18.3	4.9	18.6	3.7	1.2	2.7
幸 区	116	11	2	5	8	16	3	18	5	3	3
	100.0	9.5	1.7	4.3	6.9	13.8	2.6	15.5	4.3	2.6	2.6
中原区	159	19	10	2	5	6	2	21	2	2	7
	100.0	11.9	6.3	1.3	3.1	3.8	1.3	13.2	1.3	1.3	4.4
高津区	120	13	3	7	9	16	2	26	4	2	6
	100.0	10.8	2.5	5.8	7.5	13.3	1.7	21.7	3.3	1.7	5.0
宮前区	94	16	4	0	5	10	3	14	3	1	3
	100.0	17.0	4.3	0.0	5.3	10.6	3.2	14.9	3.2	1.1	3.2
多摩区	113	17	7	5	2	14	4	24	7	1	3
	100.0	15.0	6.2	4.4	1.8	12.4	3.5	21.2	6.2	0.9	2.7
麻生区	91	10	4	3	2	6	1	18	2	0	0
	100.0	11.0	4.4	3.3	2.2	6.6	1.1	19.8	2.2	0.0	0.0

5 日常生活に必要な情報の入手経路

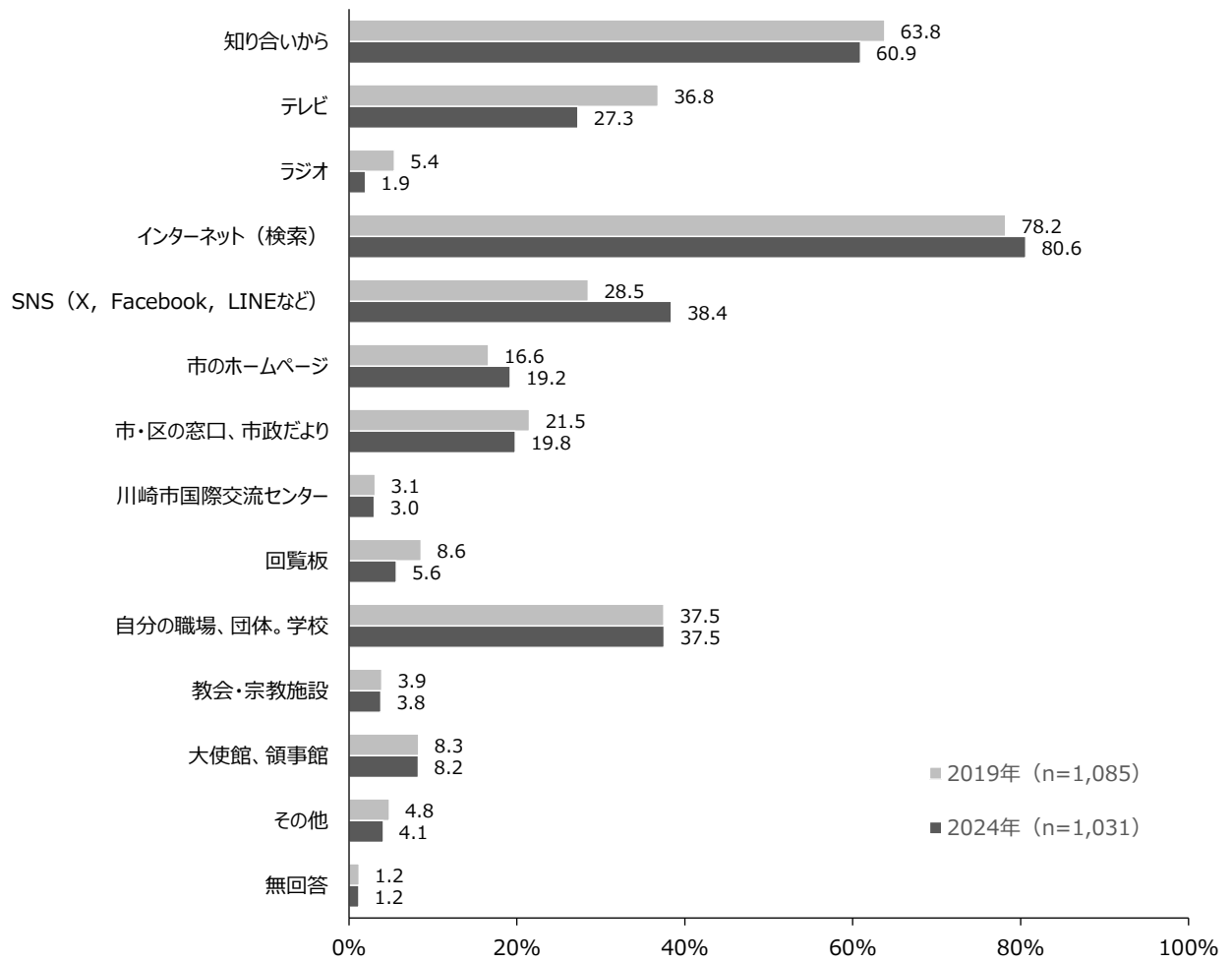
日常生活に必要な情報の入手についてたずねたところ、「インターネット（検索）」が80.6%で最も高く、次いで「知り合いから」が60.9%、「SNS（X, Facebook, LINE など）」が38.4%、「自分の職場、団体、学校」が37.5%で続いた。

前回調査と比較してみると、1位の「インターネット（検索）」は2.4ポイント増加した一方で、2位の「知り合いから」は2.9ポイント減少した。最も伸びたのは「SNS（X, Facebook, LINE など）」で、9.9ポイント増加した。

■図表 28 日常生活に必要な情報の入手経路（MA、n=1,031）

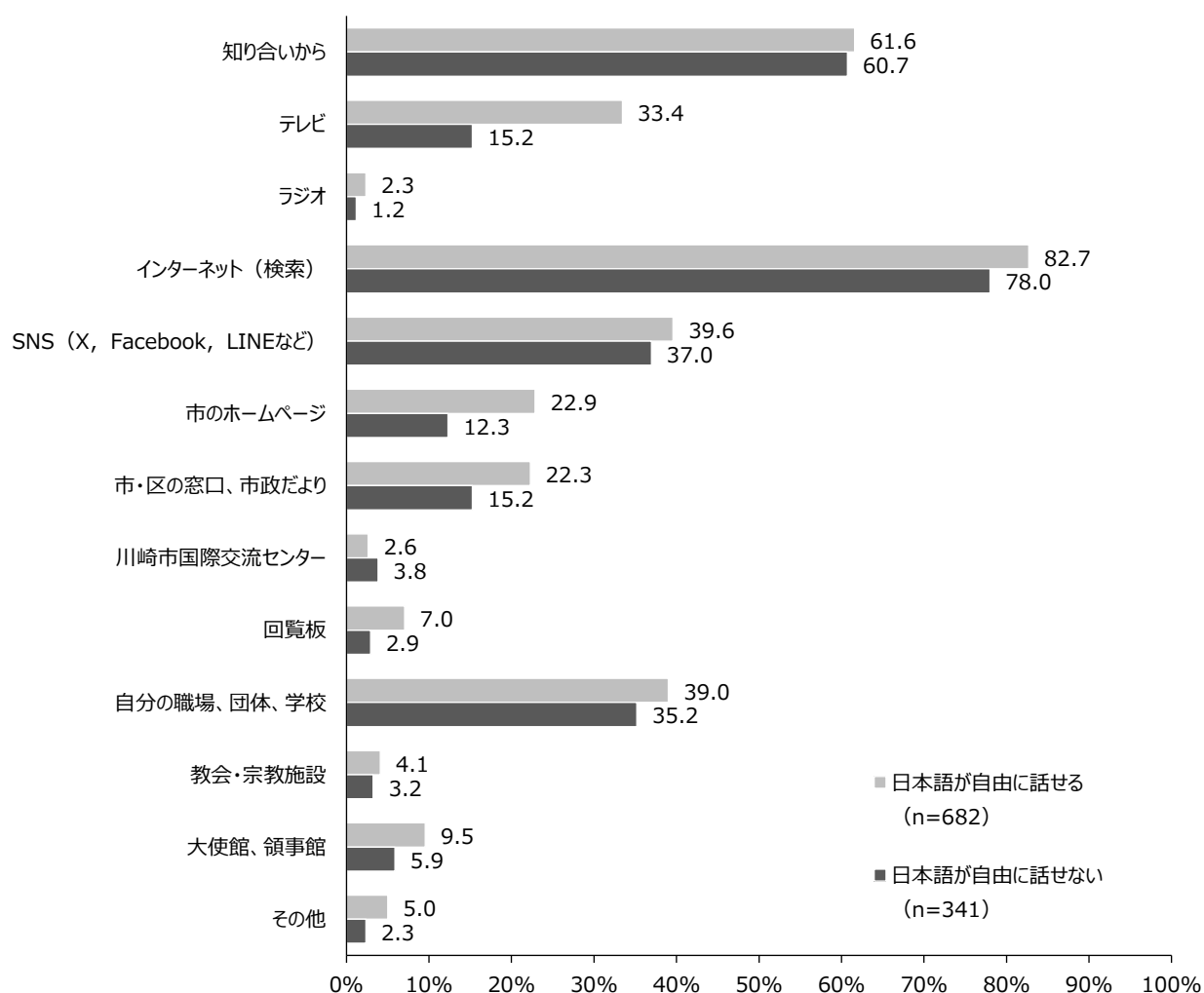


■【参考 16 2019 年調査との比較】



日本語能力ごとに情報の入手経路の違いを見てみると、上位の「インターネット（検索）」「知り合いから」「SNS（X, Facebook, LINE など）」「自分の職場、団体、学校」では「日本語が自由に話せる」も「日本語が自由に話せない」も大きな違いはなく、順位も変わらなかった。「日本語が自由に話せる」という人と「日本語が自由に話せない」という人で最も差がでたのは「テレビ」の18.2ポイントで、次いで「市のホームページ」の10.6ポイント、「市・区の窓口、市政だより」の7.1ポイントと続き、いずれも「日本語が自由に話せない」と回答した人の方が少なかった。「日本語が自由に話せない」という人は、「市のホームページ」や「市・区の窓口、市政だより」といった行政情報へのアクセスを苦手としていることがわかる。

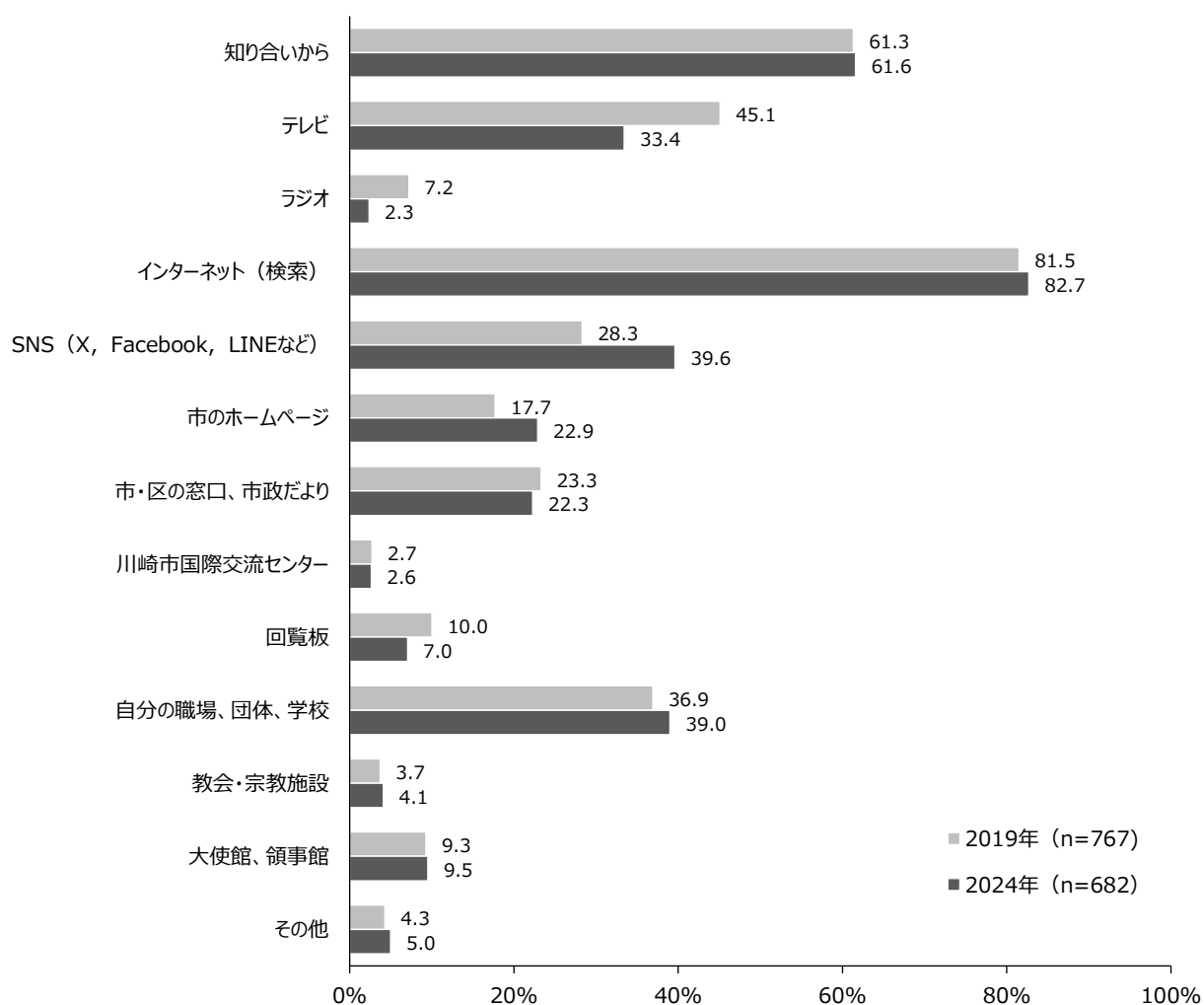
■図表 29 日常生活に必要な情報の入手経路と日本語能力の関係



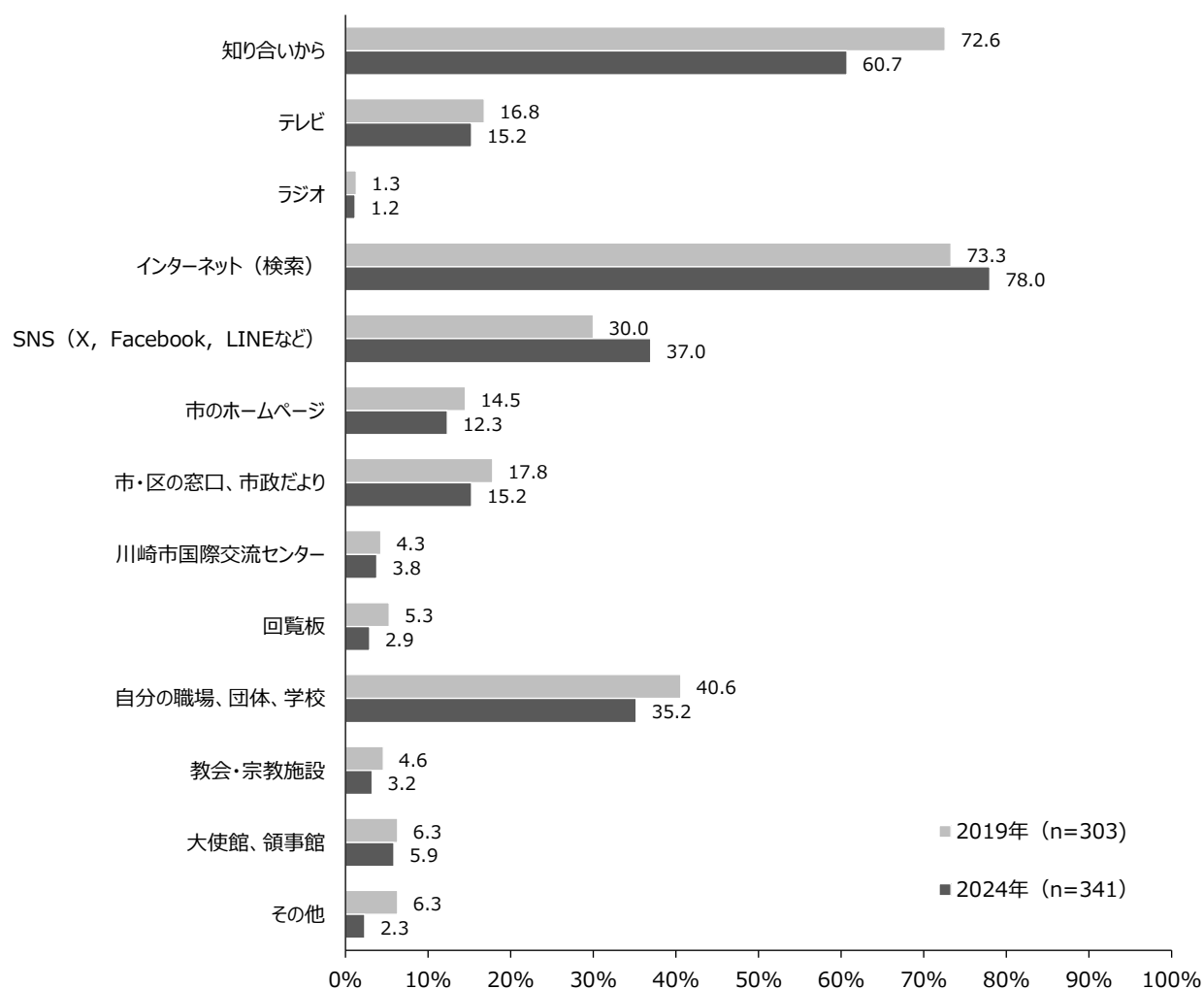
前回調査と比較してみると、「日本語が自由に話せる」と回答した人では「市のホームページ」が5.2ポイント増加したが、「テレビ」では11.7ポイント、「ラジオ」では4.9ポイント、「回覧板」では3.0ポイント減少した。一方、「日本語が自由に話せない」と回答した人では唯一「インターネット（検索）」が4.7ポイント増加しており、「知り合いから」は前回の72.6%から11.9ポイント減少した。「日本語を自由に話せる」という人も「日本語が自由に話せない」という人も、日常生活に必要な情報の入手方法として「インターネット（検索）」を利用する傾向が強まっていることがわかる。

■【参考 17 2019 年調査との比較】

●日本語が自由に話せる



●日本語が自由に話せない

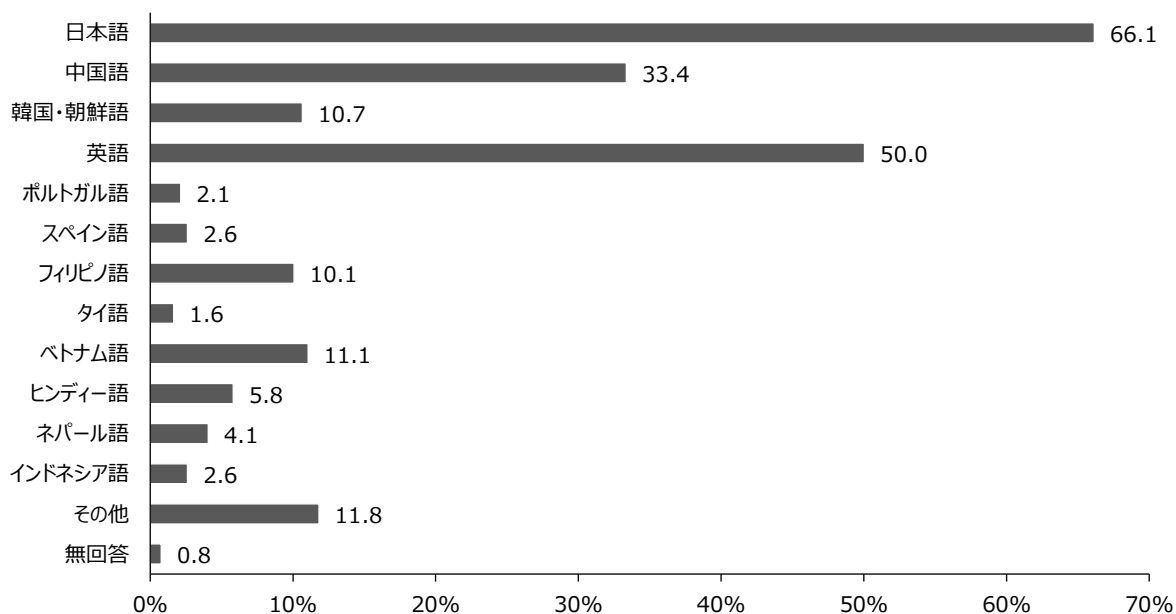


6 自由に話せる言語

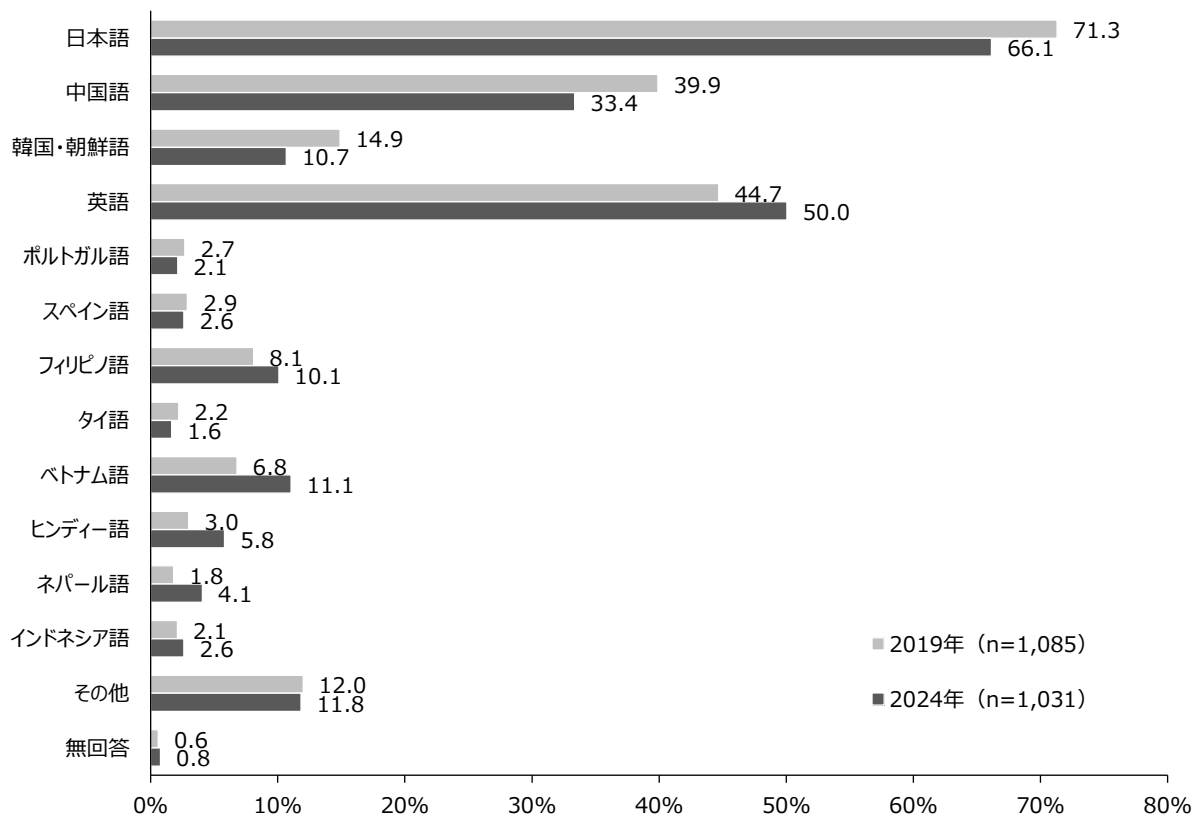
自由に話せる言語について複数回答でたずねたところ、「日本語」が 66.1%で最も高く、次いで「英語」の 50.0%、「中国語」の 33.4%と続いた。

前回調査と比較してみると、「英語」は 5.3 ポイント増加した一方で、「日本語」は 5.2 ポイント、「中国語」は 6.5 ポイント減少した。

■図表 30 自由に話せる言語（MA、n=1,031）



■【参考 18 2019 年調査との比較】

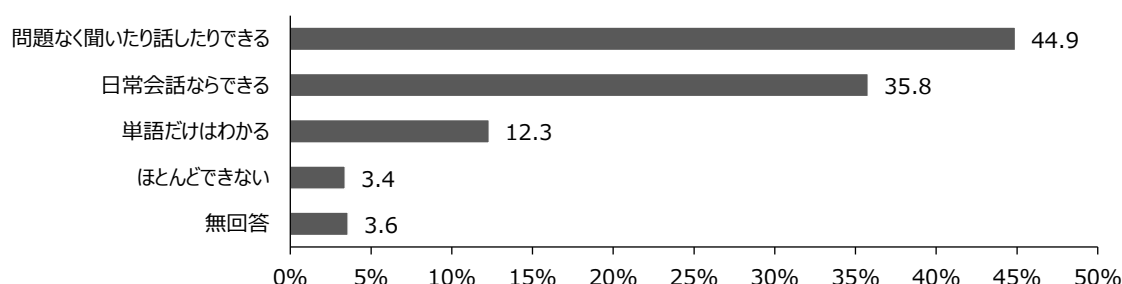


7 日本語能力

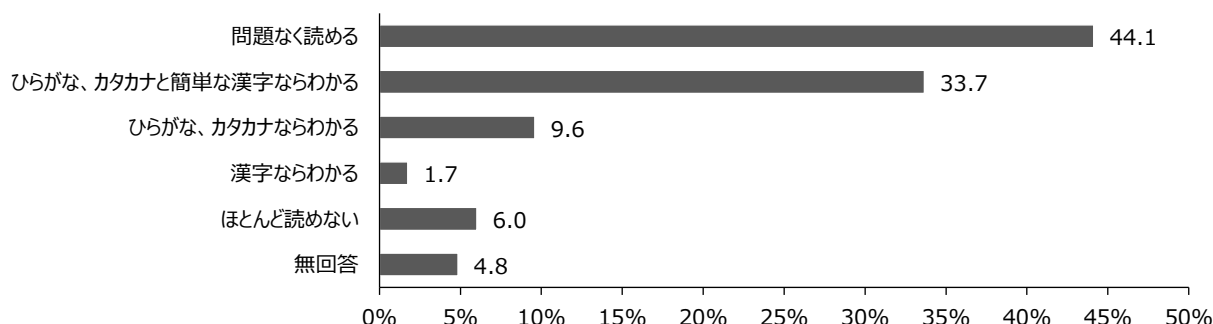
日本語能力についてたずねたところ、「聞く・話す」では「問題なく聞いたり話したりできる」が44.9%で最も高く、次いで「日常会話ならできる」が35.8%であった。この2つを合算すると80.7%となり、約8割が日常会話以上ができるとなっている。「読む・わかる」では「問題なく読める」が44.1%で最も高く、次いで「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」が33.7%であった。この2つを合算すると77.8%となり、「聞く・話す」と同様に約8割がひらがなとカタカナに加えて簡単な漢字も読めるとなっている。「書く」では「問題なく書ける」が33.4%で最も高く、次いで「簡単な漢字、ひらがな、カタカナが書ける」が30.5%であった。この2つを合算すると67.1%となり、約7割がひらがなとカタカナに加えて簡単な漢字も書けるとなっている。

■図表 31 日本語能力 (n=1,031)

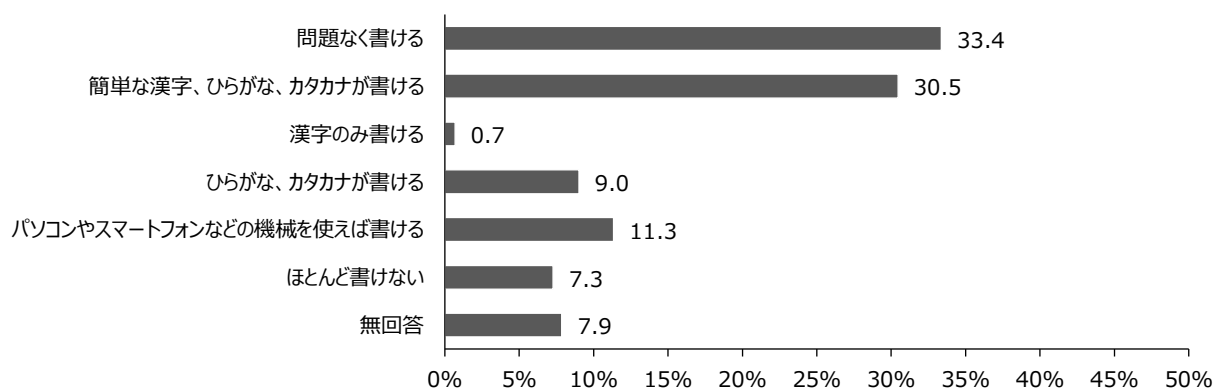
●<聞く・話す>



●<読む・わかる>



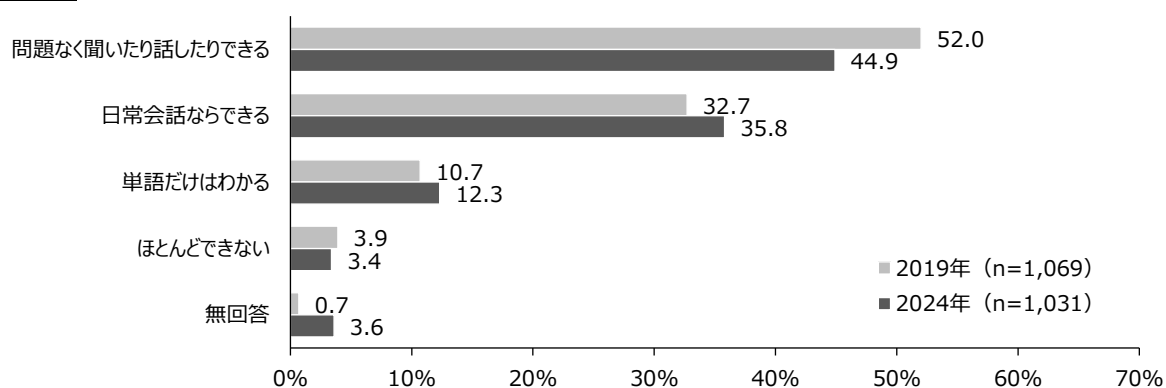
●<書く>



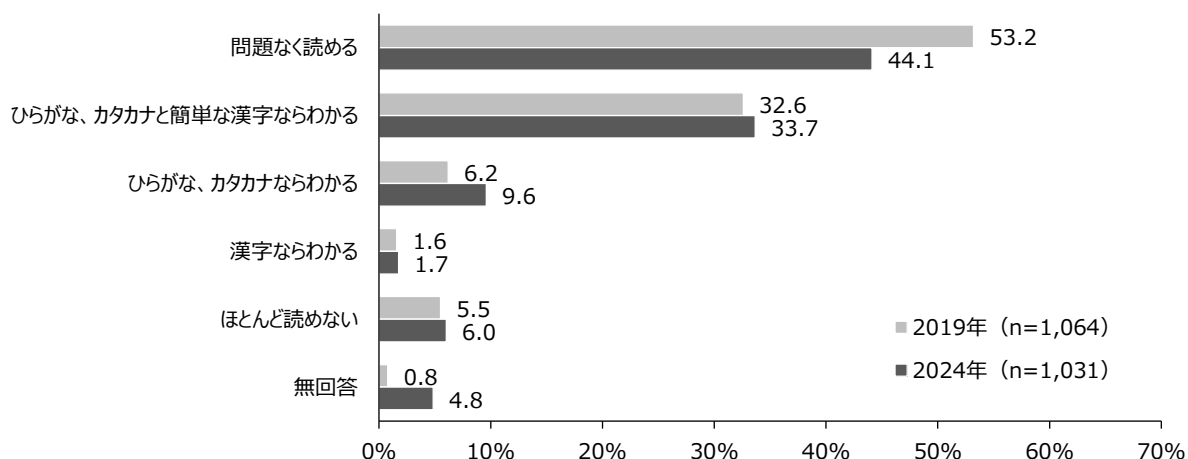
前回調査と比較してみると、「聞く・話す」「読む・わかる」「書く」ともに「問題なくできる」の割合が減少している。それぞれ「聞く・話す」では7.1ポイント、「読む・わかる」では9.1ポイント、「書く」では12.5ポイント減少しており、外国人市民の日本語レベルが全体的に低くなっていることが読み取れる。

■【参考 19 2019 年調査との比較】

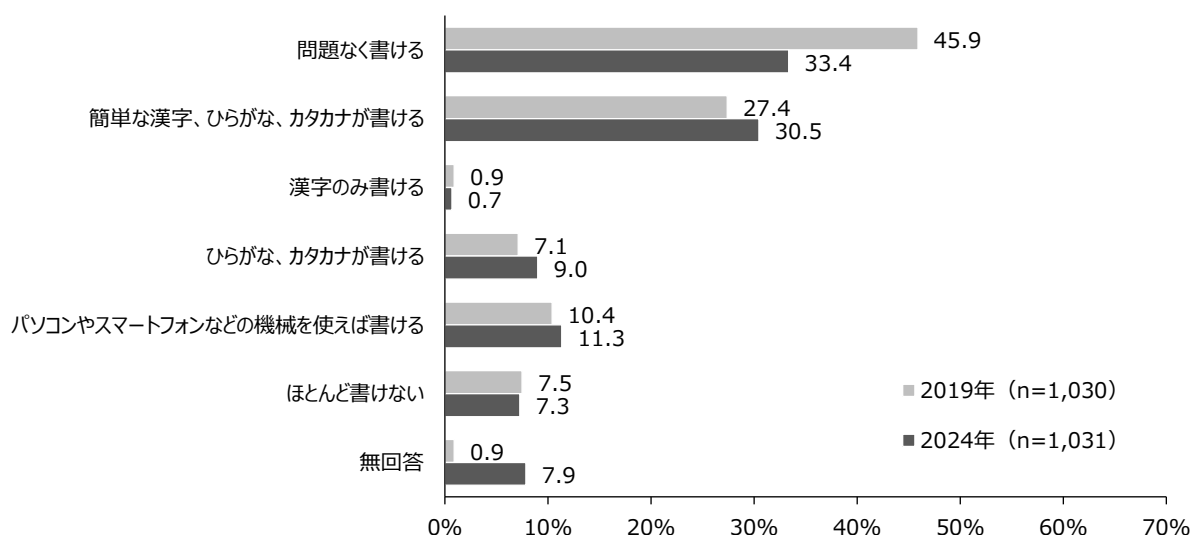
●<聞く・話す>



●<読む・わかる>



●<書く>



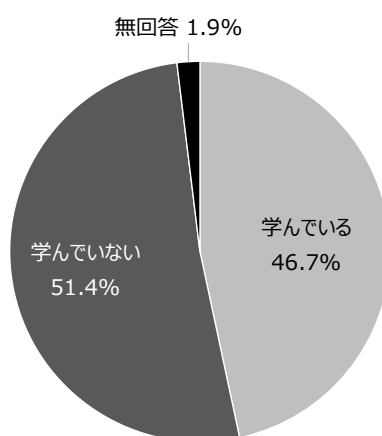
8 日本語学習

今、日本語を学んでいるかどうかをたずねたところ、「学んでいる」が 46.7%、「学んでいない」が 51.4%であった。

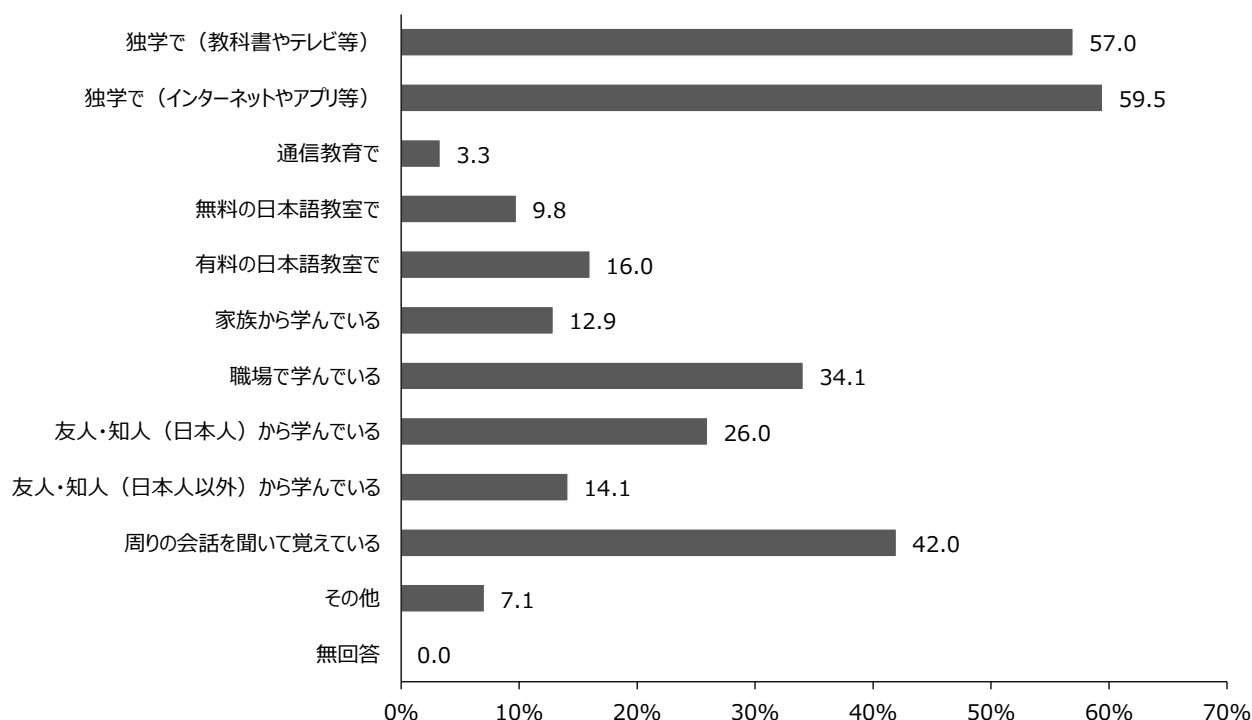
「学んでいる」と回答した人に対し、どのように日本語を学んでいるかをたずねたところ、最も高かったのは「独学で（インターネットやアプリ等）」の 59.5%で、次いで「独学で（教科書やテレビ等）」の 57.0%、「周りの会話を聞いて覚えている」の 42.0%と続いた。約 6 割が「独学で」日本語を学んでいると回答しており、外国人市民の日本語学習に対する学習意欲の高さがうかがえる。

一方、「学んでいない」と回答した人に対し、日本語を学びたいかどうかをたずねたところ、「日本語を学びたい」が 58.3%、「日本語を学びたいとは思わない」が 34.5%で、「学んでいない」という人でも「日本語を学びたい」と思っている人は約 6 割に上った。

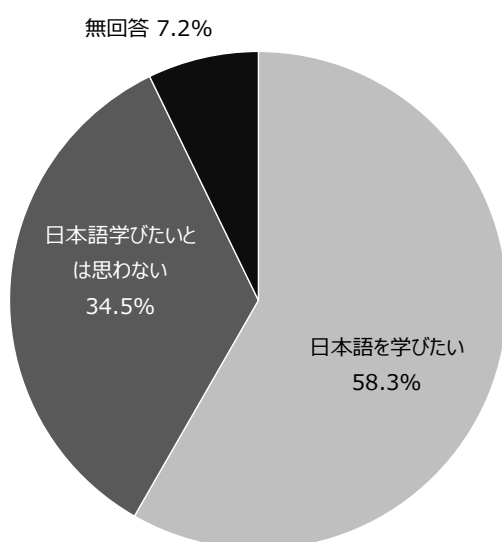
■図表 32 日本語学習（n=1,031）



■図表 33 どのように日本語を学んでいるか（MA、n=481）



■図表 34 日本語を学びたいか (n=530)

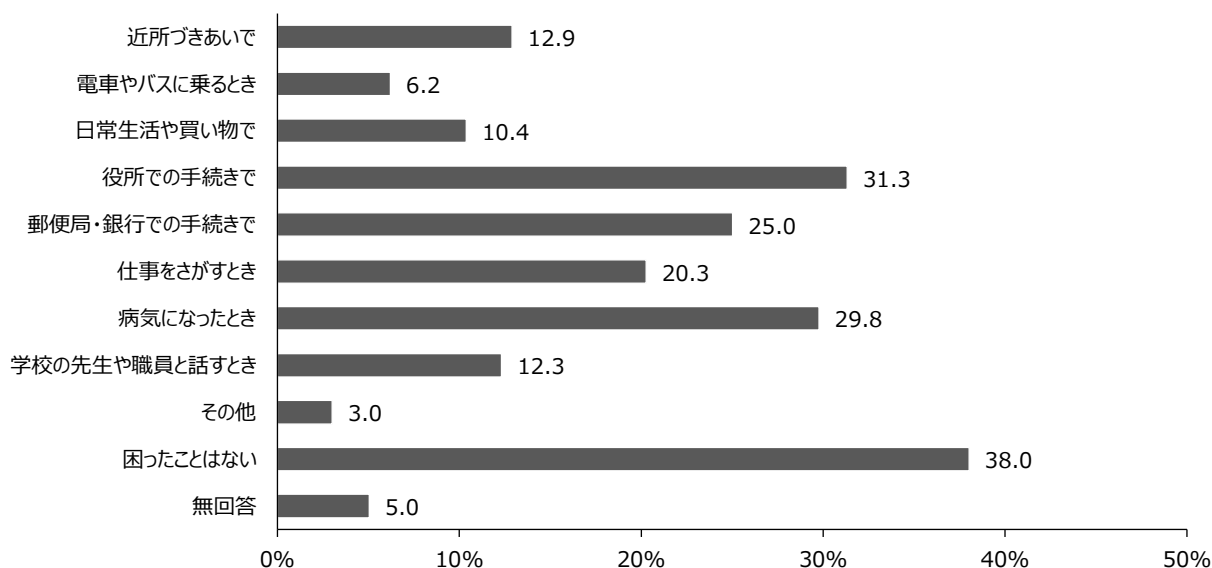


9 日本語が不自由なために困った経験

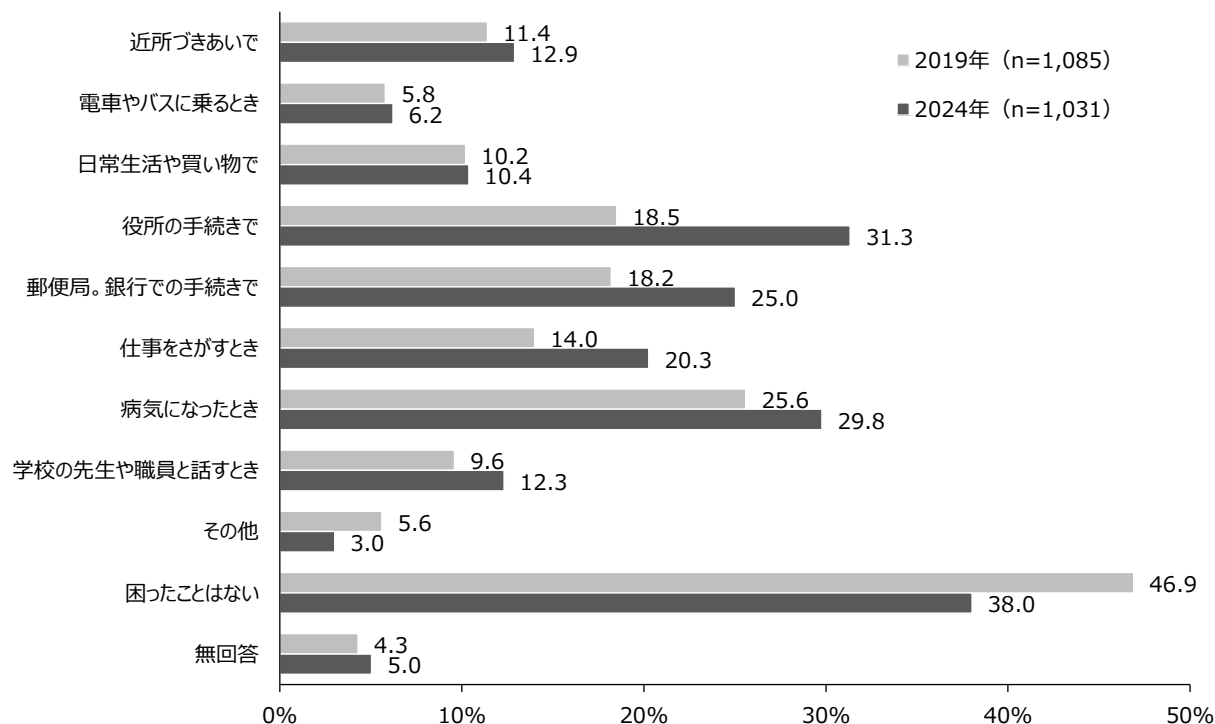
最近1年間で日本語が不自由なために困った経験があるかたずねたところ、「役所の手続きで」が31.3%で最も高く、次いで「病気になったとき」が29.8%、「郵便局・銀行での手続きで」が25.0%と続いており、いずれも25%以上と4人に1人以上が困った経験をしている。

前回調査と比較してみると、「困ったことがない」は8.9ポイント減少している。一方、「困ったことはない」と「その他」以外はすべて増加しており、「役所の手続きで」は12.8ポイント、「郵便局・銀行での手続きで」は6.8ポイント、「仕事をさがすとき」は6.3ポイント増加している。これは、外国人市民の日本語レベルが全体的に低くなっていることと符合する結果といえる。

■図表 35 最近1年間に日本語が不自由なために困った経験（MA、n=1,031）



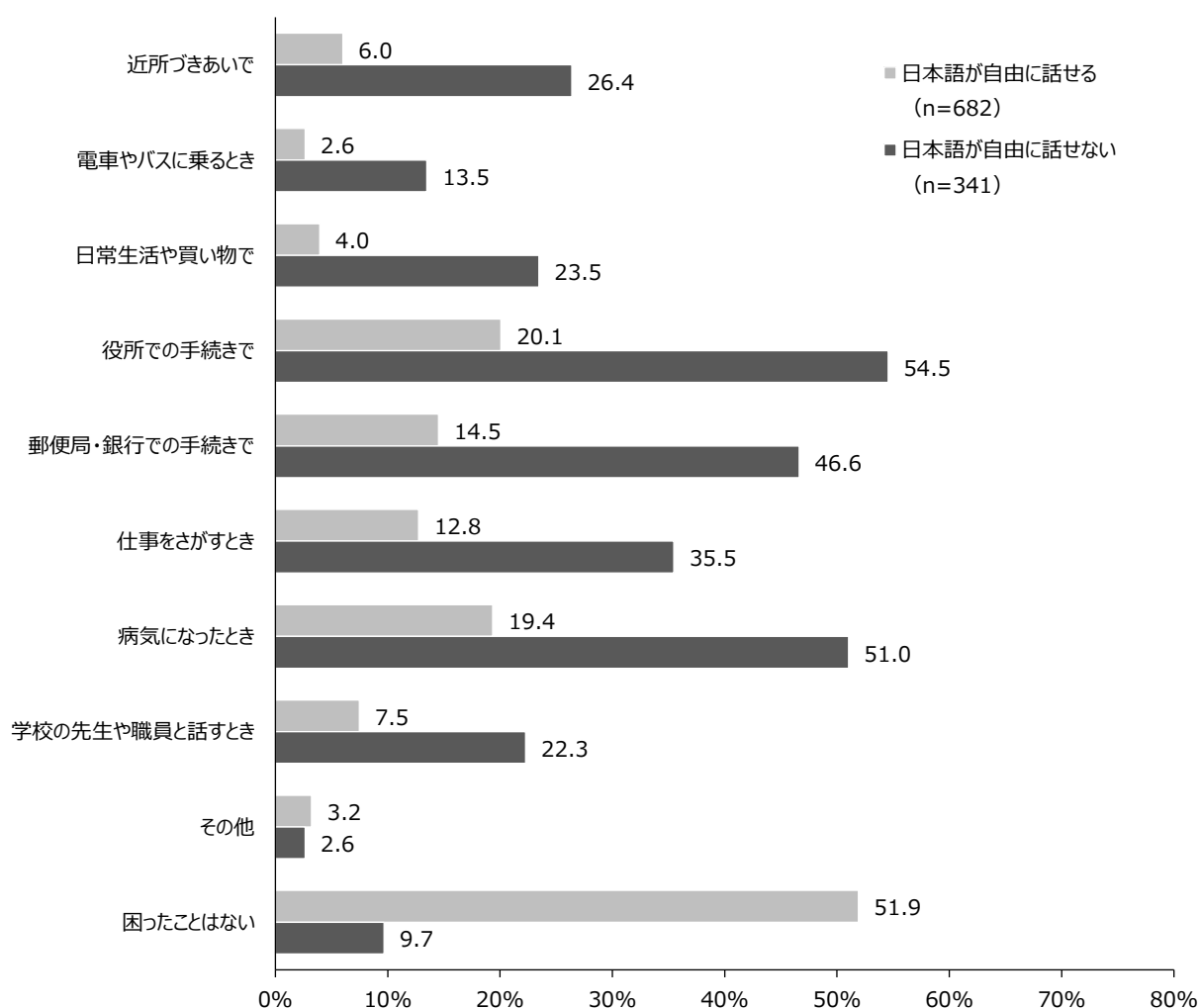
■【参考 20 2019年調査との比較】



「日本語が自由に話せる」という人と「日本語が自由に話せない」という人で比較してみると、「その他」を除くすべてで3倍近く差が開いている。特に「役所での手続きで」では34.4ポイント、「郵便局・銀行での手続きで」では32.1ポイント、「病気になったとき」では31.6ポイントといずれも30ポイント以上の差がある。

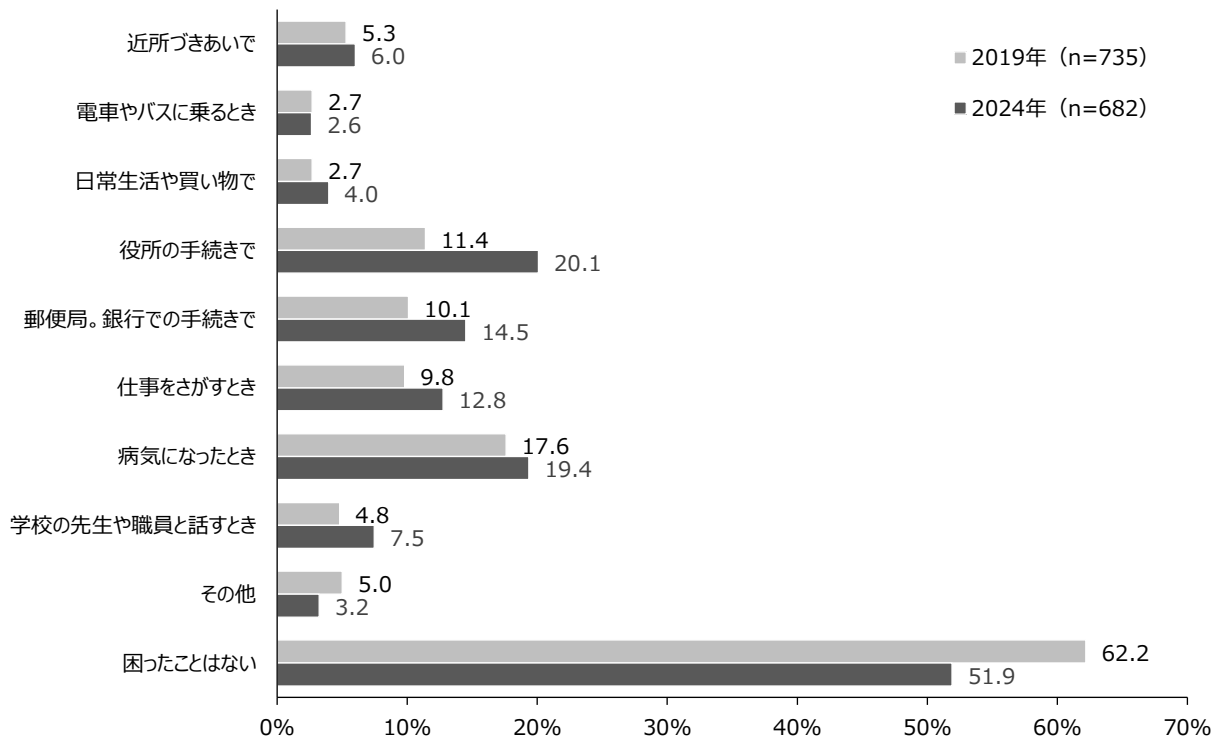
前回調査と比較してみると、「日本語が自由に話せる」という人でも「困ったことがない」は10.3ポイントと減少し、「役所の手続きで」では8.7ポイント増加した。自由に話せるかどうかは回答者の自己申告のため、「日本語が自由に話せる」という人も前回と比べると日本語レベルは低くなっているのかもしれない。

■図表 36 日本語能力と日本語が不自由なために困った経験の関係

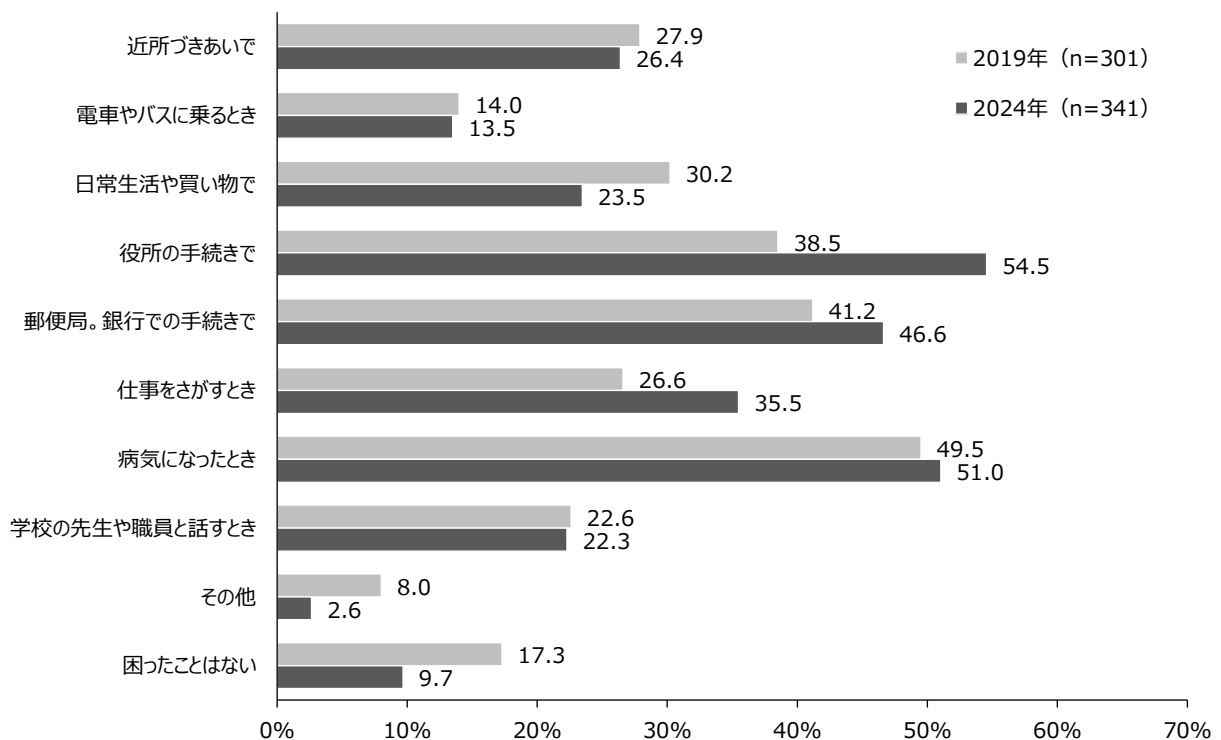


■【参考 21 2019 年調査との比較】

●日本語が自由に話せる



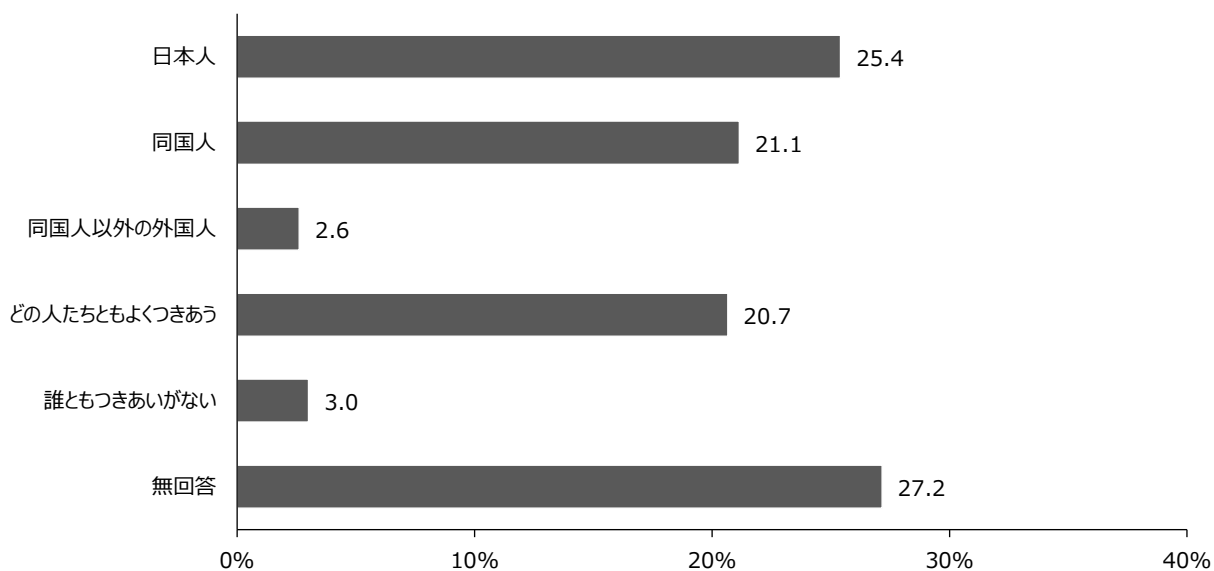
●日本語が自由に話せない



10 日頃、家族以外でよくつきあう人たち

家族以外でよくつきあう人をたずねたところ、「日本人」が25.4%で最も高く、次いで「同国人」が21.1%、「どの人たちともよくつきあう」が20.7%で続いた。「誰ともつきあいがない」という人も3.0%おり、社会的孤立が懸念される。

■図表 37 家族以外でよくつきあう人たち（n=1,031）



国籍・地域別で見ると、「日本人」とよくつきあうでは「韓国・朝鮮」が 52.3%と顕著に高かった。「同国人」では「ベトナム」が 34.1%で最も高く、次いで「中国」の 33.4%が続いた。

■図表 38 家族以外でよくつきあう人と国籍・地域の関係

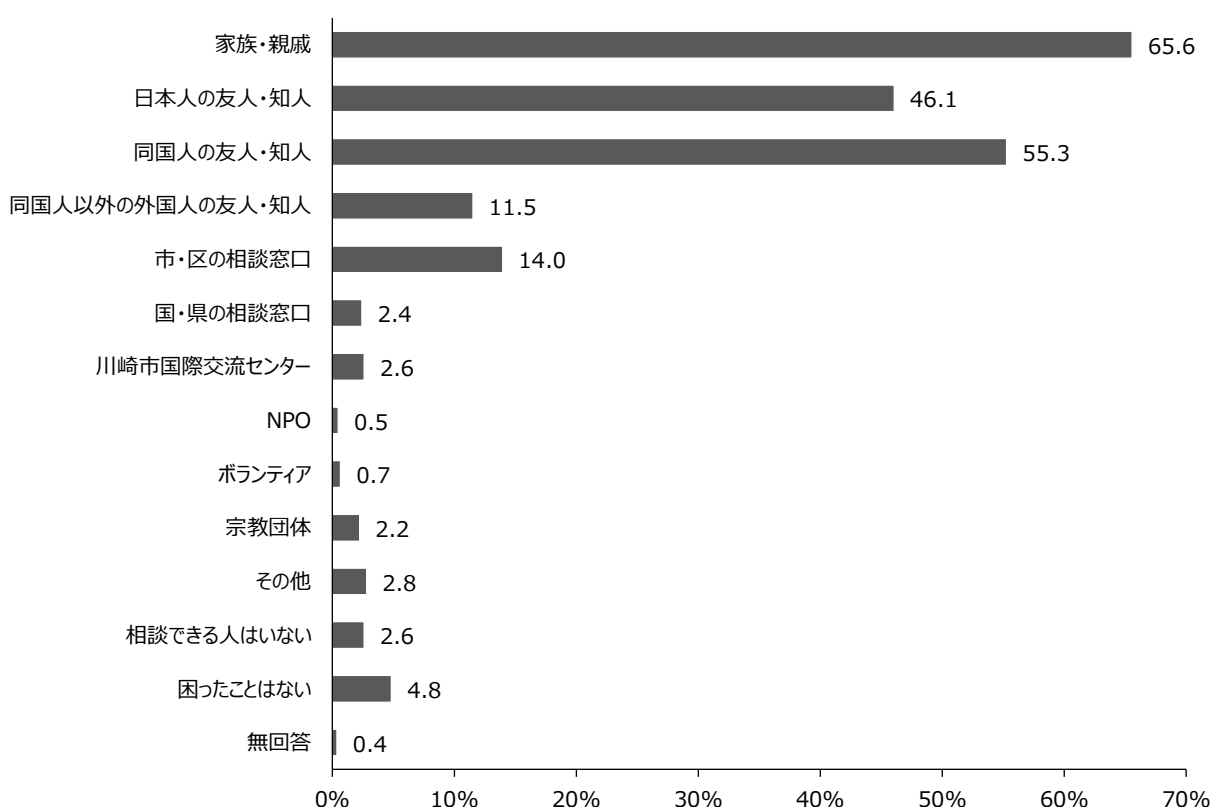
国籍・地域	(n) 割合	日本人	同国人	同国人以外の外国人	どの人たちともよくつきあう	誰ともつきあいがいい	無回答
中 国	293	75	98	3	56	4	57
	100.0	25.6	33.4	1.0	19.1	1.4	19.5
韓国・朝鮮	132	69	12	2	21	2	26
	100.0	52.3	9.1	1.5	15.9	1.5	19.7
フィリピン	109	18	19	4	25	3	40
	100.0	16.5	17.4	3.7	22.9	2.8	36.7
ベトナム	123	15	42	1	35	5	25
	100.0	12.2	34.1	0.8	28.5	4.1	20.3
その他アジア	206	47	36	5	35	11	72
	100.0	22.8	17.5	2.4	17.0	5.3	35.0
ヨーロッパ	63	11	4	4	13	2	29
	100.0	17.5	6.3	6.3	20.6	3.2	46.0
アフリカ	5	1	0	0	1	0	3
	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0
北 米	43	9	2	2	13	0	17
	100.0	20.9	4.7	4.7	30.2	0.0	39.5
南 米	32	8	4	5	7	3	5
	100.0	25.0	12.5	15.6	21.9	9.4	15.6
オセアニア	10	1	0	1	5	1	2
	100.0	10.0	0.0	10.0	50.0	10.0	20.0
その他無回答	15	8	1	0	2	0	4
	100.0	53.3	6.7	0.0	13.3	0.0	26.7

11 生活で困ったときに相談する相手

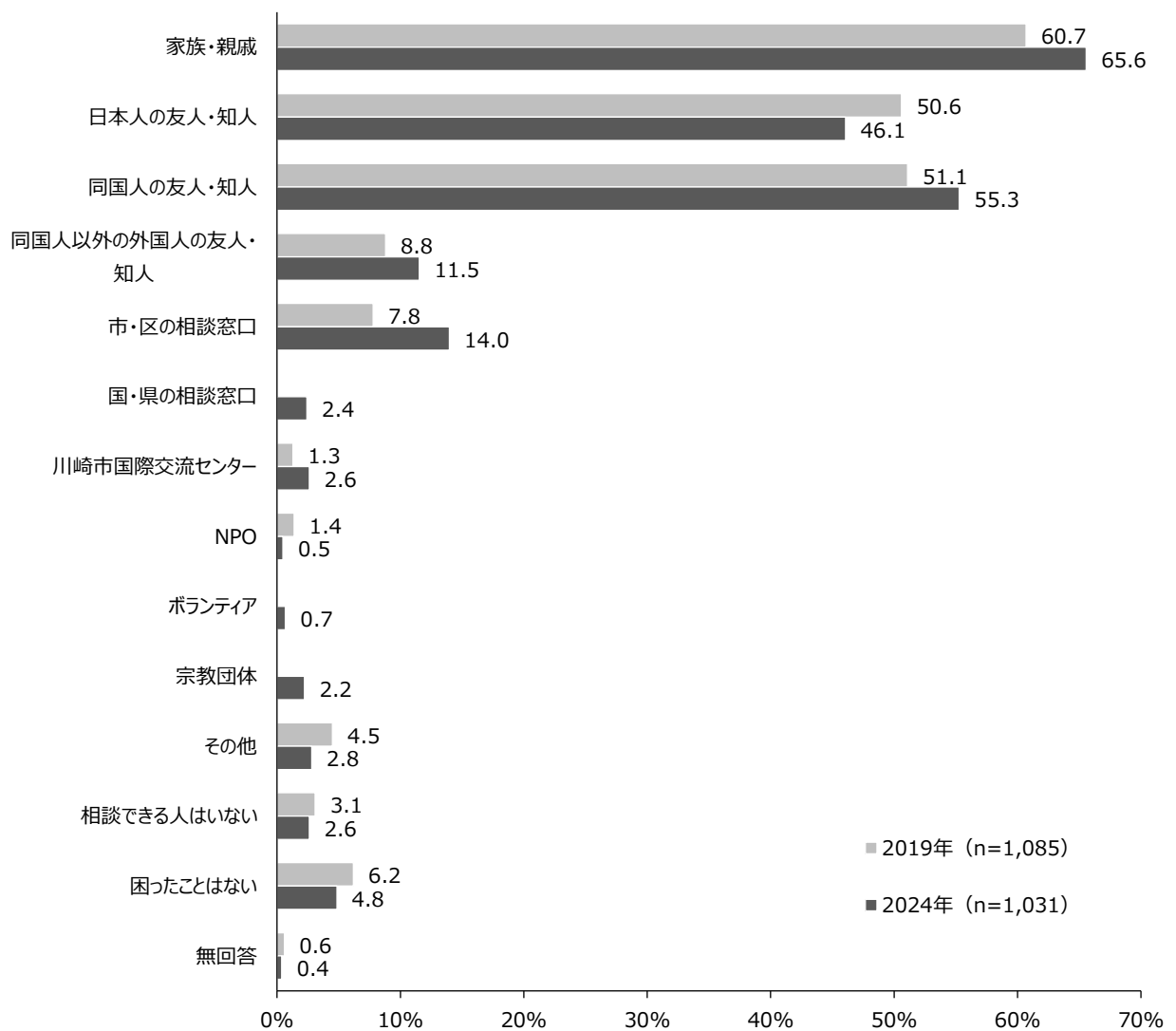
生活で困ったときに相談する相手をたずねたところ、「家族・親戚」が 65.6%と最も高く、次いで「同国人の友人・知人」が 55.3%、「日本人の友人・知人」が 46.1%と続いた。相談窓口に着目してみると、「市・区の相談窓口」が 14.0%、「川崎市国際交流センター」が 2.6%、「国・県の相談窓口」が 2.4%となっている。

前回調査と比較してみると、「家族・親戚」が 4.9 ポイント、「同国人の友人・知人」が 4.2 ポイント増加し、一方で「日本人の友人・知人」は 4.5 ポイント減少した。利用率こそ低いものの、「市・区の相談窓口」「川崎市国際交流センター」はいずれも約 2 倍ほど増加している。

■図表 39 生活で困ったときに相談する相手（MA、n=1,031）



■【参考 22 2019 年調査との比較】

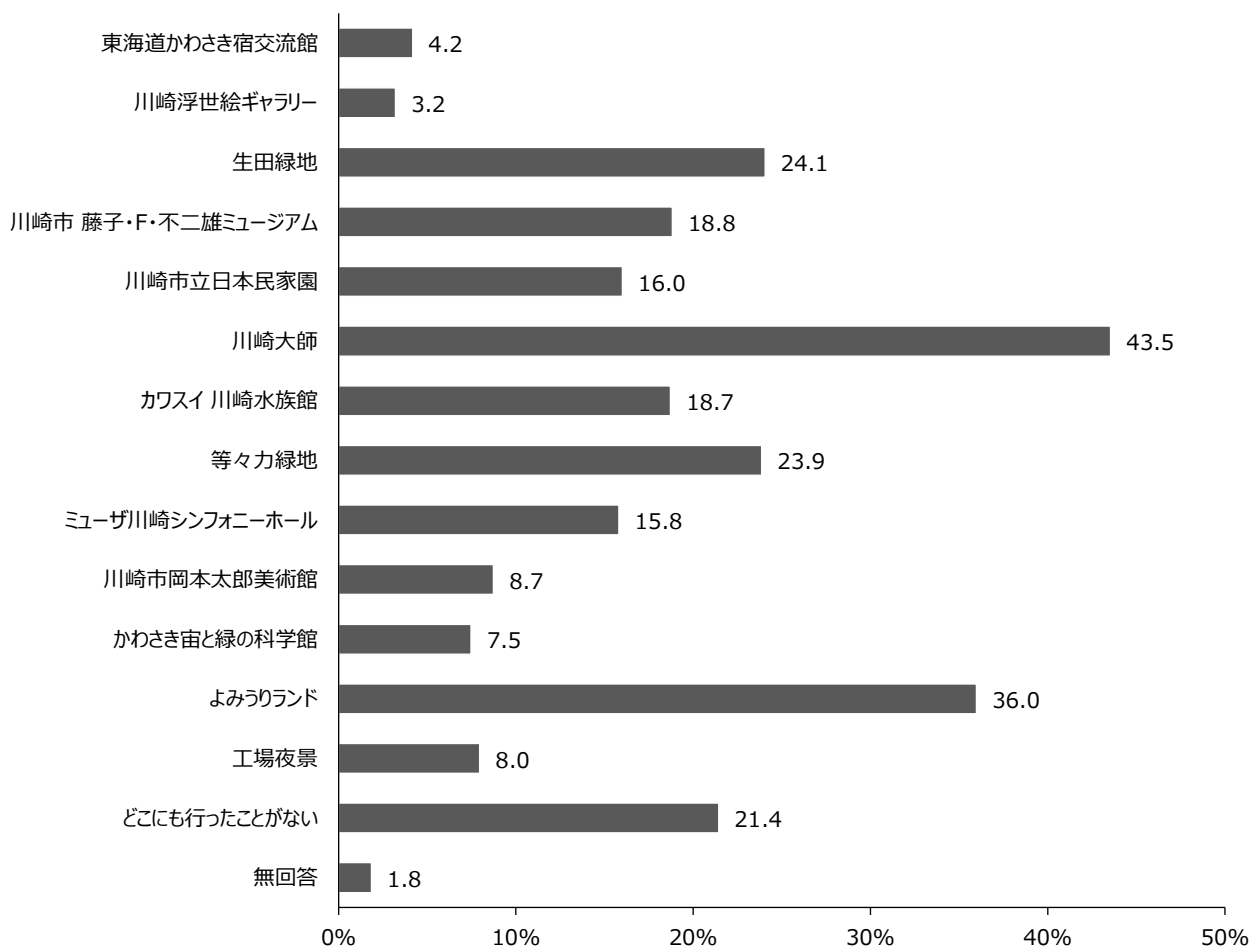


※2019 年調査では、「NPO・ボランティア・宗教団体」としていた

12 行ったことがある川崎市の観光スポット

行ったことがある川崎市の観光スポットについてたずねたところ、「川崎大師」が43.5%で最も高く、次いで「よみうりランド」が36.0%、「生田緑地」が24.1%と続いている。「どこにも行ったことがない」も21.4%で約2割いた。

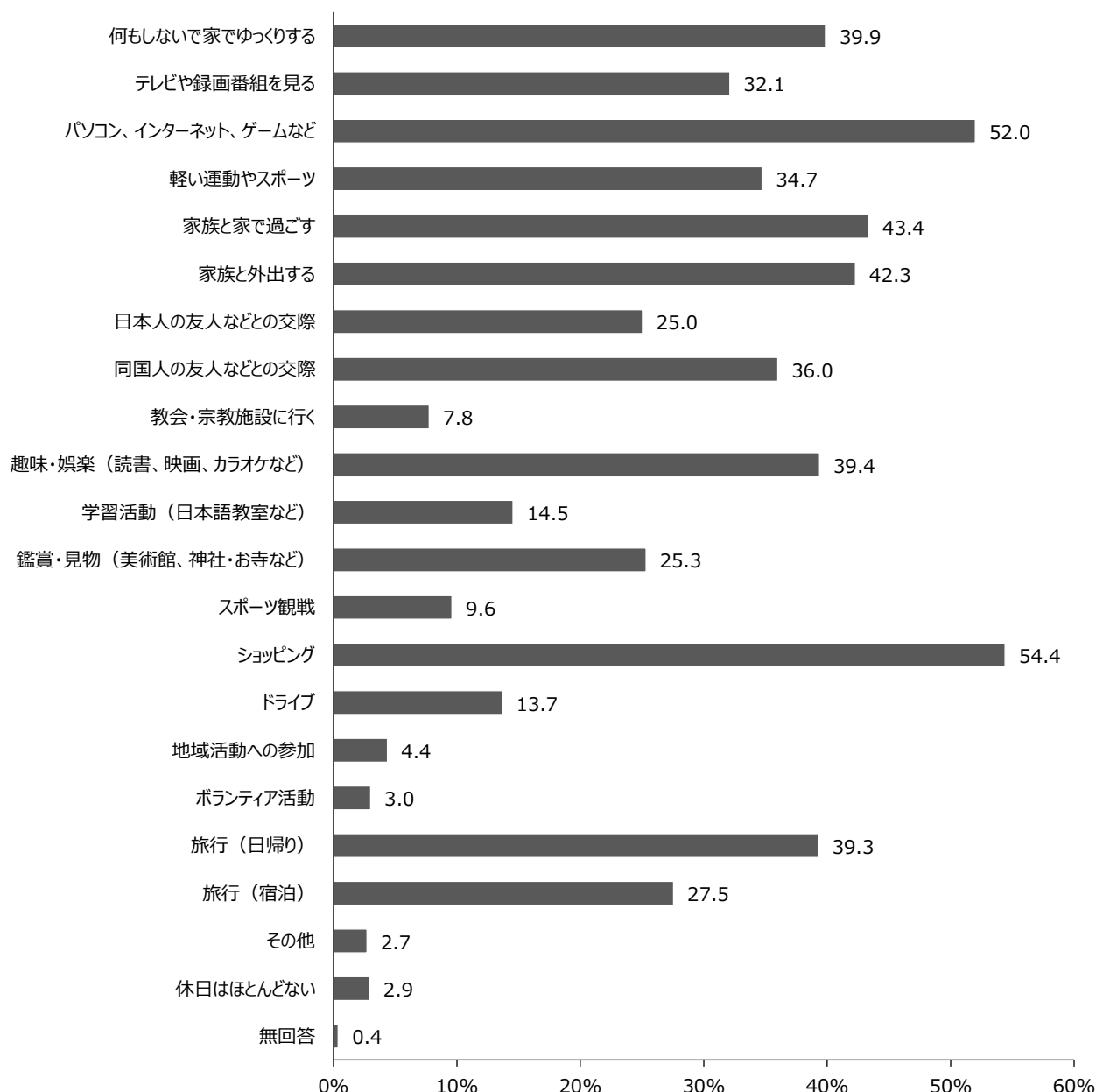
■図表 40 あなたが行ったことがある川崎市の観光スポット（MA、n=1,031）



13 休日の過ごし方

休日の過ごし方についてたずねたところ、「ショッピング」が54.4%で最も高く、次いで「パソコン、インターネット、ゲームなど」が52.0%で続いた。「何もしないで家でゆっくりする」が39.9%、「家族と家で過ごす」が43.4%、「家族と外出する」が42.3%といずれも4割程度おり、家でゆっくりしたり、家族と過ごしたりしている様子もうかがえる結果となった。

■図表 41 休日の過ごし方 (MA、n=1,031)



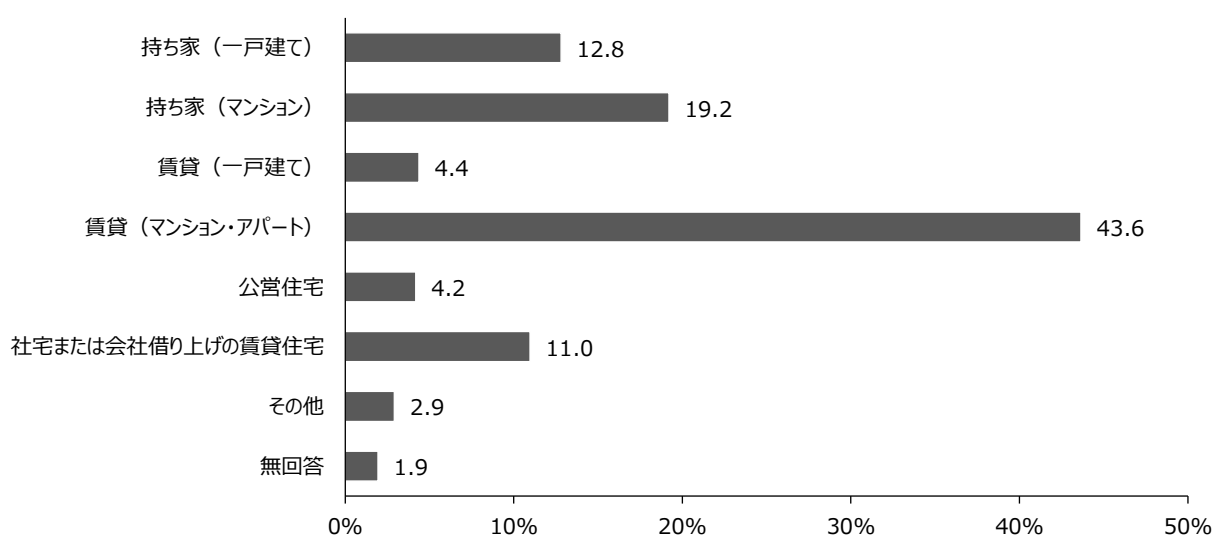
第3章 住まいと防犯、安全

1 住居の形態

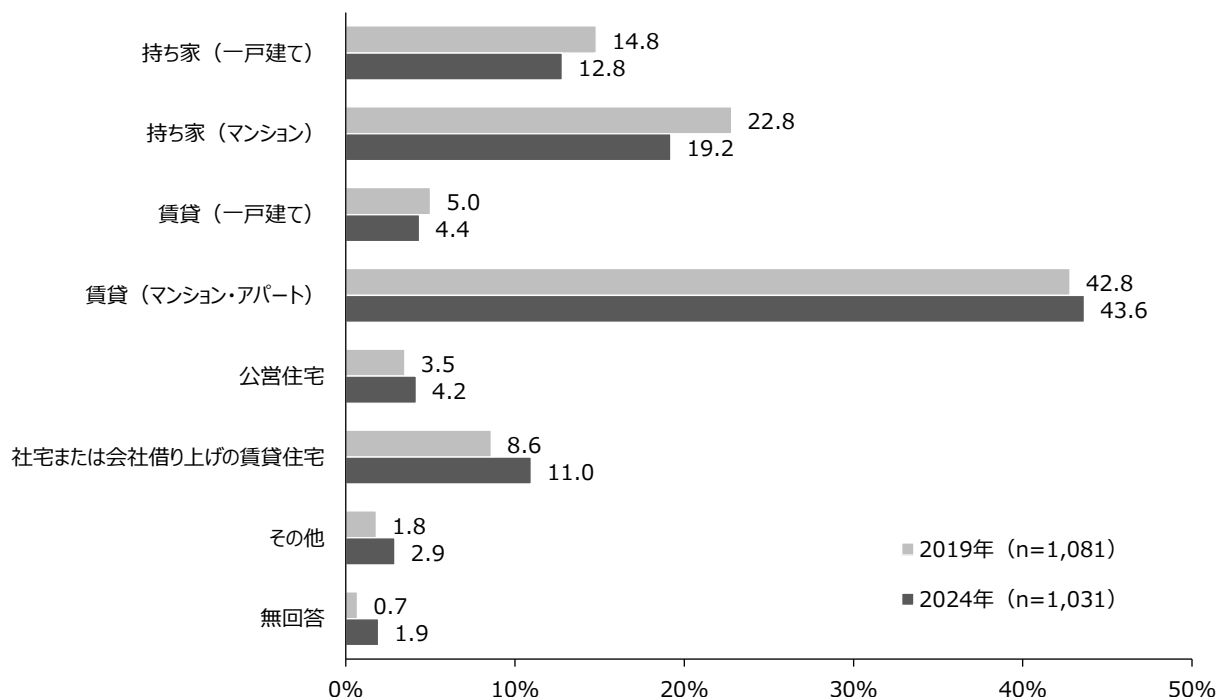
住まいの形態をたずねたところ、「賃貸（マンション・アパート）」が43.6%で最も高く、次いで「持ち家（マンション）」が19.2%、「持ち家（一戸建て）」が12.8%、「社宅または会社借り上げの賃貸住宅」が11.0%で続いた。

前回調査と比較してみると、わずかではあるが「賃貸マンション・アパート」が0.8ポイント増加しており、一方で「持ち家（マンション）」は3.6ポイント、「持ち家（一戸建て）」は2.0ポイント減少している。

■図表 42 住居の形態（n=1,031）



■【参考 23 2019 年調査との比較】



国籍・地域別で見ると、「持ち家（一戸建て）」の割合が最も高いのは「韓国・朝鮮」の 22.8% で、次いで「南米」が 21.9% で続いている。また、「持ち家（マンション）」では、「中国」と「韓国・朝鮮」がともに 30.0% を超えている。「社宅または会社借り上げの賃貸住宅」では「ベトナム」が 43.1% で顕著に高かった。

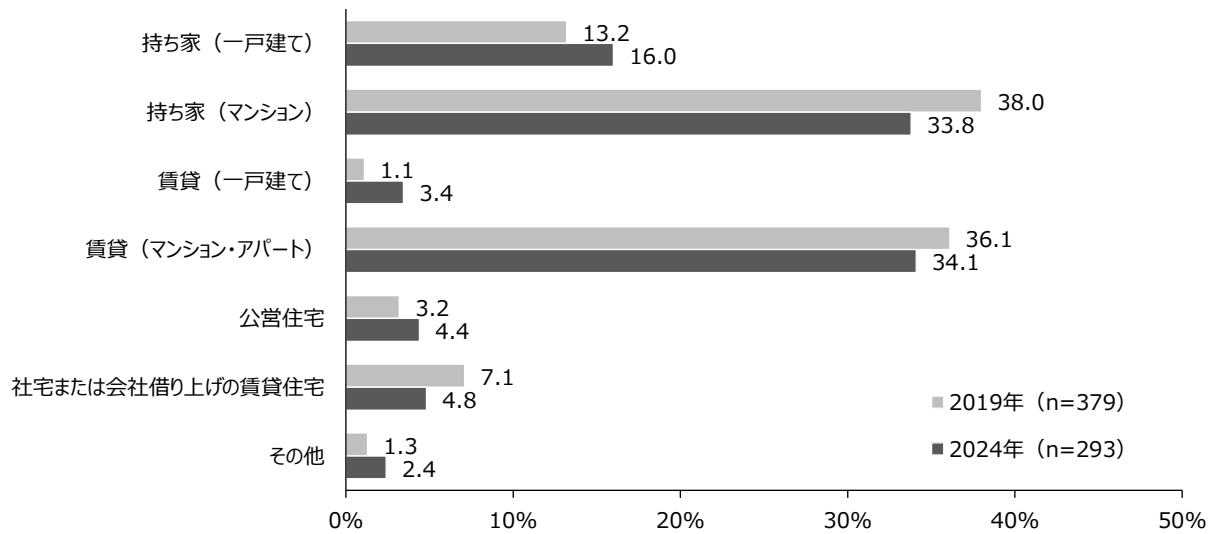
前回調査と比較してみると、それぞれ最も伸びていたのは「中国」では「持ち家（一戸建て）」の 2.8 ポイント、「韓国・朝鮮」では「持ち家（マンション）」の 7.7 ポイント、「フィリピン」では「公営住宅」と「社宅または会社借り上げの賃貸住宅」の 7.5 ポイント、「ベトナム」では「社宅または会社借り上げの賃貸住宅」の 2.0 ポイント、「その他アジア」では「社宅または会社借り上げの賃貸住宅」の 3.7 ポイント、「南米」では「賃貸（マンション・アパート）」の 12.5 ポイントであった。

■図表 43 住居の形態と国籍・地域の関係

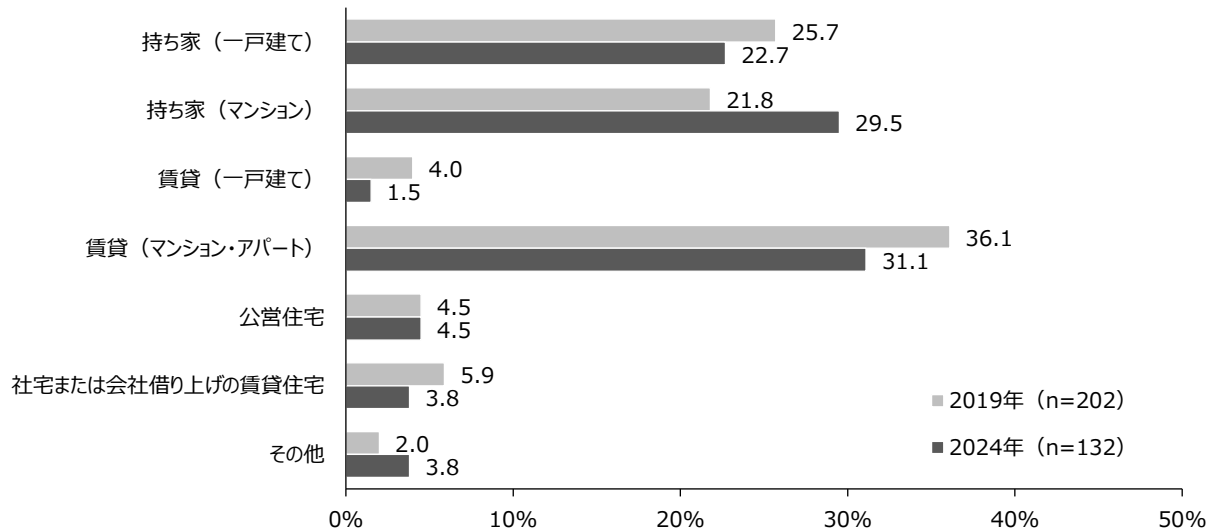
国籍・地域	(n) 割合	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション)	賃貸 (一戸建て)	賃貸 (マンション・ア パート)	公営住宅	社宅または会社借り上 げの賃貸住宅	その他	無回答
中 国	293	47	99	10	100	13	14	7	3
	100.0	16.0	33.8	3.4	34.1	4.4	4.8	2.4	1.0
韓国・朝鮮	132	30	39	2	41	6	5	5	4
	100.0	22.7	29.5	1.5	31.1	4.5	3.8	3.8	3.0
フィリピン	109	8	11	5	47	13	13	4	8
	100.0	7.3	10.1	4.6	43.1	11.9	11.9	3.7	7.3
ベトナム	123	9	5	2	50	1	53	2	1
	100.0	7.3	4.1	1.6	40.7	0.8	43.1	1.6	0.8
その他アジア	206	14	28	16	111	9	20	7	1
	100.0	6.8	13.6	7.8	53.9	4.4	9.7	3.4	0.5
ヨーロッパ	63	8	6	3	39	0	5	1	1
	100.0	12.7	9.5	4.8	61.9	0.0	7.9	1.6	1.6
アフリカ	5	0	0	0	4	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0
北 米	43	5	5	5	23	0	1	3	1
	100.0	11.6	11.6	11.6	53.5	0.0	2.3	7.0	2.3
南 米	32	7	2	1	20	1	1	0	0
	100.0	21.9	6.3	3.1	62.5	3.1	3.1	0.0	0.0
オセアニア	10	2	1	1	6	0	0	0	0
	100.0	20.0	10.0	10.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他無回答	15	2	2	0	9	0	1	0	1
	100.0	13.3	13.3	0.0	60.0	0.0	6.7	0.0	6.7

■【参考 24 2019 年調査との比較】

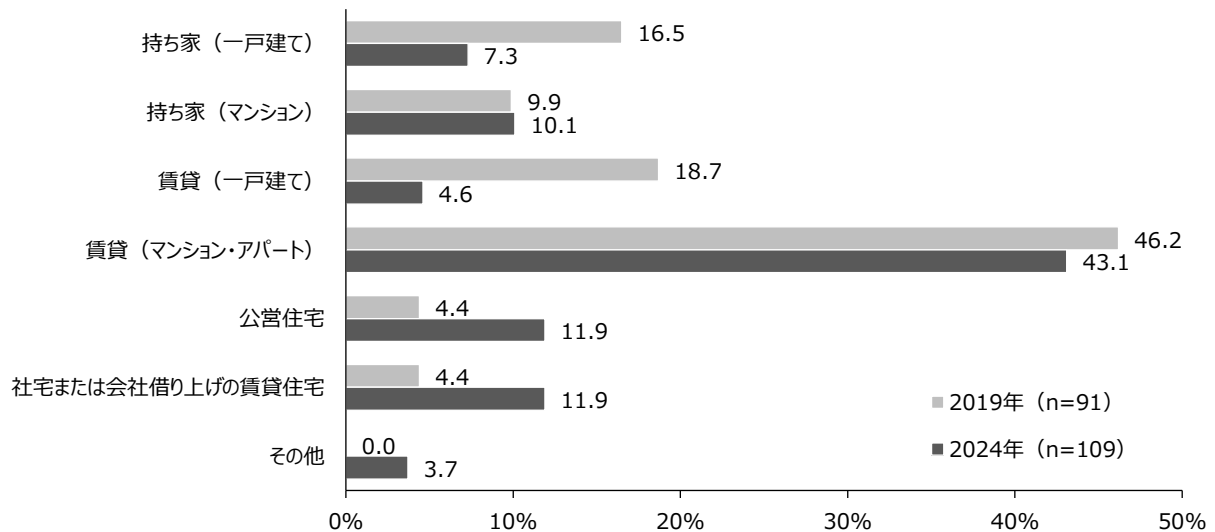
●中国



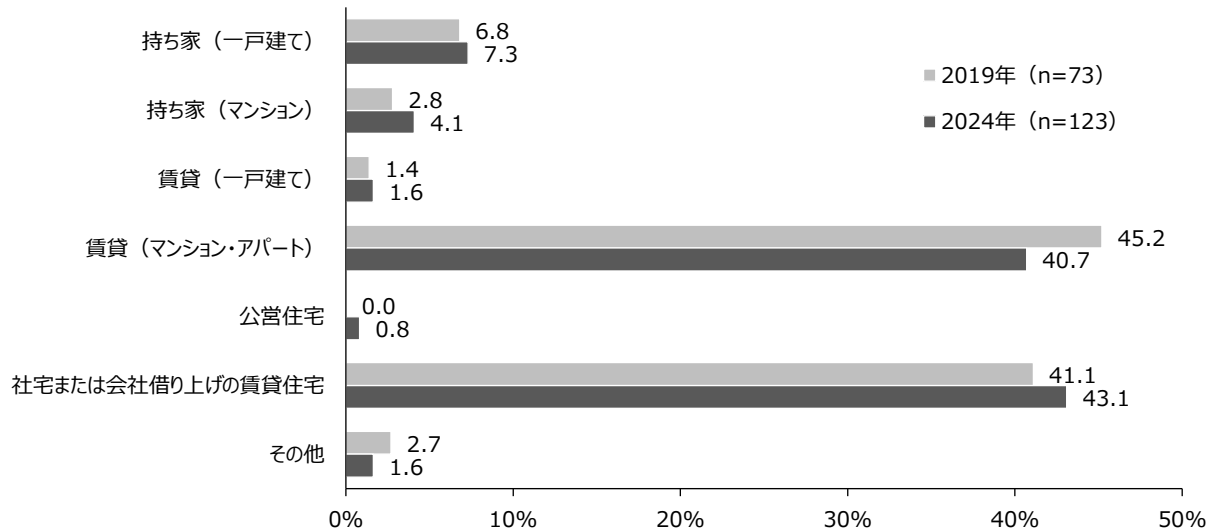
●韓国・朝鮮



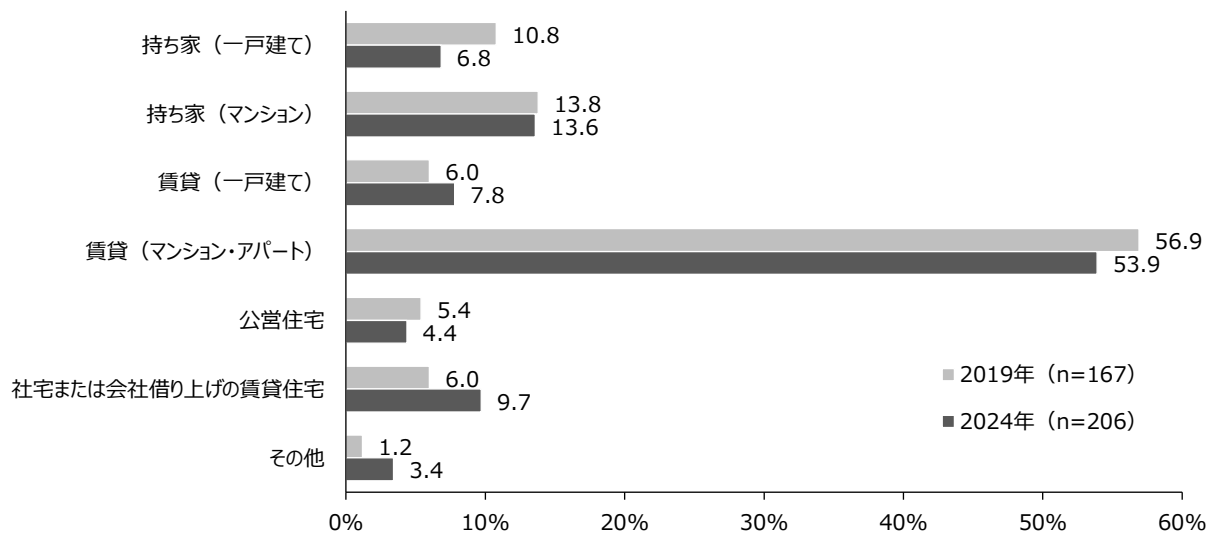
●フィリピン



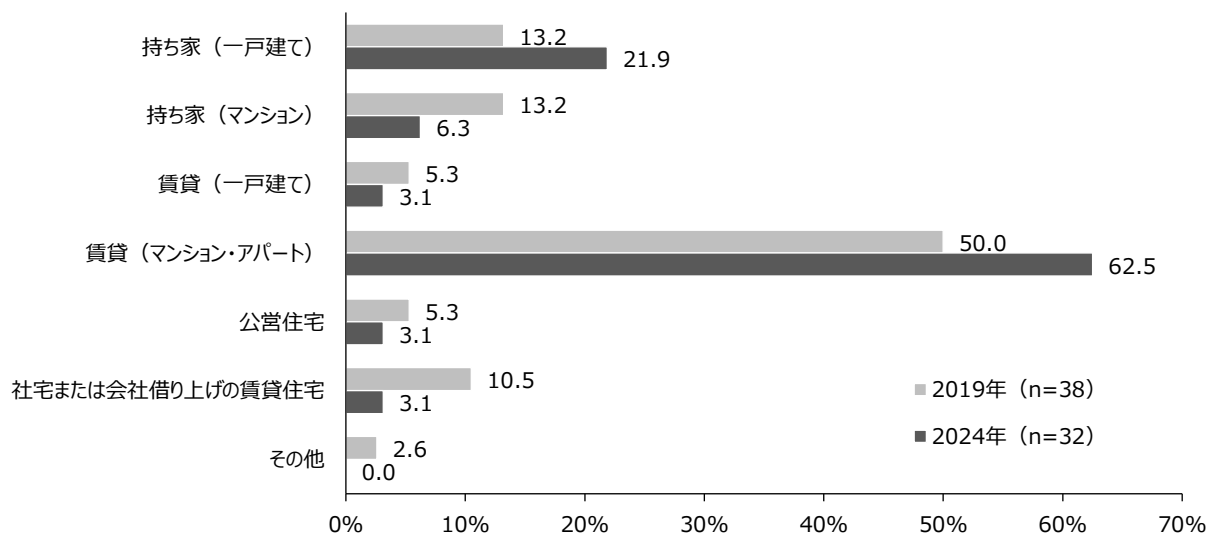
●ベトナム



●その他アジア



●南米

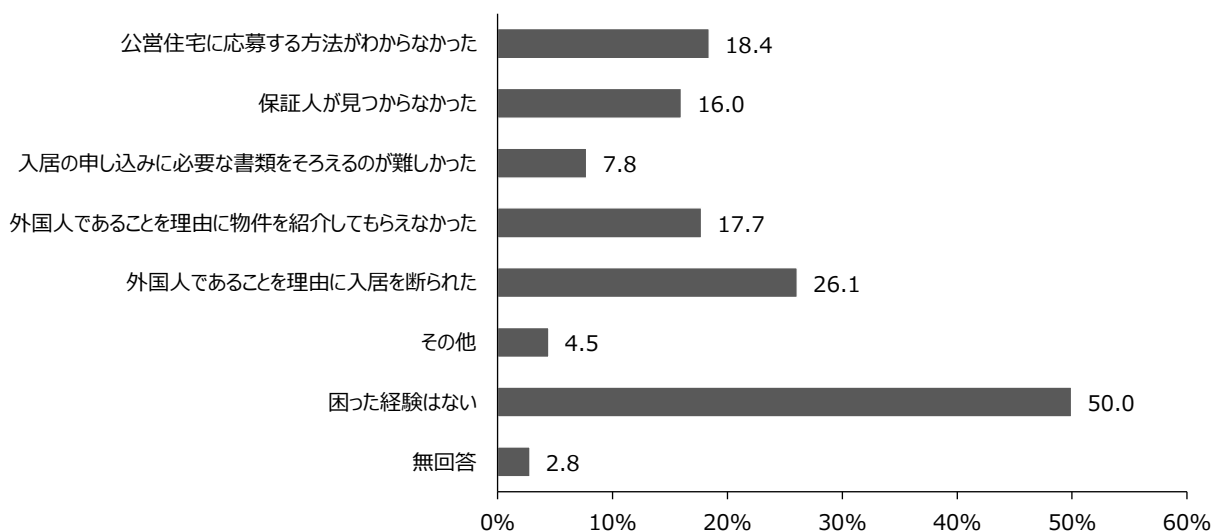


2 住居をさがす際の経験

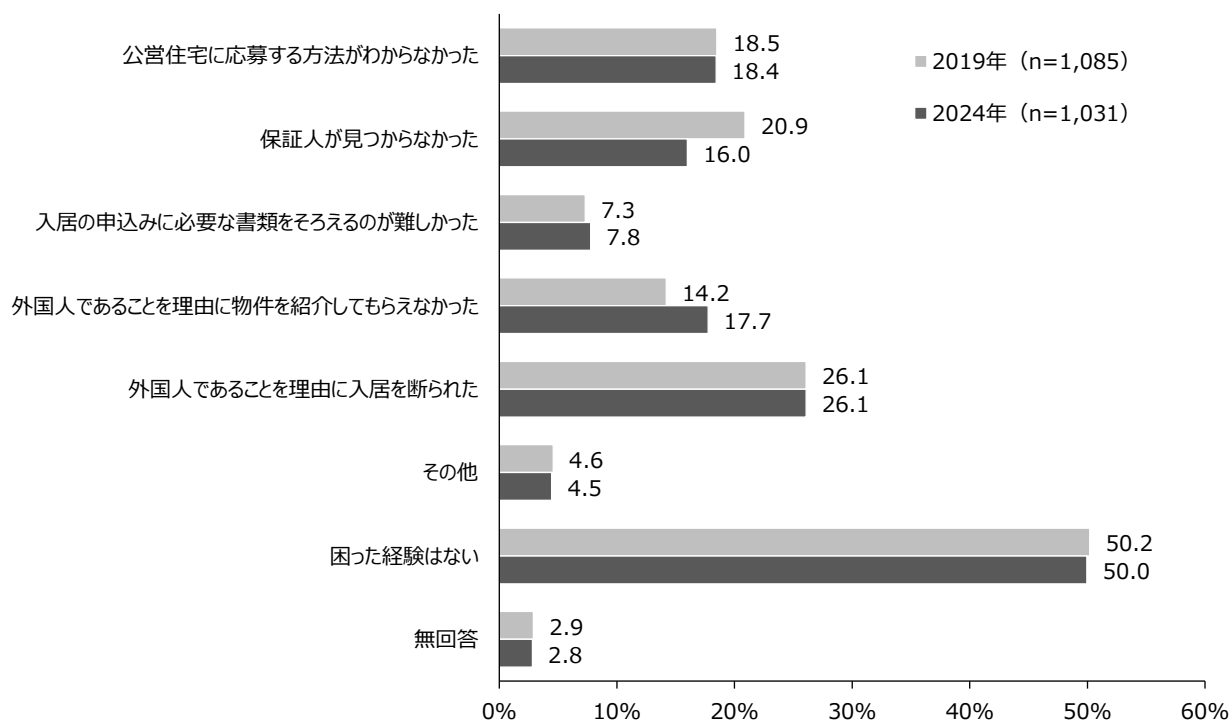
川崎市で住宅をさがす際に経験したことをたずねたところ、「困った経験はない」が 50.0%で最も高く、次いで「外国人であることを理由に入居を断られた」が 26.1%、「外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった」が 17.7%と続いている。

前回調査と比較してみると、「困ったことはない」を除くと困った経験で最も高かったのはいずれも「外国人であることを理由に入居を断られた」の 26.1%で、約 4 人に 1 人が経験していることになる。また、「外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった」も 3.5 ポイント増加している。

■図表 44 住居をさがす際の経験（MA、n=1,031）



■【参考 25 2019 年調査との比較】



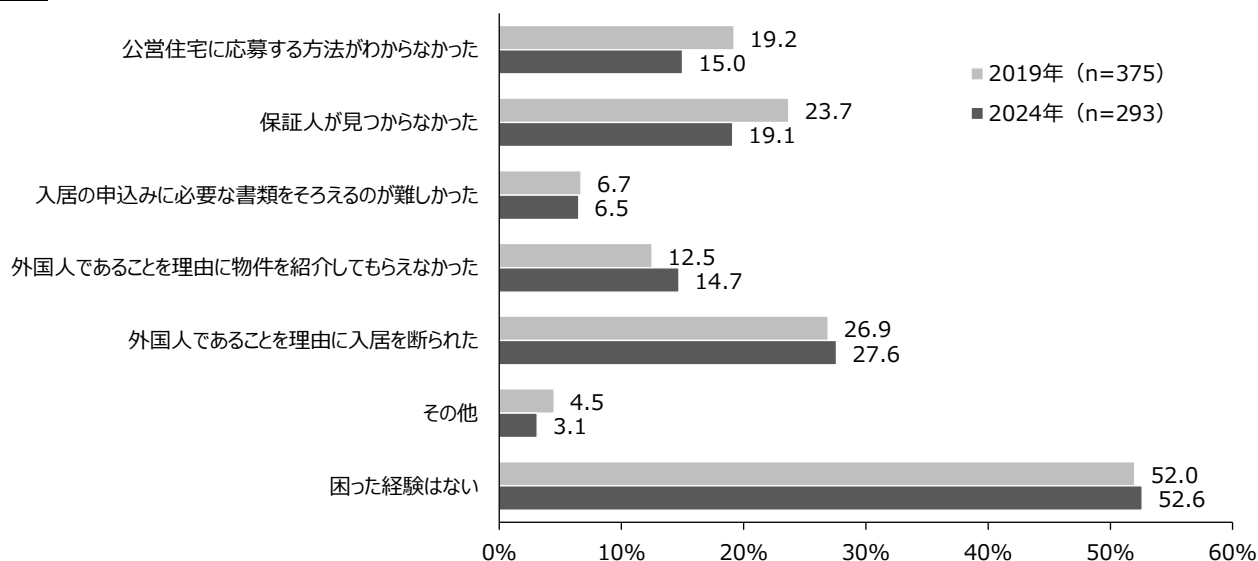
国籍・地域別で見ると、「困った経験はない」では「ヨーロッパ」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「フィリピン」56.0%、「韓国・朝鮮」54.5%と続いている。一方、困った経験では、「ベトナム」以外では「外国人であることを理由に入居を断られた」が最も高く（「ベトナム」でも 2 番目に高い）、国籍・地域にかかわらず外国人住民にとって共通の問題となっている。

■図表 45 住居をさがす際の困難と国籍・地域の関係

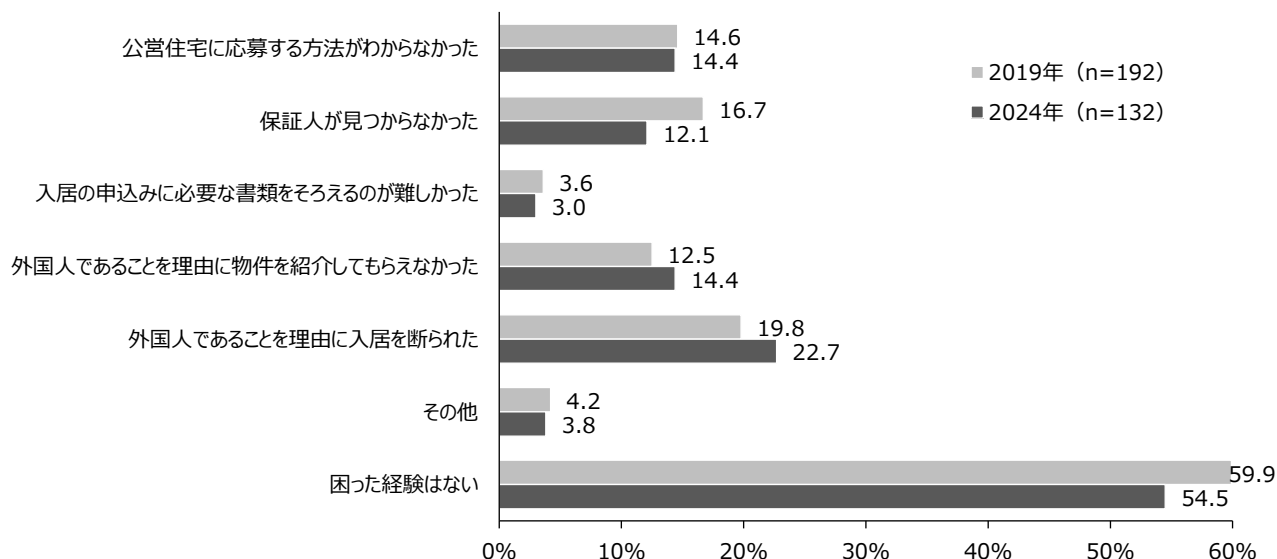
国籍・地域	(n) 割合	公営住宅に応募する方法がわからなかった	保証人が見つからなかった	入居の申し込みに必要な書類をそろえるのが難しかった	外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった	外国人であることを理由に入居を断られた	その他	困った経験はない	無回答
中国	293	44	56	19	43	81	9	154	4
	100.0	15.0	19.1	6.5	14.7	27.6	3.1	52.6	1.4
韓国・朝鮮	132	19	16	4	19	30	5	72	6
	100.0	14.4	12.1	3.0	14.4	22.7	3.8	54.5	4.5
フィリピン	109	22	12	10	18	17	4	61	5
	100.0	20.2	11.0	9.2	16.5	15.6	3.7	56.0	4.6
ベトナム	123	35	26	19	22	28	6	49	9
	100.0	28.5	21.1	15.4	17.9	22.8	4.9	39.8	7.3
その他アジア	206	50	38	19	45	70	13	87	2
	100.0	24.3	18.4	9.2	21.8	34.0	6.3	42.2	1.0
ヨーロッパ	63	4	6	1	12	14	4	39	0
	100.0	6.3	9.5	1.6	19.0	22.2	6.3	61.9	0.0
アフリカ	5	2	0	0	1	3	1	1	0
	100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0
北米	43	7	4	6	11	14	1	21	1
	100.0	16.3	9.3	14.0	25.6	32.6	2.3	48.8	2.3
南米	32	3	4	1	8	5	1	19	1
	100.0	9.4	12.5	3.1	25.0	15.6	3.1	59.4	3.1
オセアニア	10	2	0	0	1	1	1	7	0
	100.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	70.0	0.0
その他無回答	15	2	3	1	3	6	1	5	1
	100.0	13.3	20.0	6.7	20.0	40.0	6.7	33.3	6.7

■【参考 26 2019 年調査との比較】

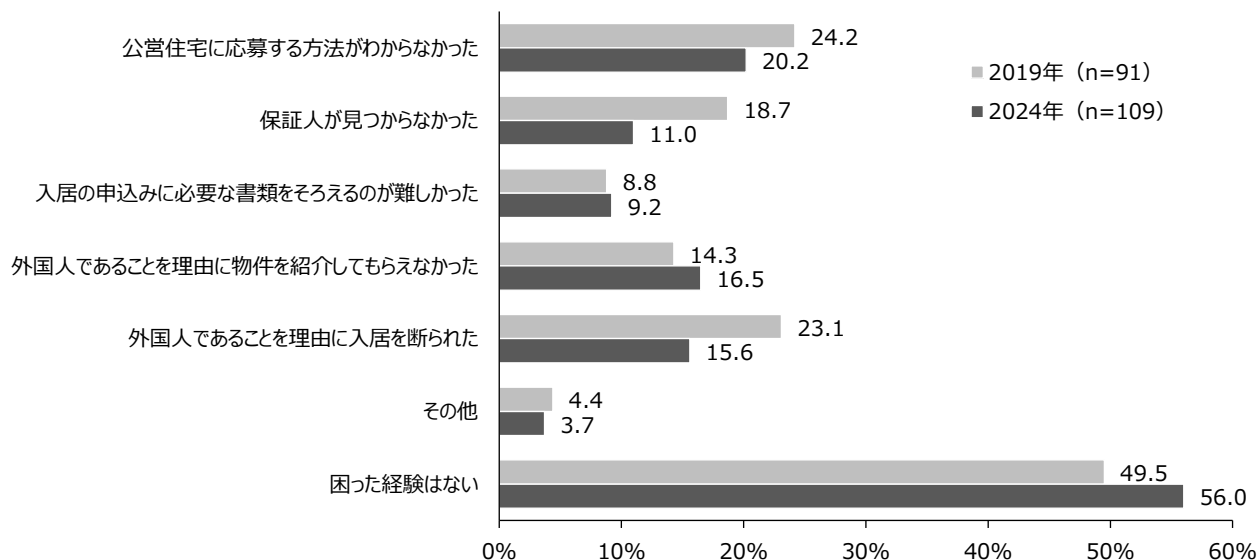
●中国



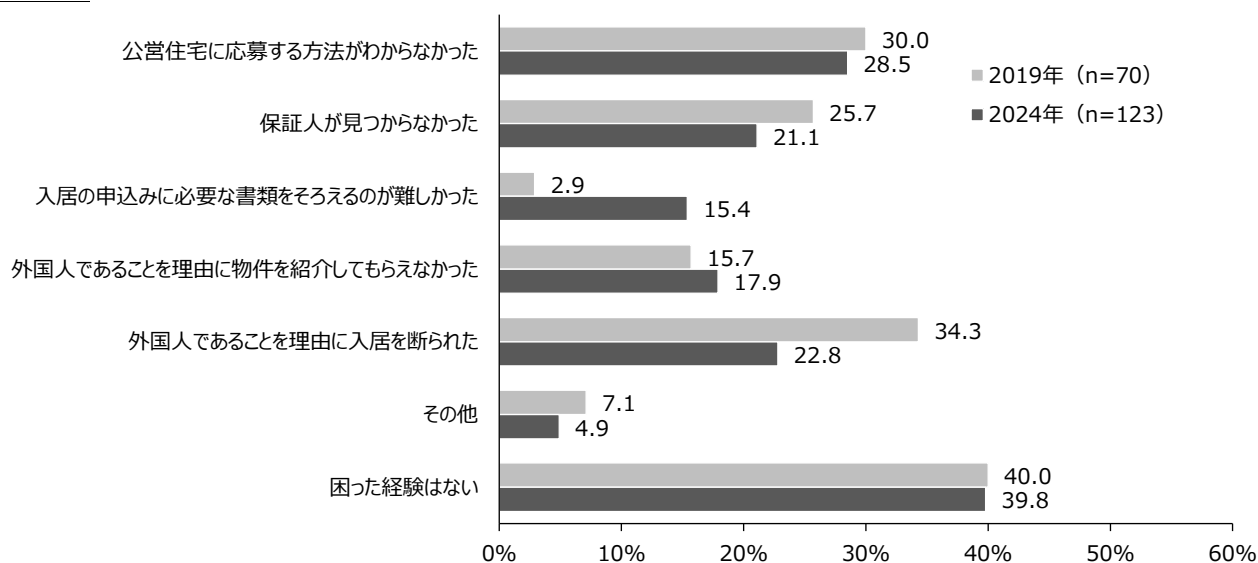
●韓国・朝鮮



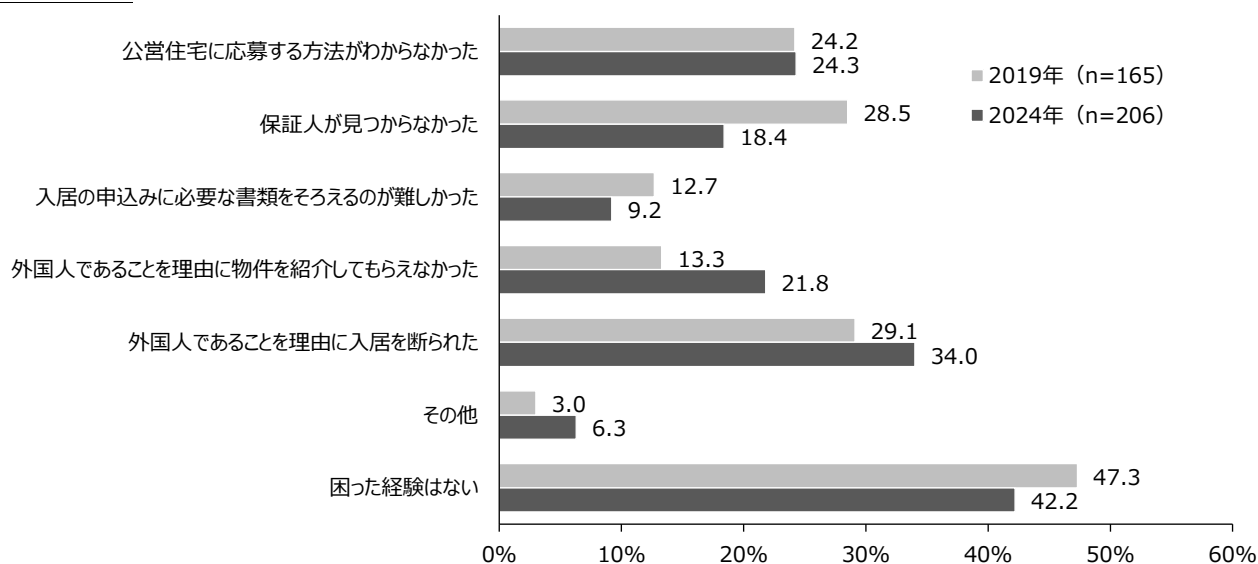
●フィリピン



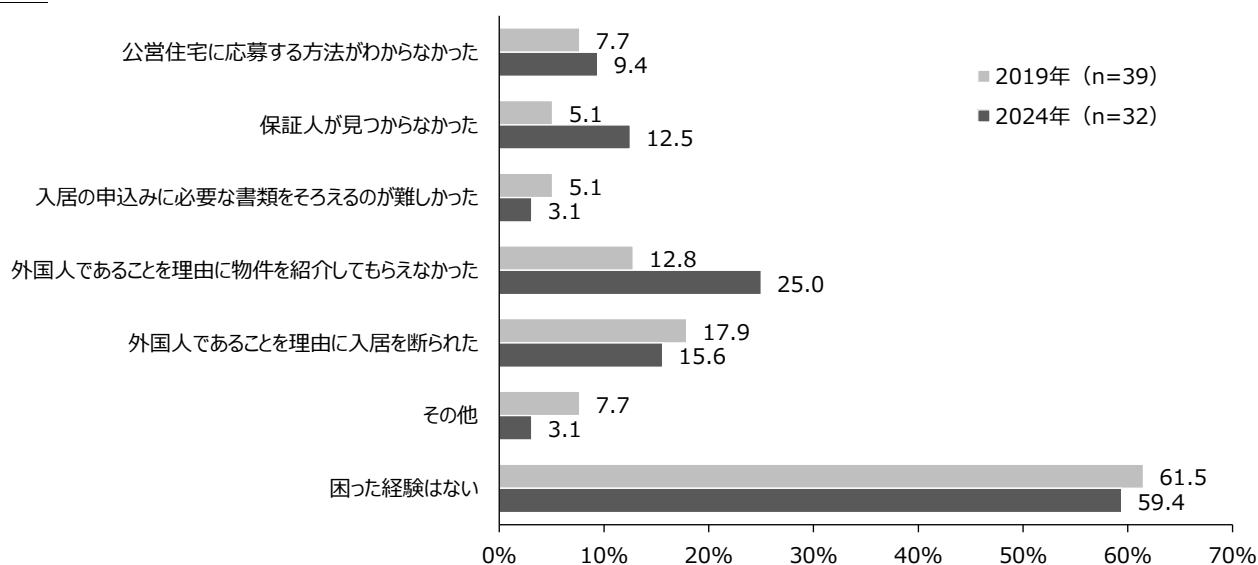
●ベトナム



●その他アジア



●南米



住居をさがす際の経験を川崎市での居住年数との関係で見ると、「外国人であることを理由に入居を断られた」は9年以内で3割ほど、「外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった」は19年以内で2割ほどを推移しており、問題の根深さがうかがえる。外国人市民の入居機会の確保に向けてさらなる取組が望まれる。

■図表 46 住居をさがす際の困難と川崎市での居住年数の関係

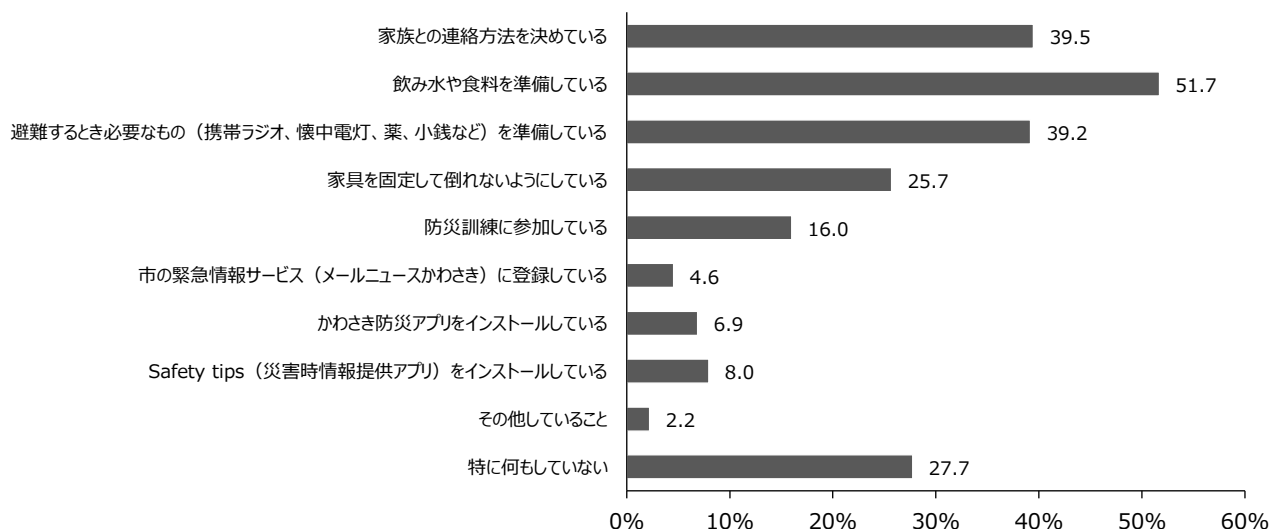
川崎居住年数	(n) 割合	公営住宅に応募する方法がわからなかった	保証人が見つからなかった	入居の申し込みに必要な書類をそろえるのが難しかった	外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった	外国人であることを理由に入居を断られた	その他	困った経験はない	無回答
1年より短い	193	38	26	16	36	53	13	92	7
	100.0	19.7	13.5	8.3	18.7	27.5	6.7	47.7	3.6
1～3年	283	59	49	22	52	79	8	137	3
	100.0	20.8	17.3	7.8	18.4	27.9	2.8	48.4	1.1
4～6年	156	37	36	14	31	53	6	61	5
	100.0	23.7	23.1	9.0	19.9	34.0	3.8	39.1	3.2
7～9年	95	17	16	9	16	27	5	51	1
	100.0	17.9	16.8	9.5	16.8	28.4	5.3	53.7	1.1
10～14年	89	13	14	6	16	21	3	51	2
	100.0	14.6	15.7	6.7	18.0	23.6	3.4	57.3	2.2
15～19年	50	5	6	2	10	8	3	28	2
	100.0	10.0	12.0	4.0	20.0	16.0	6.0	56.0	4.0
20～24年	38	5	4	3	4	8	0	23	2
	100.0	13.2	10.5	7.9	10.5	21.1	0.0	60.5	5.3
25年以上	72	8	7	3	11	14	4	41	3
	100.0	11.1	9.7	4.2	15.3	19.4	5.6	56.9	4.2
生まれてからずっと	29	4	2	2	2	3	2	17	3
	100.0	13.8	6.9	6.9	6.9	10.3	6.9	58.6	10.3

3 災害への備え

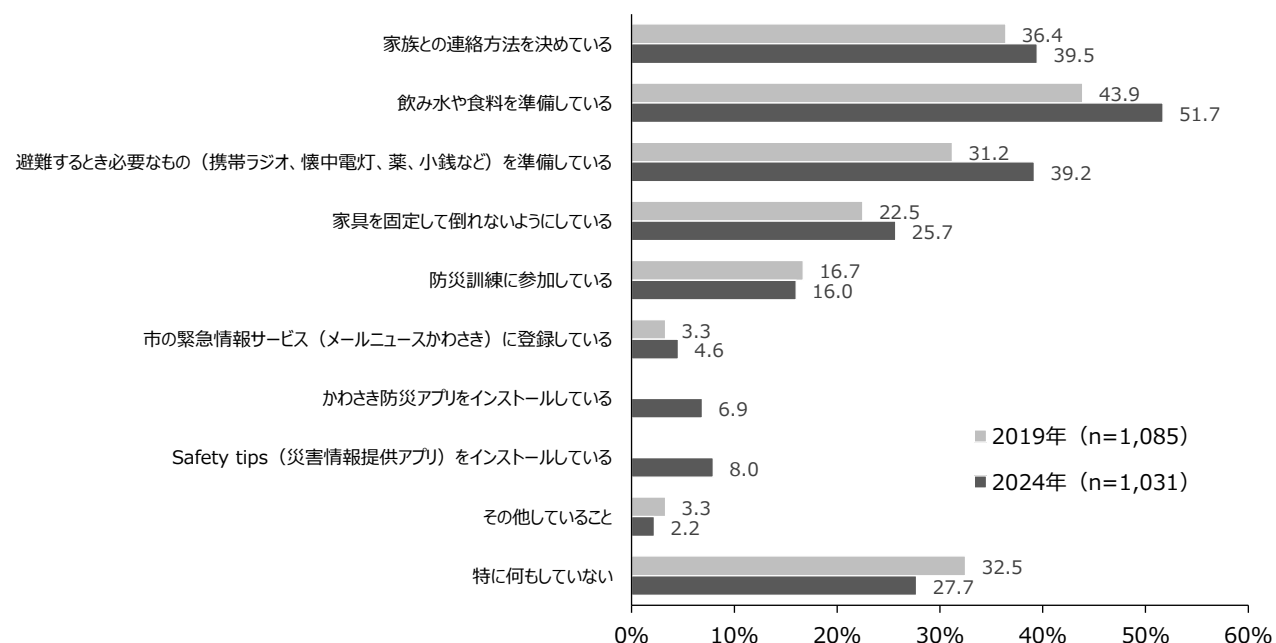
災害への備えとして何をしているかたずねたところ、「飲み水や食料を準備している」が 51.7% で最も高く、次いで「家族との連絡方法を決めている」が 39.5%、「避難するとき必要なもの（携帯ラジオ、懐中電灯、薬、小銭など）を準備している」が 39.2%と続いている。「特に何もしていない」は 27.7%と約 3 割だった。

前回調査と比較してみると、「特に何もしていない」が 4.8 ポイント減少し、「飲み水や食料を準備している」が 7.8 ポイント、「家族との連絡方法を決めている」が 3.1 ポイント増加した。

■図表 47 災害への備え（MA、n=1,031）

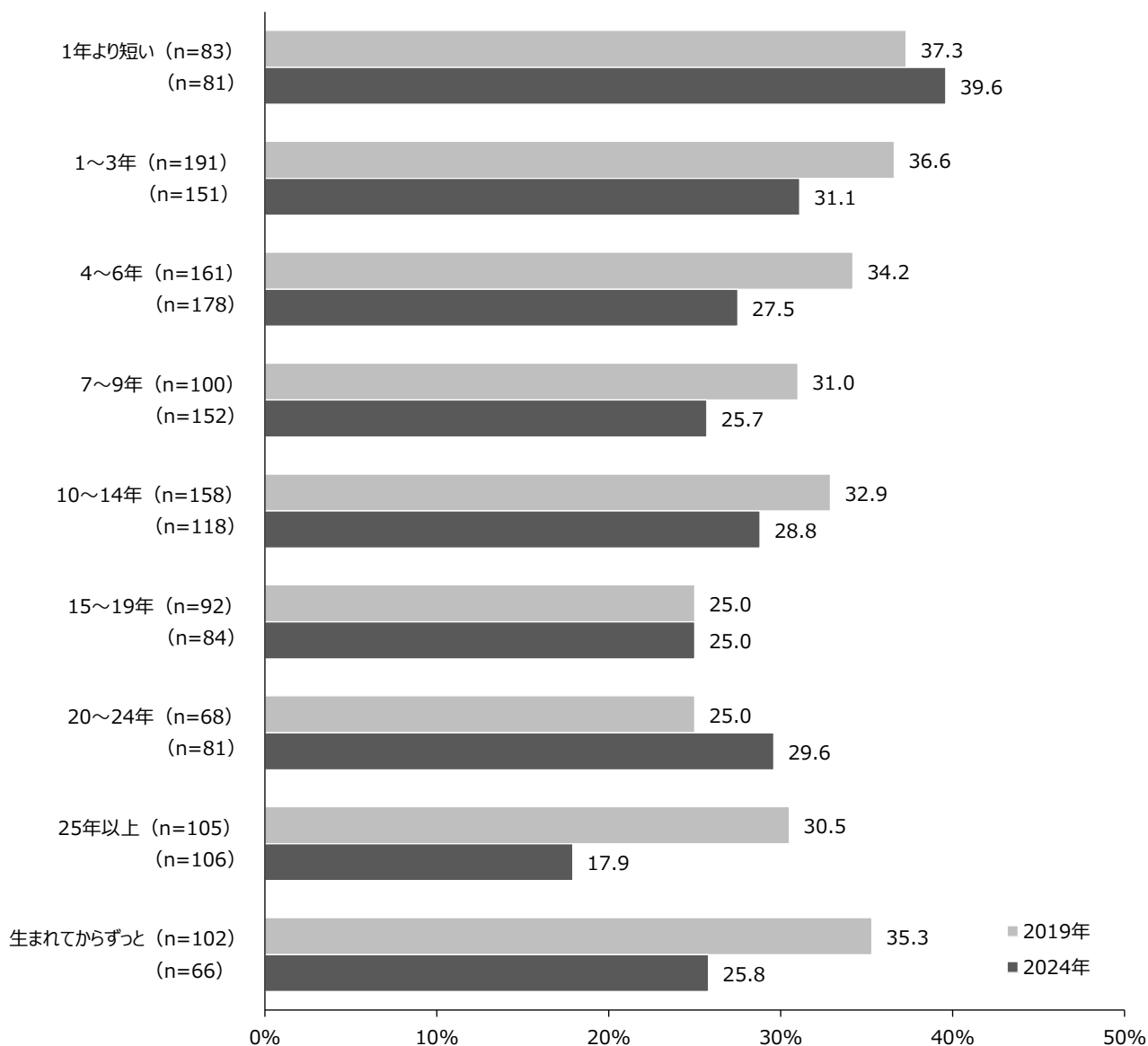


■【参考 27 2019 年調査との比較】



災害への備えを「特に何もしていない」という人の日本での滞在年数との関係を見てみると、最も高いのは前回も今回も「1年より短い」であった。増加していた「1年より短い」と「20～24年」、変化のなかった「15～19年」を除くと、全体的には「特に何もしていない」は大きく減少していた。

■【参考 28 2019年調査との比較】

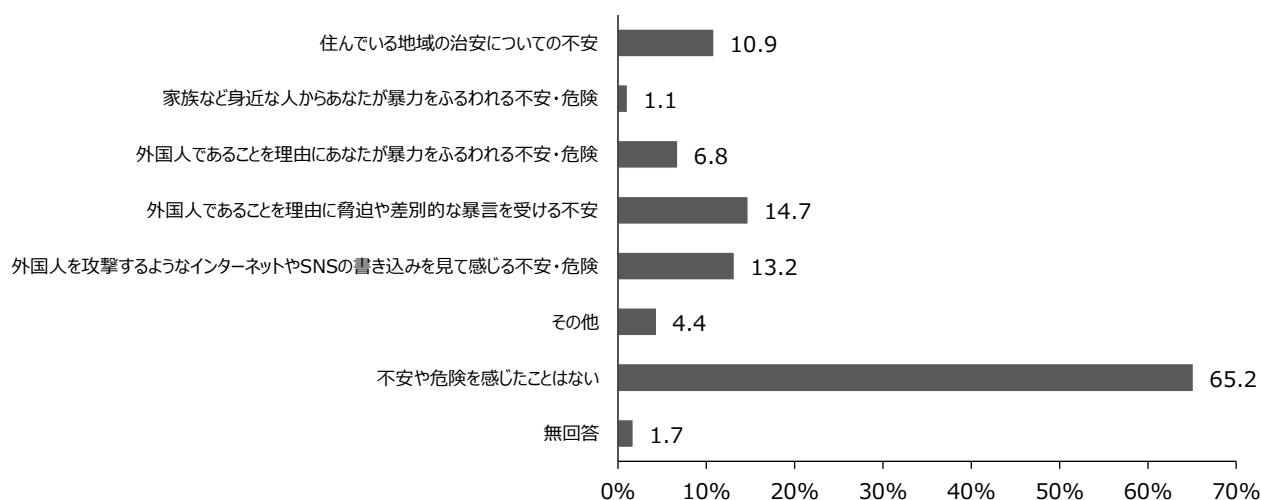


4 不安や危険を感じたこと

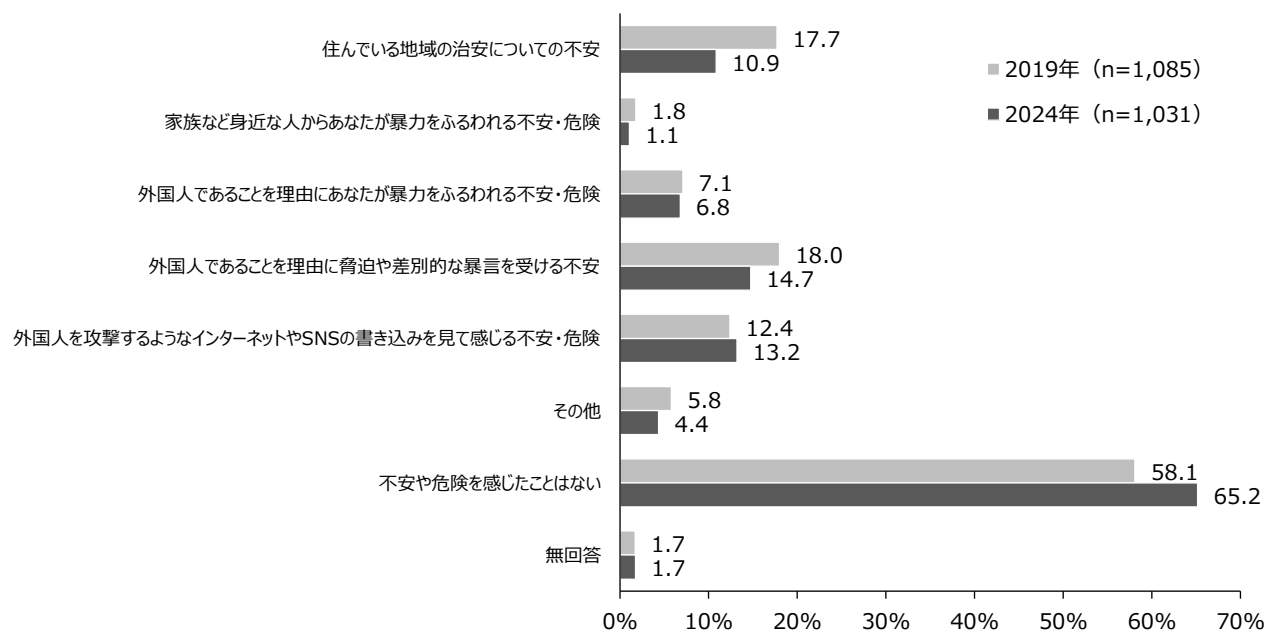
最近 1 年間に不安や危険を感じた経験をたずねたところ、「不安や危険を感じたことはない」が 65.2%で最も高かった。一方、不安や危険を感じたことでは「外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安」が 14.7%で最も高く、次いで「外国人を攻撃するようなインターネットや SNS の書き込みを見て感じる不安、危険」が 13.2%、「住んでいる地域の治安についての不安」が 10.9%で続いた。

前回調査と比較してみると、「不安や危険を感じたことはない」は 7.1 ポイント増加している。「住んでいる地域の治安についての不安」は 6.8 ポイント減少しており、治安の改善がみられる。また、「外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安」で 3.3 ポイント、「外国人であることを理由にあなたが暴力をふるわれる不安・危険」で 0.3 ポイント減少しており、2019 年に制定された「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が一定の効果をはたしている様子がうかがえる。ただし、「外国人を攻撃するようなインターネットや SNS の書き込みを見て感じる不安・危険」は 0.8 ポイント増加しており、依然として課題も残されている。

■図表 48 最近 1 年間に感じた不安な危険（MA、n=1,031）



■【参考 29 2019 年調査との比較】



国籍・地域別で見ると、「外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安」では、「中国」が18.1%で最も高く、次いで「ヨーロッパ」が17.5%、「北米」が16.3%が続いた。

「外国人を攻撃するようなインターネットやSNSの書き込みを見て感じる不安・危険」では、「韓国・朝鮮」が20.5%で最も高く、次いで5人と母数が少ないものの「アフリカ」が20.0%、「中国」が18.8%が続いた。なお、「韓国・朝鮮」では「外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安」は前回の21.1%から15.2%へと5.9ポイント、「外国人を攻撃するようなインターネットやSNSの書き込みを見て感じる不安・危険」は前回の25.3%から20.5%へと4.8ポイント、それぞれ減少している。

■図表 49 最近1年間に感じた不安や危険と国籍・地域の関係

国籍・地域	(n) 割合	住んでいる地域の治安について不安	家族など身近な人からあなたが暴力を受ける不安・危険	外国人であることを理由にあなたが暴力を受ける不安・危険	外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安	外国人を攻撃するようなインターネットやSNSの書き込みを見て感じる不安・危険	その他	不安や危険を感じたことはない
中国	293	39	5	21	53	55	15	166
	100.0	13.3	1.7	7.2	18.1	18.8	5.1	56.7
韓国・朝鮮	132	24	2	6	20	27	4	78
	100.0	18.2	1.5	4.5	15.2	20.5	3.0	59.1
フィリピン	109	10	1	9	9	10	6	76
	100.0	9.2	0.9	8.3	8.3	9.2	5.5	69.7
ベトナム	123	12	1	7	17	10	3	86
	100.0	9.8	0.8	5.7	13.8	8.1	2.4	69.9
その他アジア	206	19	2	18	32	20	7	141
	100.0	9.2	1.0	8.7	15.5	9.7	3.4	68.4
ヨーロッパ	63	2	0	5	11	5	4	47
	100.0	3.2	0.0	7.9	17.5	7.9	6.3	74.6
アフリカ	5	0	0	0	0	1	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0
北米	43	2	0	2	7	5	2	32
	100.0	4.7	0.0	4.7	16.3	11.6	4.7	74.4
南米	32	2	0	1	2	1	2	27
	100.0	6.3	0.0	3.1	6.3	3.1	6.3	84.4
オセアニア	10	0	0	1	1	0	1	8
	100.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	80.0
その他無回答	15	2	0	0	0	2	1	8
	100.0	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	53.3

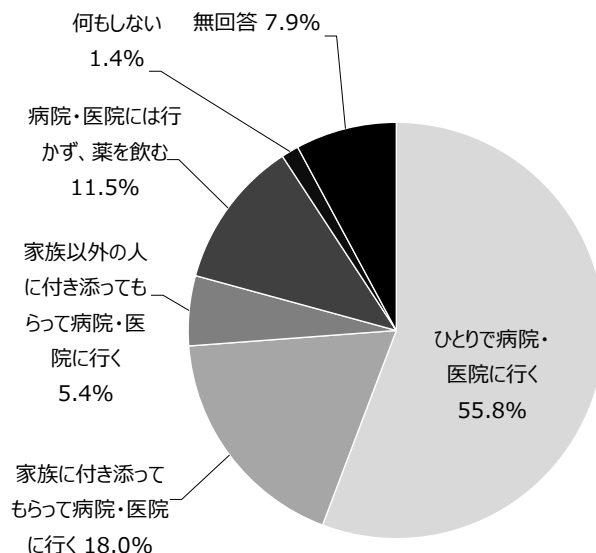
第4章 医療・保険・福祉

1 医療サービス

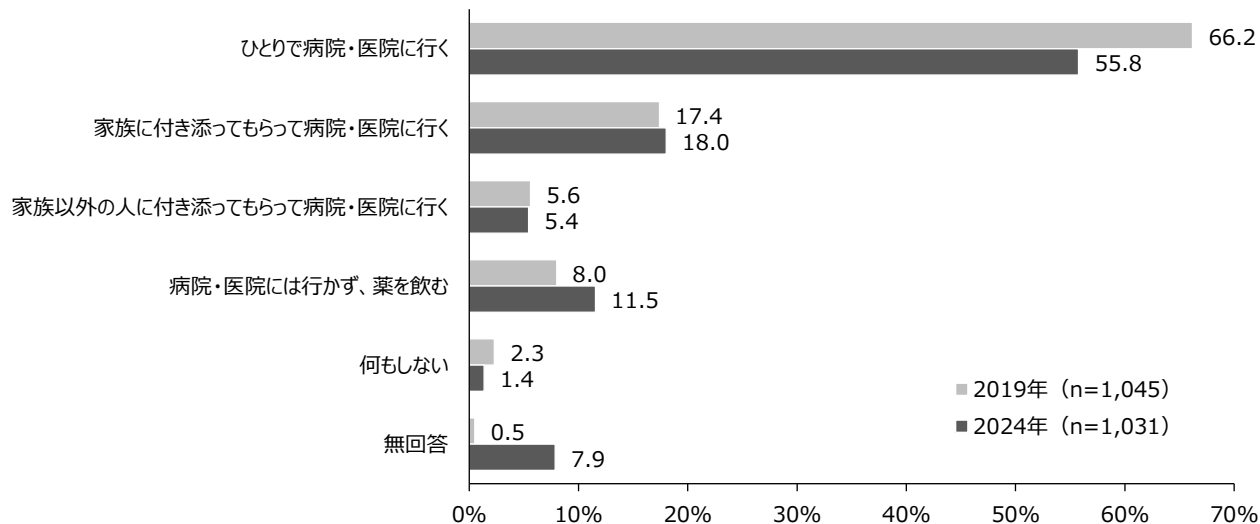
病気やケガをしたときの対応についてたずねたところ、「ひとりで病院・医院に行く」が55.8%で最も高く、次いで「家族に付き添ってもらって病院・医院に行く」が18.0%、「病院・医院には行かず、薬を飲む」が11.5%で続いている。「家族に付き添ってもらって病院・医院に行く」と「家族以外の人に付き添ってもらって病院・医院に行く」を合わせると23.4%となり、病院・医院には行くものの付き添いが必要という人は約4人に1人の割合となる。また、「病院・医院には行かず、薬を飲む」と「何もしない」を合わせると12.9%となり、約1割の人は病気やケガをしても病院・医院に行っていない。

前回調査と比較してみると、「ひとりで病院へ行く」は10.4ポイント減少しており、「病院・医院には行かず、薬を飲む」は3.5ポイント増加している。

■図表 50 病気やケガのときの対応 (n=1,031)



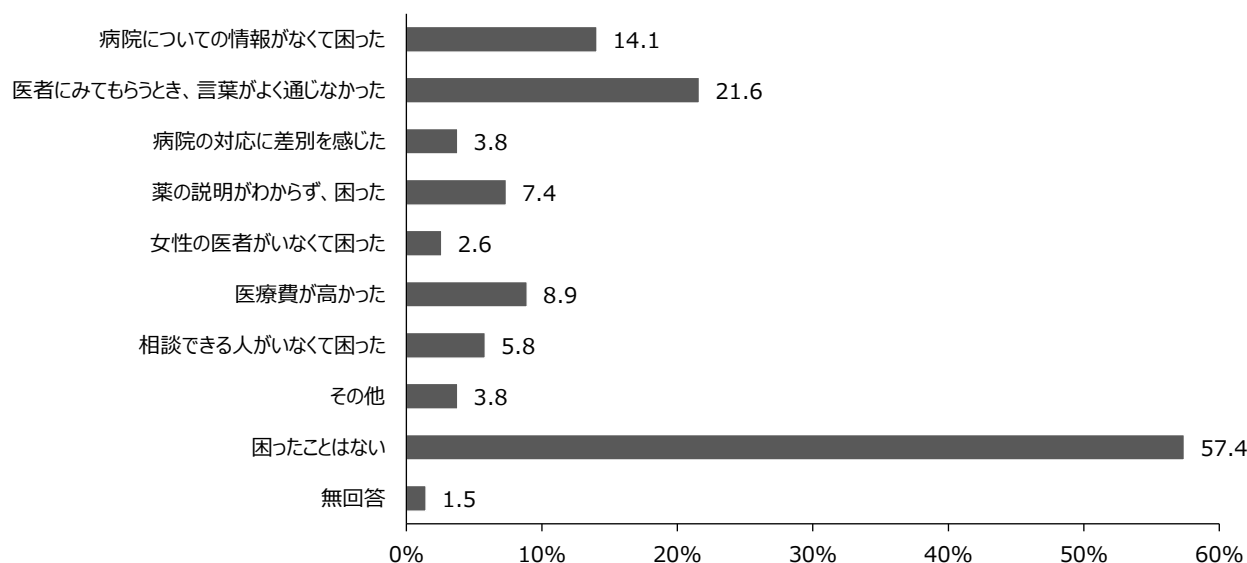
■【参考 30 2019 年調査との比較】



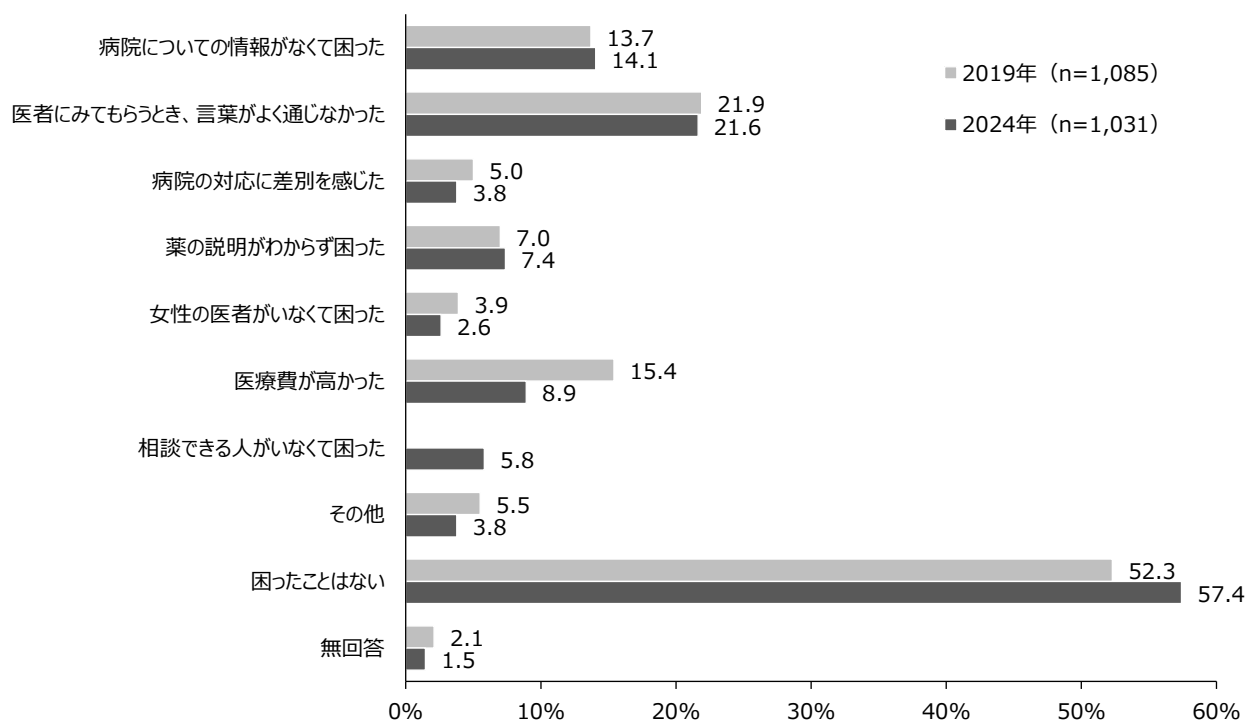
最近1年間で病気になったときに困った経験についてたずねたところ、「困ったことはない」が57.4%と6割近くを占めた。一方、困った経験では「医者にみてもらうとき、言葉がよく通じなかった」が21.6%で最も高く、次いで「病院についての情報がなくて困った」が14.1%であった。

前回調査と比較してみると、「困ったことはない」が5.1ポイント増加し、「医療費が高かった」は6.5ポイント減少している。困った経験として多く挙げられた「医者にみてもらうとき、言葉がよく通じなかった」では、変化はみられなかった。

■図表 51 最近1年間で病気になったときに困った経験 (n=1,031)



■【参考 31 2019 年調査との比較】

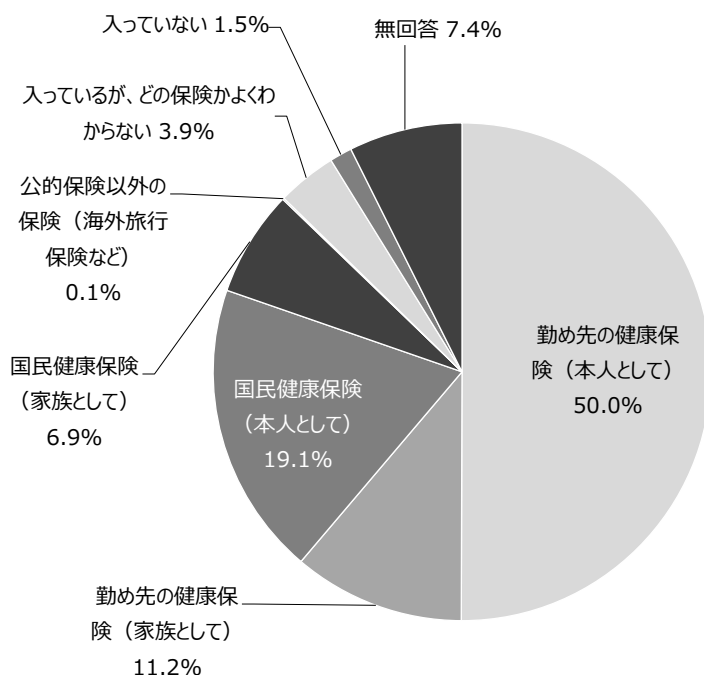


2 健康（医療）保険・年金

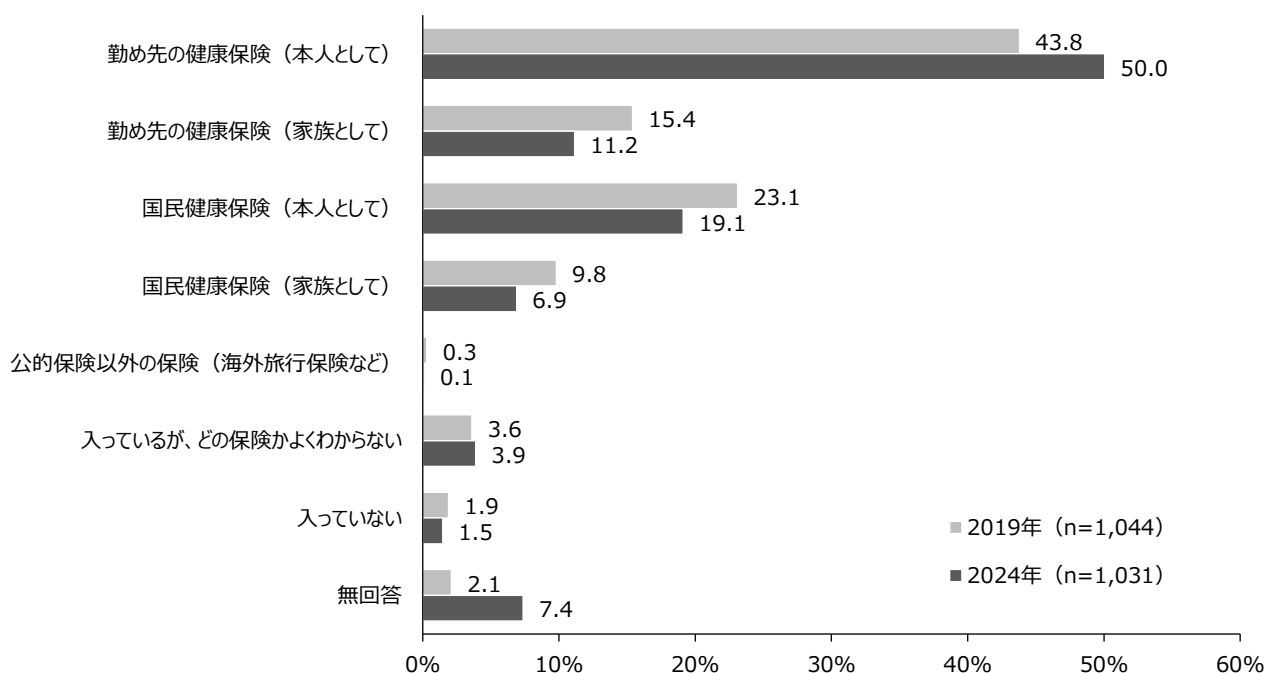
健康保険（医療保険）の加入状況と種類についてたずねたところ、「勤め先の保険（本人として）」が 50.0%、次いで「国民健康保険（本人として）」が 19.1%、「勤め先の保険（家族として）」が 11.2%、「国民健康保険（家族として）」が 6.9%と続いており、全体の約 9 割を占める。「入っていない」は 1.5%であった。

前回調査と比較してみると、「勤め先の保険（本人として）」が 6.2 ポイント増加し、「国民年金（本人として）」が 4.0 ポイント減少している。

■図表 52 健康保険の種類（n=1,031）



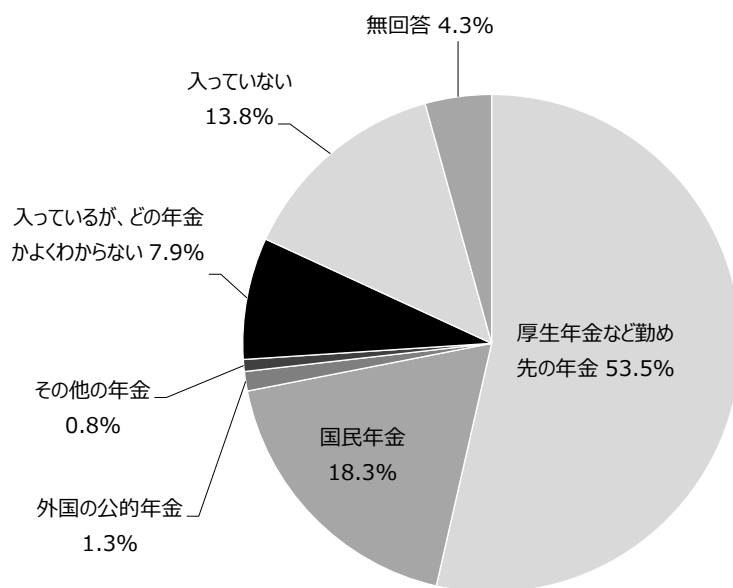
■【参考 32 2019 年調査との比較】



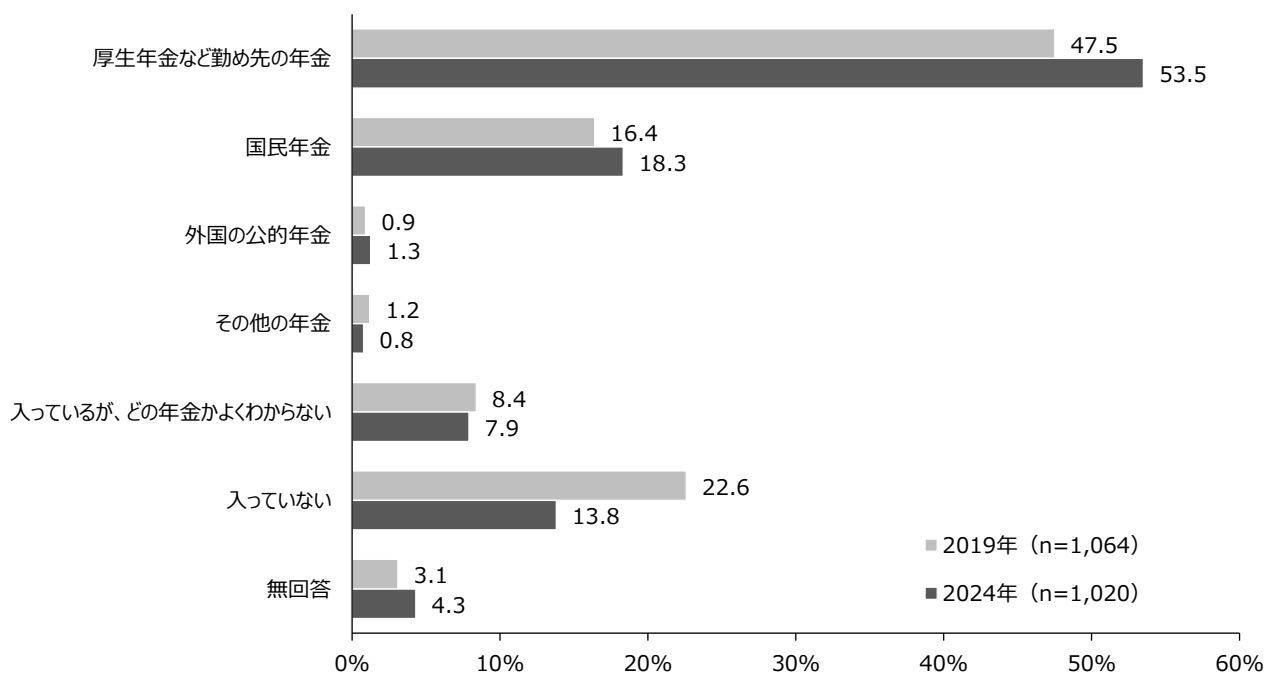
加入している年金の種類では、「厚生年金など勤め先の年金」が53.5%で最も高く、次いで「国民年金」が18.3%、「入っているが、どの年金がよくわからない」が7.9%と続いている。「入っていない」は13.8%であった。

前回調査と比較してみると、「厚生年金など勤め先の年金」が6.0ポイント、「国民年金」が1.9ポイント増加している。一方、「入っていない」では8.8ポイント減少しており、全体としては年金加入者の割合は増加している。

■図表 53 年金の種類 (n=1,020)



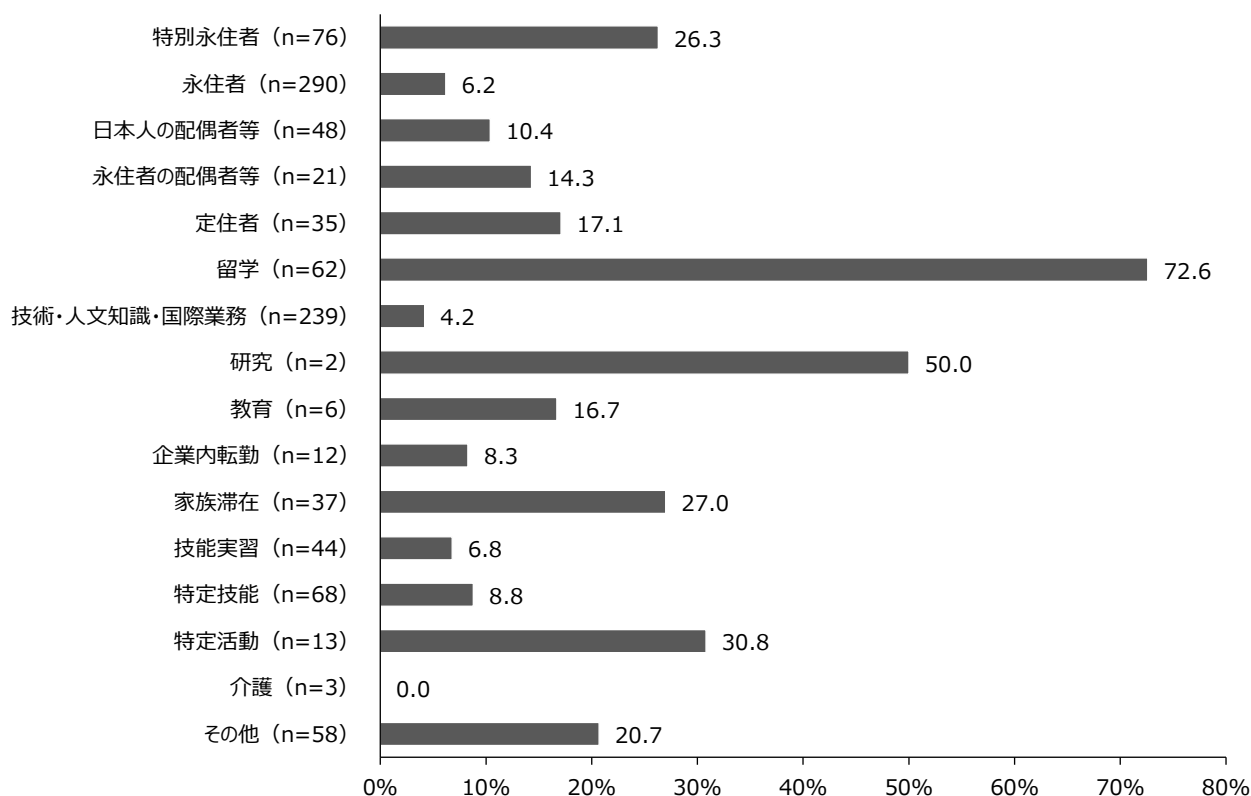
■【参考 33 2019 年調査との比較】



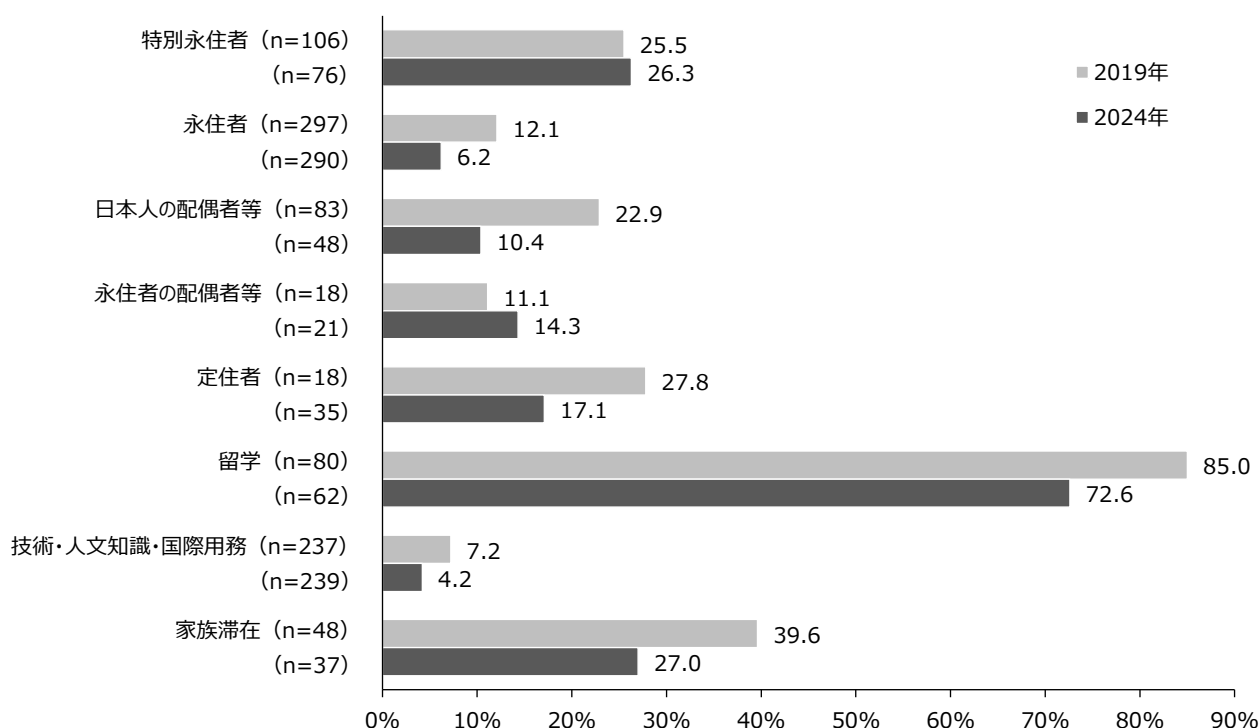
年金未加入者を在留資格別に見てみると、「留学」が 72.6%で最も高く、次いで「家族滞在」が 27.0%、「特別永住者」が 26.3%で続いている。

前回調査と比較してみると、「留学」は 12.4 ポイント、「家族滞在」は 12.6 ポイント減少しているが、一方で「特別永住者」は 0.8 ポイント増加している。

■図表 54 年金未加入者と在留資格の関係



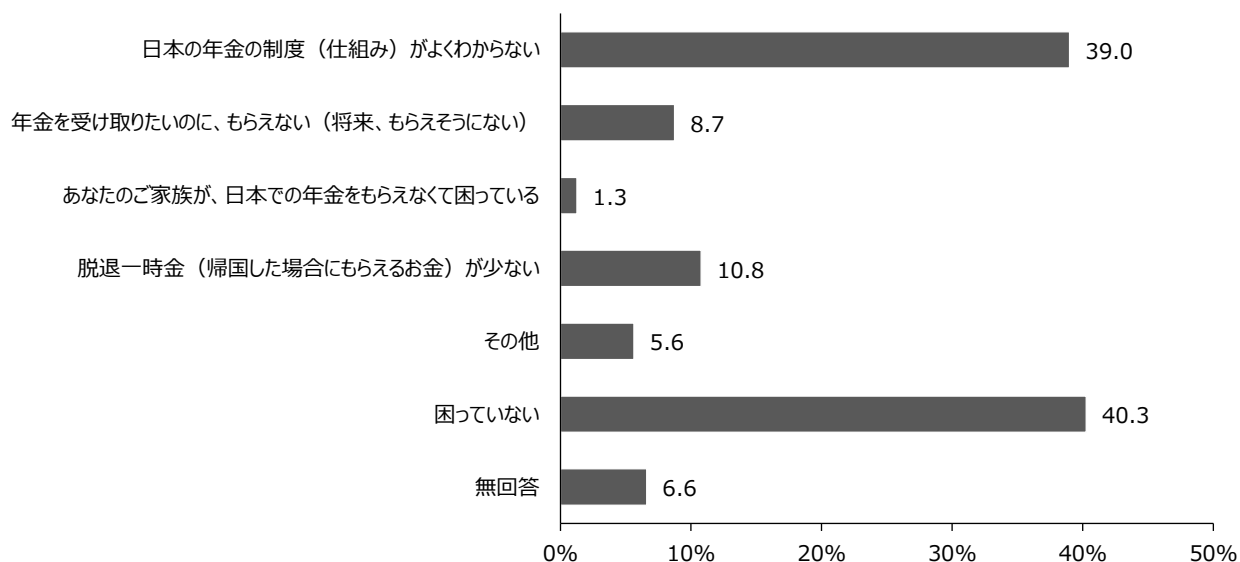
■【参考 34 2019 年調査との比較】



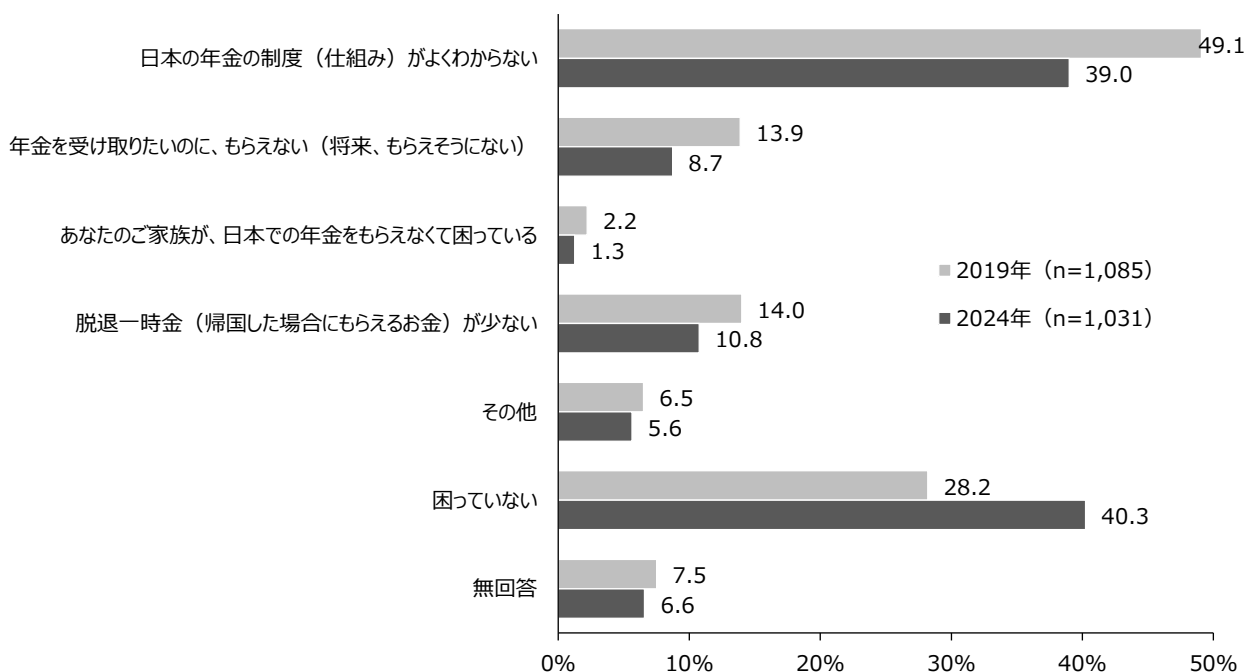
年金の受給について困っていることをたずねたところ、「困っていない」が40.3%、「日本の年金の制度（仕組み）がよくわからない」が39.0%でほぼ同じ割合だった。

前回調査と比較してみると、「困っていない」は12.1ポイント増加し、「日本の年金の制度（仕組み）がよくわからない」は10.1ポイント減少している。「脱退一時金（帰国した場合にもらえるお金）が少ない」は3.2ポイント減少しているが、これは制度の見直しによって2021年4月から上限が引き上げられたことによる影響かもしれない。

■図表 55 年金の受給について困っていること（MA、n=1,031）



■【参考 35 2019 年調査との比較】

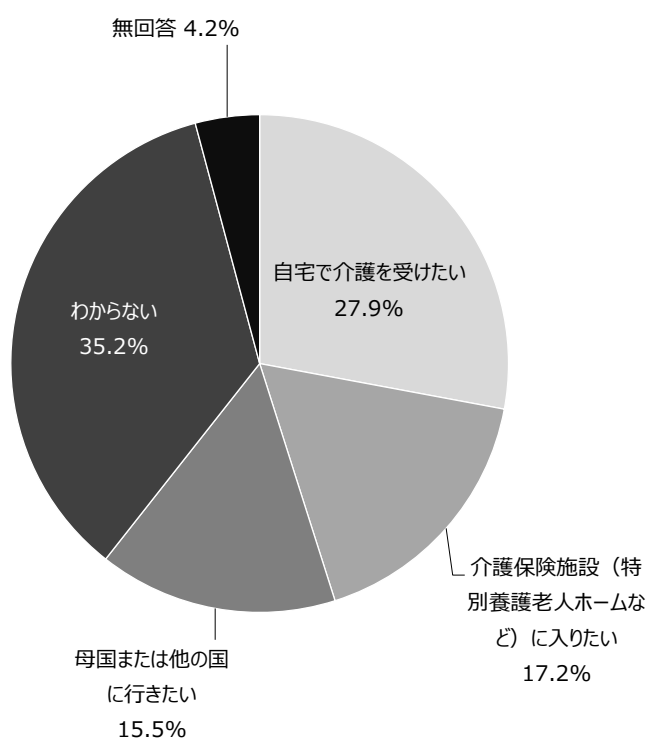


3 介護

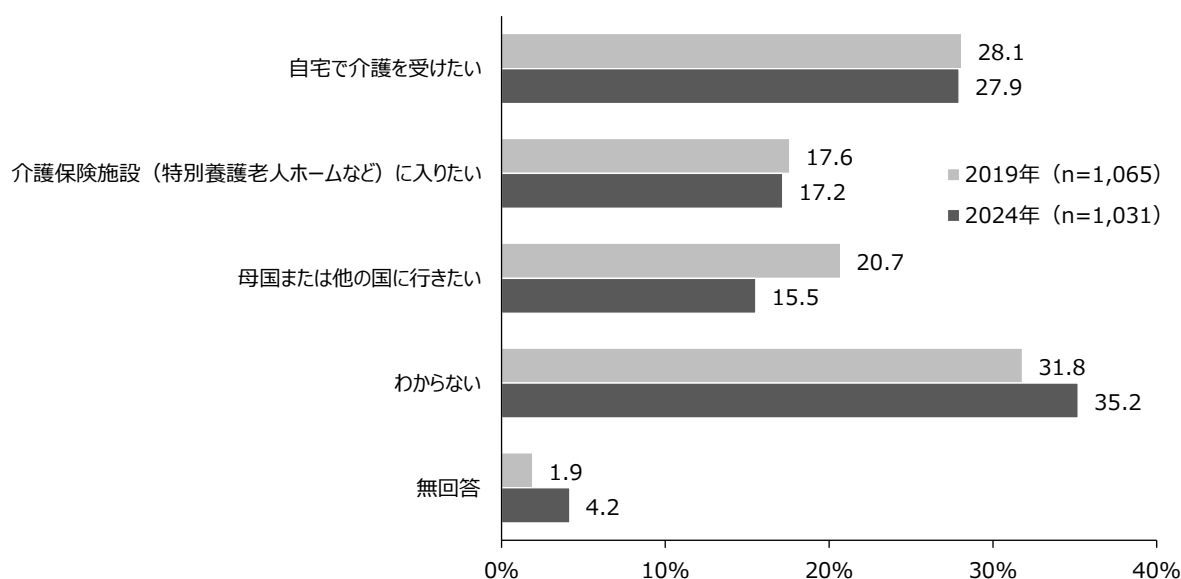
介護が必要になったら、どこで介護を受けたいかをたずねたところ、「わからない」が 35.2% で最も高く、次いで「自宅で介護を受けたい」が 27.9%、「介護施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が 17.2%、「母国または他の国に行きたい」が 15.5%で続いている。

前回調査と比較してみると、「自宅で介護を受けたい」と「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」はほぼ変わらないが、「母国または他の国に行きたい」が 5.2 ポイント減少し、「わからない」が 3.4 ポイント増加した。これは、老後も日本にとどまることを検討している人が増えたことを意味していると思われる。

■図表 56 介護が必要になったら、どこで介護を受けたいか（n=1,031）



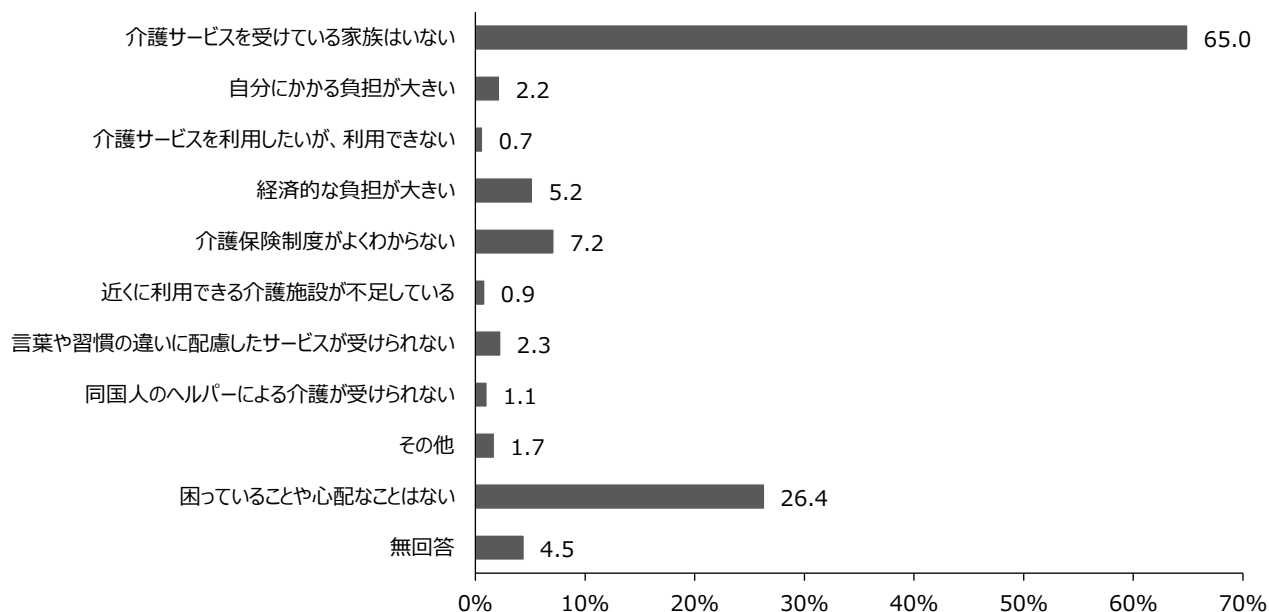
■【参考 36 2019 年調査との比較】



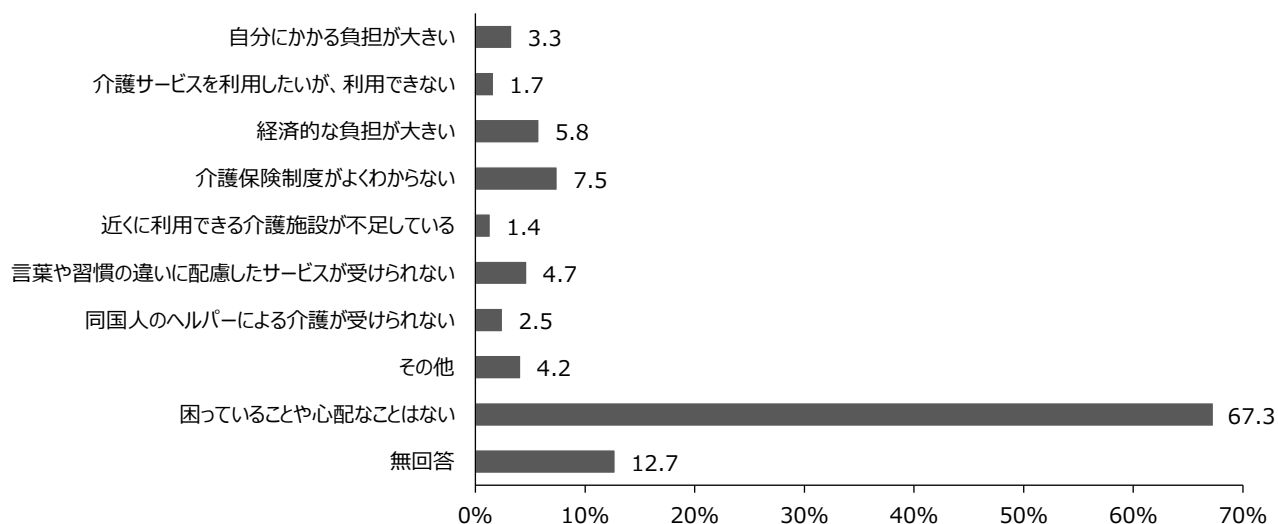
介護について困っていること、心配なことについてたずねたところ、65.0%の人が「介護サービスを受けている家族はいない」という回答だった。そこで、介護サービスを受けている家族がいる人のみで集計したところ、「困っていることや心配なことはない」が 67.3%で最も高く、次いで「介護保険制度がよくわからない」が 7.5%、「経済的な負担が大きい」が 5.8%で続いた。

■図表 57 介護について困っていること、心配なこと（MA、主な選択肢 3 つまで）

●全体（n=1,031）



●介護サービスを受けている家族がいる人（n=361）



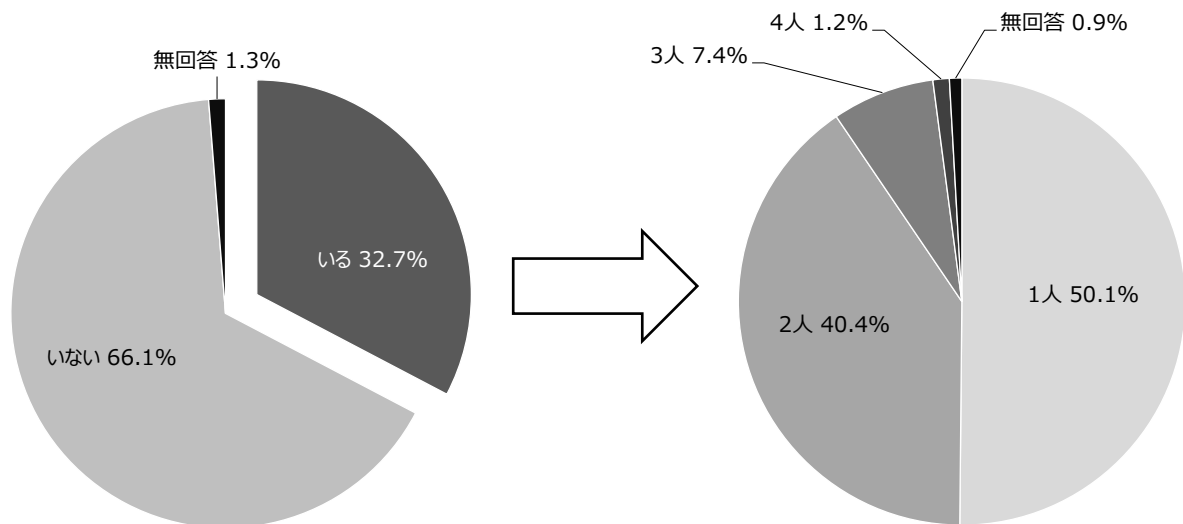
第5章 子育て・教育

1 同居している子どもの人数および保護者のプロフィール

今回の調査では、32.7%と回答者全体の約3割が25歳以下の子どもと同居している。同居している子どもの人数では、「1人」が50.1%、「2人」が40.4%で、合わせると約9割を占めている。

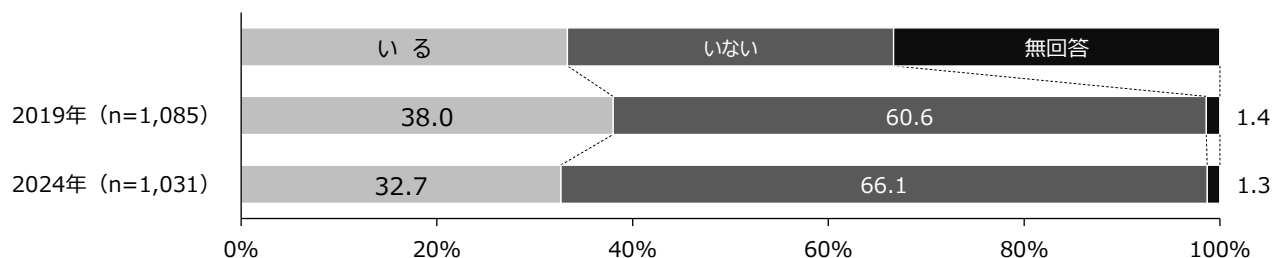
前回調査と比較してみると、同居している25歳以下の子どもがいる人は5.3ポイント減少した。同居している子どもの人数では、「1人」が10.3ポイント減少し、「2人」が8.1ポイント増加した。

■図表 58 同居している25歳以下の子どもの有無（n=1,031）と人数（337）

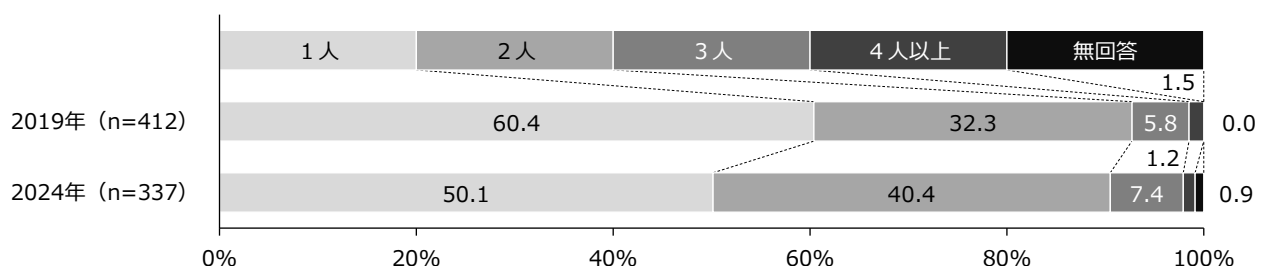


■【参考 37 2019年調査との比較】

●同居している25歳以下の子どもの有無



●同居している25歳以下の子どもの人数



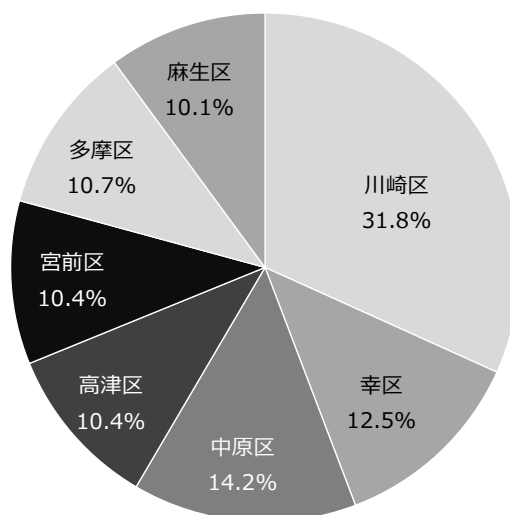
同居している 25 歳以下の子どもがいる人の国籍・地域を見ると、「中国」が 36.5%で最も高く、次いで「その他アジア」が 18.1%、「韓国・朝鮮」が 11.9%が続いている。性別を見ると、約 6 割が「女性」であった。

また、居住区別に見てみると、「川崎区」が 31.8%で最も高く、他区では「中原区」が 14.2%でやや高いものの、ほかはいずれも 1 割程度で並んだ。

■図表 59 同居している 25 歳以下の子どもがいる回答者の国籍・地域と性別内訳

国籍・地域	男 性	女 性	国籍・地域	男 性	女 性	国籍・地域	男 性	女 性
中 国	45	78	その他アジア	29	32	南 米	9	7
(n=123)	13.4	23.1	(n=61)	8.6	9.5	(n=16)	2.7	2.1
朝鮮・韓国	15	25	ヨーロッパ	7	6	オセアニア	4	0
(n=40)	4.5	7.4	(n=13)	2.1	1.8	(n=4)	1.2	0
フィリピン	9	29	アフリカ	0	1	その他無回答	0	0
(n=38)	2.7	8.6	(n=1)	0	0.3	(n=0)	0	0
ベトナム	11	19	北 米	8	3	合 計	137	200
(n=30)	3.3	5.6	(n=11)	2.4	0.9	(n=337)	40.7	59.3

■図表 60 同居している 25 歳以下の子どもがいる回答者の居住区別内訳 (n=337)

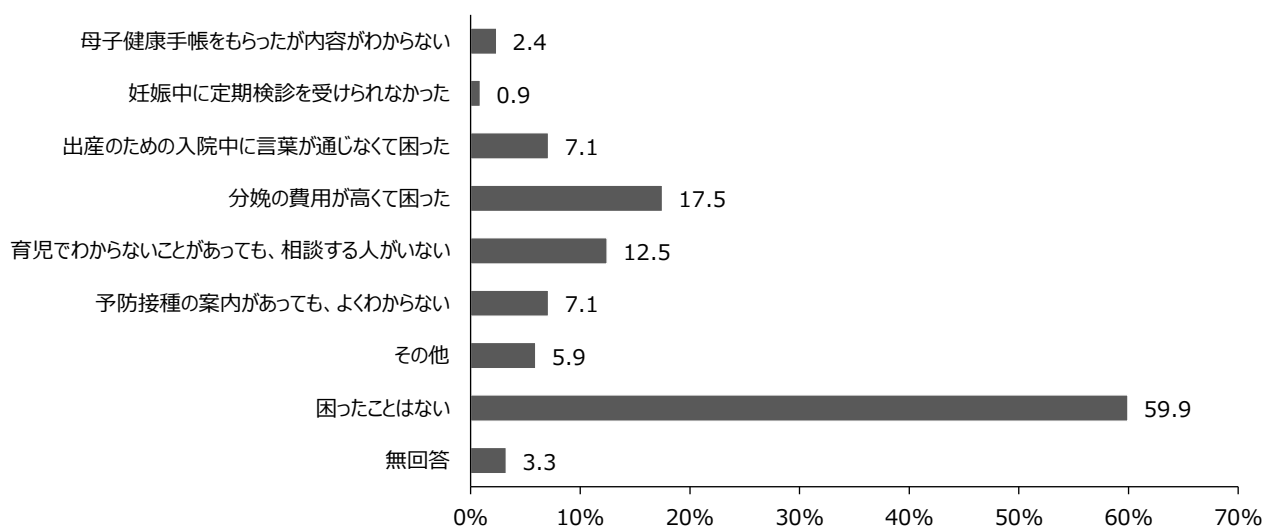


2 出産・育児

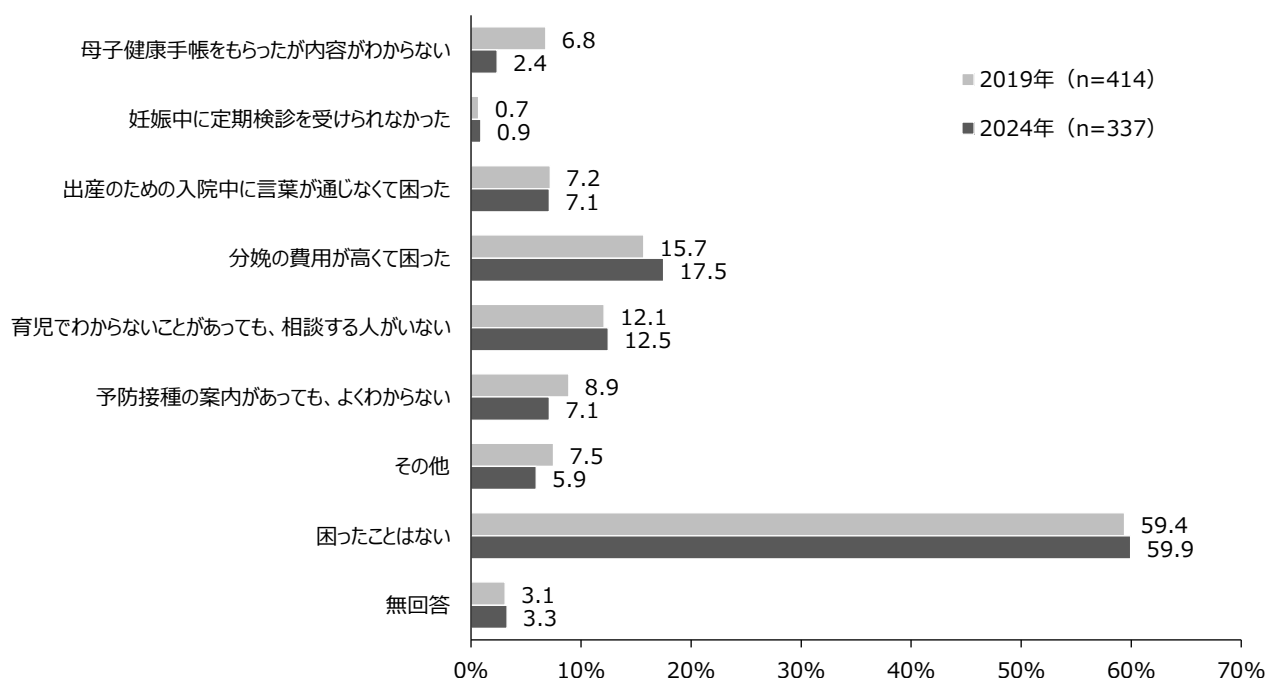
出産・育児で困ったことがあるかをたずねたところ、「困ったことはない」が 59.9%で最も高く、約 6 割を占めた。一方、困ったことでは「分娩の費用が高くて困った」が 17.5%で最も高く、次いで「育児でわからない事があっても、相談する人がいない」が 12.5%、他の困った経験では「予防接種の案内があっても、よくわからない」と「出産のための入院中に言葉が通じなくて困った」がともに 7.1%で続いている。

前回調査と比較してみると、「困ったことはない」はともに約 6 割で、4 割の人が困った経験をしていることがわかる。困ったことでは、「分娩費用が高くて困った」が 1.8 ポイント増加しているが、「母子健康手帳をもらったが内容がわからない」は 4.4 ポイント減少している。これは、日本語が不自由な人が希望した場合に外国語版母子健康手帳を交付していることの効果によるものかもしれない。

■図表 61 出産・育児で困ったこと (MA、n=337)



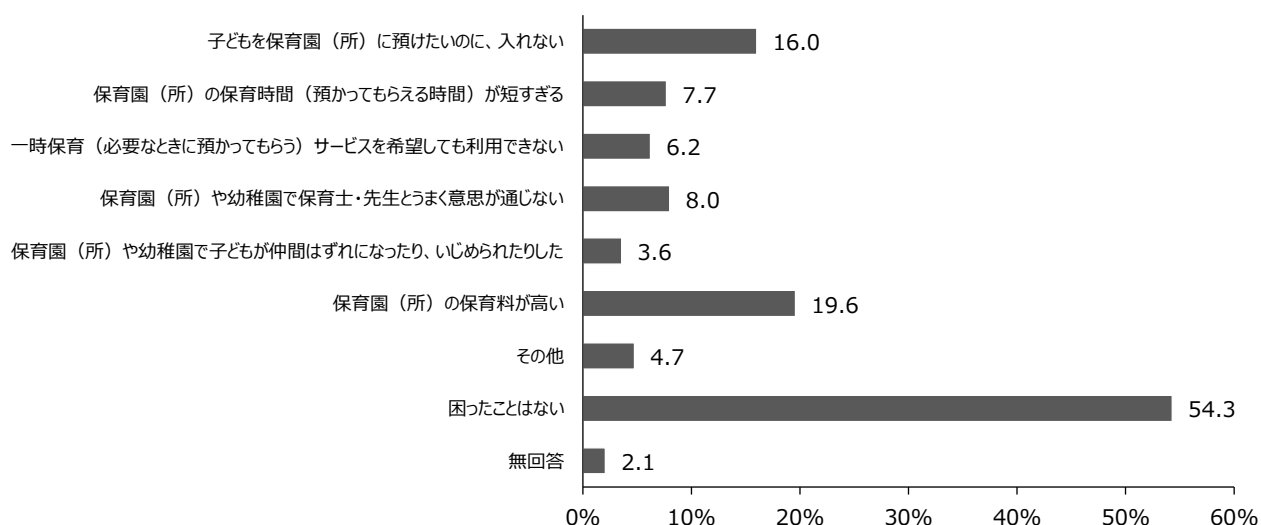
■【参考 38 2019 年調査との比較】



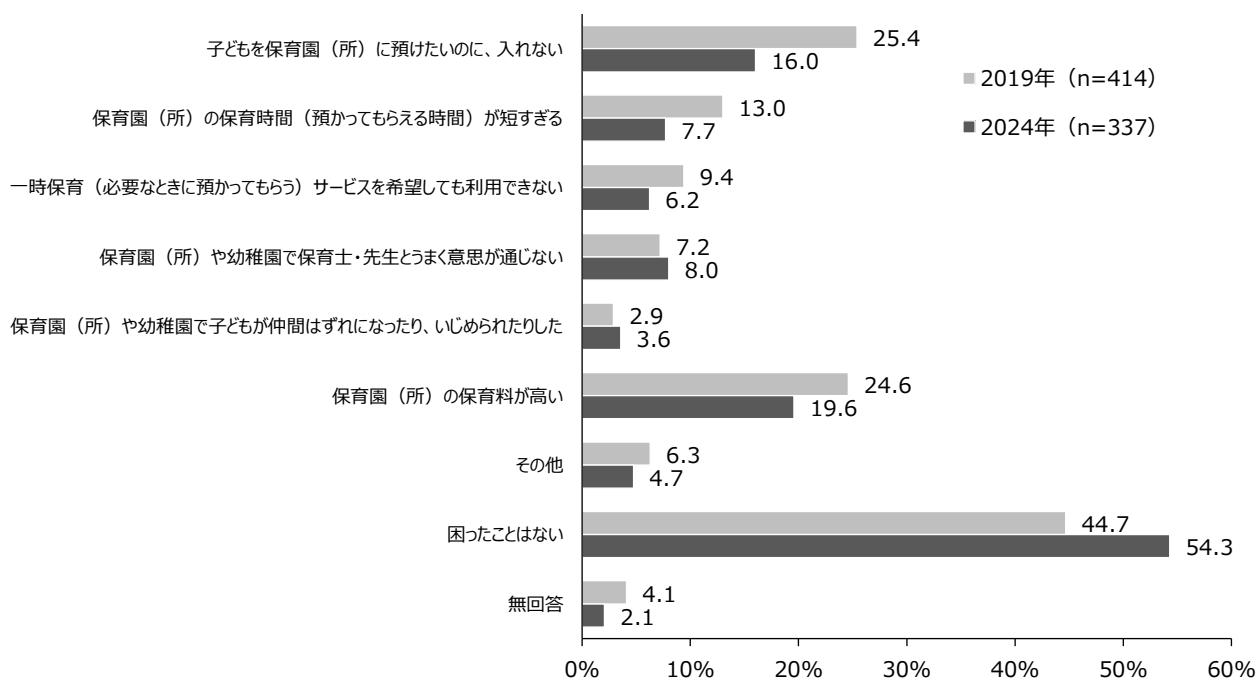
保育園（所）・幼稚園で困ったことがあるかをたずねたところ、「困ったことはない」が54.3%で最も高く、半数を超えた。一方、困ったことでは、「保育園（所）・幼稚園の保育料が高い」が19.6%で最も高く、次いで「子どもを保育園（所）に預けたいのに、入れない」が16.0%、「保育園（所）や幼稚園で保育士・先生とうまく意思が通じない」が8.0%で続いている。

前回調査と比較してみると、「困ったことはない」が9.6ポイント増加している。困った経験では、「子どもを保育園（所）に預けたいのに、入れない」が9.4ポイントと10ポイント近く減少している。また、「保育園（所）」の保育時間（預かってもらえる時間）が短すぎる」は5.3ポイント、「一時保育（必要なときに預かってもらう）サービスを希望しても利用できない」も3.2ポイント減少しており、市の施策や取組が効果をあげている様子が見えてくる。

■図表 62 保育園（所）・幼稚園で困った経験（MA、n=337）



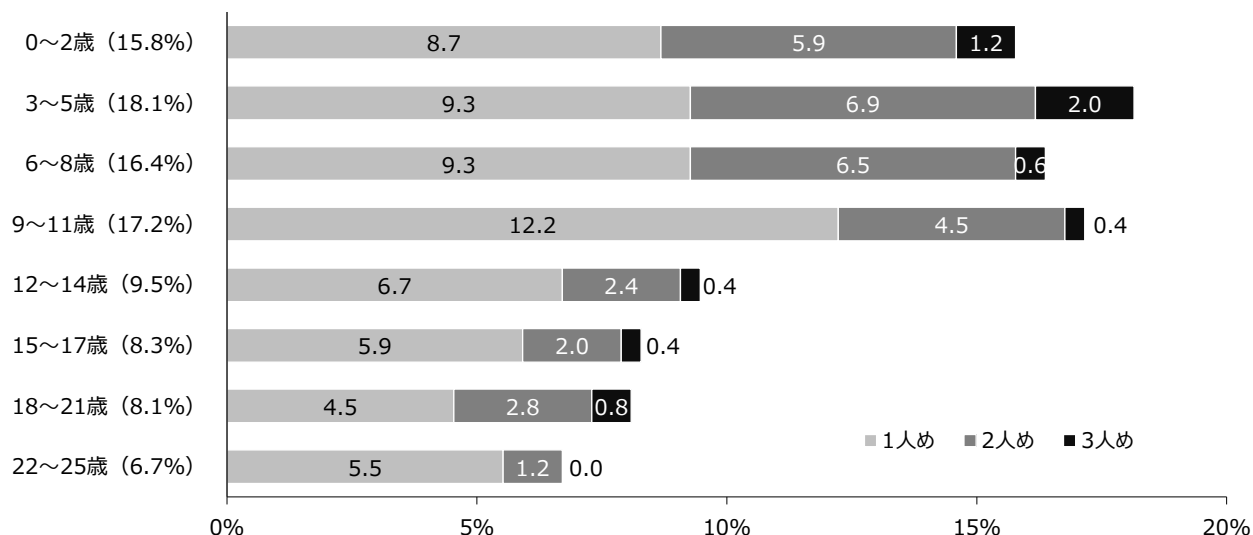
■【参考 39 2019 年調査との比較】



3 同居している子どもの属性

同居している子どもの年齢をたずねたところ、1人めの子どもでは「9～12歳」が12.2%で最も高く、次いで「3～5歳」と「6～8歳」がともに9.3%で続いた。2人めの子どもでは「3～5歳」が6.9%で最も高く、次いで「6～8歳」が6.5%、「0～2歳」が5.9%で続いている。3人めの子どもでは、該当者は29人と少ないが「3歳～5歳」が2.0%で最も高かった。

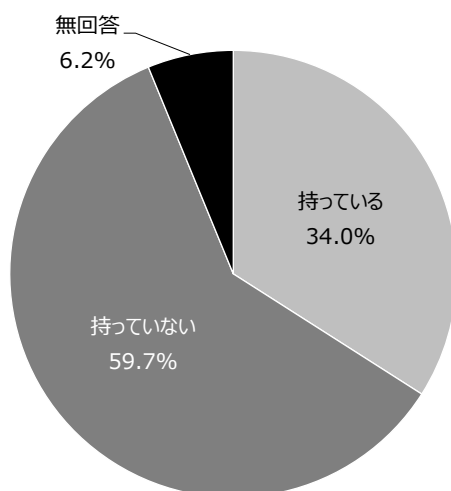
■図表 63 同居している子どもの年齢（MA、n=507）



※パーセンテージ（%）は年齢が明らかな子ども（1人め：315人・2人め：163人・3人め：29人）の合計507人に占める割合

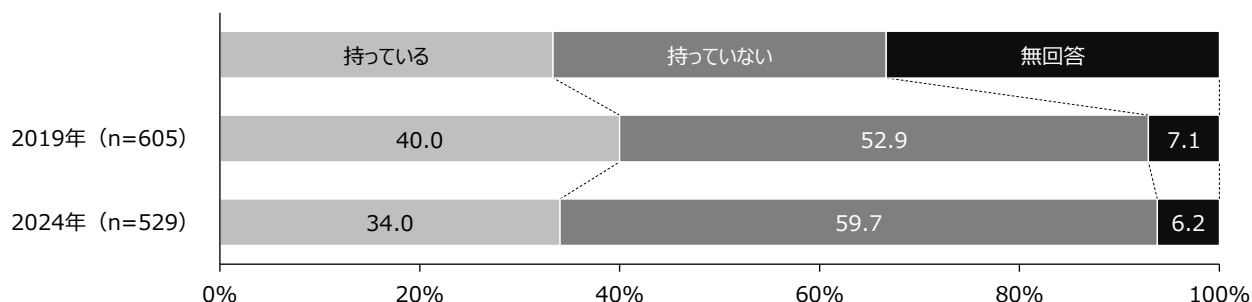
同居している子どもの日本国籍の有無について見てみると、「持っていない」が59.7%、「持っている」が34.0%であった。

■図表 64 日本国籍の有無（n=529）



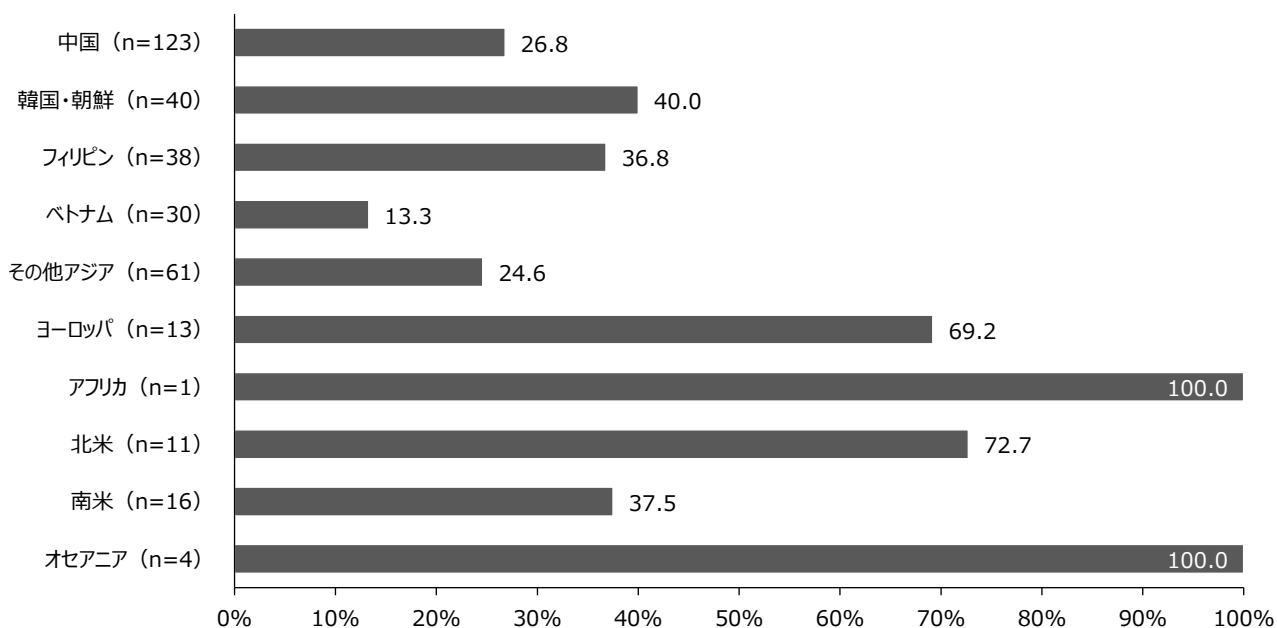
前回調査と比較してみると、日本国籍を「持っている」が 6.0 ポイント減少し、「持っていない」が 6.8 ポイント増加した。なお、2014 年に実施した前々回の調査では、「持っている」は 50.7% だったので、10 年前と比べると日本国籍を「持っている」は 16.7 ポイントと大きく減少している。これは、両親ともに外国籍という子どもが増えていることを意味している。

■【参考 40 2019 年調査との比較】



親の国籍・地域と子どもが日本国籍を持っているとの関係について、1 人めに着目して見てみると、母数の少ない「アフリカ」と「オセアニア」を除くと「北米」が 72.7% で最も高く、次いで「ヨーロッパ」が 69.2% となっており、「北米」と「ヨーロッパ」のみ半数を超えている。

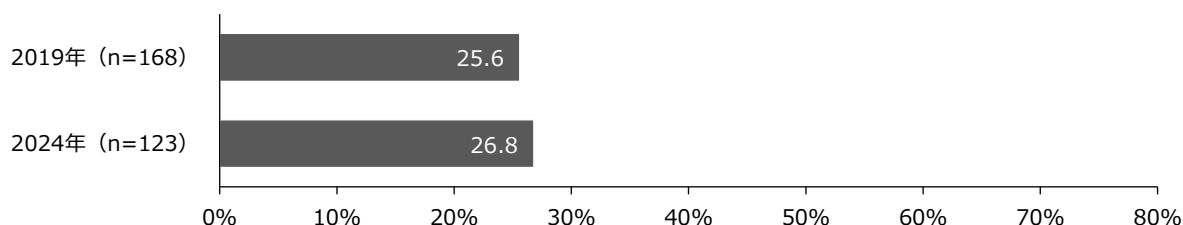
■図表 65 親の国籍・地域と子どもが日本国籍を持っているとの関係（1 人め、n=337）



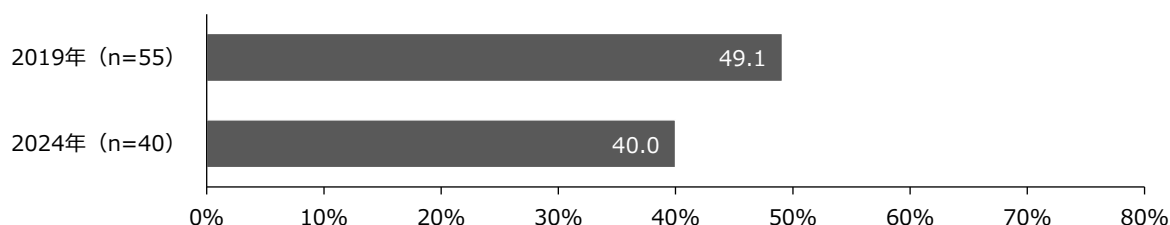
前回調査と比較してみると、日本国籍を持っている子どもは「中国」ではほぼ変化がなく、「韓国・朝鮮」では 9.1 ポイント減少し、「フィリピン」では 26.1 ポイントと大きく減少している。一方、「南米」では 19.3 ポイントと日本国籍を持っている子どもの割合が大きく増加している。

■【参考 41 2019 年調査との比較】

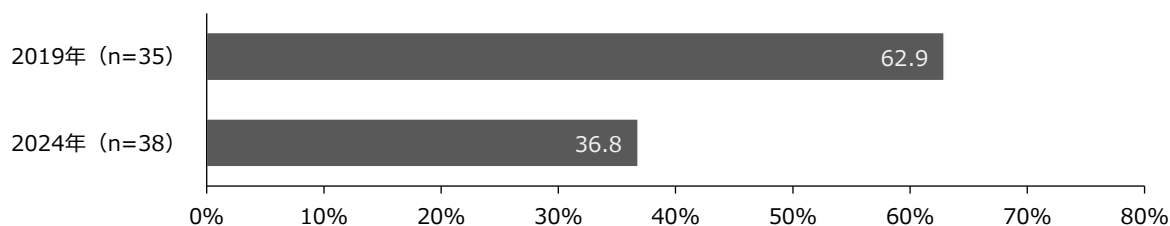
●中国



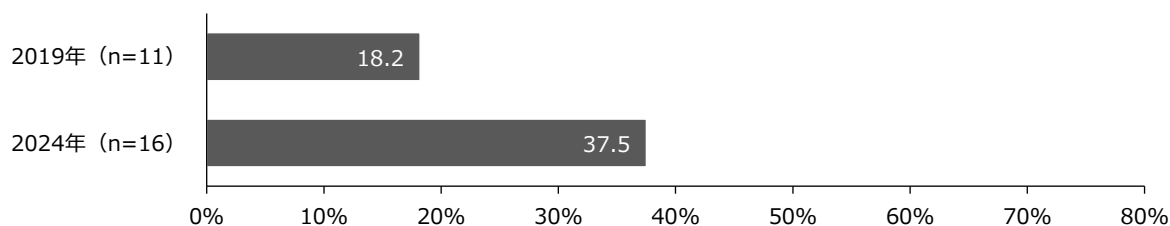
●韓国・朝鮮



●フィリピン

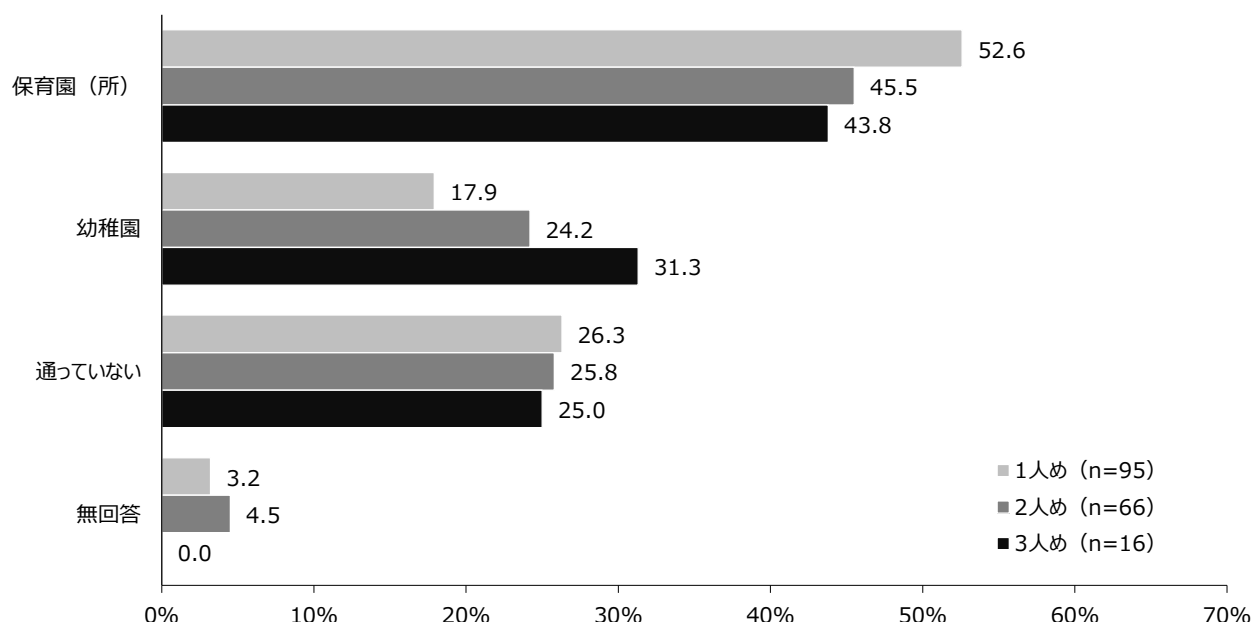


●南米



同居する子どもについて、就学前の子どもが通っている学校または施設をたずねたところ、「1人め」「2人め」「3人め」のいずれでも「保育園（所）」が最も高く4割以上を占めた。また、「1人め」「2人め」「3人め」のいずれでも「通っていない」が約25.0%ほどおり、4人に1人は保育園（所）にも幼稚園にも通っていないという結果であった。

■図表 66 通っている学校または施設（1）就学前0～6歳



0歳から6歳の就学前の子どもの年齢と通っている学校または施設との関係について見てみると「通っていない」の大半は「0歳」と「1歳」で、「3歳」以上では「通っていない」はいなくなる。

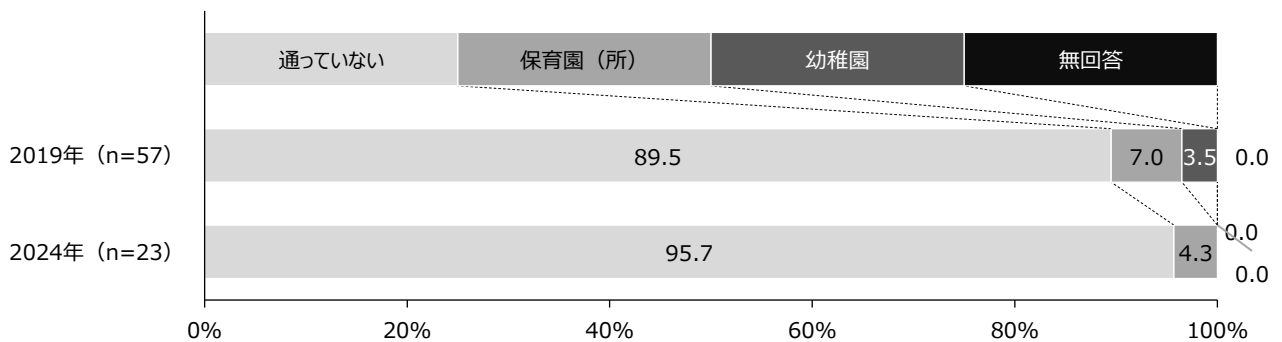
前回調査との比較では、「0歳」と「1歳」では「通っていない」が増加しているものの、「2歳」以上では「通っていない」が減少している。「保育園（所）」と「幼稚園」の割合に関しては、年齢によって大小が異なり、傾向や特徴はみられなかった。

■図表 67 就学前の子どもの年齢と通っている施設との関係

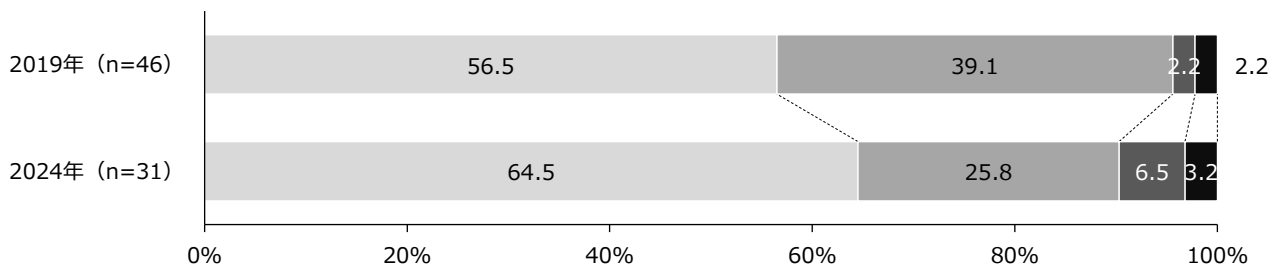
年 齢	(n) 割 合	通 っ て い な い	保 育 園 (所)	幼 稚 園	無 回 答
合 計	177	46	87	38	6
	100.0	26.0	49.2	21.5	3.4
0 歳	23	22	1	0	0
	100.0	95.7	4.3	0.0	0.0
1 歳	31	20	8	2	1
	100.0	64.5	25.8	6.5	3.2
2 歳	26	4	21	1	0
	100.0	15.4	80.8	3.8	0.0
3 歳	28	0	20	7	1
	100.0	0.0	71.4	25.0	3.6
4 歳	29	0	19	10	0
	100.0	0.0	65.5	34.5	0.0
5 歳	33	0	15	15	3
	100.0	0.0	45.5	45.5	9.1
6 歳	7	0	3	3	1
	100.0	0.0	42.9	42.9	14.3

■【参考 42 2019 年調査との比較】

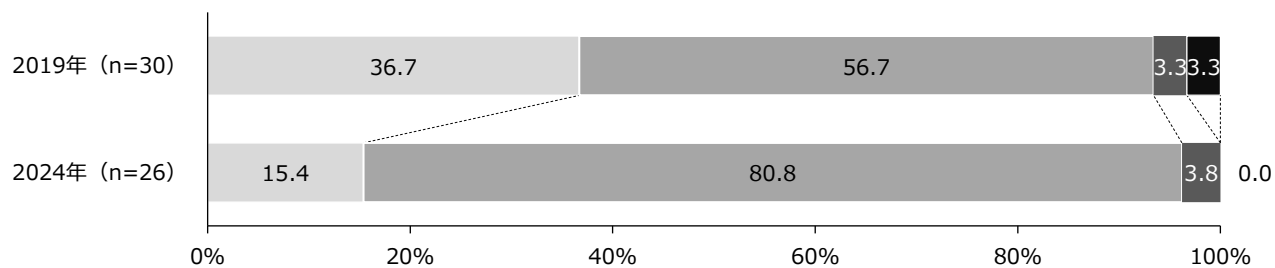
●0 歳



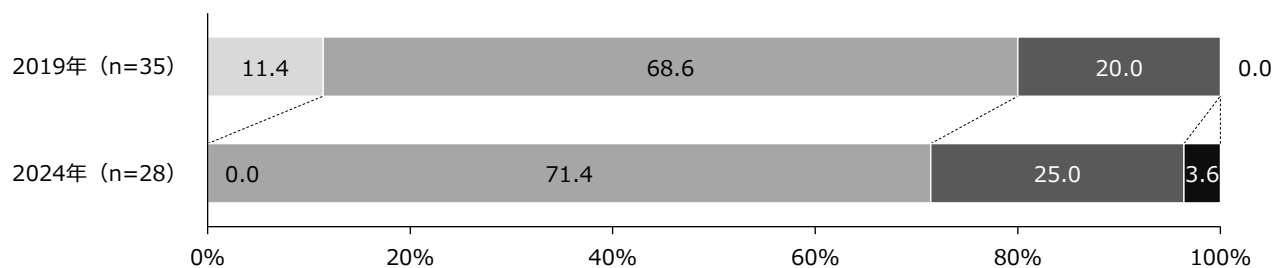
●1 歳



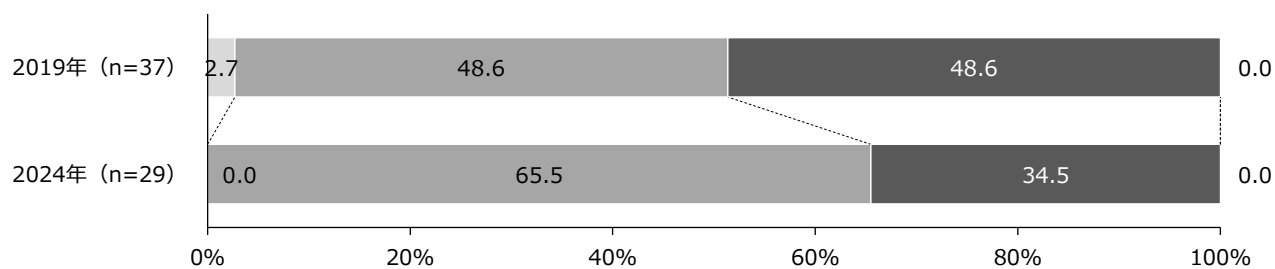
● 2 歳



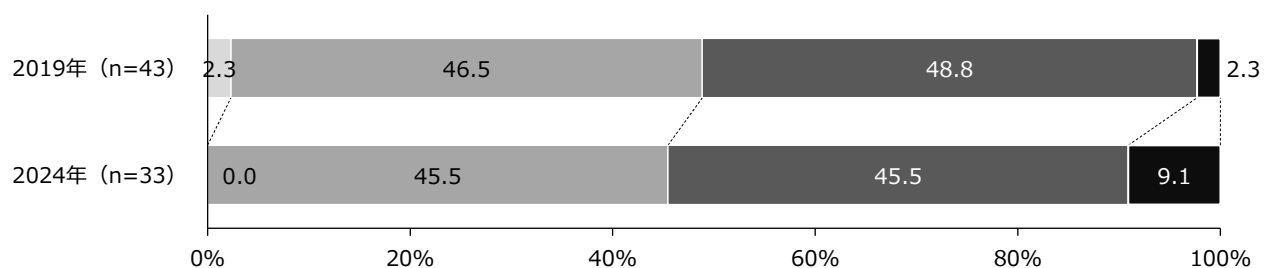
● 3 歳



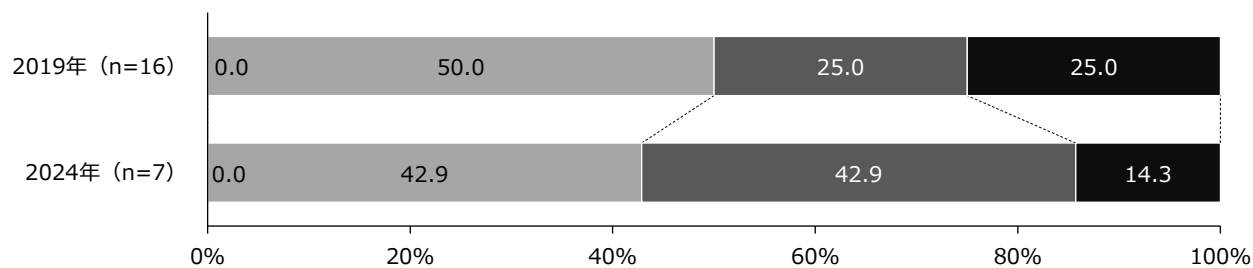
● 4 歳



● 5 歳



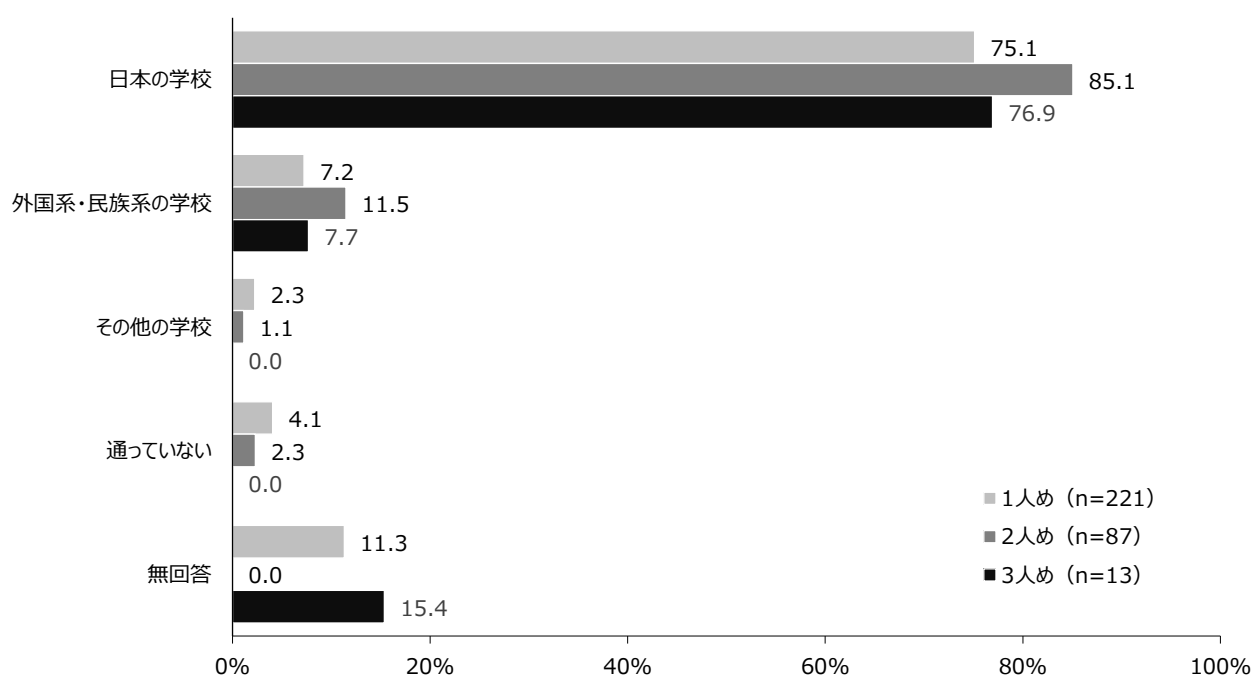
● 6 歳



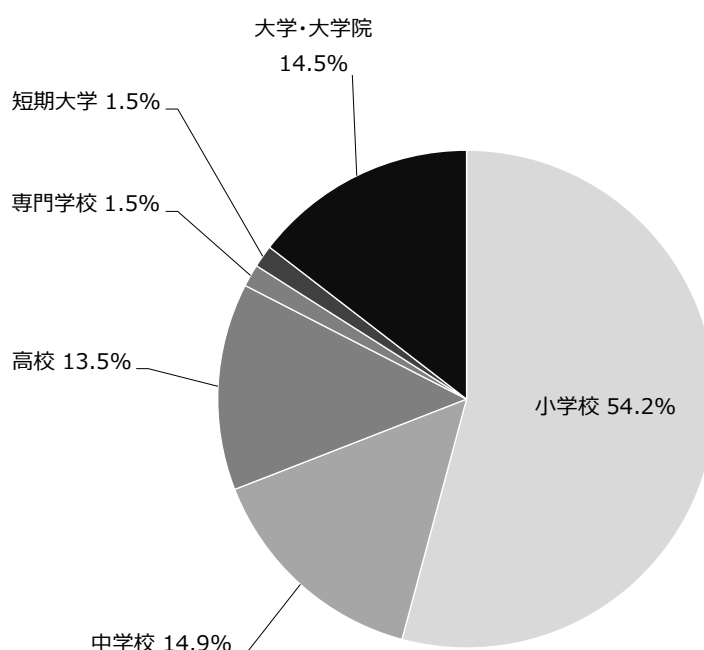
同居する子どもについて、就学年齢の子どもが通っている学校または施設をたずねたところ、「1人め」「2人め」「3人め」のいずれでも「日本の学校」が最も高く、7割以上を占めた。また、「1人め」「2人め」「3人め」のいずれでも「外国系・民族系の学校」が1割前後いる。

学校の内訳を見てみると、「小学校」が54.2%で半分以上を占めた。なお、「高校」は37人で、そのうち全日制が31人、定時制が3人、通信制が2人、無回答が1人であった。

■図表 68 通っている学校または施設（2）就学後 6～25 歳



■図表 69 通学する学校の内訳（n=275）

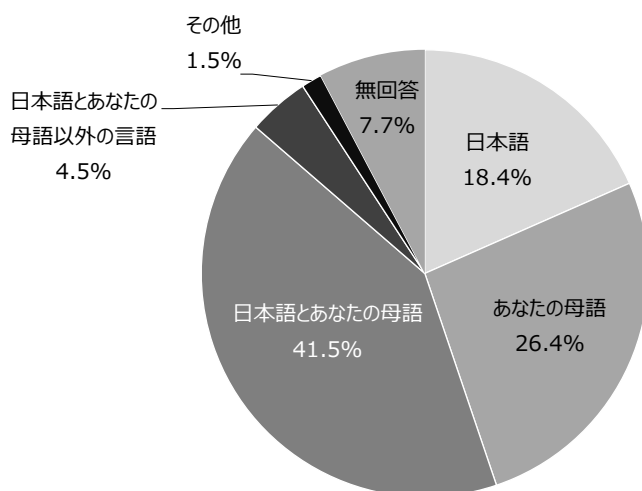


4 家庭で話す言語

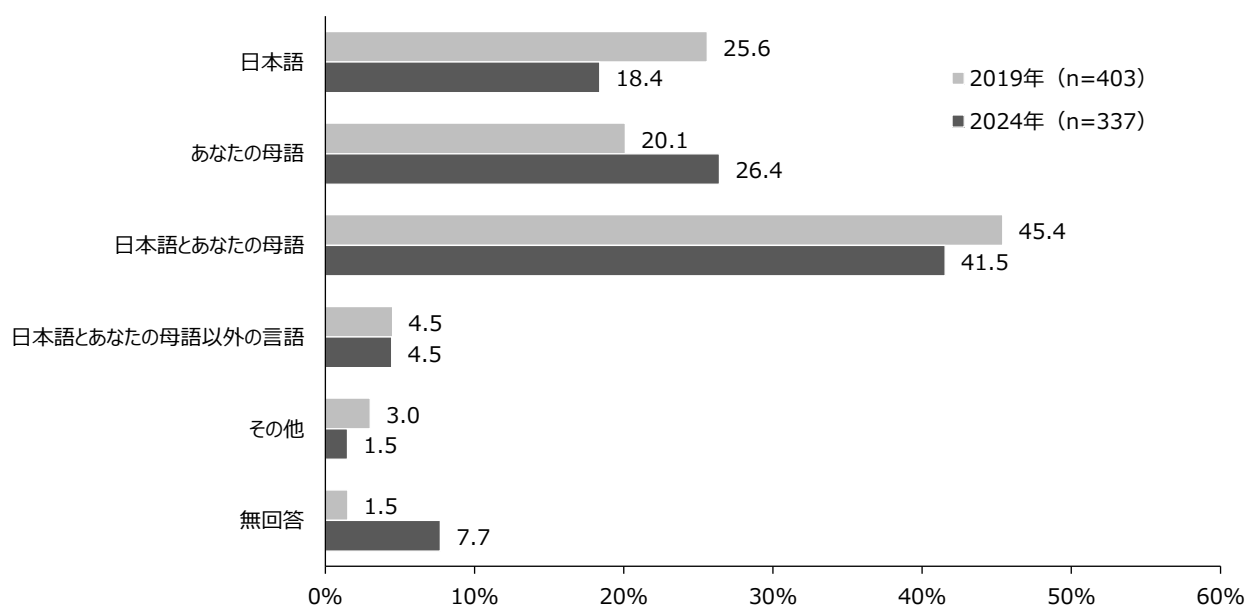
子どもと家庭で話す言語についてたずねたところ、「日本語とあなたの母語」が 41.5%で最も高く、次いで「あなたの母語」が 26.4%、「日本語」が 18.4%で続いている。

前回調査と比較してみると、それぞれ「日本語」が 7.2 ポイント、「日本語とあなたの母語」が 3.9 ポイント減少しており、「あなたの母語」は 6.3 ポイント増加している。これは、外国籍同士の配偶者・パートナーの割合が年々増加していることが影響しているものと思われ、子どもが家庭内で日本語にふれる機会がないという家庭の割合が増加している。

■図表 70 家庭で話す言語 (n=337)



■【参考 43 2019 年調査との比較】

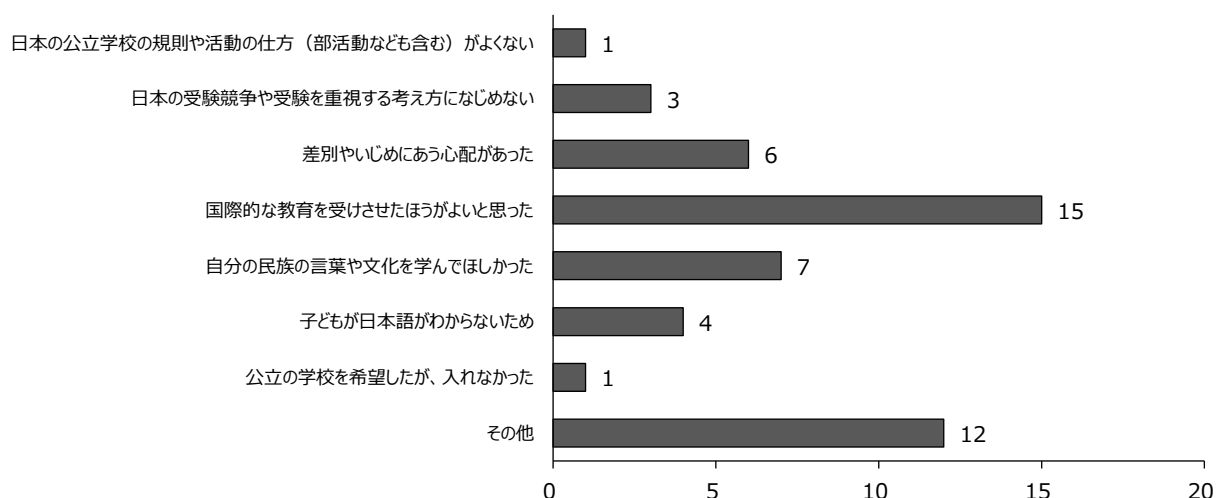


5 学校教育について

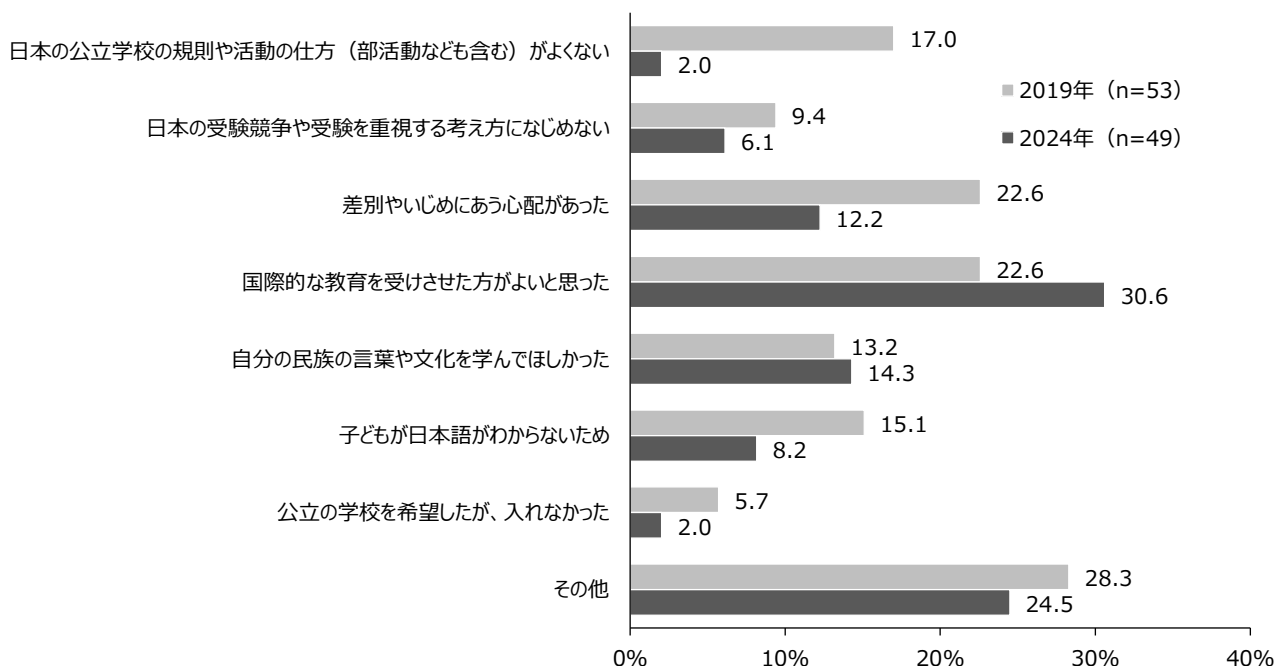
学校教育について、子どもが公立の小・中学校に通っていない（通わなかった）と回答した人にその理由をたずねたところ、「国際的な教育を受けさせた方がよいと思った」が15人で最も多く、次いで「自分の民族の言葉や文化を学んでほしかった」が7人、「差別やいじめにあう心配があった」が6人と続いた。また、少数ではあるが「日本の公立学校の規則や活動の仕方がよくない」「公立の学校を希望したが入れなかった」がそれぞれ1人いた。

前回調査と比較してみると、「日本の公立学校の規則や活動の仕方がよくない」は15.0ポイント、「差別やいじめにあう心配があった」は10.4ポイント、「子どもが日本語がわからないため」は6.9ポイントと、大きく減少している。一方、「国際的な教育を受けさせた方がよいと思った」は8.0ポイント増加した。

■図表 71 公立の小・中学校に通っていない（通わなかった）理由（MA、n=49）※数値は実数



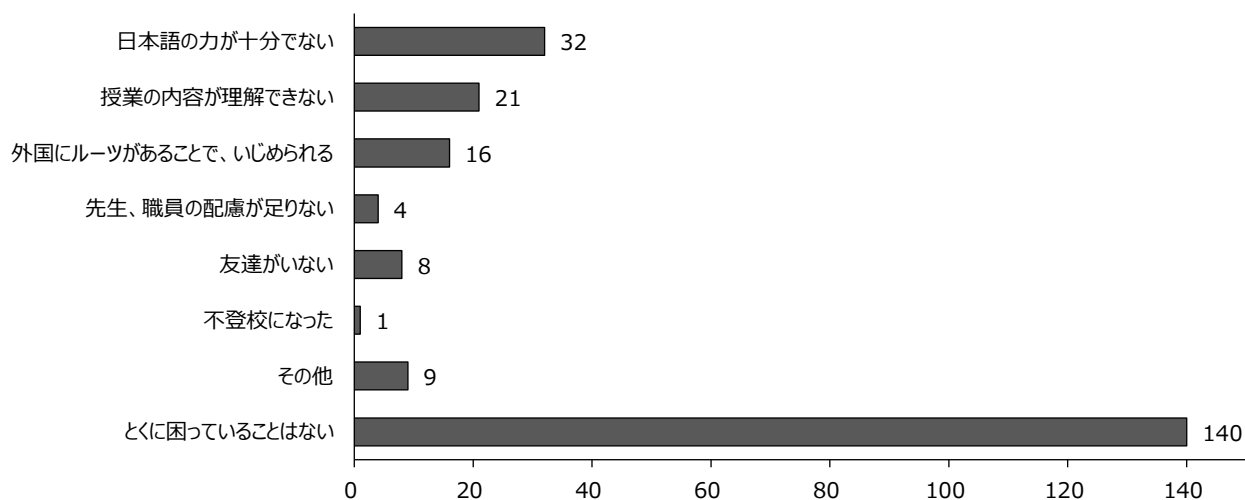
■【参考 44 2019 年調査との比較】



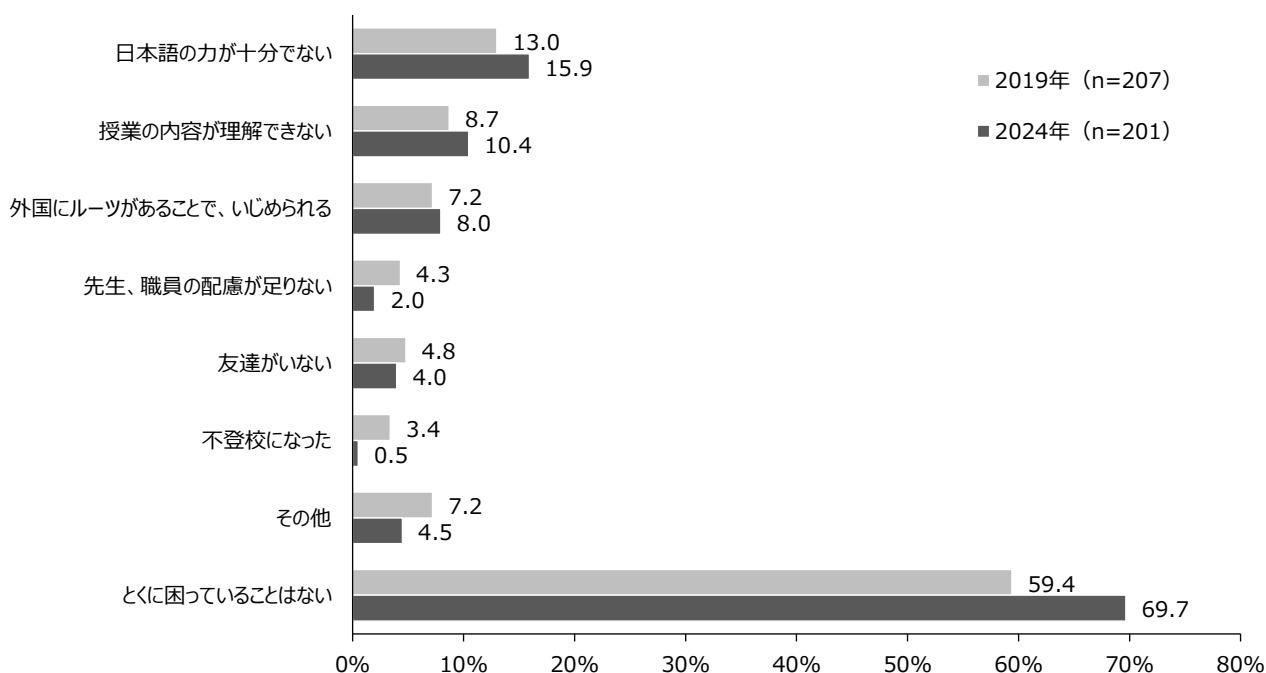
次に、子どもが学校で困っていることをたずねたところ、「日本語の力が十分でない」が32人で最も多く、次いで「授業の内容が理解できない」が21人で続いており、言語面と学習面で課題を抱えている子どもが多いことがうかがえる。また、「とくに困っていることはない」は140人で約7割を占めるが、保護者が子どもが学校で困っていることを必ずしも把握していない可能性もあることには留意する必要がある。

前回調査と比較してみると、言語面の問題である「日本語の力が十分でない」で2.9ポイント、学習面の問題である「授業の内容が理解できない」で1.7ポイント増加している。一方、「不登校になった」で2.9ポイント、「先生・職員の配慮が足りない」で2.3ポイント、「友達がいない」で0.8ポイント減少しており、わずかではあるが人間関係の悩みは減っているといえる。

■図表 72 子どもが学校で困っていること (MA、n=201) ※数値は実数



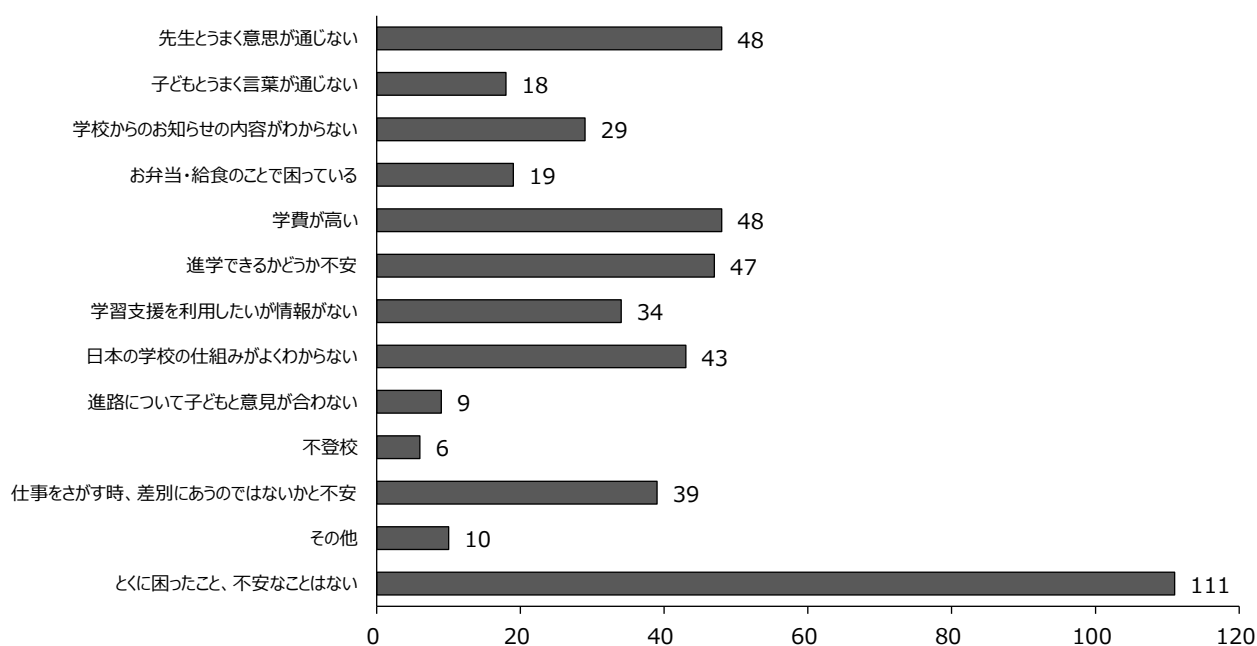
■【参考 45 2019 年調査との比較】



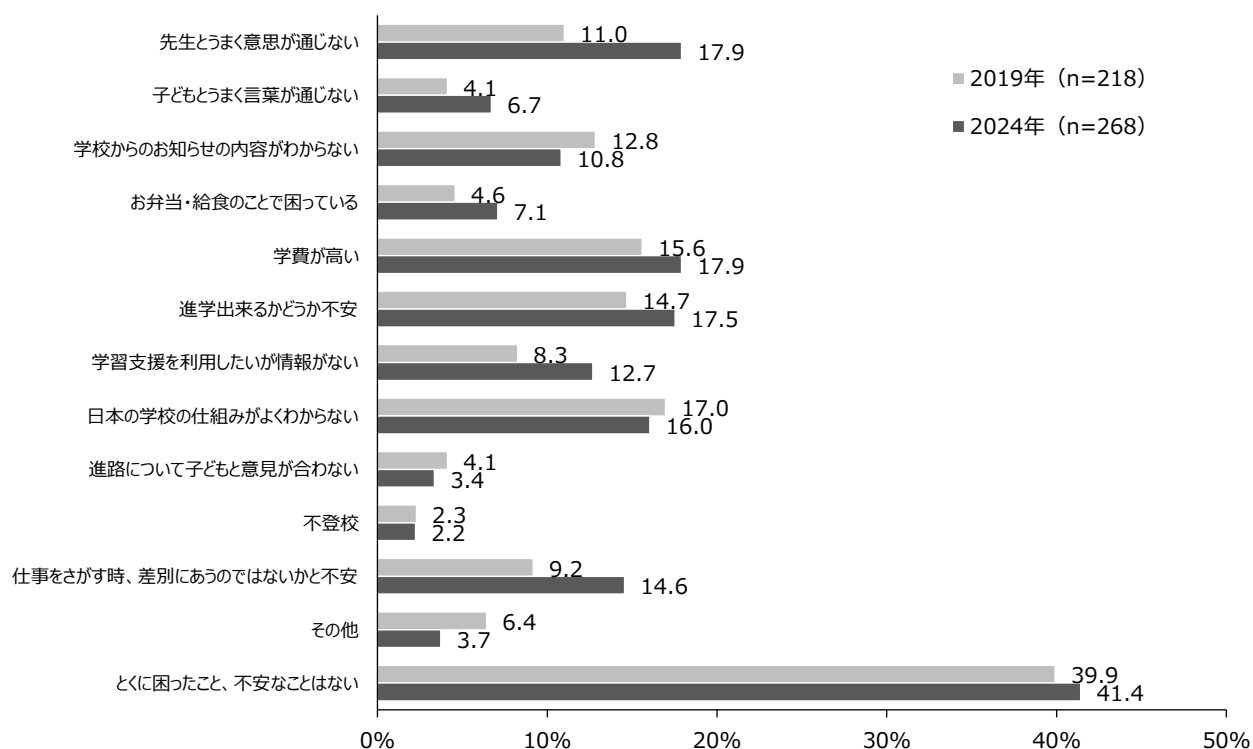
保護者として子どもの学校と進路について困っていることをたずねたところ、「先生とうまく意思が通じない」と「学費が高い」がともに48人で最も多かった。次いで「進学できるかどうか不安」が47人、「日本の学校の仕組みがよくわからない」が43人と続いている。

前回調査と比較してみると、「先生とうまく意思が通じない」が6.9ポイントと大きく増加しており、言語面での課題や不安を抱える保護者が増えていることがわかる。また、「仕事をさがす時、差別にあうのではないかと不安」も5.4ポイントと大きく増加している。一方、「学校からのお知らせの内容がわからない」では2.0ポイント、「日本の学校の仕組みがよくわからない」では1.0ポイント減少している。

■ 図表 73 保護者として学校と進路について困っていること（MA、n=268）※数値は実数



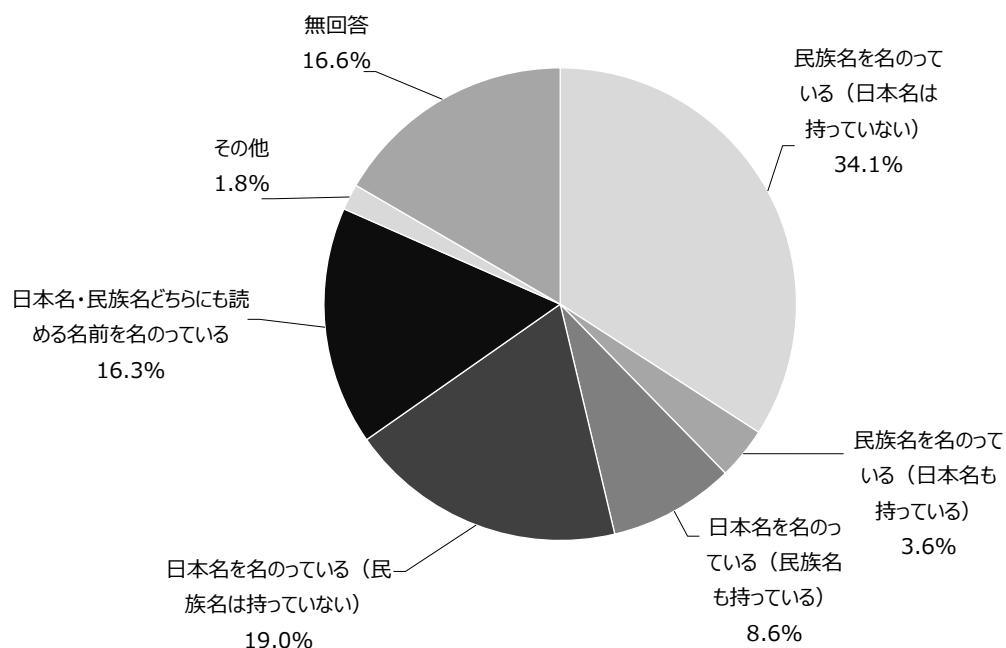
■ 【参考 46 2019 年調査との比較】



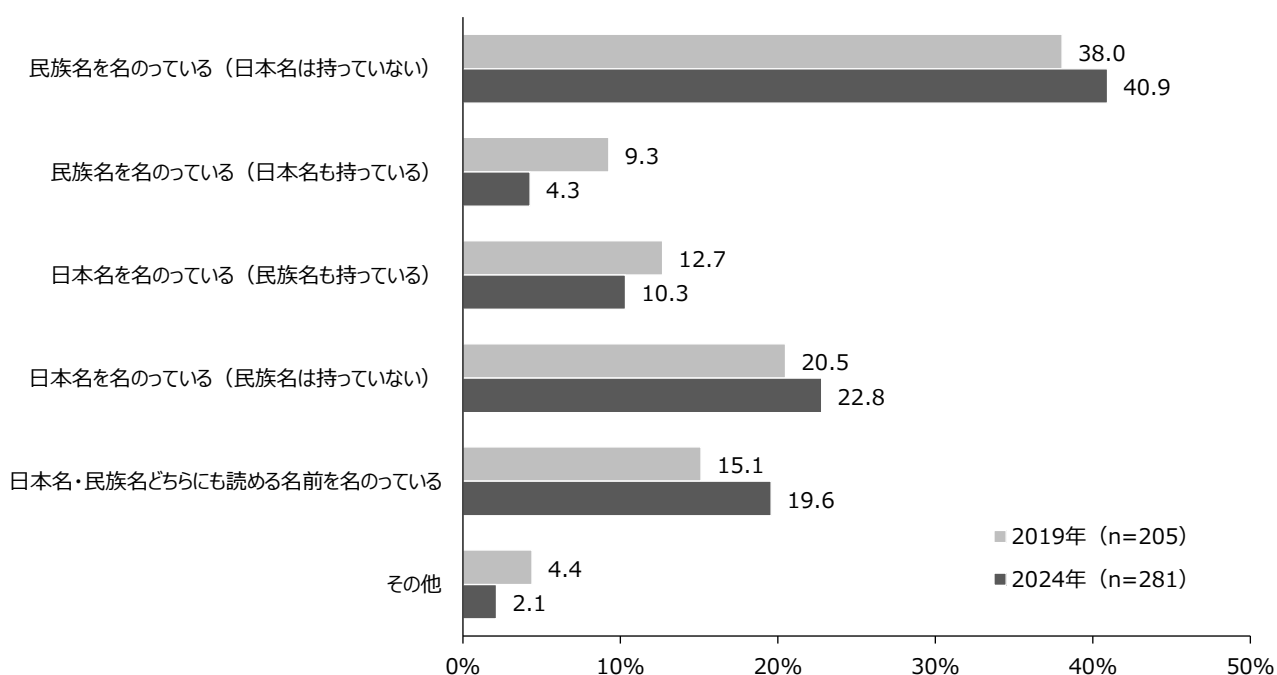
子どもの学校での名前の使用についてたずねたところ、「民族名を名のっている（日本名は持っていない）」が 34.1%で最も高く、次いで「日本名を名のっている（民族名は持っていない）」が 19.0%、「日本名・民族名どちらにも読める名前を名のっている」が 16.3%で続いた。

前回調査と比較してみると、日本名と民族名の両方を持っている子どもは減少しており、日本名と民族名のいずれの場合も本名の使用が増えている。また、「日本名・民族名のどちらにも読める名前を名のっている」は 4.5 ポイント増加しており、多様なアイデンティティに配慮した名前をつける傾向が強まっている様子もうかがえる。

■図表 74 民族名と日本名の使用状況 (n=337)



■【参考 47 2019 年調査との比較】



国籍・地域別で見ると、10人以下と母数の少ない「南米」「北米」「ヨーロッパ」「オセアニア」「アフリカ」を除くと「民族名を名のっている（日本名は持っていない）」では「ベトナム」が60.0%でも高く、次いで「その他アジア」が57.4%で5割を超えている。「日本名を名のっている（民族名はもっていない）」では「フィリピン」が43.5%で高い。また、「日本名を名のっている（民族名も持っている）」では「韓国・朝鮮」が25.8%で高く、ほかと比べてルーツを隠す傾向がうかがえる。

前回調査と比較してみると、最も大きな変化がみられたのは「フィリピン」で「民族名を名のっている（日本名は持っていない）」が21.8ポイントと大きく減少している。また、「韓国・朝鮮」では「日本名を名のっている（民族名も持っている）」は3.9ポイント増加しているが、「民族名を名のっている（日本名は持っていない）」も4.2ポイント増加しており、必ずしも民族名がネガティブにとらえられているわけではないようだ。

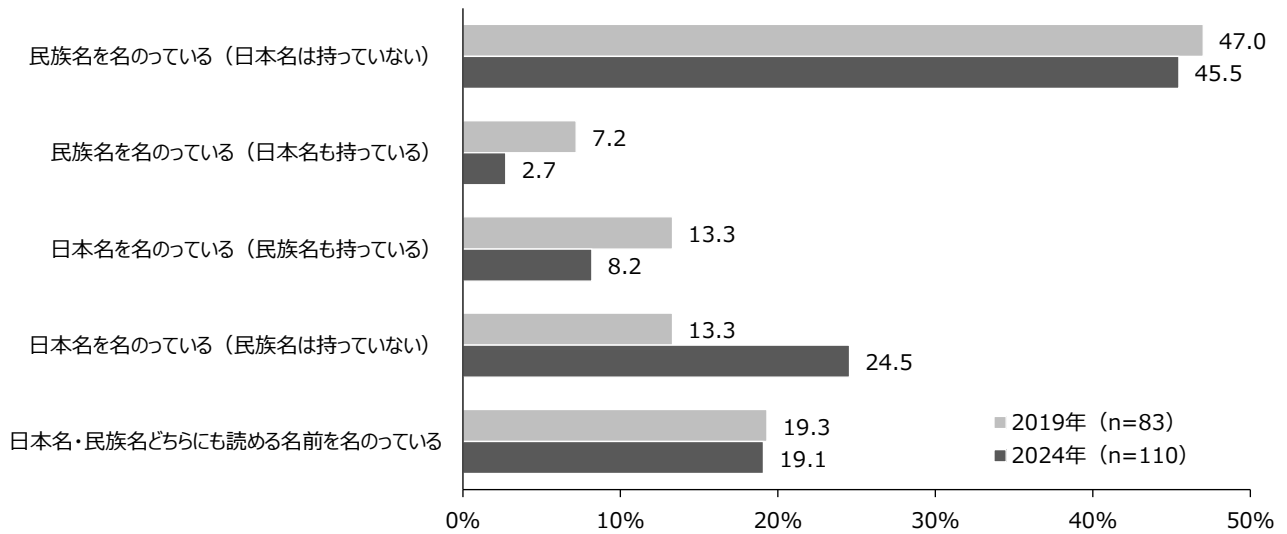
■図表 75 親の国籍・地域と学校での子どもの名前使用との関係

国籍・地域	(n) 割合	民族名を名の っている (日本名は持 っていない)	民族名を名の っている (日本名も持 っている)	日本名を名の っている (民族名も持 っている)	日本名を名の っている (民族名は持 っていない)	日本名・民族名ど ちらにも読める 名前を 名のっている
中 国	110	50	3	9	27	21
	100.0	45.5	2.7	8.2	24.5	19.1
韓国・朝鮮	31	10	2	8	6	5
	100.0	32.3	6.5	25.8	19.4	16.1
フィリピン	23	5	3	1	10	4
	100.0	21.7	13.0	4.3	43.5	17.4
ベトナム	25	15	1	1	4	4
	100.0	60.0	4.0	4.0	16.0	16.0
その他アジア	47	27	1	4	7	8
	100.0	57.4	2.1	8.5	14.9	17.0
ヨーロッパ	10	5	1	0	1	3
	100.0	50.0	10.0	0.0	10.0	30.0
アフリカ	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北 米	10	1	0	1	3	5
	100.0	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0
南 米	14	1	1	5	5	2
	100.0	7.1	7.1	35.7	35.7	14.3
オセアニア	4	0	0	0	1	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0

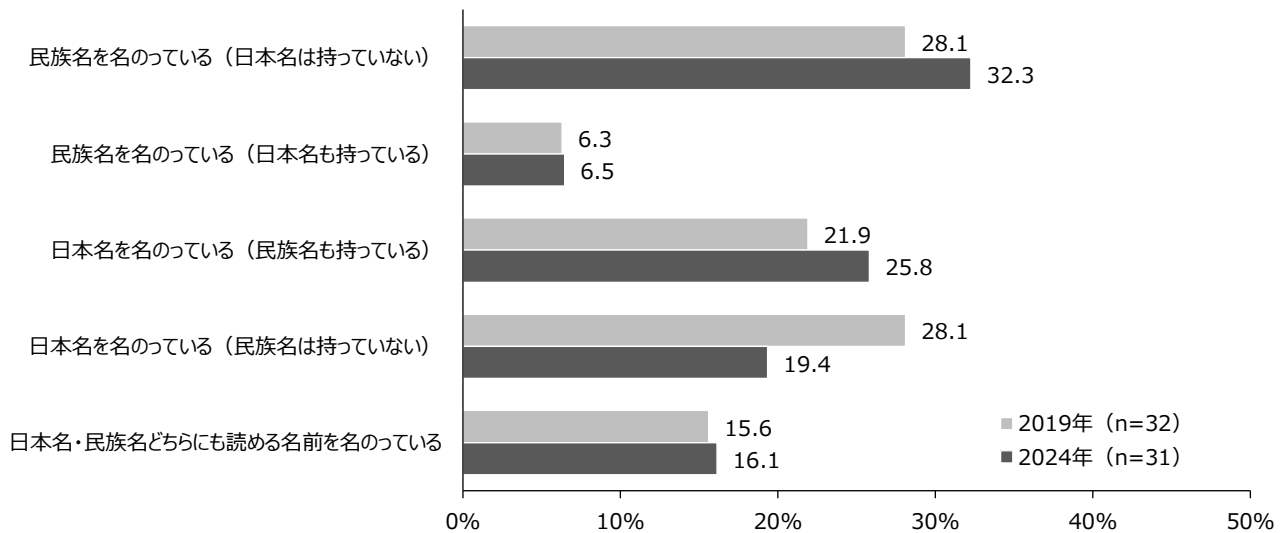
※表頭「その他」「無回答」を除外

■【参考 48 2019 年調査との比較】

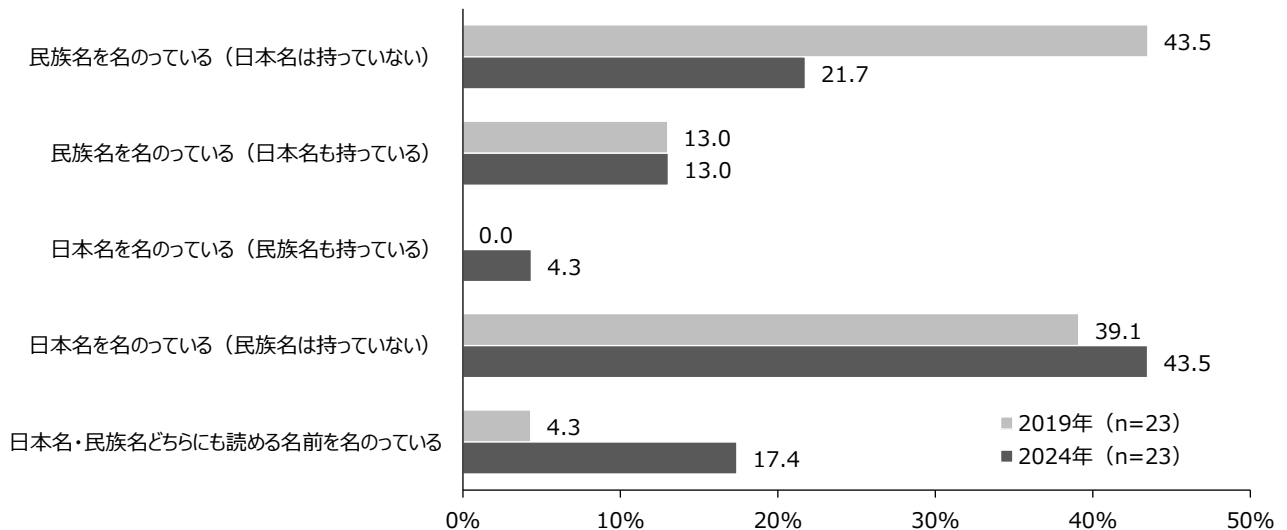
●中国



●韓国・朝鮮



●フィリピン



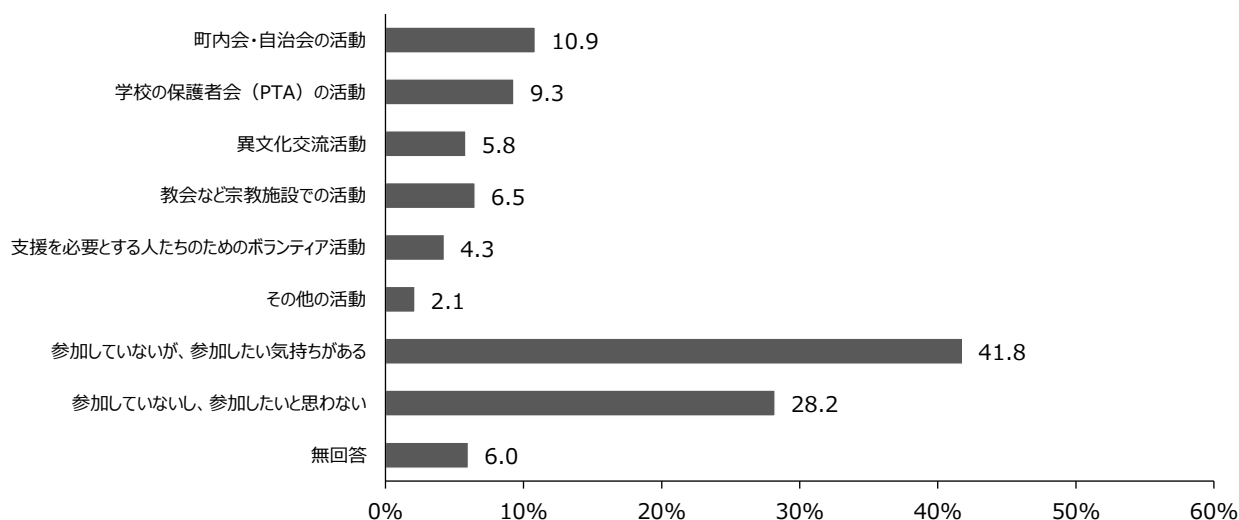
第6章 地域活動・市政参加

1 地域活動への参加

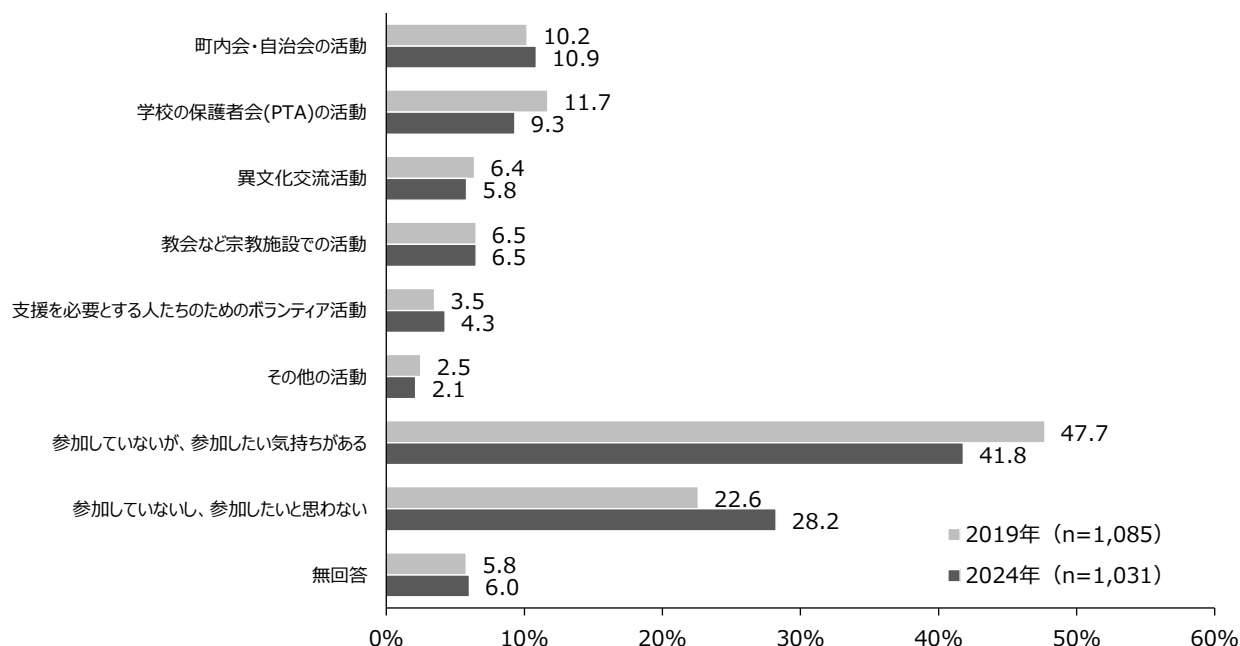
地域活動への参加についてたずねたところ、「参加はしていないが、参加したい気持ちがある」が41.8%で最も高かった。「参加していないし、参加したいと思わない」の28.2%と合わせると70.0%となり、7割の人が地域活動に参加していない。一方、参加している人では「町内会・自治会の活動」が10.9%で最も高く、次いで「学校の保護者会（PTA）の活動」が9.3%、「教会など宗教施設での活動」が6.5%と続いている。

前回調査と比較してみると、「参加はしていないが、参加したい気持ちがある」が5.9ポイント減少し、「参加していないし、参加したいと思わない」が5.6ポイント増加している。参加していない人の割合は約7割で変化はみられないが、地域活動へのへの関心や意欲は低下している。

■図表 76 地域活動への参加（MA、n=1,031）



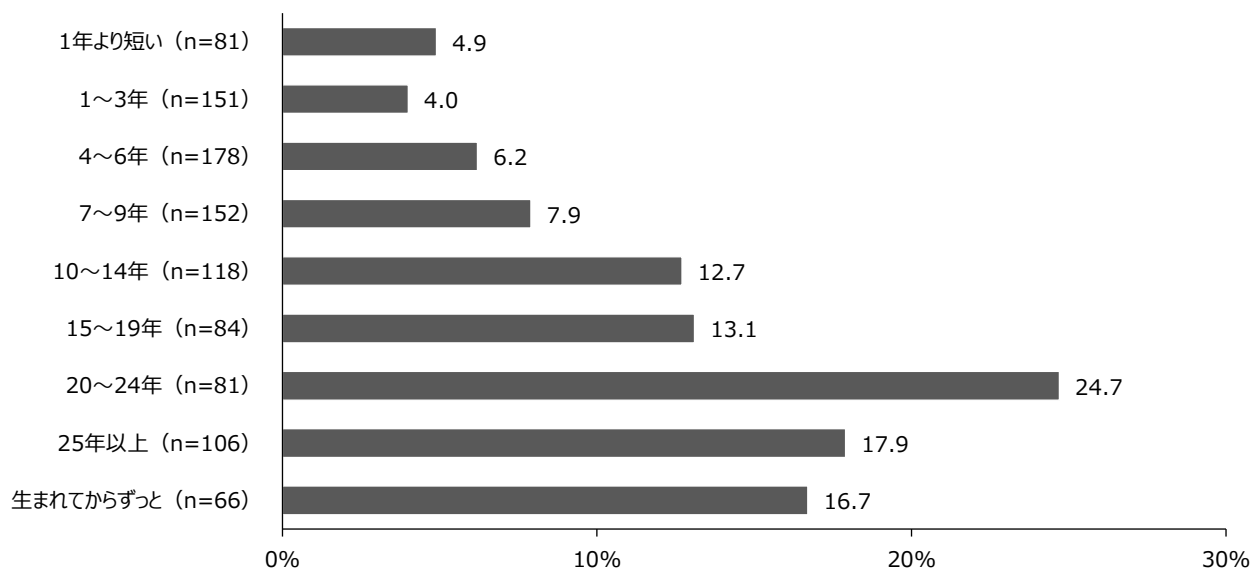
■【参考 49 2019 年調査との比較】



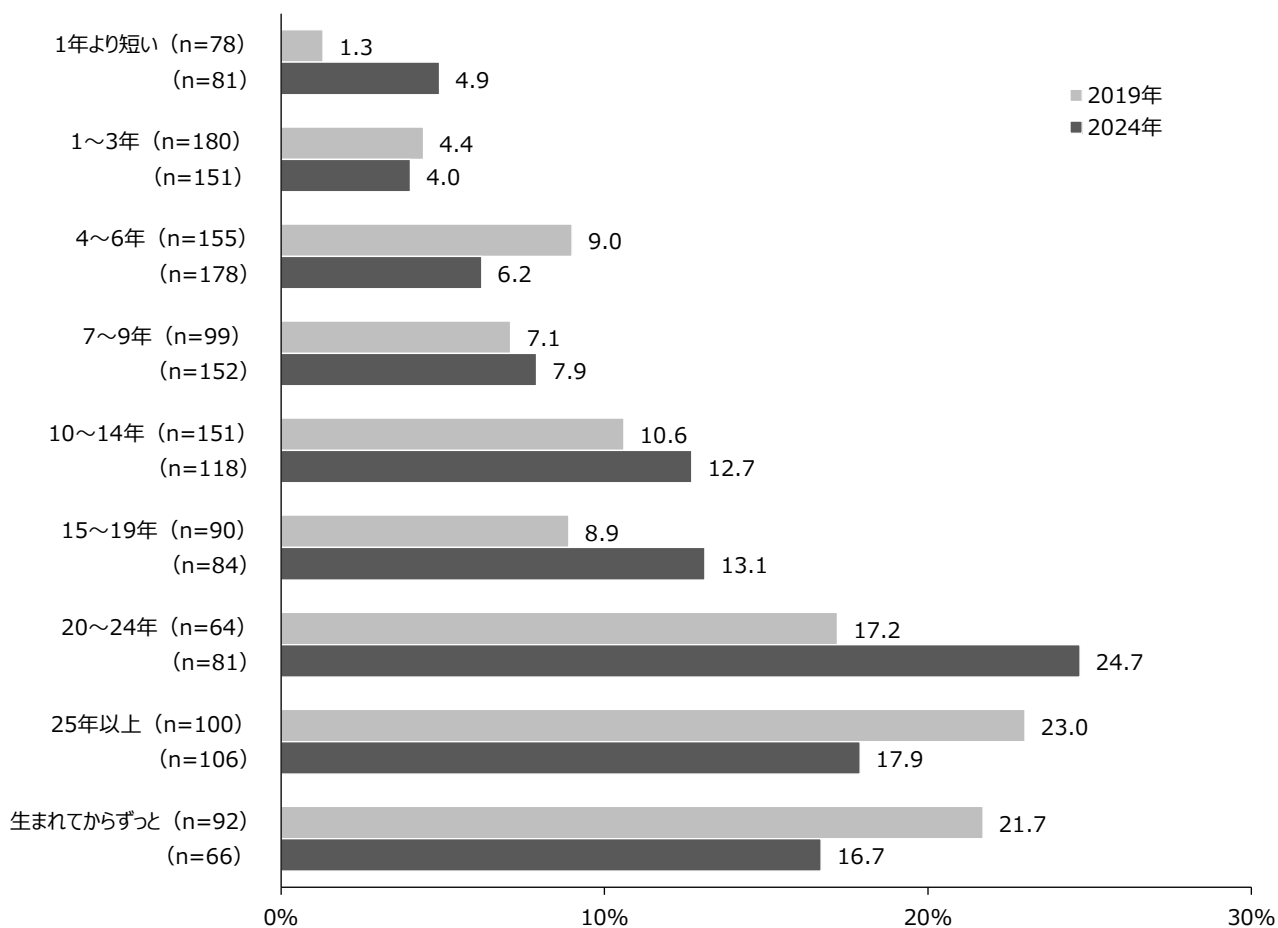
次に、町内会・自治会活動の参加に着目し、滞在年数との関係を見てみると、全体としては滞在年数に比例して参加率は上昇する傾向にある。

前回調査と比較してみると、来日して間もない「1年より短い」で3.6ポイント増加している。一方、前回調査では高かった「25年以上」では5.1ポイント、「生まれてからずっと」では5.0ポイント減少しているが、これは高齢化による影響かもしれない。

■図表 77 滞在年数と町内会・自治会活動への参加との関係



■【参考 50 2019年調査との比較】

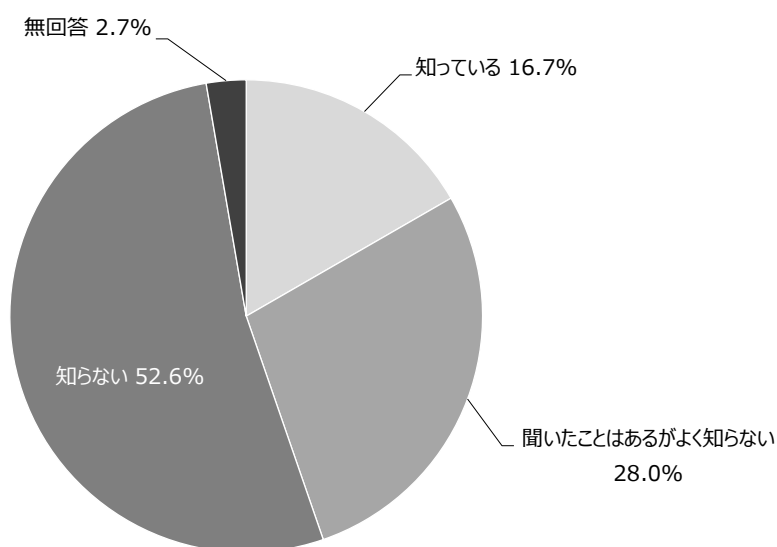


2 外国人の市政参加

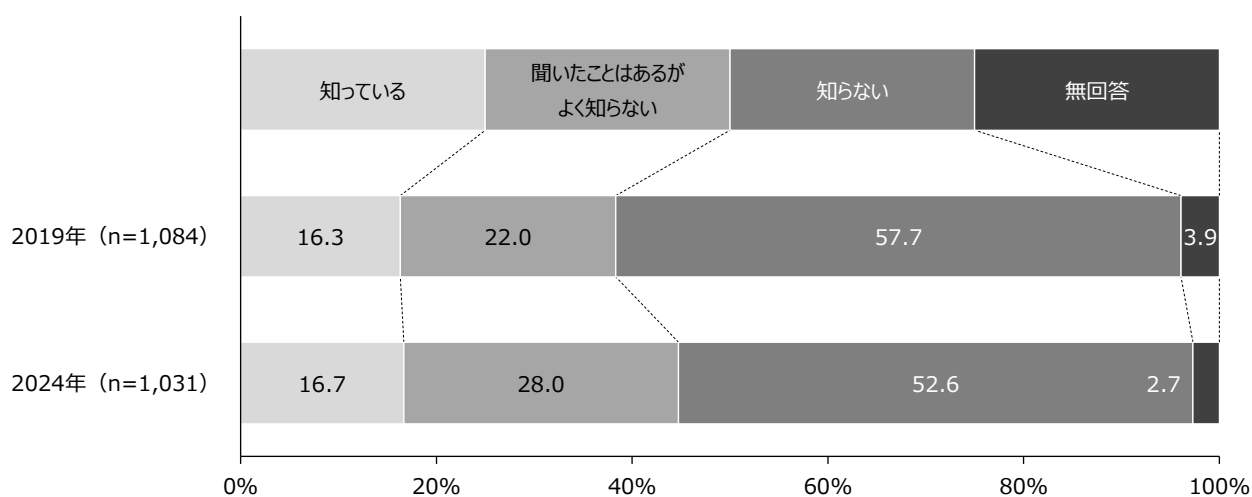
「川崎市外国人市民代表者会議」について知っているかをたずねたところ、「知らない」が52.6%で最も高く、約半数を占めた。

前回調査と比較してみると、「知っている」ではほぼ差はみられないが、「聞いたことはあるがよく知らない」では6.0ポイント増加しており、やや認知度が高まったといえる。

■図表 78 「川崎市外国人市民代表者会議」の認知（n=1,031）



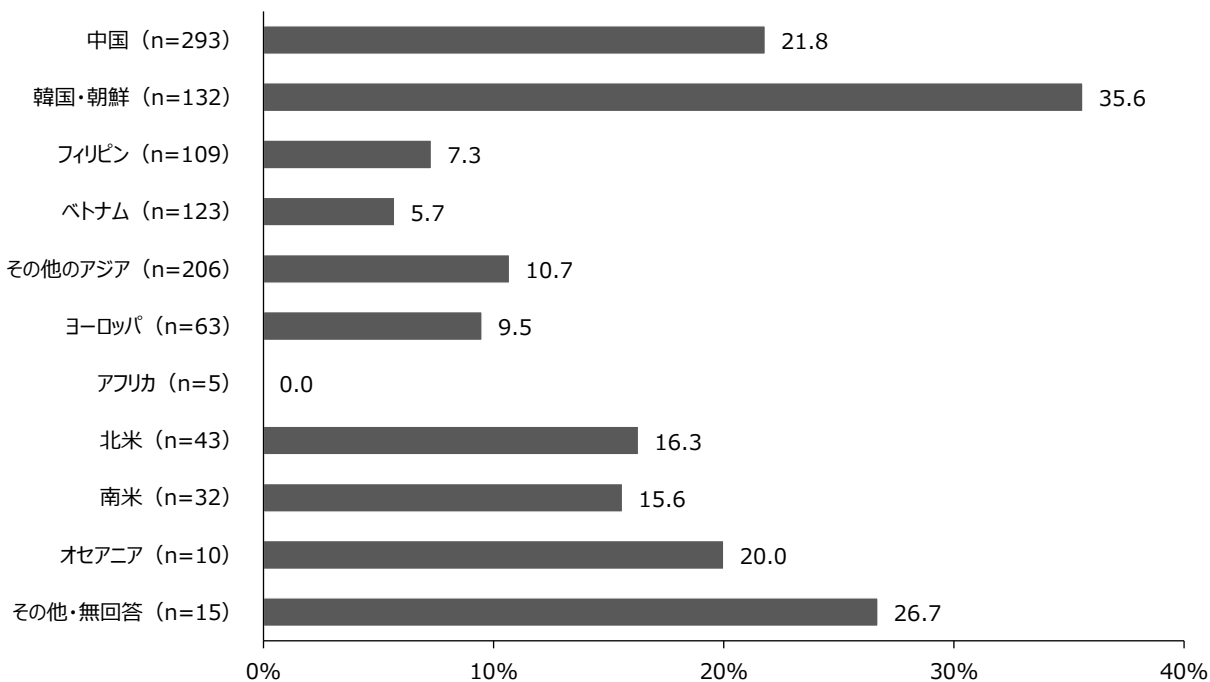
■【参考 51 2019 年調査との比較】



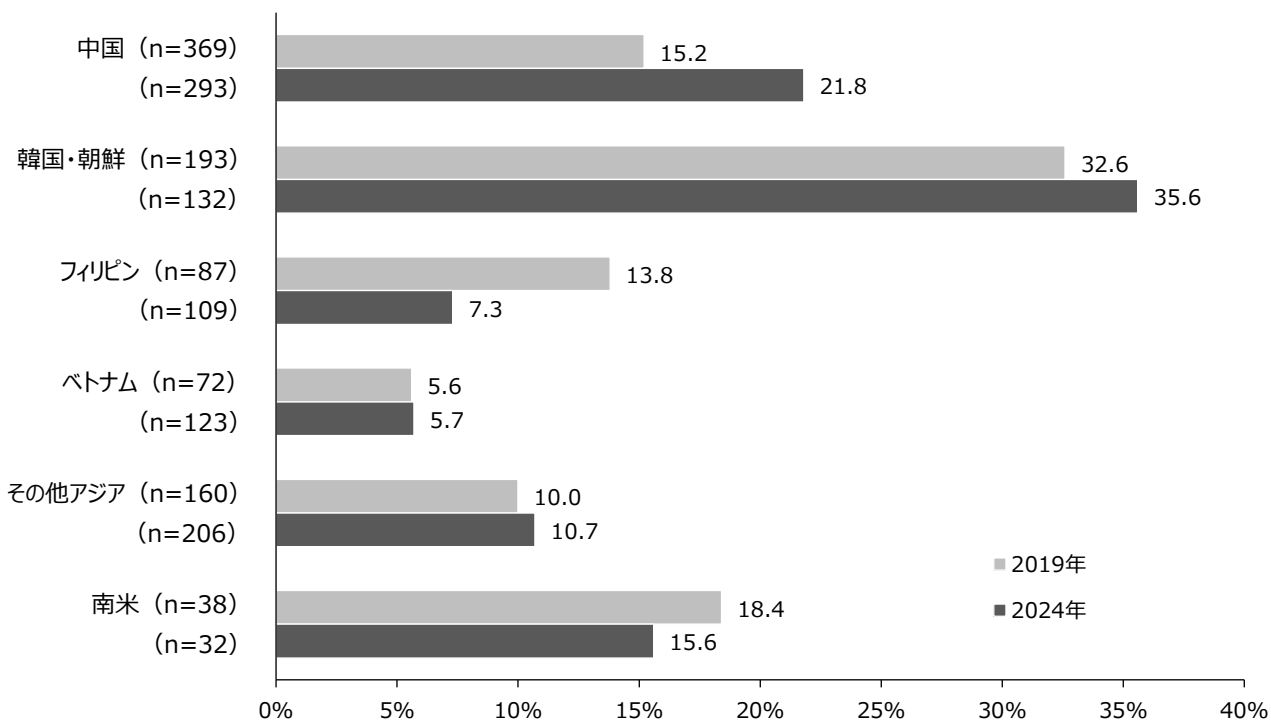
次に、「川崎市外国人市民代表者会議」を「知っている」と回答した人の国籍・地域を見てみると、「韓国・朝鮮」が35.6%で顕著に高く、次いで「中国」が21.8%が続いた。

前回調査と比較してみると、「中国」で6.6ポイント、「韓国・朝鮮」で3.0ポイント増加しているが、一方で「フィリピン」で6.5ポイント、「南米」で2.8ポイント減少している。

■図表 79 「川崎市外国人市民代表者会議」を「知っている」と回答した人と国籍・地域の関係



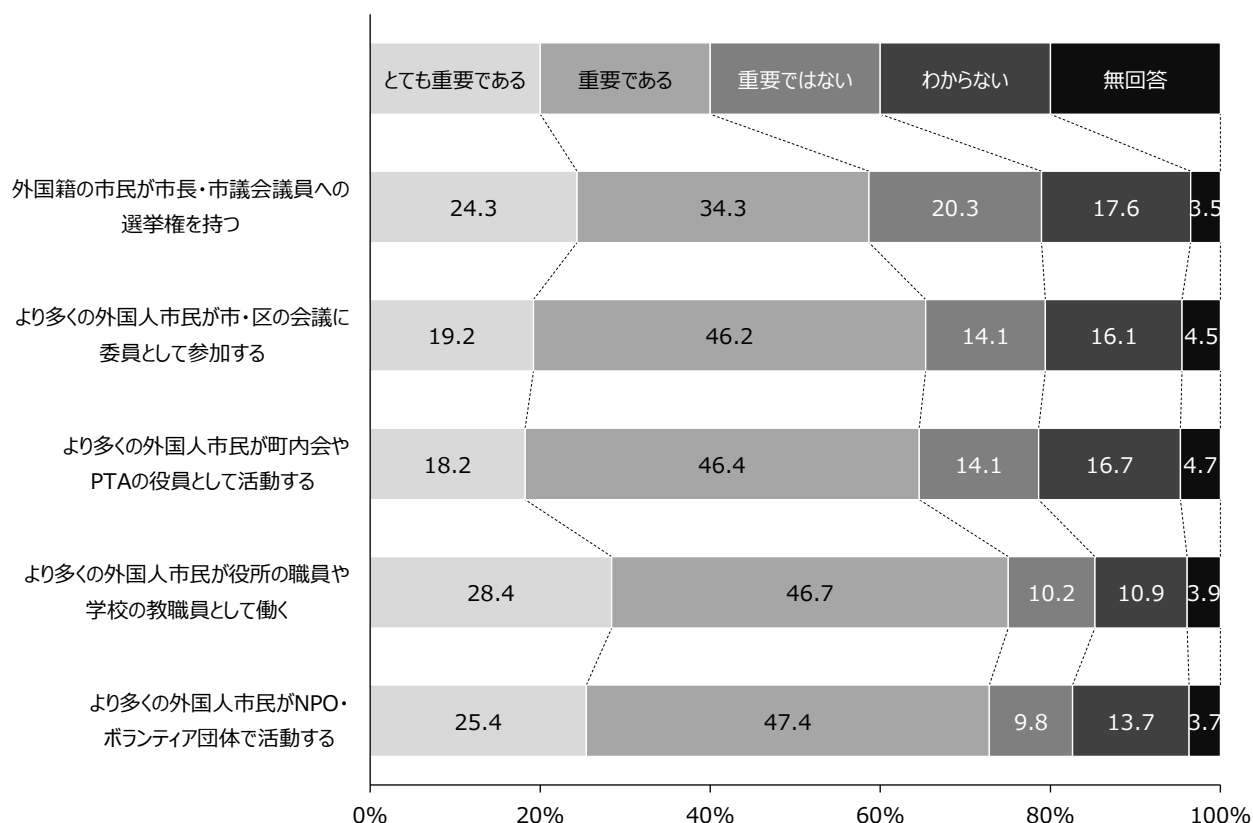
■【参考 52 2019 年調査との比較】



外国人が暮らしやすい社会にするため、それぞれどのくらい重要であるかをたずねたところ、「とても重要である」と「重要である」の合算が最も高かったのは「より多くの外国人市民が役所の職員や学校の教職員として働く」の75.1%であった。一方、「重要ではない」が最も高かったのは「外国籍の市民が市長・市議会議員への選挙権を持つ」の20.3%であった。

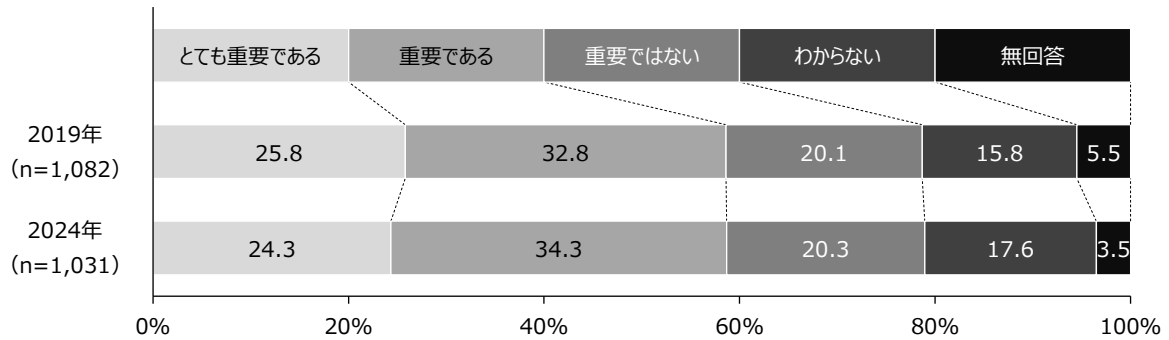
前回調査と比較してみると、「とても重要である」と「重要である」の合算ではほとんど差がみられなかったものの、「とても重要である」はいずれの項目でもわずかながら減少している。

■図表 80 外国人が暮らしやすい社会の実現に重要なこと (n=1,031)

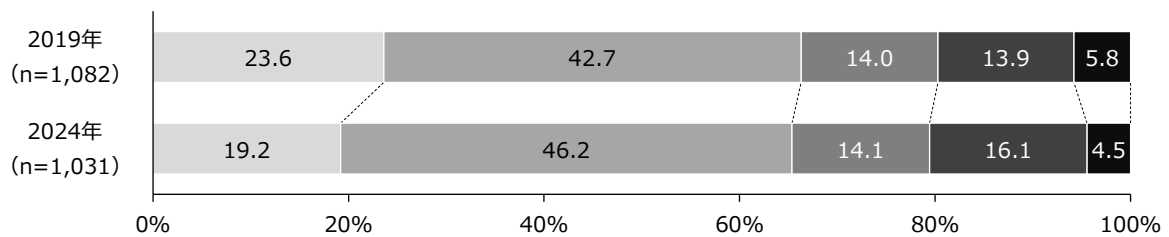


■【参考 53 2019 年調査との比較】

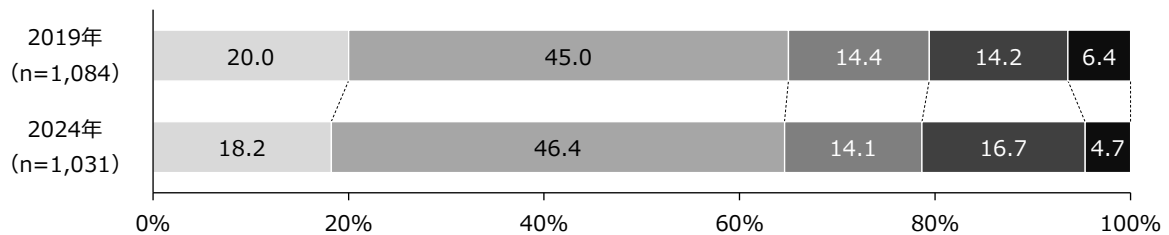
●外国籍の市民が市長・市議会議員への選挙権を持つ



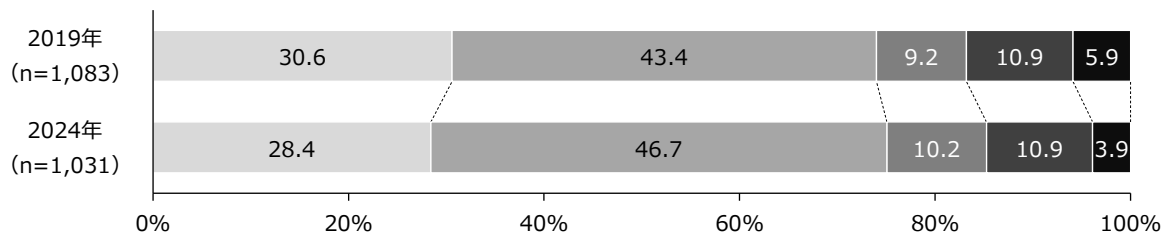
●より多くの外国人市民が市・区の会議に委員として参加する



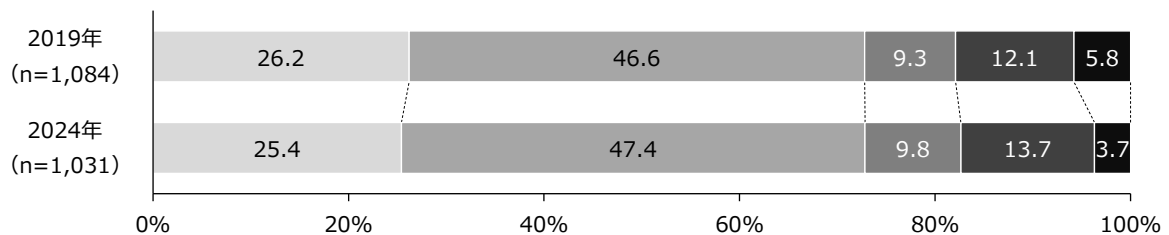
●より多くの外国人市民が町内会や PTA の役員として活動する



●より多くの外国人市民が役所の職員や学校の教職員として働く



●より多くの外国人市民が NPO・ボランティア団体に活動する



第7章 雇用・労働

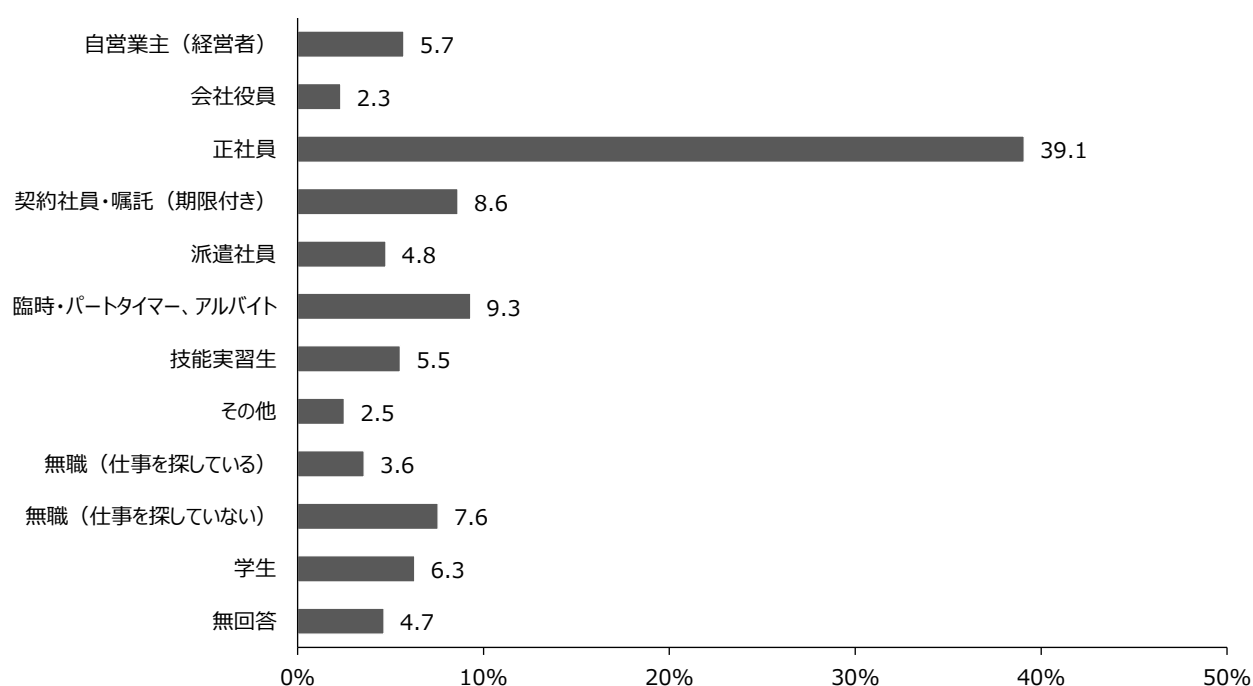
1 従事している職業

現在の職場での従業上の地位についてたずねたところ、「正社員」が39.1%で最も高く、約4割を占めた。次いで「臨時・パートタイマー、アルバイト」が9.3%、「契約社員・嘱託（期限付き）」が8.6%で続いている。「自営業主」は5.7%、「会社役員」は2.3%であった。

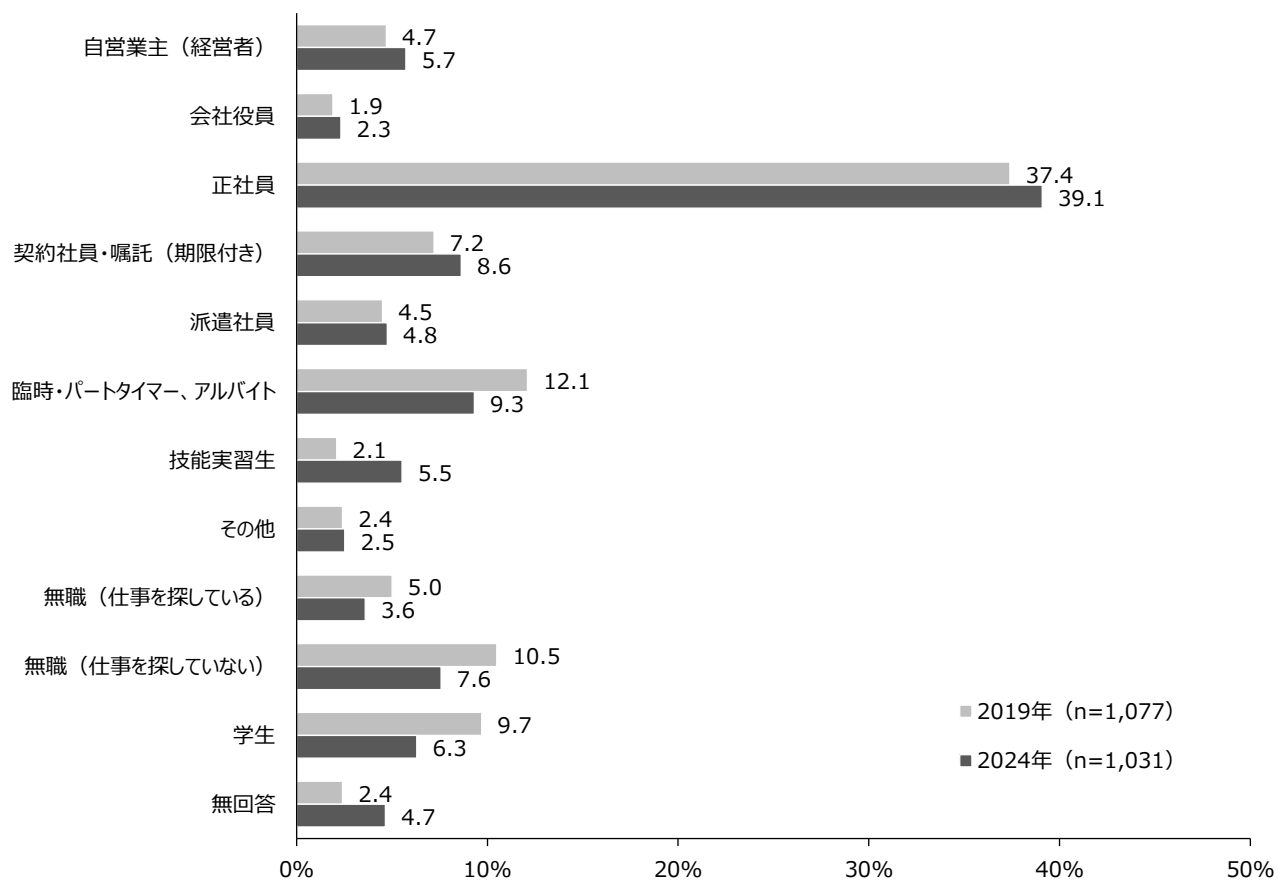
前回調査と比較してみると、「正社員」は1.7ポイント、「契約社員・嘱託（期限付き）」は1.4ポイント増加している。一方、今回の調査で2番目に高かった「臨時・パートタイマー、アルバイト」は前回と比べると2.8ポイント減少している。最も増加したのは「技能実習生」の3.4ポイントであった。

現在、仕事に従事していない人では、「無職（仕事を探している）」が3.6%、「無職（仕事を探していない）」が7.6%、「学生」が6.3%であった。前回調査と比較してみると、「無職（仕事を探している）」が1.4ポイント、「無職（仕事を探していない）」が2.9ポイント、「学生」が3.4ポイント減少している。

■図表 81 従業上の地位（n=1,031）

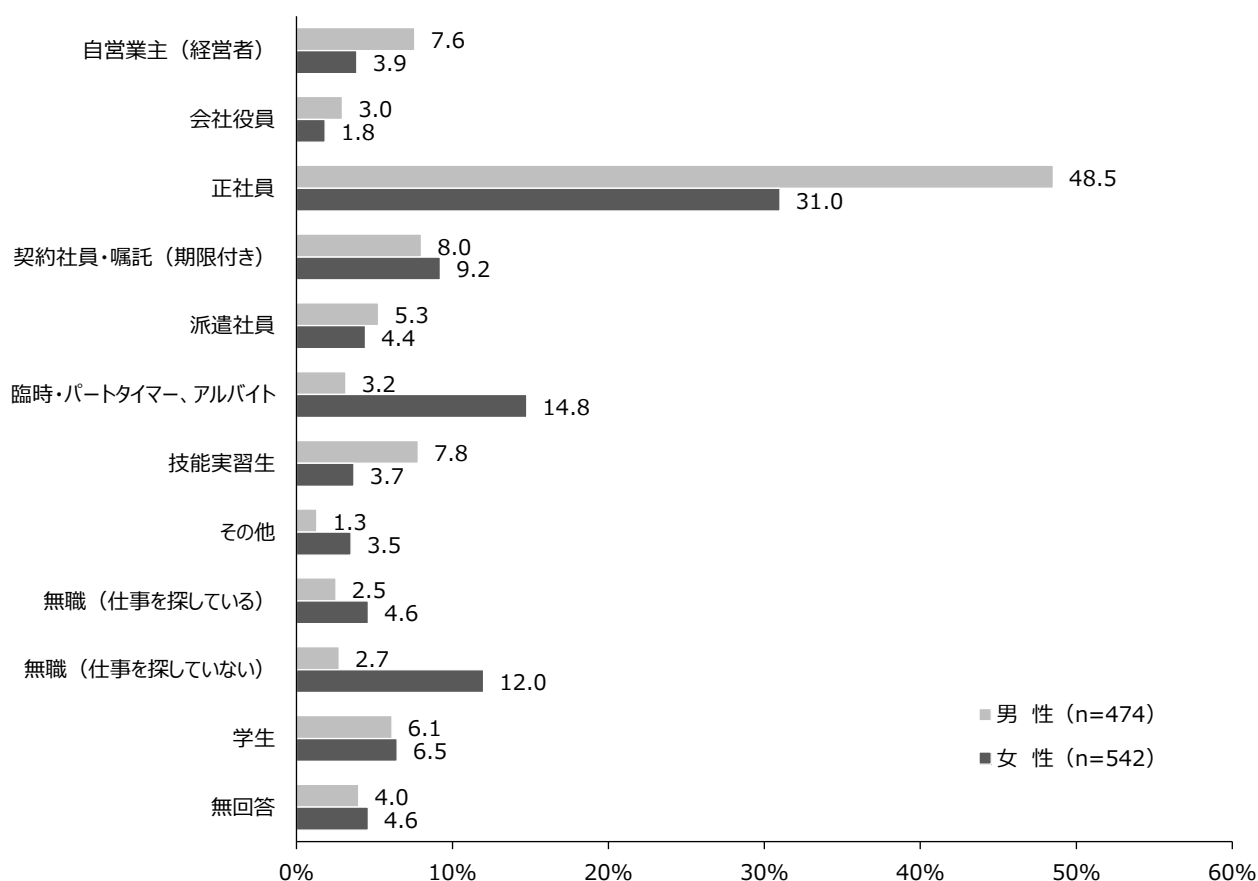


■【参考 54 2019 年調査との比較】



従業上の地位と性別の関係について見てみると、男女で有意な差があることがわかった。「正社員」に関しては「男性」の方が「女性」よりも 17.5 ポイント高く、「自営業主（経営者）」と「技能実習生」でも「男性」は「女性」の約 2 倍となっている。一方、「臨時・パートタイマー、アルバイト」では「女性」の方が「男性」よりも 11.6 ポイント高い。また、「無職（仕事を探している）」では 2.1 ポイント、「無職（仕事を探していない）」では 9.3 ポイント「女性」の方が「男性」よりも高くなっている。

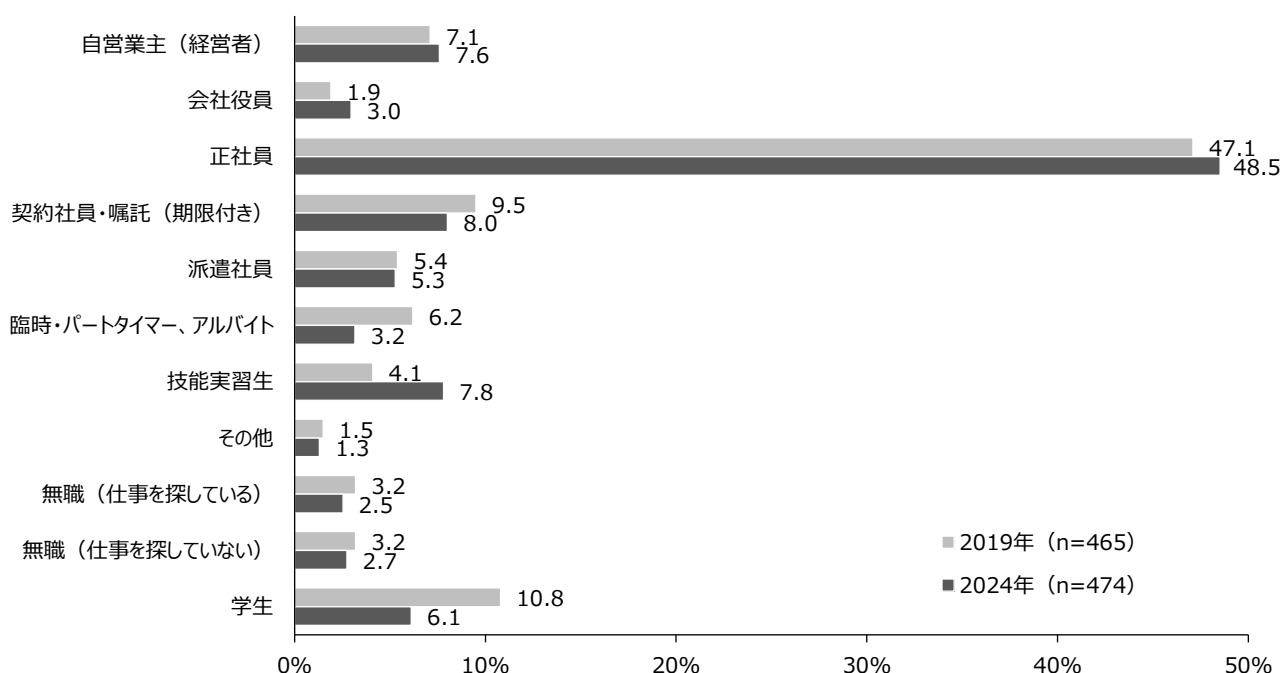
■図表 82 従業上の地位（立場）と性別の関係



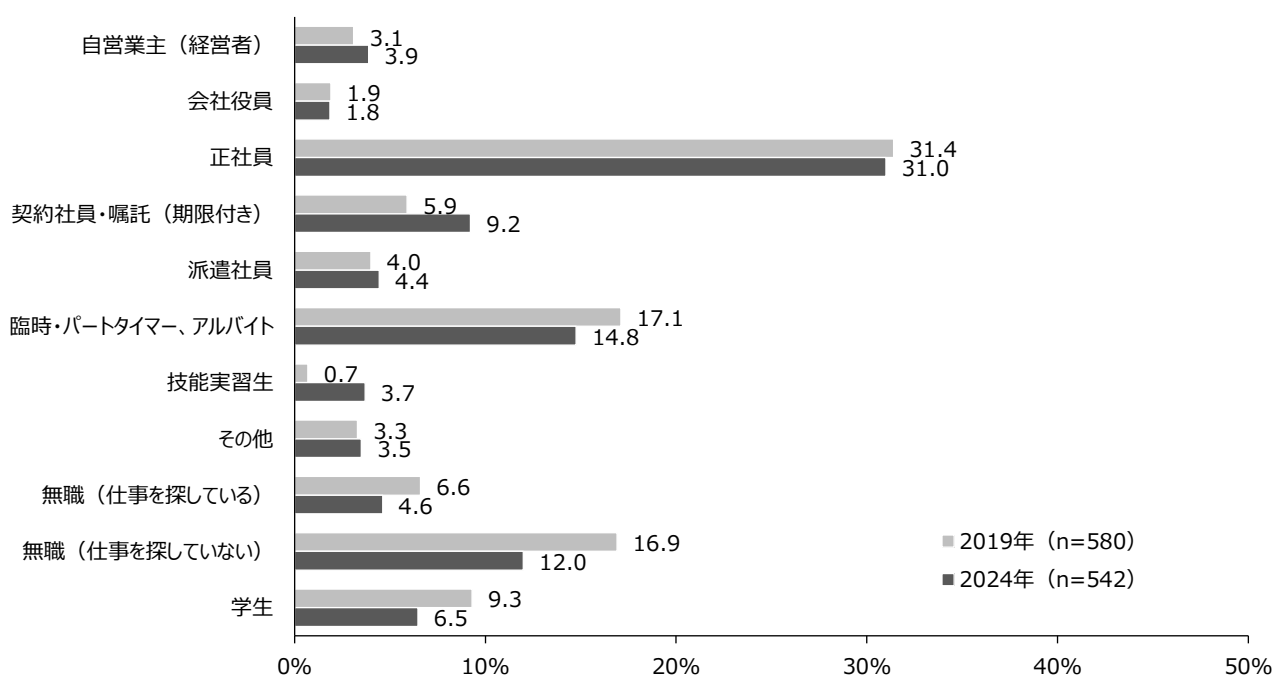
前回調査と比較してみると、「男性」では「臨時・パートタイマー、アルバイト」が3.0ポイント減少し、「技能実習生」が3.7ポイント増加している。「女性」でも同様に「臨時・パートタイマー、アルバイト」が2.3ポイント減少し、「技能実習生」が3.0ポイント増加している。「正社員」では「男性」が1.4ポイント増加したのに対し、「女性」は0.4ポイント減少している。

■【参考 55 2019 年調査との比較】

●男 性



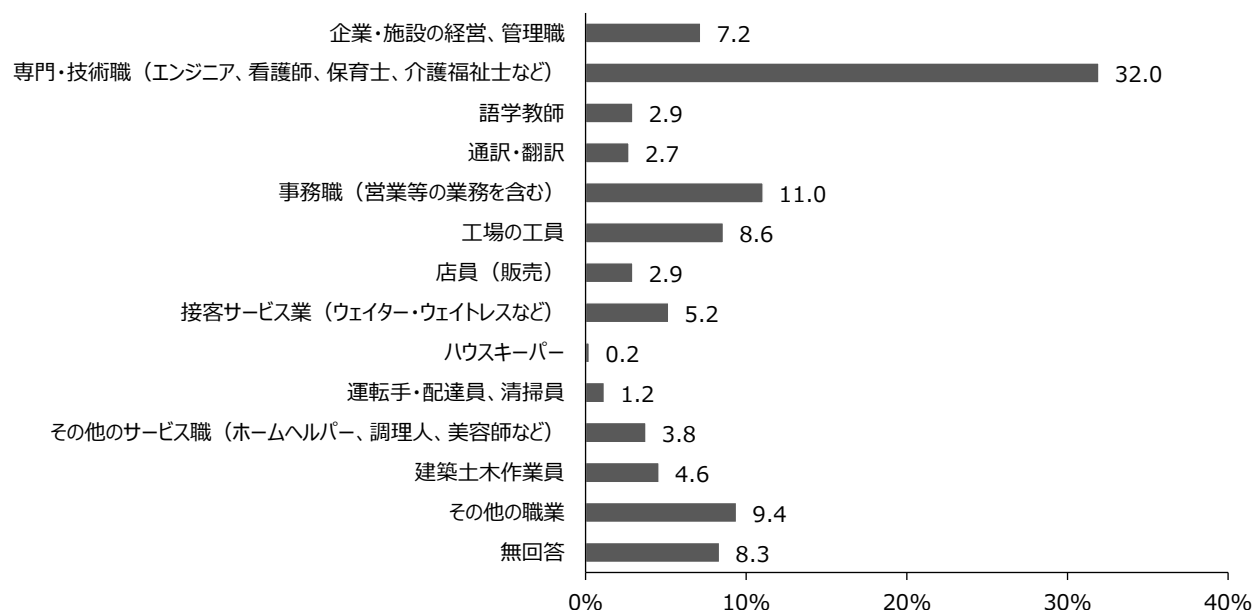
●女 性



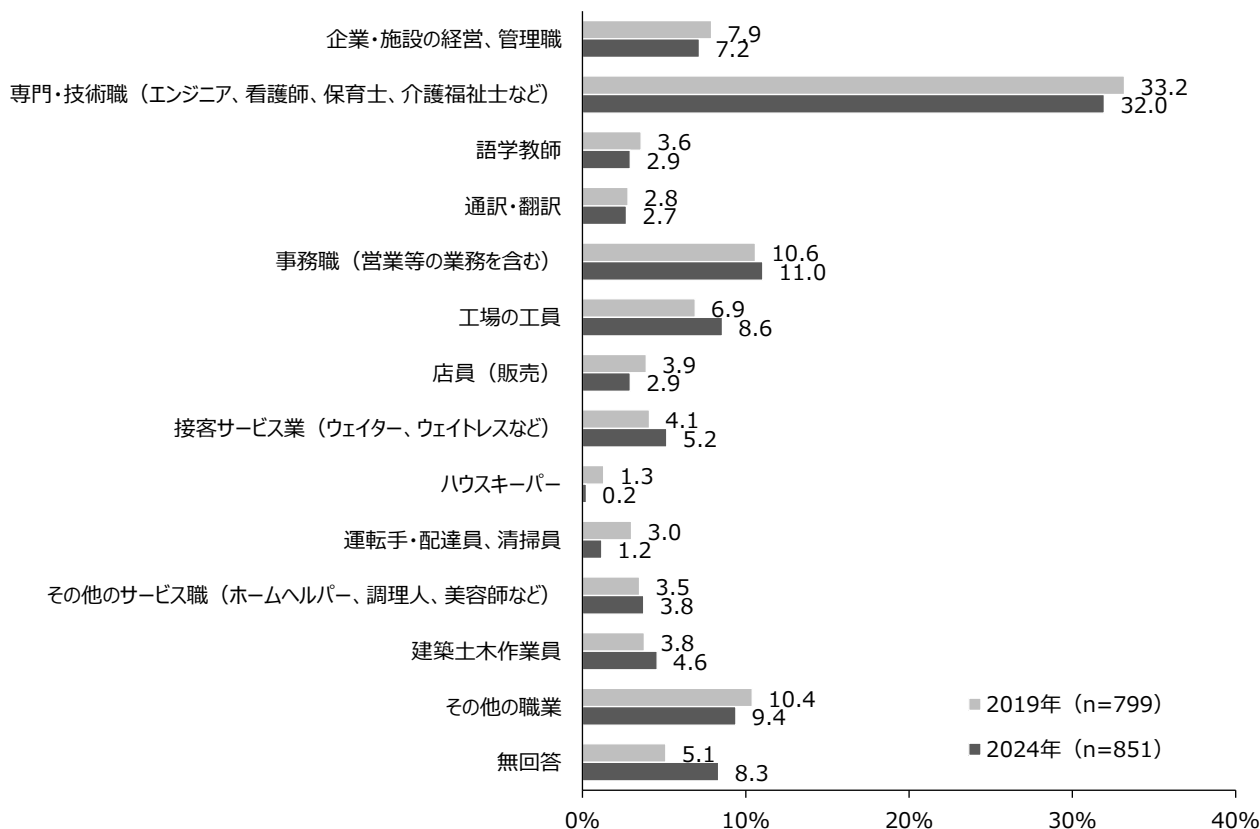
次に、現在、仕事をしているという人に従事している職業についてたずねたところ、「専門・技術職」が32.0%で最も高く、次いで「事務職」が11.0%、「その他の職業」が9.4%、「企業・施設の経営、管理職」が7.2%で続いている。

前回調査と比較してみると、最も割合が高かった「専門・技術職」は1.2ポイント減少している。一方、「工場の工員」が1.7ポイント、「接客サービス業（ウェ이터、ウェイトレスなど）」が1.1ポイント、「建築土木作業員」が0.8ポイント、「事務職（営業等の業務を含む）」が0.4ポイントとそれぞれわずかではあるが増加している。

■図表 83 職業（n=816）



■【参考 56 2019 年調査との比較】



従事する職種について国籍・地域別に見てみると、「フィリピン」「ベトナム」「北米」以外では「専門・技術」の割合が最も高く、「フィリピン」と「ベトナム」では「工場、建設現場作業」の割合が最も高く、「北米」では「語学教師・通訳等」の割合が最も高かった。

■図表 84 国籍・地域と職業の関係

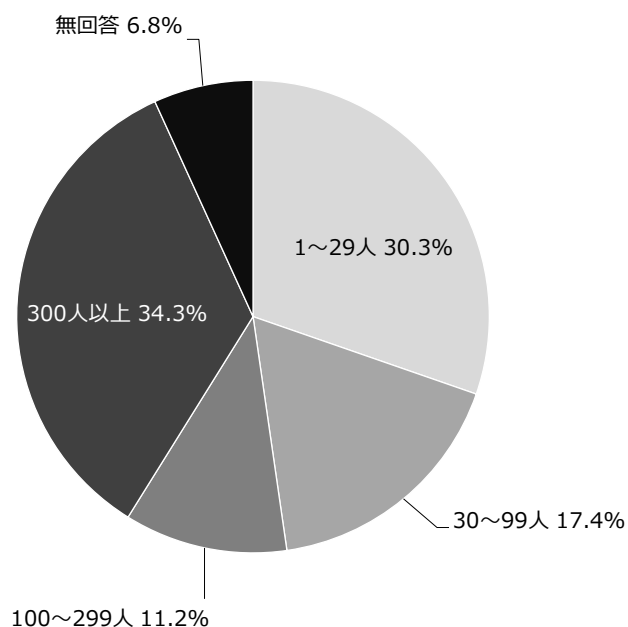
国籍・地域	(n) 割合	管理職	専門・技術	語学教師・通訳等	事務職	工場、建設現場作業	販売・サービス	その他
中国	210	18	91	6	32	11	32	20
	100.0	8.6	43.3	2.9	15.2	5.2	15.2	9.5
韓国・朝鮮	83	13	23	3	23	0	11	10
	100.0	15.7	27.7	3.6	27.7	0.0	13.3	12.0
フィリピン	84	1	22	2	1	27	17	14
	100.0	1.2	26.2	2.4	1.2	32.1	20.2	16.7
ベトナム	110	0	28	2	3	53	17	7
	100.0	0.0	25.5	1.8	2.7	48.2	15.5	6.4
その他アジア	163	18	59	14	21	13	27	11
	100.0	11.0	36.2	8.6	12.9	8.0	16.6	6.7
ヨーロッパ	49	4	22	8	7	1	4	3
	100.0	8.2	44.9	16.3	14.3	2.0	8.2	6.1
アフリカ	4	0	2	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
北米	32	4	9	10	1	0	0	8
	100.0	12.5	28.1	31.3	3.1	0.0	0.0	25.0
南米	28	2	9	0	3	6	3	5
	100.0	7.1	32.1	0.0	10.7	21.4	10.7	17.9

※表頭「無回答」を除外

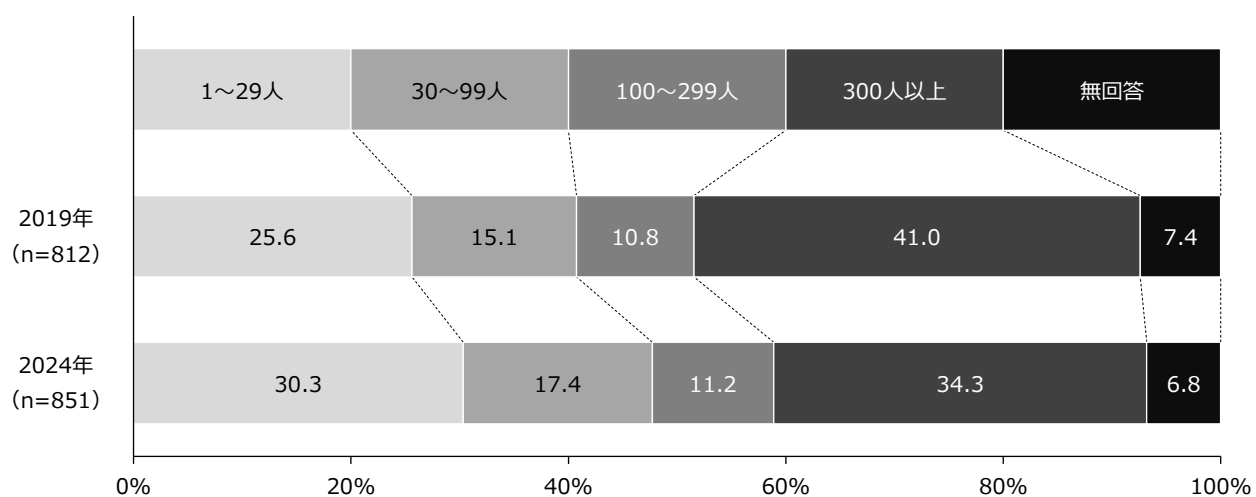
次に、従業先の企業規模として従業員数をたずねたところ、「300 人以上」が 34.3%で最も高く、次いで「1～29 人」が 30.3%で続いた。

前回調査と比較してみると、「1～29 人」では 4.7 ポイント増加し、「300 人以上」では 6.7 ポイント減少している。

■図表 85 従業先の企業規模（n=851）



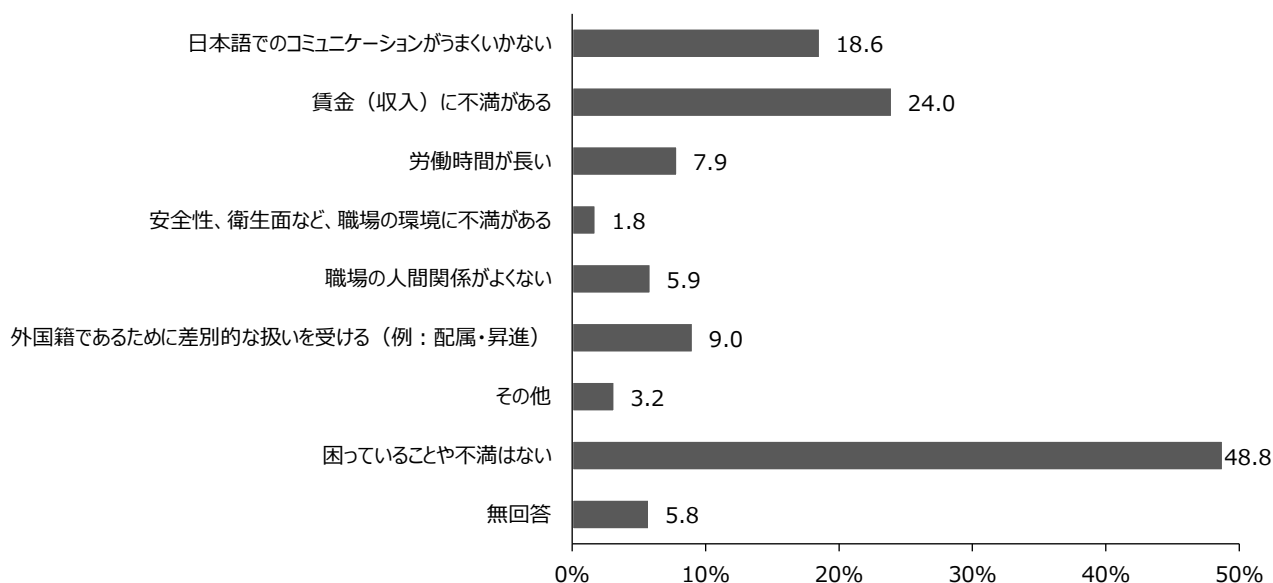
■【参考 57 2019 年調査との比較】



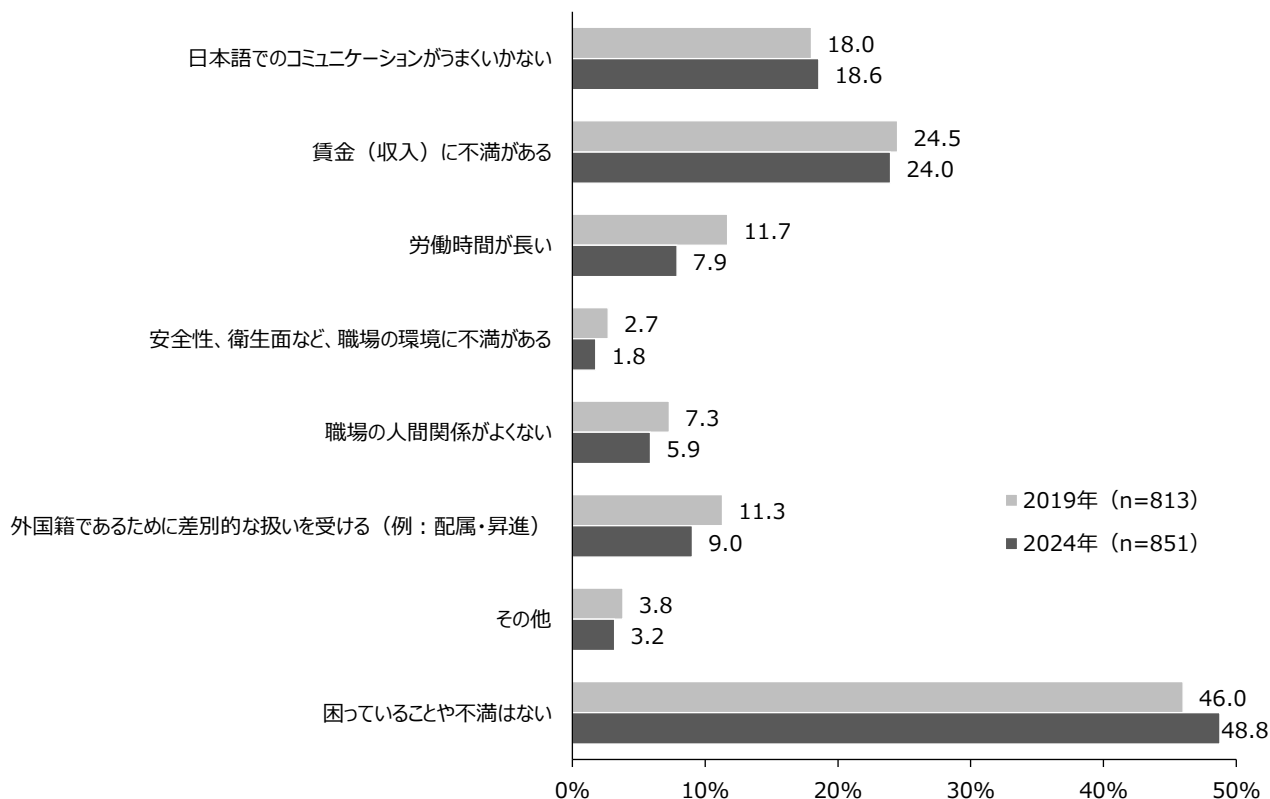
現在の仕事について困ったり不満に感じたりしていることをたずねたところ、「困っていることや不満はない」が48.8%で約5割を占めた。困ったり不満に感じたりしていることでは、「賃金に不満がある」が24.0%で最も高く、次いで「日本語でのコミュニケーションがうまくいかない」が18.6%、「外国籍であるために差別的な扱いを受ける」が9.0%で続いている。

前回調査と比較してみると、「労働時間が長い」が3.8ポイントと大きく減少している。また、「困っていることや不満はない」は2.8ポイント増加している。

■図表 86 現在の仕事における困難、不満（MA、n=851）

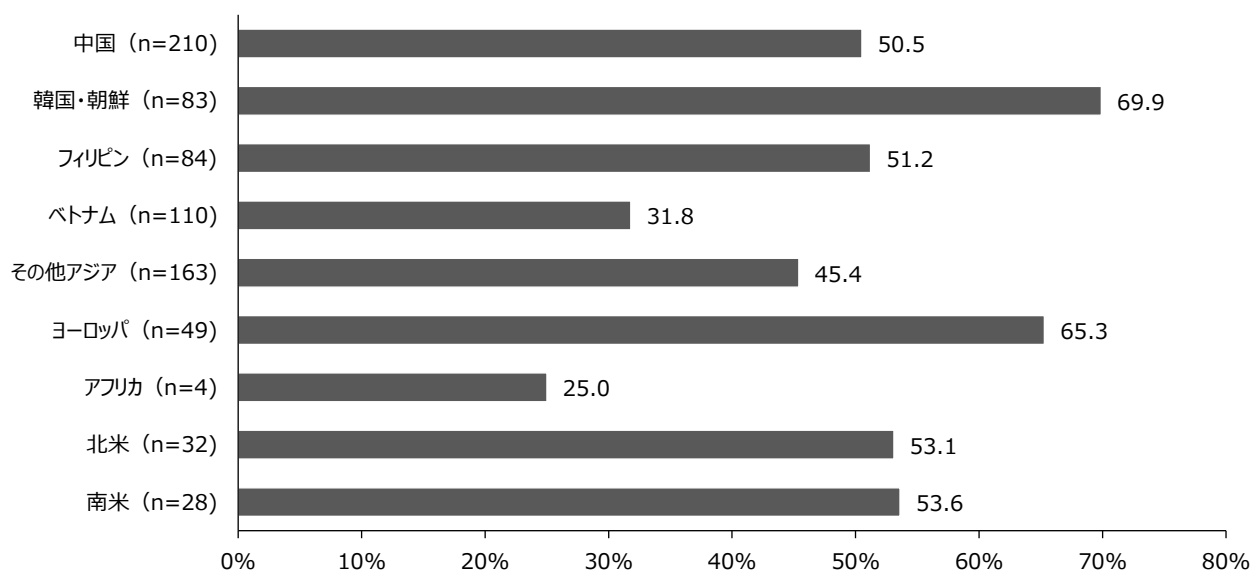


■【参考 58 2019 年調査との比較】



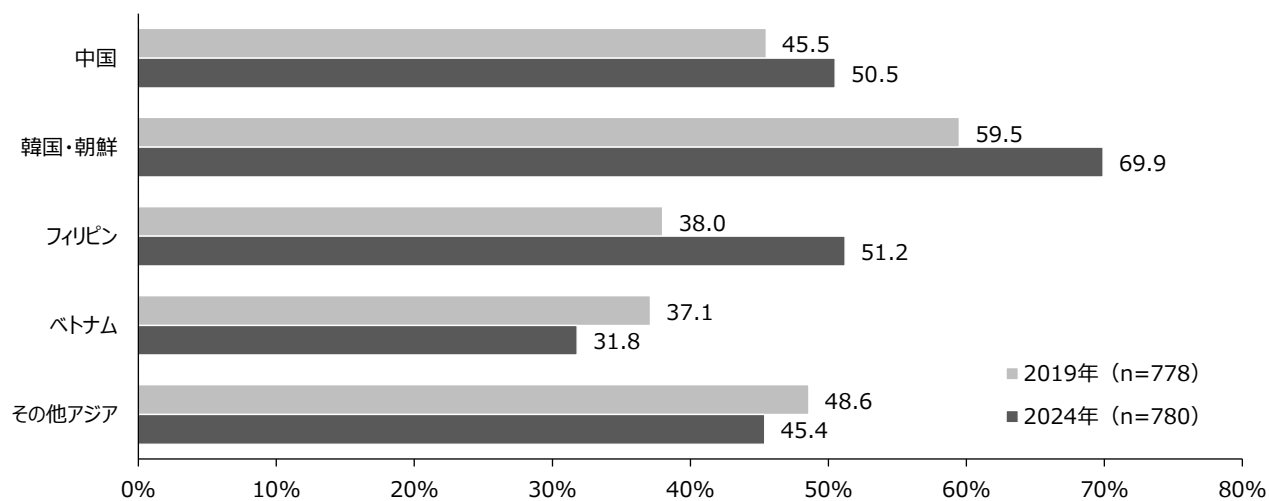
困ったり不満に感じたりしていることがない人を国籍・地域別で見ると、「韓国・朝鮮」で69.9%と約7割が、次いで「ヨーロッパ」で65.3%と6割超の人が困まりごとや不満を感じていない。一方、母数の少ない「アフリカ」を除くと最も低かったのは「ベトナム」の31.8%となっている。

■図表 87 現在の仕事における困りごとや不満がない人と国籍・地域の関係



アジア圏に絞って前回調査と比較してみると、困ったり不満を感じたりしていることがない人は「中国」で5.0ポイント、「韓国・朝鮮」で10.4ポイント、「フィリピン」で13.2ポイント増加しているが、一方で「ベトナム」では13.2ポイント、「その他アジア」では3.2ポイント減少している。

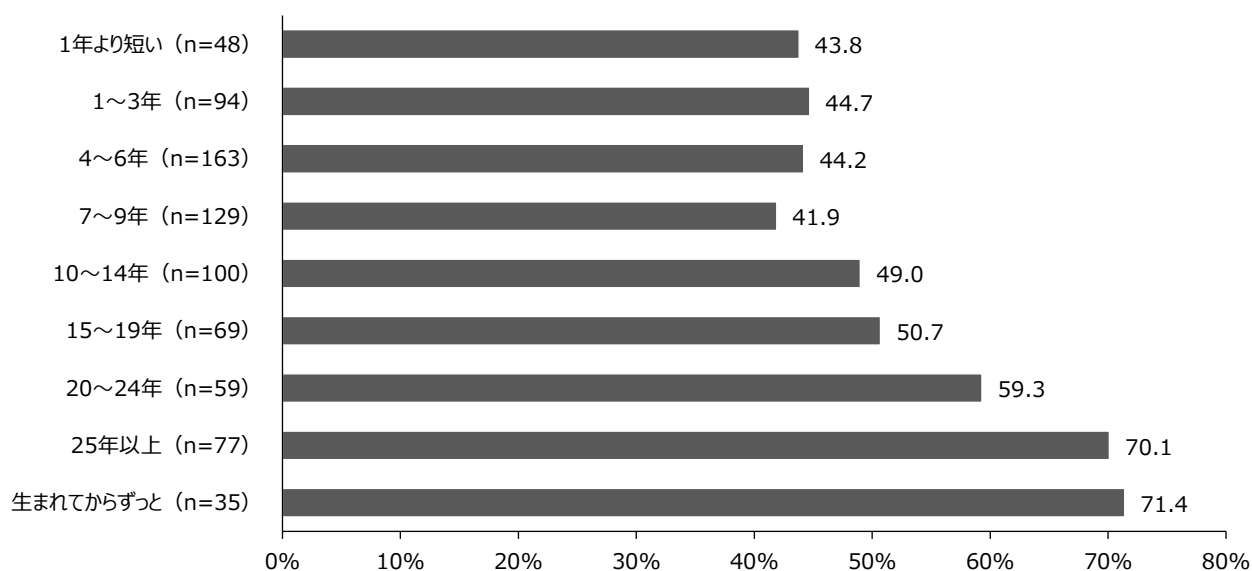
■【参考 59 2019年調査との比較】



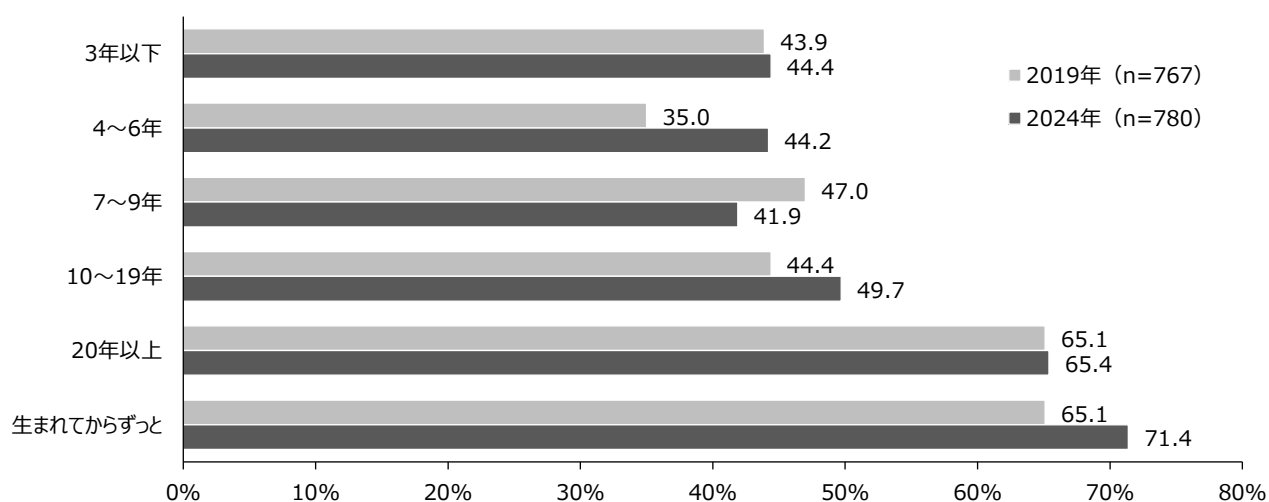
困ったり不満に感じたりしていることがない人を滞在年数で見ると、「9 年以内」で約 4 割、「10～19 年」で約 5 割、「20～24 年」で約 6 割、「生まれてからずっと」と「25 年以上」では約 7 割と全体的には滞在年数の長さに比例して困りごとや不満を感じていない人の割合が高くなる傾向にある。

前回調査と比較してみると、滞在年数の長さに比例して困りごとや不満を感じていない人の割合が高くなるという傾向はおおむね一致している。

■ 図表 88 現在の仕事における困りごとや不満がない人と滞在年数の関係



■ 【参考 60 2019 年調査との比較】



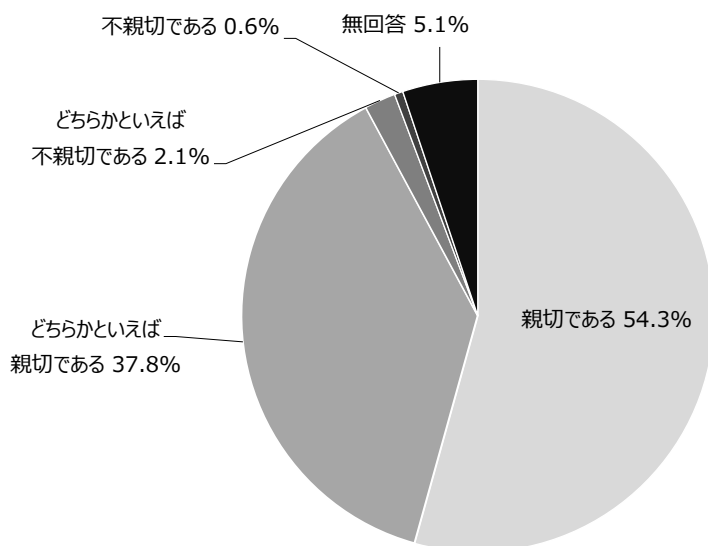
第8章 行政の対応と市への要望

1 川崎市の施策について

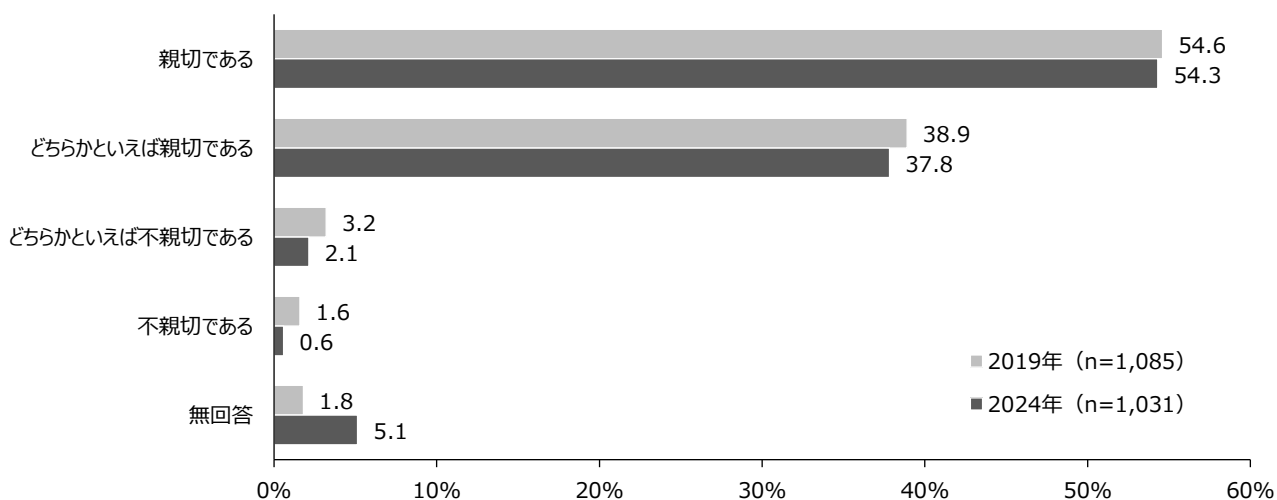
川崎市の行政窓口の対応についてたずねたところ、「親切である」が 54.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば親切である」が 37.8%となっており、この2つを合算すると 92.1%と9割を超える人が親切であると感じている。

前回調査と比較してみると、「親切である」と「どちらかといえば親切である」の合計は 1.4 ポイント減少しているものの、「不親切である」と「どちらかといえば不親切である」の合計も 2.1 ポイント減少している。これは、「無回答」が増えたことによるもので、親切が減り、不親切が増えたわけではない。

■図表 89 市役所やその他の行政窓口での対応（n=1,031）

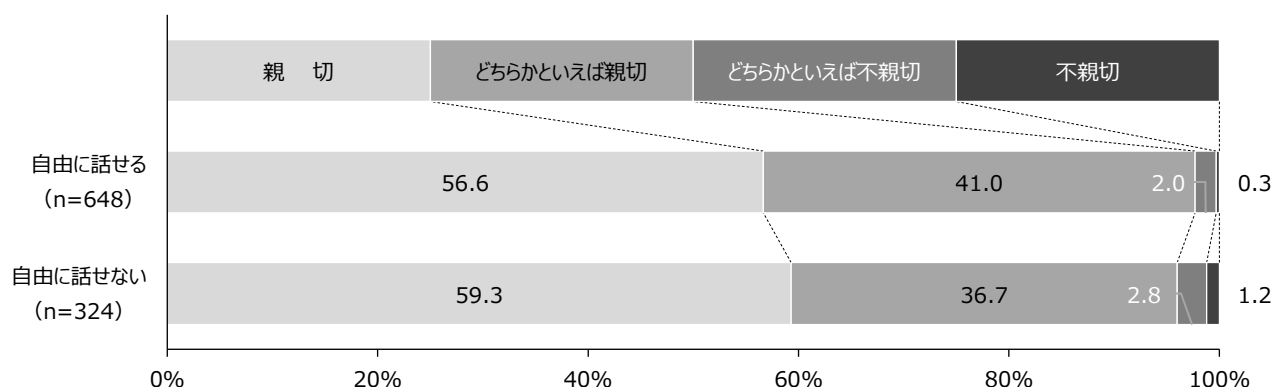


■【参考 61 2019 年調査との比較】



次に、回答者の日本語能力と行政窓口での対応の関係について見てみると、日本語が「自由に話せる」「自由に話せない」のどちらも「親切」が5割を超え、「どちらかといえば親切」との合計では9割を超えた。日本語能力の違いにかかわらず、行政窓口の対応に対する評価は非常に高いといえる。

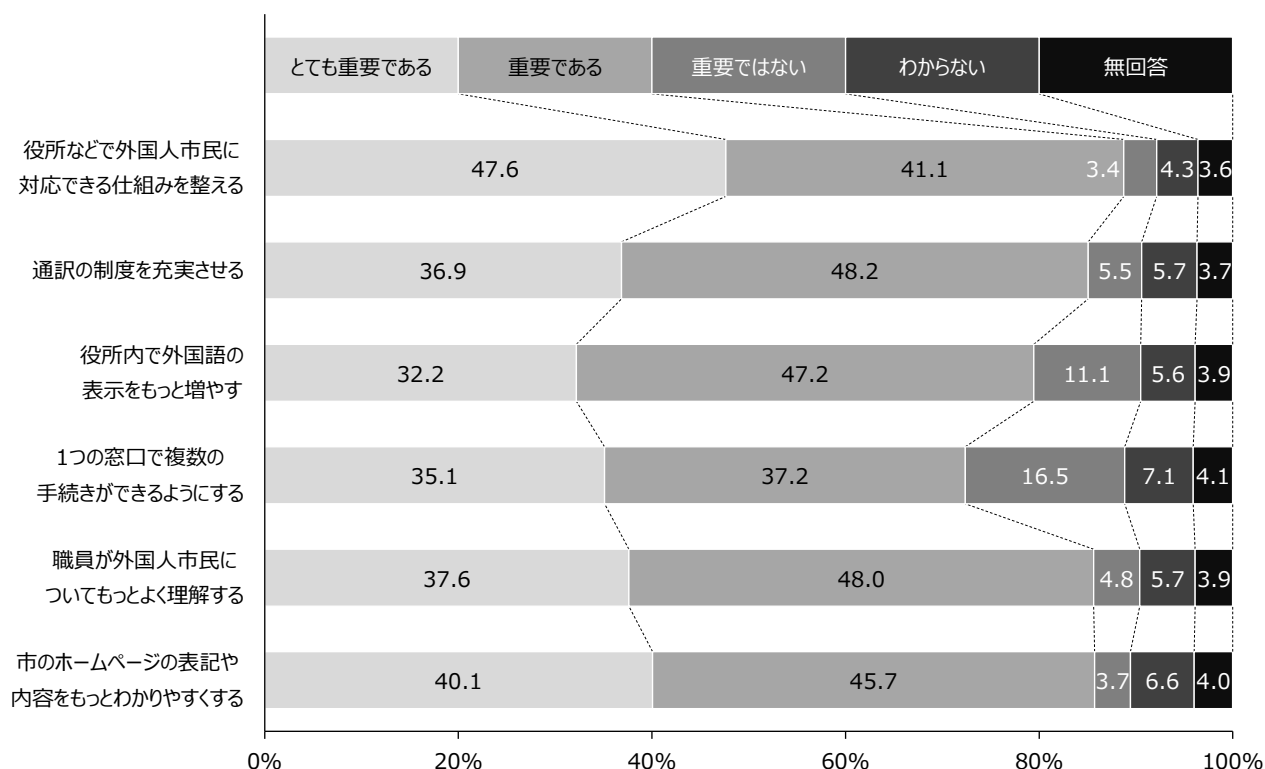
■図表 90 日本語能力と市役所やその他の行政窓口での対応の関係



市の対応について、それぞれどのくらい重要であるかをたずねたところ、「とても重要である」と「重要である」の合計は「役所などで外国人市民に対応できる仕組みを整える」が88.7%で最も高く、次いで「市のホームページの表記や内容をもっとわかりやすくする」が85.8%、「職員が外国人市民についてもっとよく理解する」が85.6%で続いた。「重要ではない」の割合が最も高かったのは、「1つの窓口で複数の手続きができるようにする」の16.5%であった。

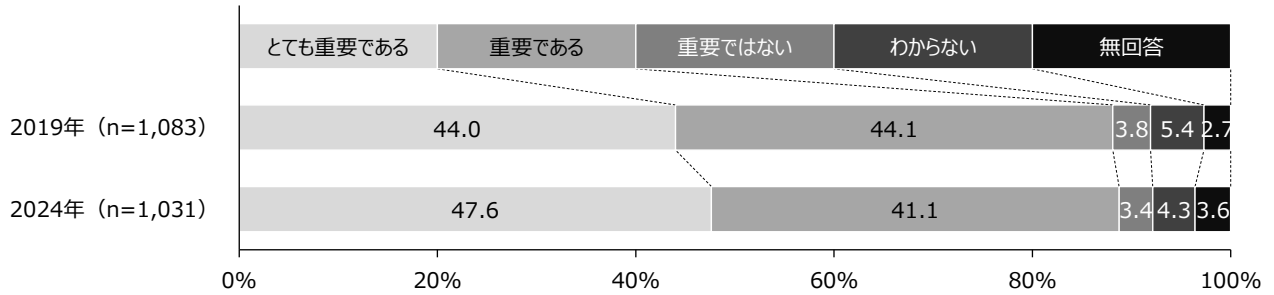
前回調査と比較してみると、「とても重要である」と「重要である」の合計はいずれの項目でも増加していた。なかでも「市のホームページの表記や内容をもっとわかりやすくする」で6.2ポイント、「通訳の制度を充実させる」では3.3ポイント増加していた。

■図表 91 市の対応として重要なこと (n=1,031)

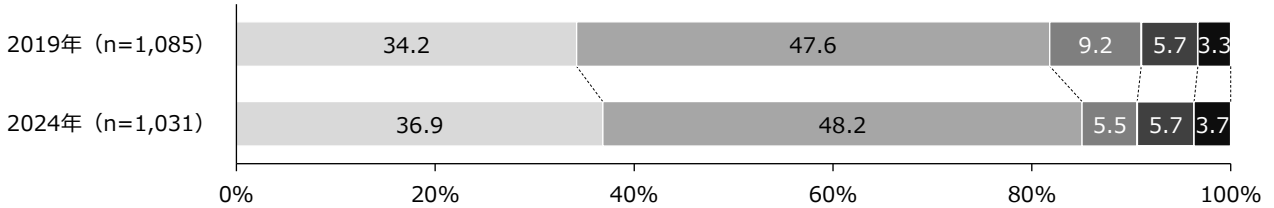


■【参考 62 2019 年調査との比較】

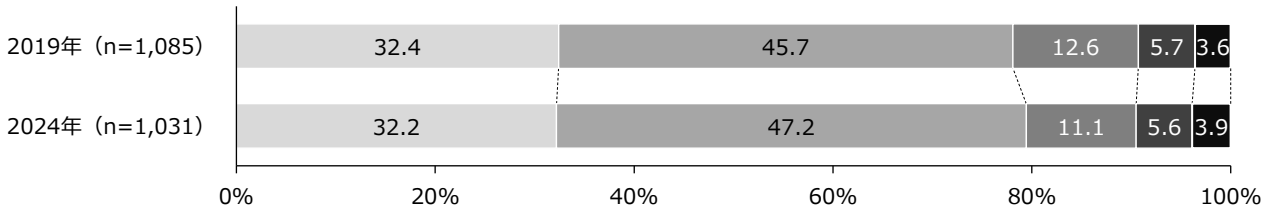
●役所などで外国人市民に対応できる仕組みを整える



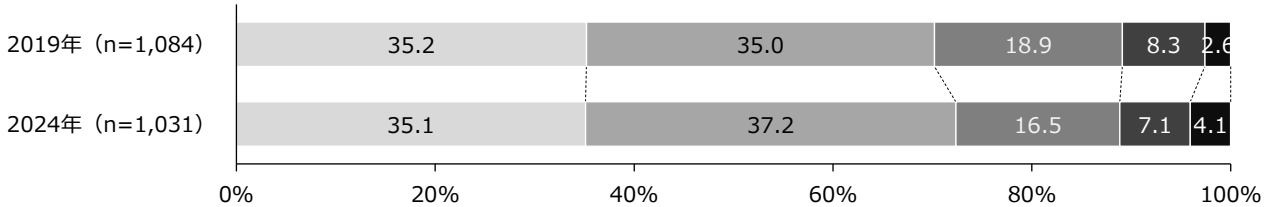
●通訳の制度を充実させる



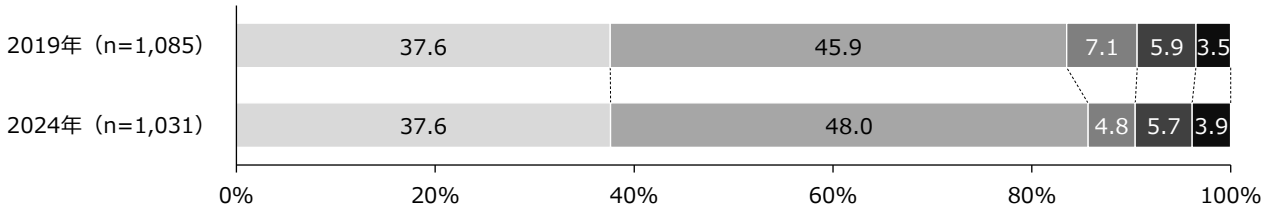
●役所内で外国語の表示をもっと増やす



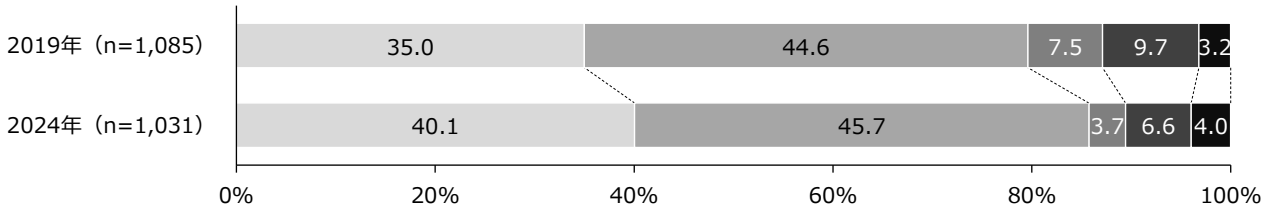
●1つの窓口で複数の手続きができるようにする



●職員が外国人市民についてもっとよく理解する



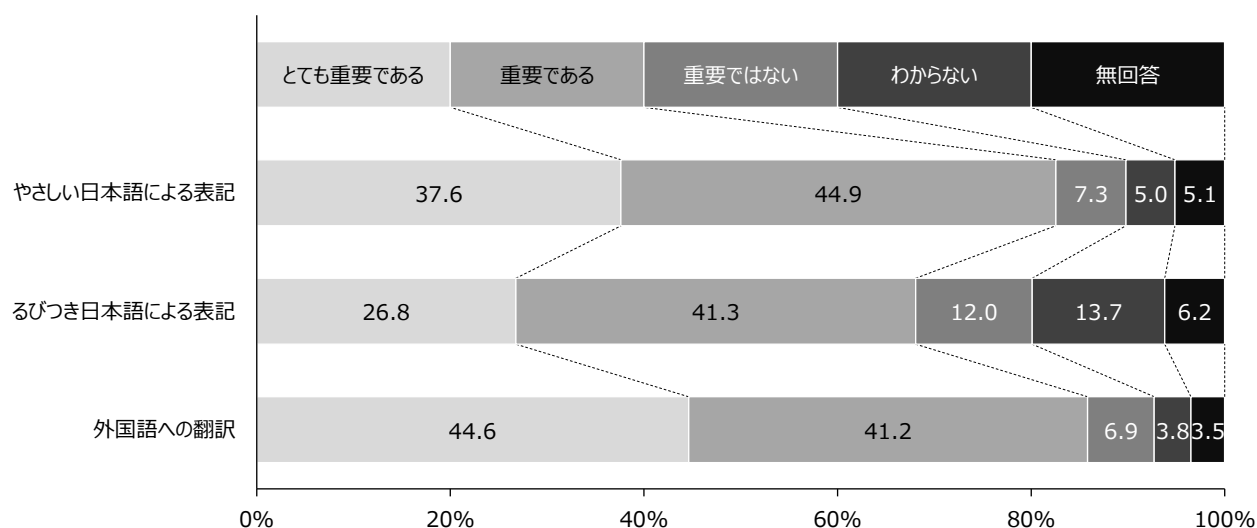
●市のホームページの表記や内容をもっとわかりやすくする



川崎市の多言語による情報の提供について、「やさしい日本語による表記」「るびつき日本語による表記」「外国語への翻訳」がそれぞれどのくらい重要であるかをたずねたところ、「とても重要である」の割合が最も高かったのは「外国語への翻訳」の 44.6%であった。「とても重要である」と「重要である」との合計でも最も高かったのは「外国語への翻訳」の 85.8%で、「やさしい日本語による表記」は 82.5%、「るびつき日本語による表記」は 68.1%であった。

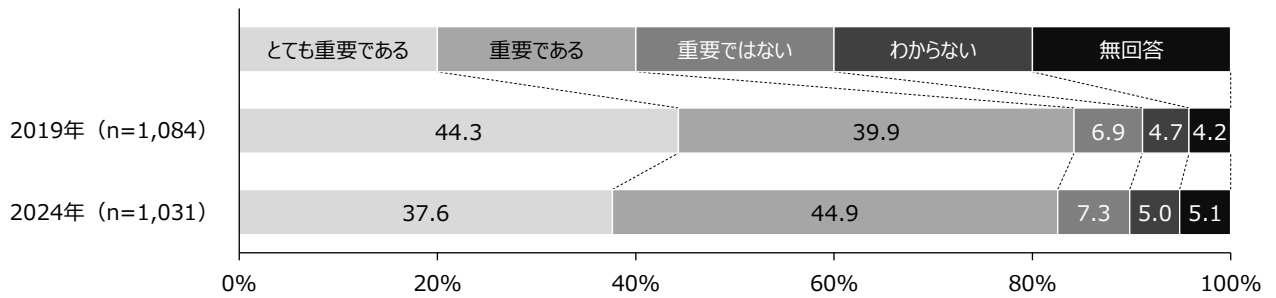
前回調査と比較してみると、「とても重要である」と「重要である」の合計は「やさしい日本語による表記」と「るびつき日本語による表記」で減少し、「外国語への翻訳」で増加しており、多言語化のニーズが高まっていることがうかがえる。これは、外国人市民の日本語レベルが全体的に低くなっていることと符合する結果といえる。もっとも、「やさしい日本語による表記」は約 8 割、「るびつき日本語による表記」も約 7 割が重要だと考えており、どちらも依然として重要であることには変わらない。

■図表 92 川崎市の多言語による情報提供について (n=1,031)

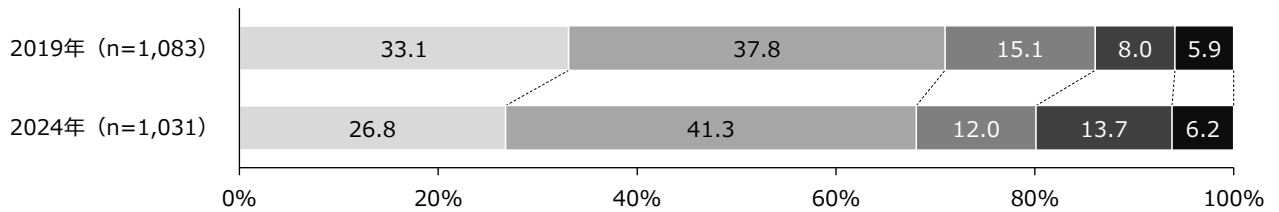


■【参考 63 2019 年調査との比較】

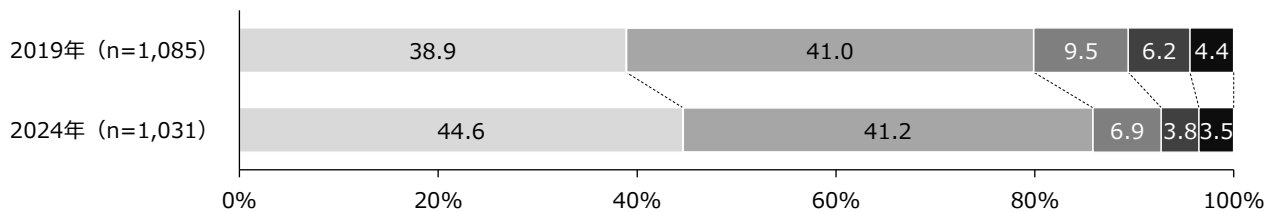
●やさしい日本語による表記



●るびつき日本語による表記



●外国語への翻訳



第Ⅱ部 テーマ別考察

第1章 外国人市民と日本語学習

1 はじめに

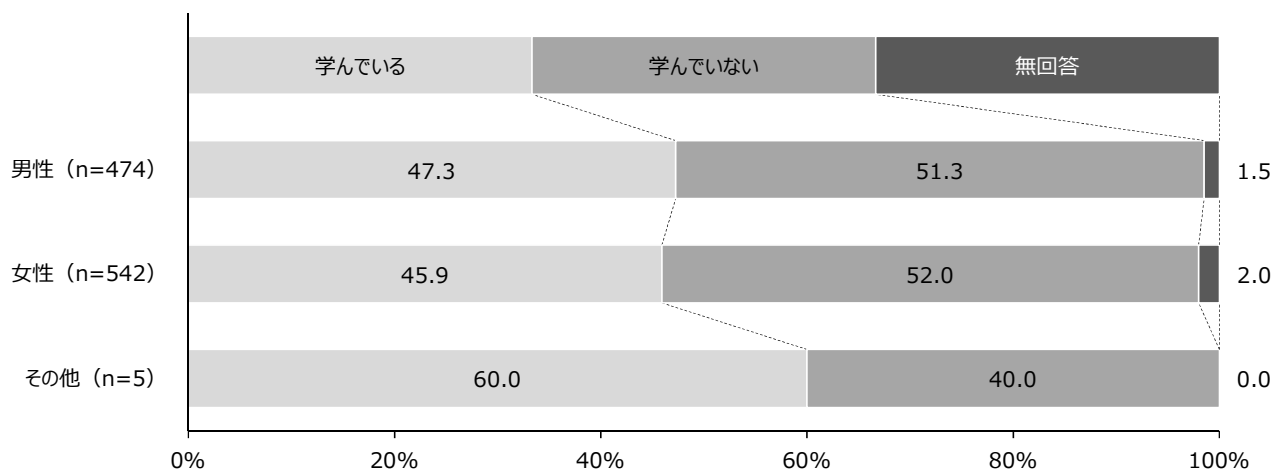
国においては2019年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行され、また、2024年3月には川崎市においても「川崎市地域日本語教育推進方針」が策定されるなど、現在、外国人市民への日本語教育は多文化共生社会の実現を目指すうえで重要なテーマのひとつとなっている。川崎市では、1980年代以来、市民ボランティアの参画を得ながら川崎市ふれあい館、教育文化会館・市民館において識字・日本語学級を開設・運営してきたほか、川崎市国際交流センターでの日本語講座や市民グループによる活動など多様な主体による取組が行われているが、そもそも学習の主体である外国人市民は日本語学習に対してどのような関心や意欲を持っているのだろうか。

前回、前々回の調査では、日本語能力に関する設問はあったものの、日本語学習に関してはたずねていなかった。本章では、今回の調査で新たに設問として追加した外国人市民の日本語学習に関する現状から、その潜在的なニーズや課題について考察したい。

2 日本語の学習状況

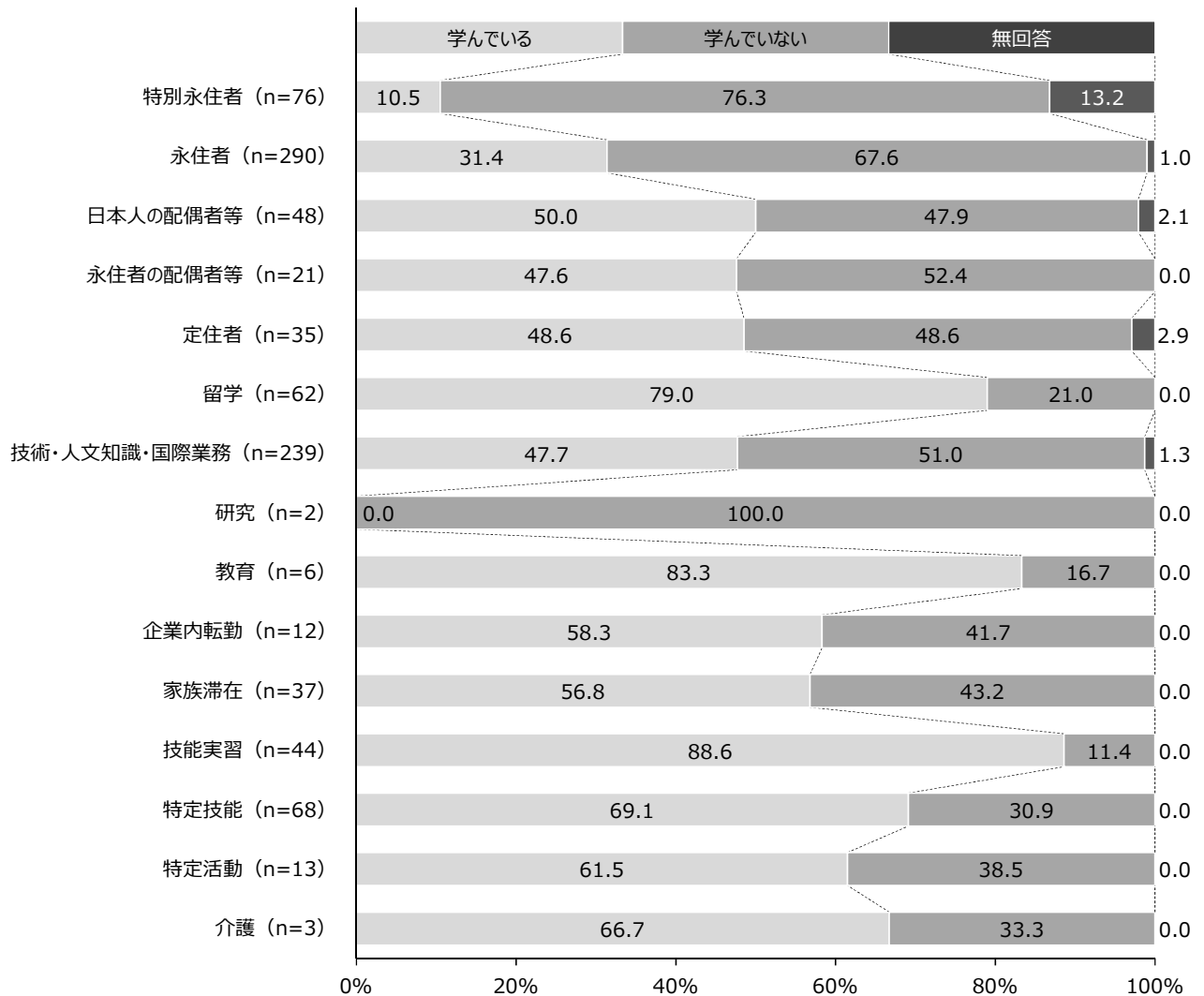
まずは、外国人市民の日本語学習の現状について見てみよう。今回の調査では、18歳以上の外国人市民のうち、現在、日本語を「学んでいる」が46.7%、「学んでいない」が51.4%、「無回答」が1.9%という結果となった（p. 54 図表 32 参照）。では、どのような人たちが日本語を学んでいる／学んでいないのだろうか。

■図表 93 日本語学習の状況と性別



性別別の学習状況を見ると、「学んでいる」は「男性」で47.3%、「女性」で45.9%となっており、性別の違いによる学習状況の違いは見られなかった。「その他」に関しては、5人の回答者のうち「学んでいる」が60.0%という結果であった。

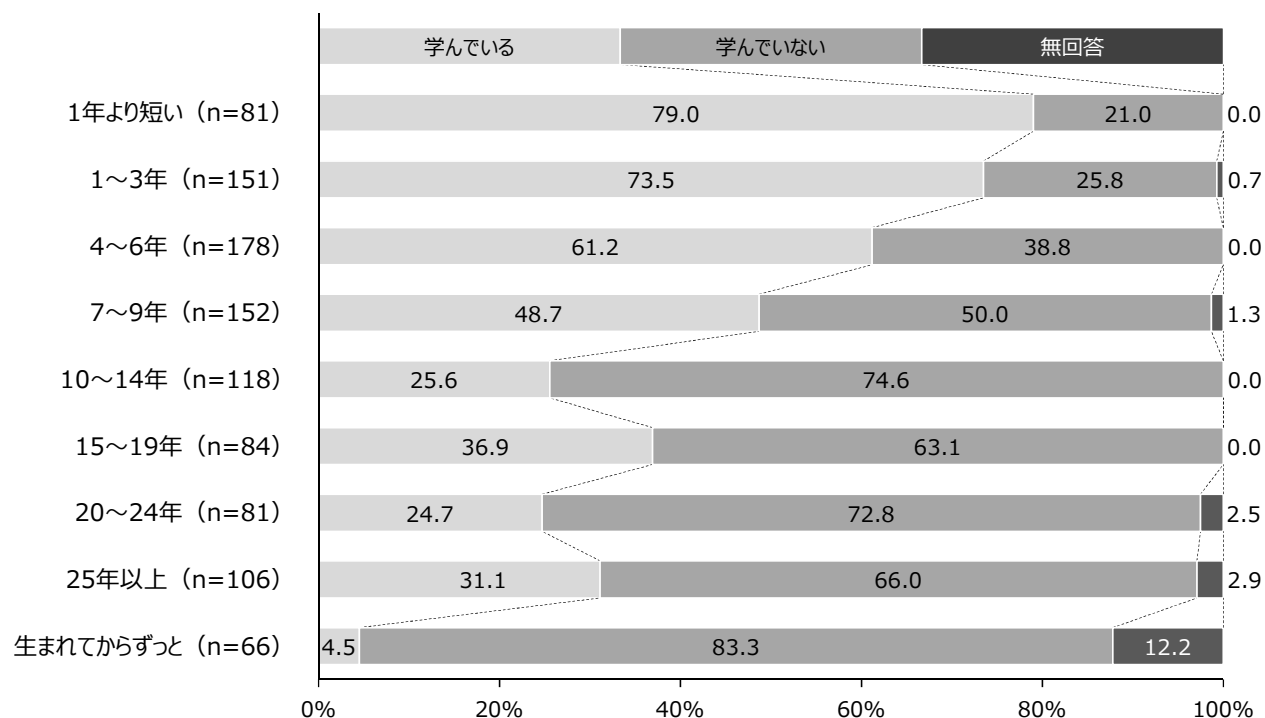
■図表 94 日本語学習の状況と在留資格



在留資格別の学習状況を見てみると、「学んでいる」の割合が最も高かったのは「技能実習」の88.6%で、次に「教育」の83.3%、「留学」の79.0%と続いた。逆に、「学んでいる」の割合が低かったのは「研究」で0.0%、「永住者」で31.4%、「特別永住者」で10.5%という結果であった。

「永住者」と「特別永住者」以外の地位・身分に基づく在留資格を見てみると、「学んでいる」の割合は「日本人の配偶者等」で50.0%、「永住者の配偶者等」で47.6%、「定住者」で48.6%となっており、他の在留資格と比べるとやや低い傾向がみられた。一方、就労系の在留資格では「技術・人文知識・国際業務」で「学んでいる」が47.7%と唯一5割を下回っていた。

■図表 95 日本語学習の状況と日本での滞在年数

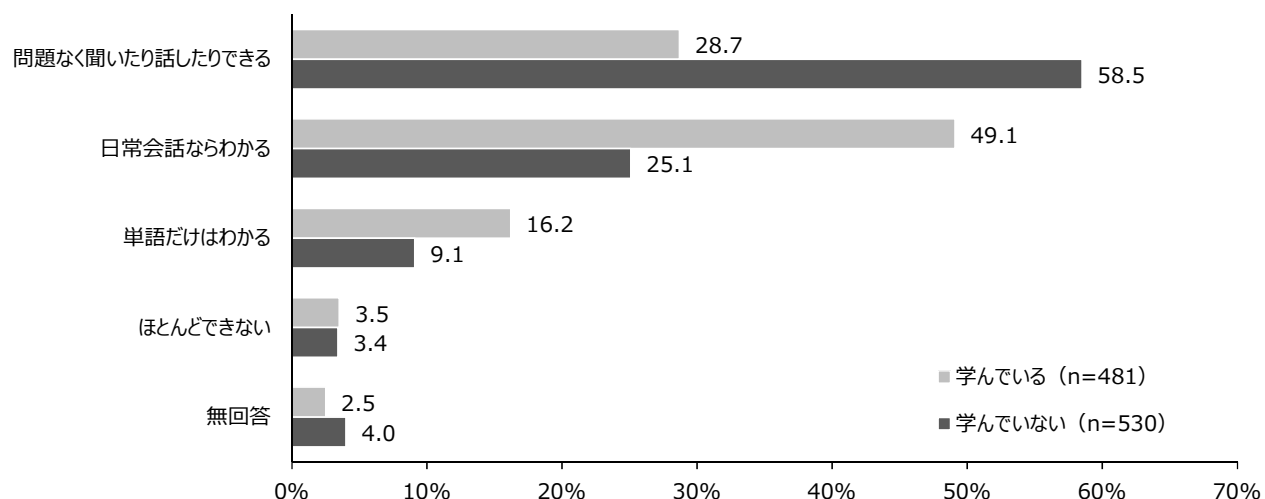


では、日本での滞在年数と日本語の学習状況の関係はどのようなになっているのだろうか。全体的な傾向としては、日本での滞在が14年以下では滞在期間が長くなるほど「学んでいない」が増加する傾向にある。これは、滞在年数の長期化につれて日本語の習得が進むことが要因だと考えられる。ただし、15年以上でも「15～19年」で36.9%、「20～24年」で24.7%、「25年以上」で31.1%と2～3割台の人が日本語の学習を継続している。

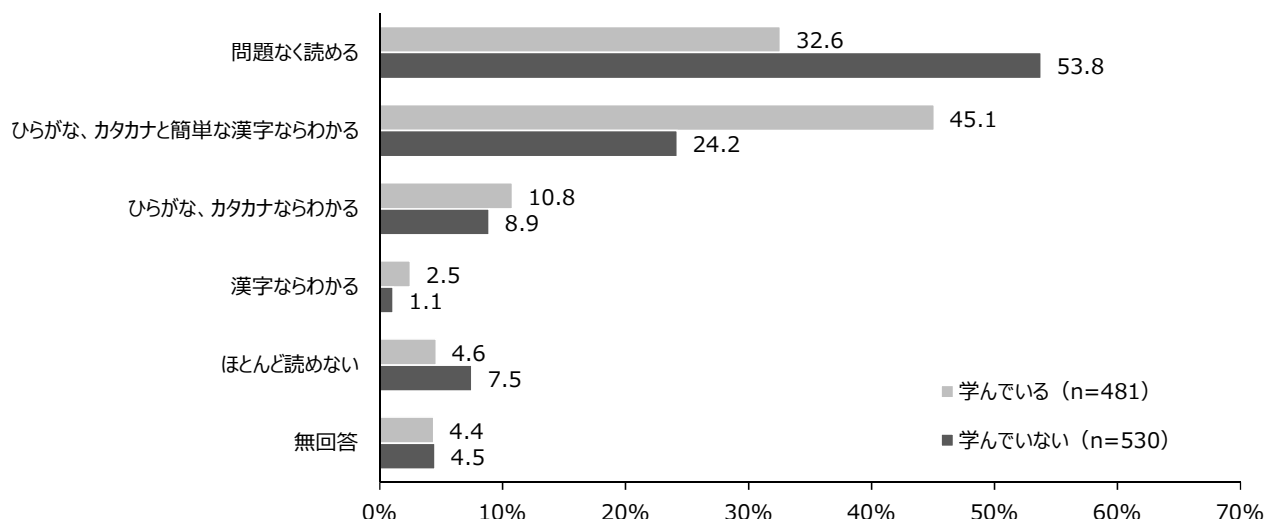
滞在年数が長くても日本語を学習している人が一定数いる一方で、滞在期間が1年未満（「1年より短い」）の場合でも「学んでいない」という人が約2割いる。これは、日本語を学んでいるかどうかは、滞在年数というよりも日本語の習得状況と関係しているためだと考えられる。では、日本語学習の現状と日本語能力の関係はどのようなになっているのだろうか。

■図表 96 日本語学習の状況と日本語能力

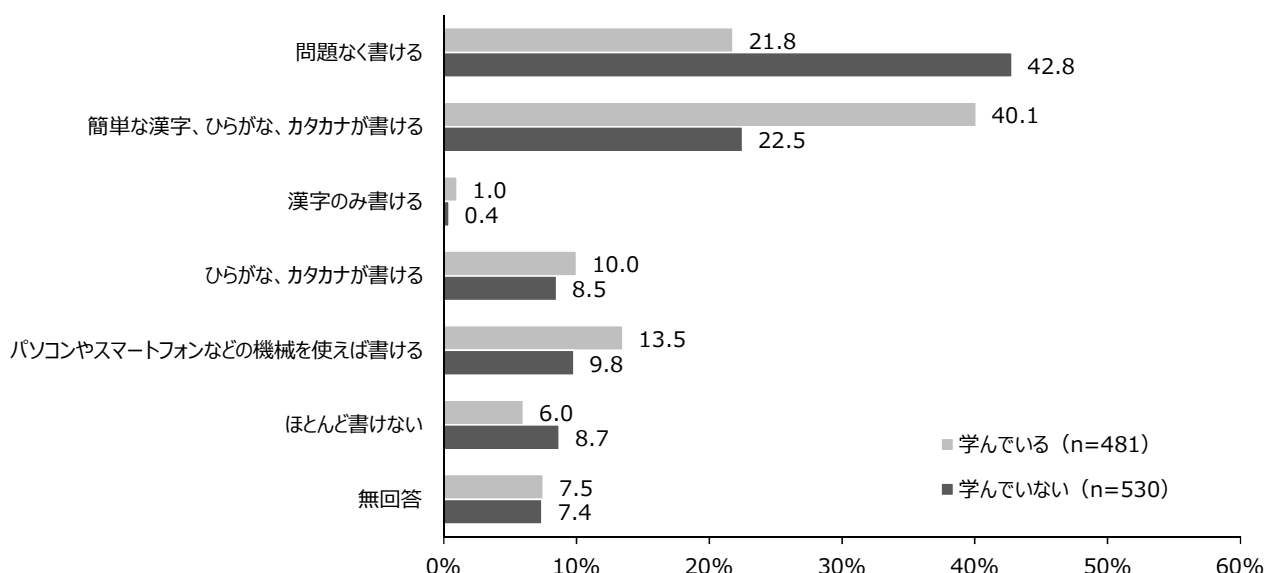
●<聞く・話す>



●<読む・わかる>



●<書く>



まず、「学んでいない」に着目してみると、「聞く・話す」では「問題なく聞いたり話したりできる」が58.5%、「読む・わかる」では「問題なく読める」が53.8%、「書く」では「問題なく書ける」が42.8%となっており、いずれの項目においても約5割ほどが高い日本語能力を有していることがわかる。かれらはすでに十分な日本語能力を習得しているため、日本語を学習する必要性をそれほど感じていないものと思われる。

次に、「学んでいる」に着目すると、「学んでいる」の中にも「問題なく聞いたり話したりできる」が28.7%、「問題なく読める」が32.6%とそれぞれ約3割、また、「問題なく書ける」も21.8%と約2割いる。さらに、「聞く・話す」では、「問題なく聞いたり話したりできる」と「日常会話ならわかる」の合計は「学んでいる」で77.8%、「学んでいない」で83.6%とそれほど大きな違いは見られなかった。同様に、「読む・わかる」では、「問題なく読める」と「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」の合計は「学んでいる」で77.7%、「学んでいない」で78.0%とほぼ同じ結果となった。「書く」でも、「問題なく書ける」と「簡単な漢字、ひらがな、カタカナが書ける」の合計は「学んでいる」で61.9%、「学んでいない」で65.3%とこちらも大きな違いは見られなかった。

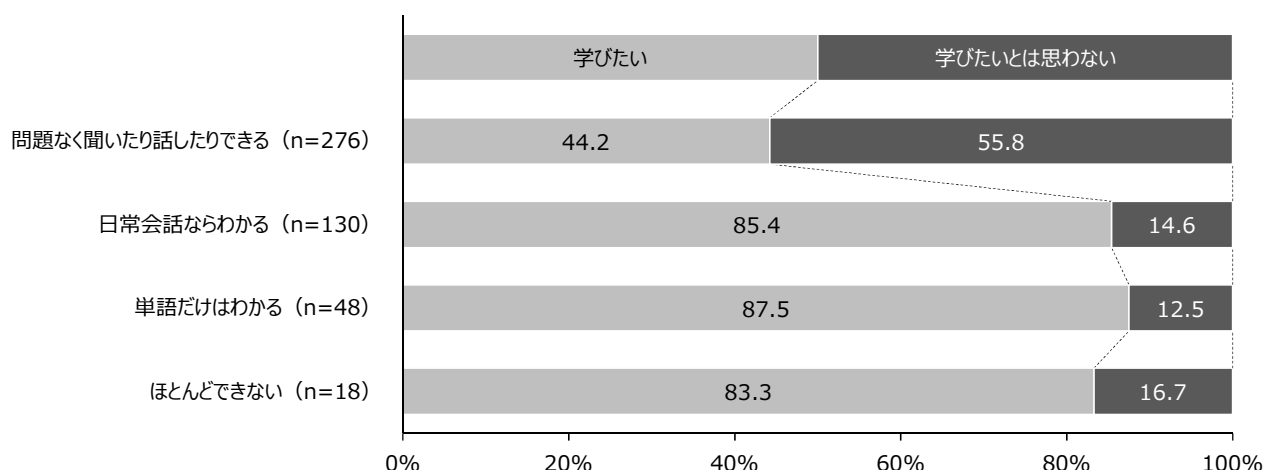
以上の結果からは、基本的には日本語能力が高くなれば日本語学習の必要性は低下するものの、十分な／一定の日本語能力を習得してからも、継続して日本語の学習を続けている人が一定数いることがわかる。今回の調査では、かれらがなぜ日本語の学習を継続するのかについてはたずねていないためその理由を明らかにすることはできないが、さらなる日本語能力の向上を目指していたり、あるいは、たとえば学習を通じた交流など日本語の習得以外の動機があったりするのかもしれない。

3 日本語学習への関心や意欲

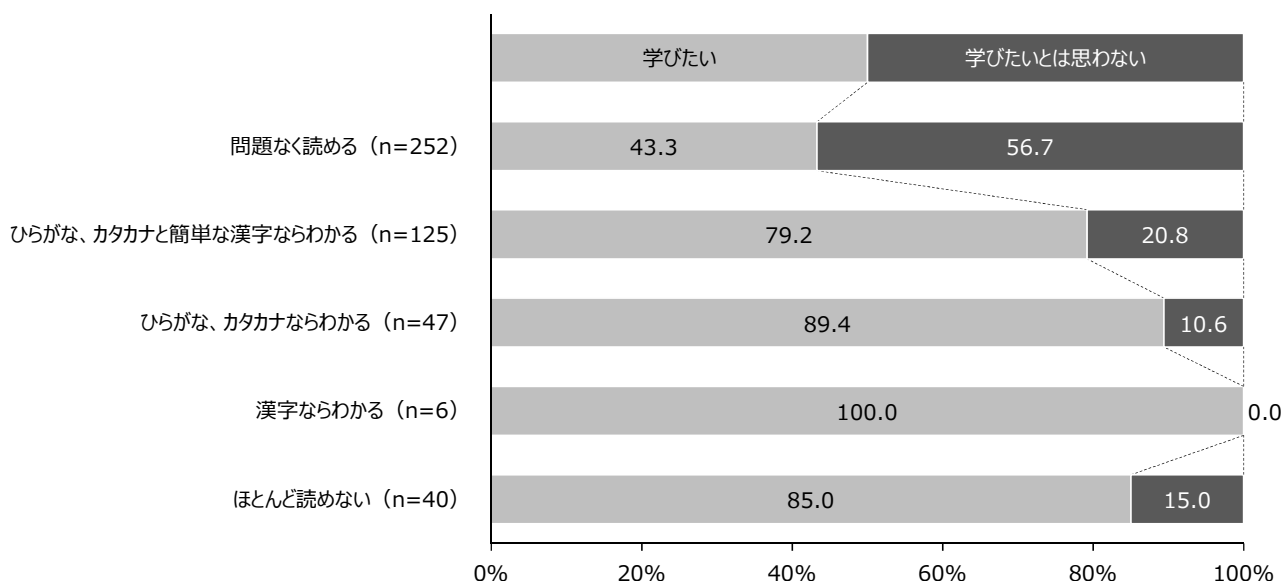
さて、今回の調査では51.4%と約半数の外国人市民が現在、日本語を学んでいなかったわけだが、かれらは日本語を学びたいと思っているのだろうか。もちろん、すでに十分な日本語能力を有していれば、日本語を学ぶ必要性は低いだろう。では、日本語学習への意欲や関心と日本語能力の関係はどのようなになっているのだろうか。

■図表 97 日本語学習への関心や意欲と日本語能力

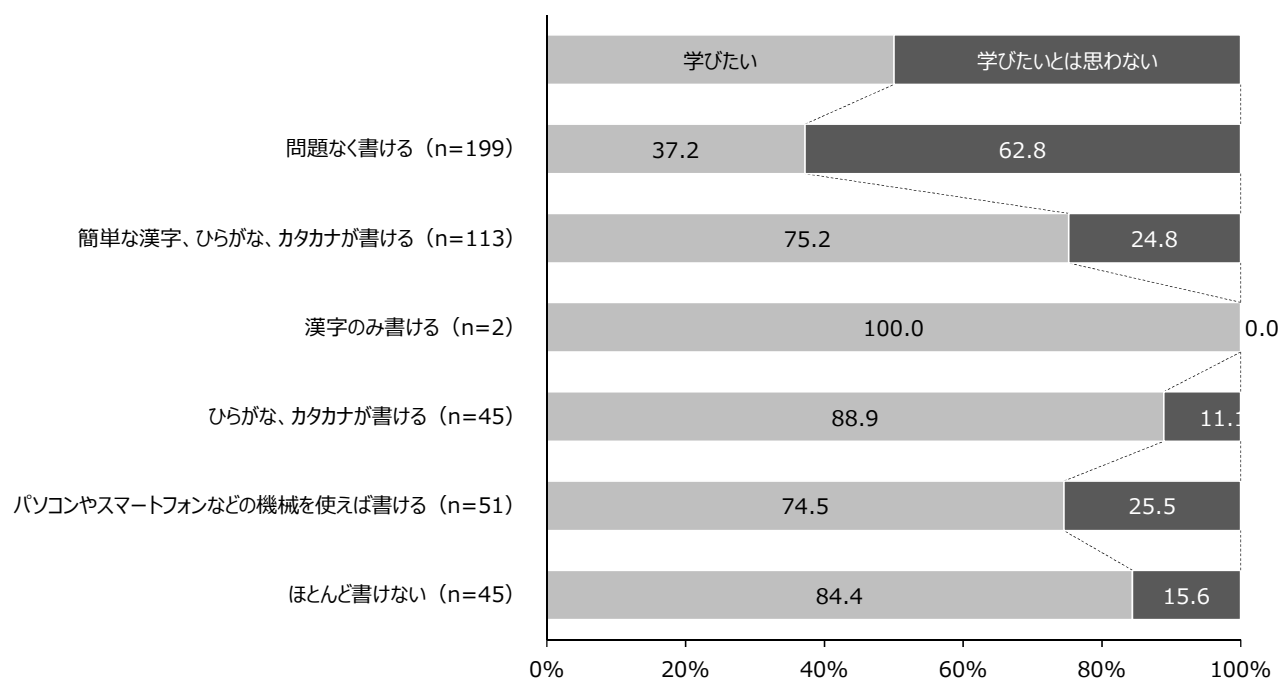
●<聞く・話す>



●<読む・わかる>

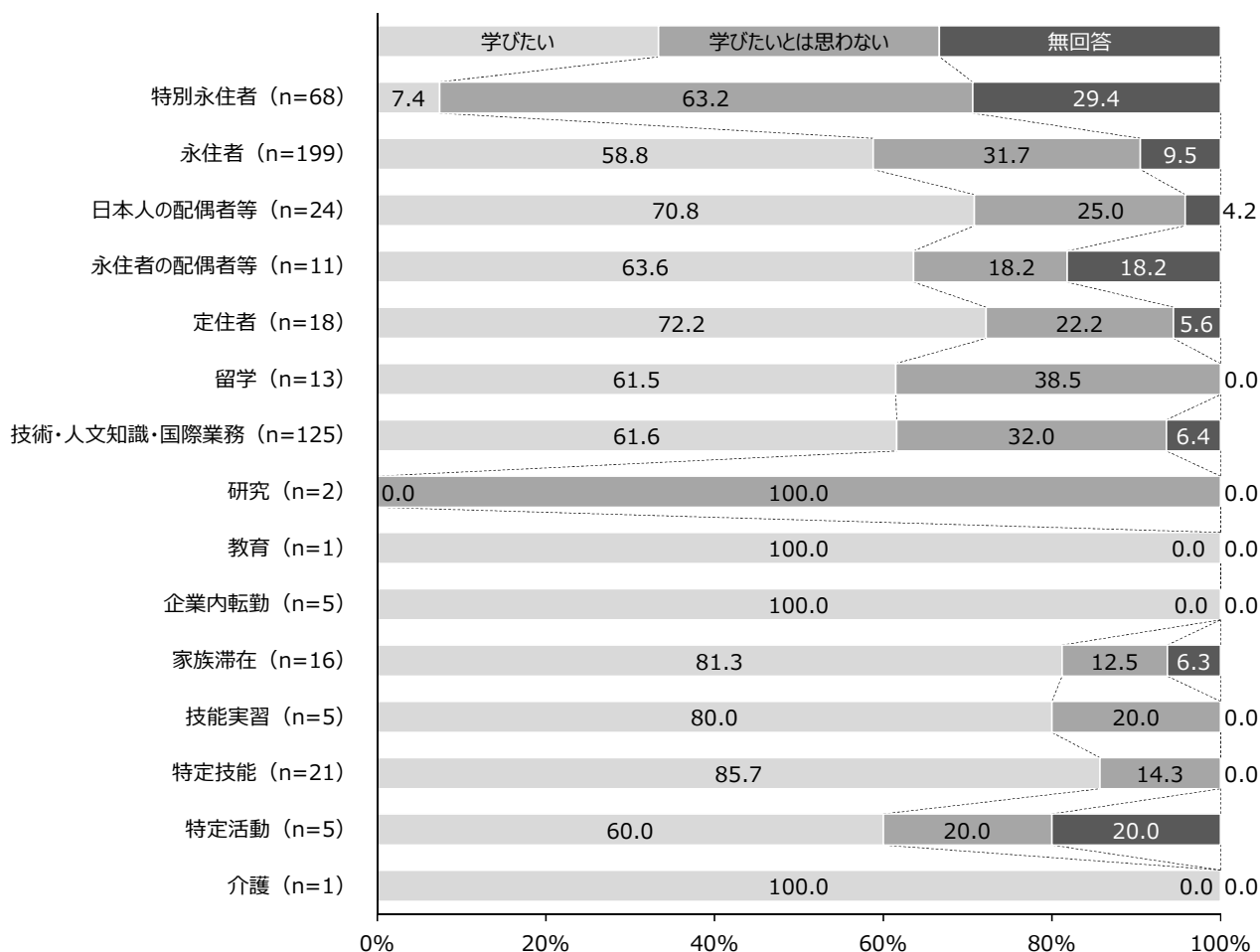


●<書く>



全体的な傾向としては、「問題なく聞いたり話したりできる」「問題なく読める」「問題なく書ける」でこそ「学びたいとは思わない」の割合が高かったものの、それ以外ではいずれの項目でも日本語の習得レベルにかかわらず「学びたい」と思っている割合の方が高い結果となった。また、「問題なく聞いたり話したりできる」で 44.2%、「問題なく読める」で 43.3%、「問題なく書ける」で 37.2%と十分な日本語能力を有していても「学びたい」と思っている人が約 4 割ほどおり、外国人市民の日本語学習への関心や意欲の高さがうかがえる結果となった。

■図表 98 日本語学習の状況と在留資格

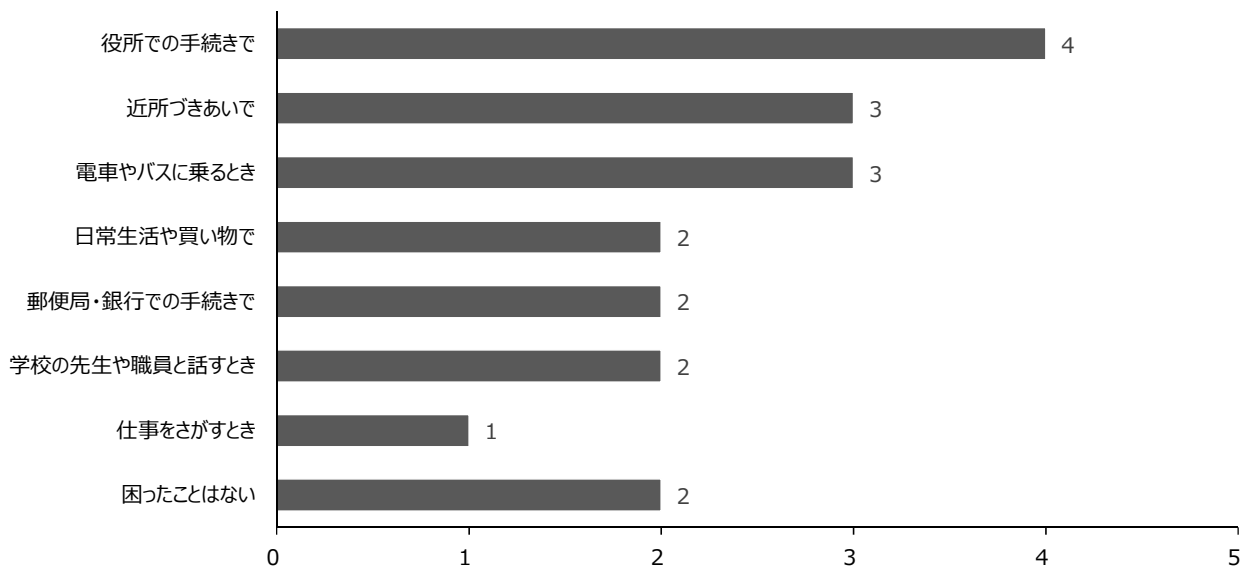


ちなみに、在留資格別の学習状況を見てみると、「特別永住者」と「研究」以外では「学びたい」が5割を超えていた。「学びたい」の割合が低い理由としては、「特別永住者」に関しては日本語能力に問題を抱えていないためだと思われる。また、「研究」に関しては、特に仕事において日本語を使用する機会や場面が少なく、必要性を感じていないのかもしれない。「特別永住者」と「研究」を除けば、日本語学習への関心や意欲が顕著に低い在留資格はみられなかった。

全体として、日本語学習への関心や意欲の高さがうかがえる結果ではあるが、とはいえ、一部で関心や意欲の低い人たちも存在している。とりわけ、日本語能力が低いにもかかわらず、現在、日本語を学んでおらず、かつ「学びたいとは思わない」という人たちの存在は見逃せない。具体的には、「聞く・話す」では「ほとんどできない」のうち16.7%が、「読む・わかる」では「ほとんど読めない」のうち15.0%が、「書く」では「ほとんど書けない」のうち15.6%が「学びたいとは思わない」と回答している。では、かれらは日常生活を送る上で、日本語が不自由なために困ることはないのだろうか。あるとすれば、どのように対処しているのだろうか。

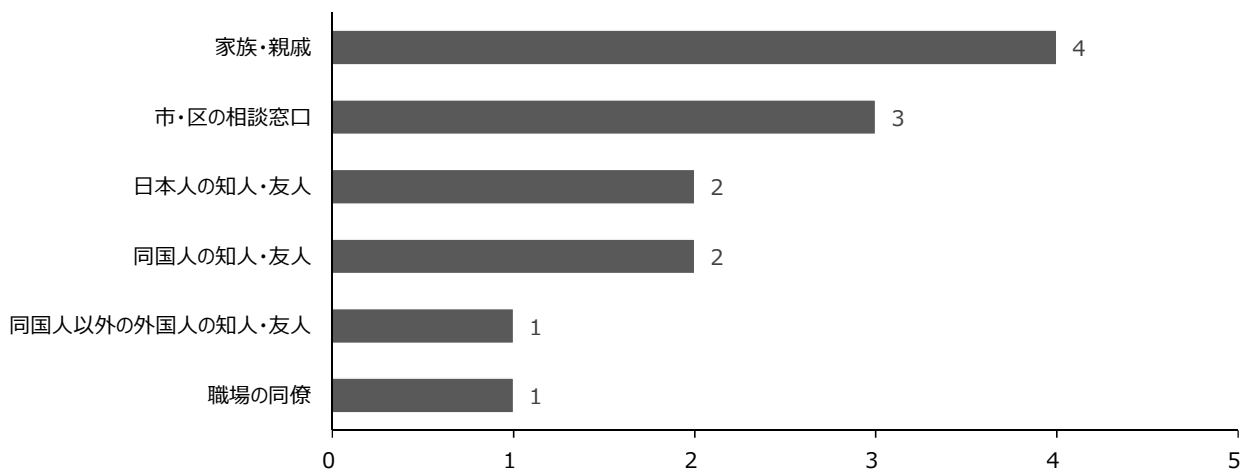
ここでは、「聞く・話す」と「読む・わかる」に着目して、掘り下げて考察してみたい。「聞く・話す」で「ほとんどできない」のうち「学びたいとは思わない」と回答したのは3人、「読む・わかる」で「ほとんど読めない」のうち「学びたいとは思わない」と回答したのは6人であった。ただし、「聞く・話す」で「ほとんどできない」の3人は、「読む・わかる」でも「ほとんど読めない」と回答しているため、重複を除くと該当者は6人となる。なお、6人の在留資格は、「永住者」「永住者の配偶者等」「家族滞在」「特定活動」「特定技能」「無回答」で、特定の在留資格に集中しているというわけではなかった。

■図表 99 最近 1 年間に日本語が不自由なために困った経験（MA、n=6）※数値は実数



6 人のうち、2 人は「困ったことはない」と回答しており、とくに不自由な経験をしていないことから、日本語を学ぶ必要性を感じていないものと思われる。しかしながら、残りの 4 人に関しては、4 人全員が「役所での手続きで」、3 人が「近所づきあいで」「電車やバスに乗るとき」、2 人が「日常生活や買い物で」と回答しており、ふだんの生活の中で不自由さを感じているようだ。では、かれらは生活で困ったときにどうしているのだろうか。相談する相手はいるのだろうか。

■図表 100 生活で困ったときに相談する相手（MA、n=6）※数値は実数

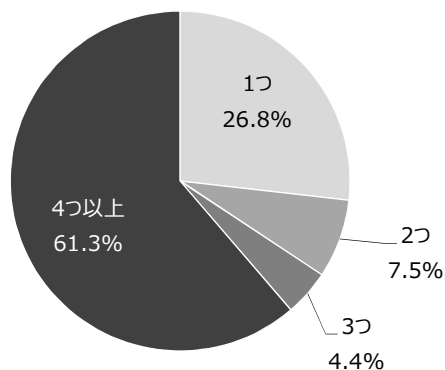


最も多かったのは「家族・親戚」の 4 人で、次に「市・区の相談窓口」が 3 人、「日本人の知人・友人」と「同国人の知人・友人」がそれぞれ 2 人で続いた。「相談できる人はいない」は 0 人で、困ったことがあっても相談できる相手がいることが日本語を学ぶ必要性を感じなくさせているのかもしれない。

4 日本語の学習方法

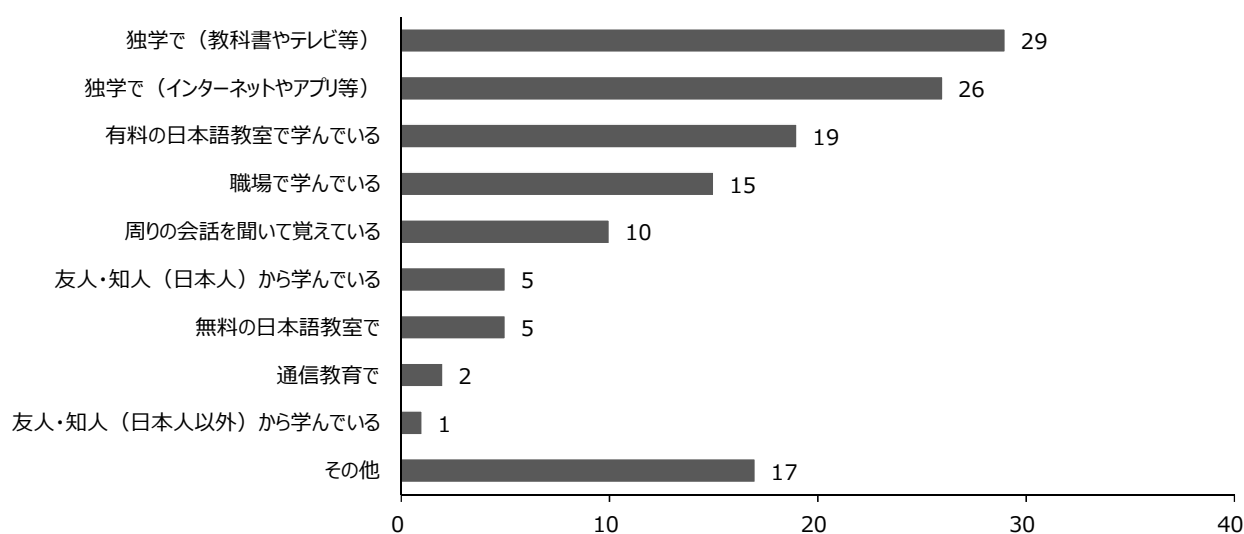
さて、ここまでは主に、現在、日本語を学んでいないという人に着目してきたが、日本語を学習している人たちはどのような方法で日本語を学習しているのだろうか。

■図表 101 日本語の学習方法の数 (MA、n=481)



学習方法の数を見てみると、「4つ以上」が61.3%で最も多く、半数以上を占めた。「4つ以上」に「2つ」と「3つ」を合わせると73.2%となり、およそ4人に3人は複数の学習方法を併用しているという結果になった。では、学習方法が「1つ」という人たちは、どのような方法で学習しているのだろうか。

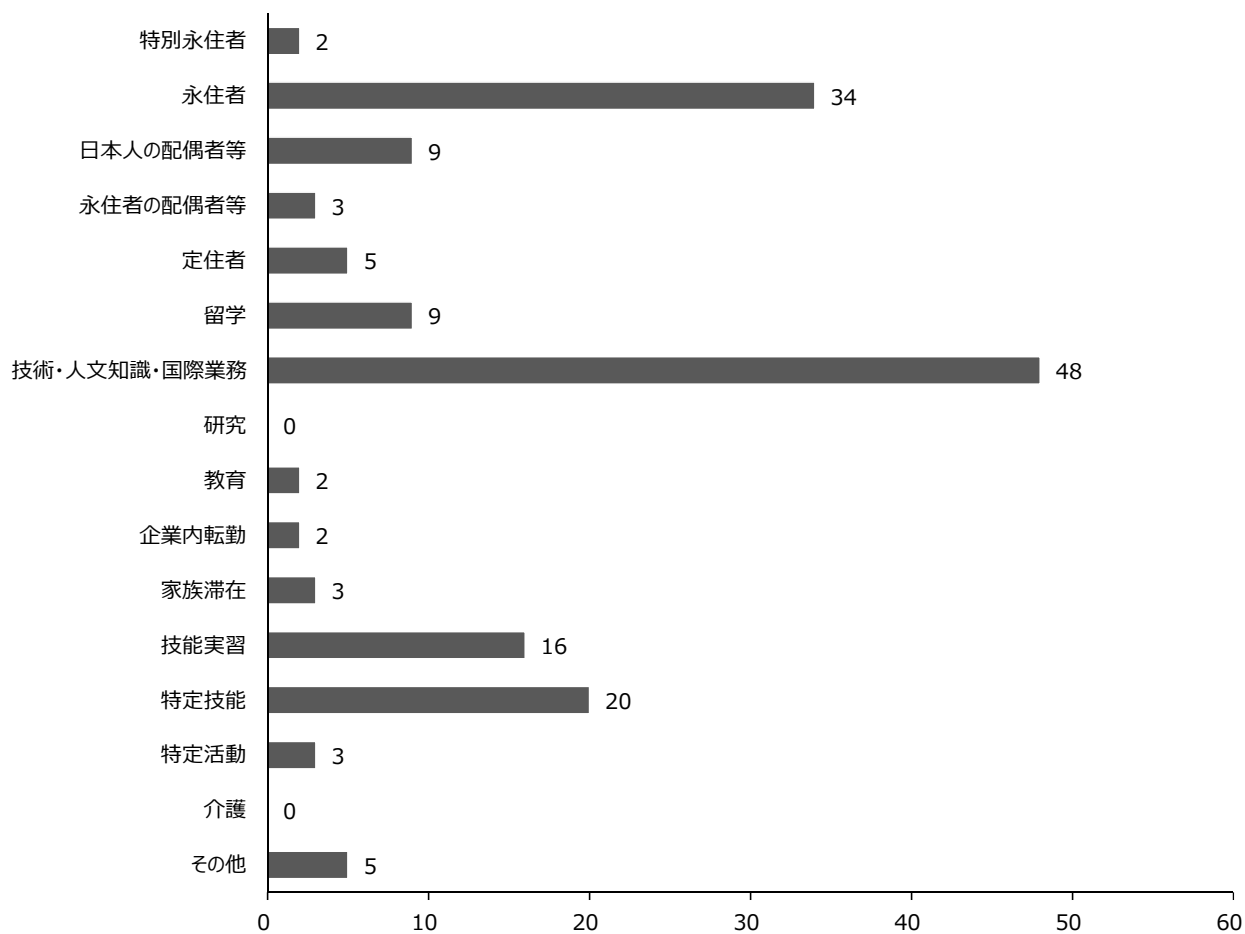
■図表 102 学習方法が1つという人の学習方法 (MA、n=129) ※数値は実数



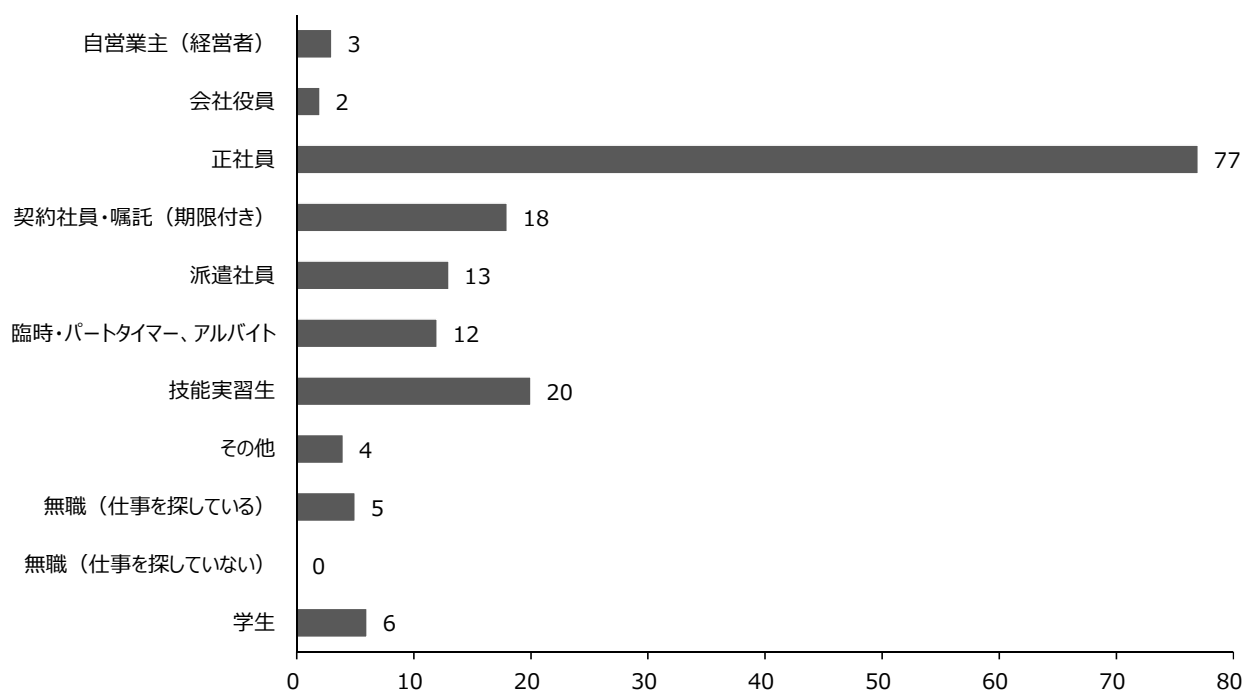
最も多かったのは「独学で（教科書やテレビ等）」の29人で、次に「独学で（インターネットやアプリ等）」の26人、「有料の日本語教室で学んでいる」の19人と続いた。全体の傾向と同様に、独学で学習しているという人が多いようだ。

ところで、「日本語教育の推進に関する法律」では、第6条において事業主の責務として雇用する外国人等とその家族に対して日本語学習の機会の提供等に努めることが規定されている。今回の調査では、現在、日本語を学んでいるという人のうち「職場で学んでいる」という人が34.1%いた（p. 54 図表 33 参照）。では、「職場で学んでいる」という人たちは、どのような人たちで、日本語学習の機会を提供している職場とはどのような職場なのだろうか。

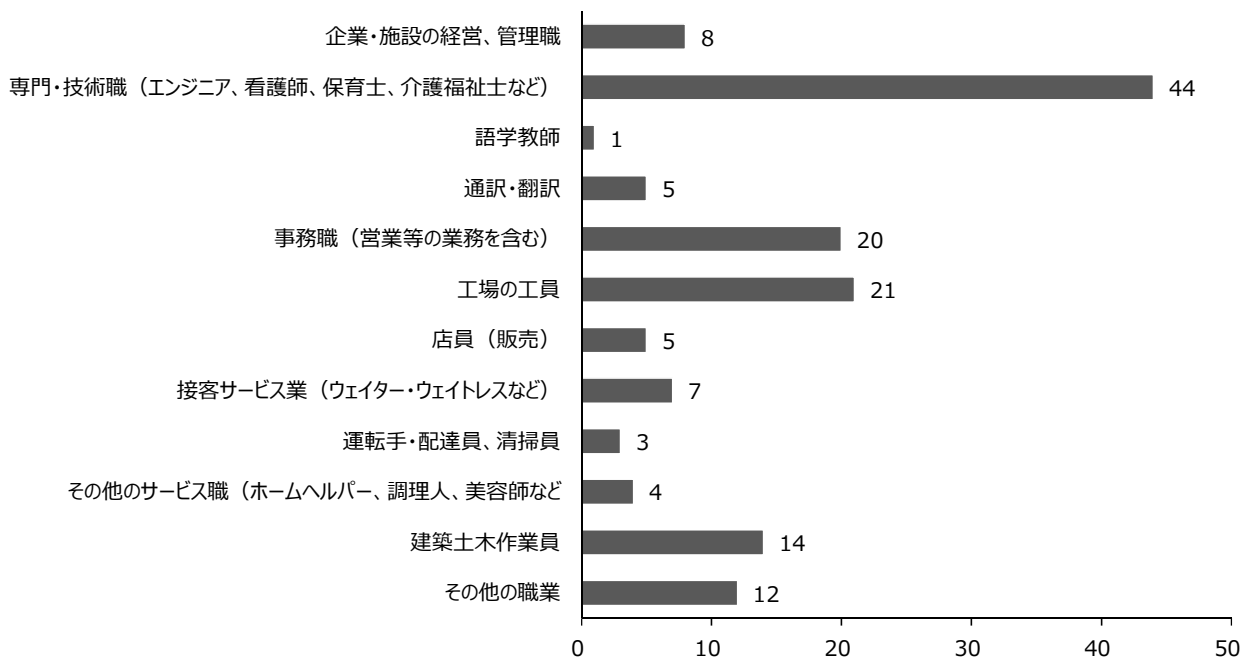
■図表 103 職場で日本語を学んでいる人の在留資格（n=161）※数値は実数



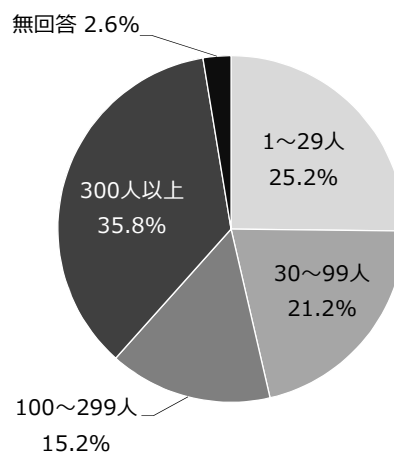
■図表 104 職場で日本語を学んでいる人の従業上の地位（n=160）※数値は実数



■図表 105 職場で日本語を学んでいる人の仕事の種類 (n=144)



■図表 106 職場で日本語を学んでいる人の従業先の企業規模 (n=151)



在留資格を見てみると、最も多かったのは「技術・人文知識・国際業務」の48人で、次に「永住者」の34人、「特定技能」の20人と続いた。従業上の地位を見てみると、最も多かったのは「正社員」の77人で、次に「技能実習生」の20人、「契約社員・嘱託（期限付き）」の18人と続いた。仕事の種類を見てみると、最も多かったのは「技術・専門職（エンジニア、看護師、保育士、介護福祉士など）」の44人で、次に「工場の工員」の21人、「事務職（営業等の業務を含む）」の20人と続いた。従業先の企業規模を見てみると、「300人以上」が35.8%で最も割合が高かった。

注目すべきは、在留資格、従業上の地位、仕事の種類、従業先の企業規模のいずれにおいても、広く分散がみられたということである。特に従業上の地位では、雇用の安定している「正社員」だけではなく、「契約社員・嘱託（期限付き）」や「派遣社員」「臨時・パートタイマー、アルバイト」といった必ずしも雇用が安定しているわけではない人でも職場で日本語を学ぶ機会があることがわかった。また、従業先の企業規模でも、「1~29人」や「30~99人」といった小規模の企業でもそれぞれ2割を超えていた。

もちろん、「職場で学んでいる」の内容や水準が不明である点には留意が必要である。たとえば、企業が明確に日本語教育として学習の機会を提供している場合もあれば、外国人自身が職場での会話のやりとりから日本語を学びとっているという場合もあるかもしれない。とはいえ、それでも 34.1%と約 3 人に 1 人が「職場で学んでいる」と回答しているということは、少なくとも外国人の側からすると「職場」が日本語を学ぶ場のひとつとしてとらえられ、機能していることを意味しているといえるだろう。

5 おわりに

本章では、ここまで外国人市民の日本語学習に関する現状について分析、考察してきた。最後に、あらためて今回の調査で見えてきた外国人市民の日本語学習に関する現状を振り返りつつ、潜在的なニーズや課題について整理しておきたい。

1 つ目に、今回の調査で浮き彫りになったことのひとつは、外国人市民の日本語学習に対する関心や意欲の高さである。特に、すでに十分な／一定の日本語能力を有していたり、滞在年数が 15 年を超えていたりしても日本語の学習をしているという人たちが一定数いた。かれらが現在でも日本語を学び続けている理由は何だろうか。もちろん、様々な理由があるだろうが、そのひとつには学習の場を通じた人とのつながりや交流といったものがあるように思われる。川崎市では「川崎市識字・日本語学習活動の指針」（2003 年策定、2023 年改訂）において、識字・日本語学習の活動を単に日本語を習得する場としてではなく、情報交換の場や外国人市民等と日本人市民が相互交流を深める場、外国人市民同士の出会いの場としても位置づけている。市がこのような認識のもと、外国人市民に対して日本語学習の場を提供していることの意義はあらためて評価されてよいだろう。

2 つ目に、今回の調査では、現在は日本語を学んでいないという人たちの中に「学びたい」と思っている人たちが多くいることも明らかになった。かれらが「学びたい」にもかかわらず「学べていない」のだとしたら、かれらに対してどのように日本語を学ぶ機会を提供するかということは、市が取り組むべき重要な課題のひとつであろう。もっとも、それは必ずしも市の事業として提供する必要はないかもしれない。たとえば、今回の調査では学習方法のうち最も多かったのは「独学で（インターネットやアプリ等）」の 59.5%であった（p. 54 図表 33 参照）。つまり、必ずしも対面の日本語教室に通わなくても、インターネットやアプリ等を活用して外国人市民自身が独学で日本語を学習するという方法も普及してきているのである。実際、たとえば文化庁が「つながるひろがる にほんごでのくらし」という日本語学習サイトを公開していたり、また、最近では AI を活用したアプリも登場したりしている。ただし、自由記述欄に寄せられた意見の中にはオンラインでの学習環境の提供を望む声も複数あり、必要としている人に知られていないという現状がある。それゆえ、こうしたオンラインの学習コンテンツを積極的に広報し、活用へと結びつけていくことも市にできる取組のひとつだろう。

3 つ目に、現在、日本語を学んでいないという人たちの中には「学びたいとは思わない」という人たちもいた。とりわけ、ごく少数ではあるものの日本語能力が低いにもかかわらず「学びたいとは思わない」という人たちがいたことは看過できない。実際、かれらの多くは困ったときに相談する相手がいるとはいえ、ふだんの生活の中で少なからず不自由を感じているようだった。「困ったことはない」と回答した人もいたが、日本語能力が向上すれば、さらによりよい生活を送ることができるようになるかもしれない。もちろん、母語や母文化の尊重が重要であることはいうまでもない。また、多言語化や〈やさしい日本語〉の活用といった取組をより一層推進していくことも必要である。しかしながら同時に、外国人市民が日本語を身につけるということは、

かれら自身の日々の生活や社会経済的な地位の向上にもつながるものであり、また、何より自立した市民として人や地域とつながり、社会参加していくためにも重要な能力のひとつである。「川崎市多文化共生社会推進指針」（2005年策定、2008年、2015年、2024年改定）では、基本理念のひとつに「社会参加の促進」を位置づけており、「川崎市地域日本語教育推進方針」でも基本理念のひとつとして「社会参加の促進」を掲げている。それゆえ、日本語学習に対して関心や意欲のある人たちだけではなく、その必要性をあまり感じていない人たちに対しても、日本語を学ぶことの意義や重要性を伝え、学習の動機づけをしていくことも市が取り組むべき大切な課題のひとつだといえる。

最後に、4つ目として今回の調査の限界についても指摘しておきたい。まず、ここまで考察してきたように、今回の調査で外国人市民の日本語学習に関するいくつかの重要な知見が得られたことはたしかである。しかしながら、それらは外国人市民の日本語学習をめぐる実態の一端に過ぎない。たとえば、外国人市民が日本語学習に求めているものは何なのか。学びたいという人たちが求めている内容や水準、方法はどのようなものなのか。学びたいのに学べていないという人たちが、学べていない理由や要因は何なのか。今回の調査では、残念ながらこうした問いに答えることができていない。「日本語教育の推進に関する法律」では、地方公共団体には国との適切な役割分担を踏まえて、地域の状況に応じた施策を策定し、実施することが責務として課されている。川崎市でも「川崎市地域日本語教育推進方針」にもとづき、外国人市民に対する日本語教育の体制や環境の整備を進めているところではあるが、そうした取組を効果的かつ意味のあるものとするためには、本調査とは別に外国人市民の日本語学習に対するより詳細な現状を把握し、ニーズや課題を明らかにするための実態調査の実施が不可欠である。

（高橋 誠一）

第2章 川崎市に居住する外国人市民の余暇活動

1 はじめに——外国人市民が住みやすいまちに向けて

神奈川県東部に位置する川崎市は、横浜市や東京都に隣接する、人口 155 万人の政令指定都市である。臨海部に広がる京浜工業地帯を中心に産業が発展し、川崎駅をはじめとする鉄道駅の周辺には複合商業施設が立地するなど、経済活動が活発である。交通ネットワークの利便性が高く、周辺地域に移動しやすいことから、横浜市や東京都などで就労する市民も多い。川崎市は、このように就労機会にアクセスしやすい環境であるが、それと同時に、社会保障、教育、人権尊重を重視した、生活環境の向上を図っている。そして、「音楽のまち」を目指す文化政策を推進するなど、文化的なまちづくりに取り組んでいる。

以上のような川崎市の政策は、日本人住民のみならず、外国人市民にとっても住みやすい生活環境を目指す取組と連動している。かつては、外国人人口に占める在日韓国・朝鮮人（特別永住者）の割合が高かったが、近年は出身国・地域が多様化し、また 2000 年代以降は定住化が進行している。外国人市民を対象とした本調査の分析結果を概観するかぎり、外国人市民の生活環境は改善傾向にあるものの、外国人市民の生活ニーズは、多言語対応、医療・福祉サービス、子どもの教育など、多岐にわたっている。そうした中で、行政はそれらのニーズに対応しながら、多文化共生の実現に向けた施策を推進している。

本章では、生活水準の向上は、より健康的・文化的な市民生活への志向性を高めるだろうという想定のもと、本調査で得られたデータを分析し、外国人市民の余暇活動を明らかにすることを目的とする。余暇活動は、「休息」ととどまらず、日本の文化・歴史・伝統を体験し、日本人との相互理解を深めるなど、日本社会で生きる上で重要な意味を持っている。このような認識にもとづき、外国人市民の余暇活動を分析するとともに、外国人市民にとっても、日本人にとっても、川崎市がさらに住みやすいまちに発展するための条件を考察したい。

2 どのような外国人市民が余暇活動を楽しんでいるのか

まずは、休日における外国人市民の余暇活動を概観してみたい（p. 64 図表 41 参照）。本調査では、「日本人の友人などとの交際」（25.0%）、「同国人の友人などとの交際」（36.0%）、「鑑賞・見物（美術館、神社・お寺など）」（25.3%）、「地域活動への参加」（4.4%）、「旅行（日帰り）」（39.3%）、「旅行（宿泊）」（27.5%）、「休日はほとんどない」（2.9%）という回答結果を得ている。この数値が高いか低いかは、日本人の余暇活動や他地域における外国人市民の余暇活動と比較しないかぎり、評価することは難しいのであるが、「休日はほとんどない」（2.9%）という回答が少なかったことから、全体的に休日は余暇活動を楽しめていると推測できる。

（1）経済的要因——所得と職業上の地位

次いで、本調査における回答者の経済状況を概観してみたい。年収データ（n=934（無回答を除く））を「500 万円未満」「500 万円以上 1,000 万円未満」「1,000 万円以上」の階級ごとに集計し、回答者全体の度数分布を確認した。年収 500 万円未満は 48.9%であったが、500 万円以上 1,000 万円未満は 29.3%、1,000 万円以上は 21.7%という結果になった。年収 500 万円未満が半数近くになっている一方で、中央値は 550 万円、最頻値は 1,250 万円であり、経済的にゆとりがある回答者が全体的に多いことがうかがえる（ただし、所得格差の実態を踏まえると、この傾向を楽観的にとらえるべきではないだろう）。

■図表 107 所得と余暇活動

	日本人との 交際	同国人との 交際	美術館・ 寺社仏閣など	地域活動	日帰り旅行	宿泊旅行
500 万円未満 (n=457)	21.0%	34.8%	20.4%	3.1%	34.1%	19.0%
500 万円以上 1,000 万円未満 (n=274)	30.3%	38.3%	30.3%	6.6%	43.8%	34.3%
1,000 万円以上 (n=203)	29.6%	36.9%	31.0%	5.4%	46.3%	42.4%
全体 (n=934)	25.6%	36.3%	25.6%	4.6%	39.6%	28.6%

さらに、年収の階級ごとに、休日における外国人市民の余暇活動を分析したところ、図表 107 の結果となった。この分析結果から、所得が高くなるにつれて、外国人市民は余暇活動に活発になるという傾向が確認できる。一定の経済水準に達すると、仕事中心のライフスタイルを脱し、交友関係、文化活動、(割合は低い) 地域活動、旅行を楽しむ余裕ができるようになると解釈できるかもしれない。特に、所得が高いほど、支出金額が大きくなる旅行を楽しむ傾向があるといえる。

おそらく、複数の要因が絡み合いながら余暇活動を促進しているが、経済的要因の影響を軽視して、余暇活動の動向を分析することはできない。これに次いで「職業上の地位」と余暇活動の関係についても分析し、その上で徐々に詳細な考察を試みたい。

「職業上の地位」を「安定的地位」(経営者、会社役員、正社員)と「流動的地位」(契約社員、派遣社員に加えて、アルバイト、技能実習生、求職者も含める)に区分し、それぞれの余暇活動を分析してみたところ、図表 108 のような結果となった。前者の方が積極的に余暇活動を楽しんでいるのがわかるだろう。

■図表 108 職業上の地位と余暇活動

	日本人との 交際	同国人との 交際	美術館・ 寺社仏閣など	地域活動	日帰り旅行	宿泊旅行
安定的地位 (n=486)	31.5%	38.1%	27.2%	4.9%	42.6%	33.7%
流動的地位 (n=328)	17.7%	36.6%	21.3%	3.7%	36.3%	17.4%
全体 (n=814)	25.9%	37.5%	24.8%	4.4%	40.0%	27.1%

「職業上の地位」は所得と結びつくことから、余暇活動の積極的／消極性に影響を及ぼす要因となっていると解釈できるかもしれない。しかし、もう少し深い考察を試みたい。「安定的地位」にいる外国人は、一定の所得を確保できることから、転職の動機は相対的に低くなり、転居は抑制され、プライベートの友人関係や文化的なライフスタイルなどを継続しやすくなる。そして、旅行などの余暇活動は、日本の文化・歴史・伝統に関する知識を深める契機になるだろうし、また日本語能力の向上、日本社会における文化適応、日本人とのネットワーク構築・拡大に寄与し、その結果、定住志向／定住化を強めるかもしれない。逆に考えると、日本を幅広く理解できる外国人こそが職業上の「安定的地位」に就きやすいと推測できる。

他方、「流動的地位」で就労する外国人は、不況のときに解雇されやすいのみならず、広く指摘されているように、よりよい労働条件(特に所得)を求めて転職・転居を繰り返すことから、安定的な人間関係を継続し、積極的に余暇活動を楽しむことが困難になる。たとえば、単身者の場合は一緒に余暇活動を楽しむ友人がかぎられているかもしれないし、また既婚者の場合も、共働きであれば、仕事中心のライフスタイルになりやすく、家族での余暇活動が犠牲になる可能性が

ある（さらには、このような外国人家族の子どもは転校が多いことから友人をつくりにくいと指摘する研究は少なくない）。

なお、「休日はほとんどない」という回答者は全体的に少ない。また「安定的地位」は 3.3%、「流動的地位」は 1.5%という結果であることから、後者の方が前者よりも余暇活動にやや消極的であるのは、「労働条件が悪く、余暇活動を楽しむ余裕がないからである」という説明は成り立ちにくい。つまり、外国人市民の余暇活動は、経済的要因に加えて、安定的な人間関係の継続性、日本の文化・歴史・伝統に対する関心といった、社会的・文化的要因によって影響を受けていると推測できる。

以上のような考察を更に進めるために、社会的・文化的背景を踏まえながら、外国人市民の余暇活動に関する分析を試みたい。

（２）日本在住期間と社会適応

外国人市民の余暇活動に影響を及ぼす要因として、日本在住期間と日本語能力を取り上げてみよう。日本在住期間を「7 年未満」「7 年以上 15 年未満」「15 年以上」に区分し、それぞれの階級ごとに余暇活動を分析したのが図表 109 である。

■図表 109 日本在住期間と余暇活動

	日本人 との交際	同国人 との交際	美術館・ 寺社仏閣など	地域活動	日帰り旅行	宿泊旅行
7 年未満 (n=410)	19.5%	41.0%	26.8%	2.7%	38.8%	21.0%
7 年以上 15 年未満 (n=270)	26.7%	41.9%	26.7%	5.6%	43.7%	34.4%
15 年以上 (n=337)	30.3%	25.2%	21.7%	5.3%	36.5%	30.6%
全体 (n=1,017)	25.0%	36.0%	25.1%	4.3%	39.3%	27.7%

図表 109 より、日本在住期間が「15 年以上」の回答者は、全体として余暇活動に消極的である傾向があることがわかるが、「日本人との交際」「地域活動」「宿泊旅行」の割合が高くなっている。興味深いのは、同国人とのつきあいがやや弱く、日本人と交際する傾向が高いという点である。「美術館・寺社仏閣など」「日帰り旅行」の割合が低いものの、日本社会に溶け込んで生活している様子がうかがえる。

他方、日本在住期間が「7 年以上 15 年未満」の外国人市民は、「地域活動」「日帰り旅行」「宿泊旅行」を楽しむなど、行動範囲が広いと同時に、「同国人との交際」にも積極的であることがわかる。日本在住期間が長い外国人市民は、日本在住期間が短い同国人（親戚、友人など）に日本社会で生活する上で必要な情報を提供するのが一般的であり、日本在住期間が「7 年以上 15 年未満」の外国人市民が同国人ネットワークの情報集積・拡散機能を支えていると推測できる。

（３）日本語能力と学歴

ただし、日本在住期間が長ければ、無条件に行動範囲が広がるとはかぎらない。やはり、多様な情報にアクセスできるようになるためには、日本語能力が重要な意味を持っている。プライベート、職場を問わず、日本人との接触頻度が高く、日本語を習得する動機が強く働くとき、日本語能力の向上を目指すだろう。その結果、同国人ネットワークでは得られない幅広い情報にアクセスできるようになり、日常生活における選択肢が広がっていく。図表 110 は、日本語能力と余暇活動の関係を分析した結果を示したものである。

■図表 110 日本語能力と余暇活動

	日本人との 交際	同国人との 交際	美術館・ 寺社仏閣など	地域活動	日帰り旅行	宿泊旅行
日本語を自由に話せる (n=682)	30.9%	34.5%	26.5%	5.4%	40.6%	32.6%
日本語を自由に話せない (n=341)	13.5%	39.3%	23.2%	2.4%	37.0%	17.9%
全体 (n=1,023)	25.1%	36.1%	25.4%	4.4%	39.4%	27.7%

日本語が話せる場合、同国人ネットワークに依存する必要はなくなり、日本人とのつながりが広がるようになる。日本語能力は、「美術館・寺社仏閣など」「日帰り旅行」とはあまり関係ないようであるが、積極的な「日本人との交際」を可能にするとともに「地域活動」「宿泊旅行」を促している可能性が高い。

さらに、積極的な余暇活動を促進する要因として、学歴を挙げておきたい。学歴と所得は密接な相関関係にあり、高学歴者は、経済的なゆとりから活発な余暇活動を楽しんでいると想定できる。ただし、学歴は、多くの先行研究が示しているとおおり、経済的要因（所得、階層など）のみならず、文化活動とも深く関わっている。学歴と余暇活動の関係を示したのが図表 111 である。

■図表 111 学歴と余暇活動

	日本人との 交際	同国人との 交際	美術館・ 寺社仏閣など	地域活動	日帰り旅行	宿泊旅行
大卒以上 (n=655)	28.2%	39.1%	29.8%	5.2%	45.0%	33.7%
そのほか (n=338)	19.5%	30.8%	16.0%	3.0%	27.8%	16.6%
全体 (n=993)	25.3%	36.3%	25.1%	4.4%	39.2%	27.9%

興味深いことに、学歴は、所得、職業上の地位、日本滞在期間、日本語能力よりも「日本人との交際」「同国人との交際」「美術館・寺社仏閣など」「地域活動」「日帰り旅行」「宿泊旅行」のいずれにおいても強い影響を及ぼしている。高学歴者（大卒以上）は、経済的にゆとりがあり、日本語能力が高く、幅広いネットワークを有すると想定できるが、「美術館・寺社仏閣など」に訪れるなど、文化的関心と結びついた余暇活動においても活発であることがうかがえる。くわえて、同国人との継続的なつながりを維持していることが示されていることから、高学歴者は、同国人ネットワークの情報集積・発信機能において中心的な役割を果たしていると推測できる。

3 外国人市民は川崎市内のどこで余暇活動を楽しんでいるか

前節では、所得、職業上の地位、日本在住期間、日本語能力、学歴といった要因がどれくらい外国人市民の余暇活動に影響を及ぼしているかについて分析・考察を試みた。本節では、川崎市内における外国人市民の余暇活動について分析したい。コロナ禍による行動制限がはじまった2020年以降、マイクロツーリズム（生活圏に近い地域での余暇活動）を楽しむ人が増え、居住地域の魅力を再発見する機会となったといわれているが、外国人市民は、どれくらい川崎市内で余暇活動を楽しんでいるのだろうか。

本調査では、川崎市内の観光スポットについて、「川崎大師」（43.5%）、「川崎市立日本民家園」（16.0%）、「生田緑地」（24.1%）、「等々力緑地」（23.9%）、「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」（18.8%）、「カワスイ川崎水族館」（18.7%）、「よみうりランド」（36.0%）、「どこにも行っていない」（21.4%）という回答結果を得た（p. 63 図表 40 参照）。川崎市は、東京都や横浜

市にアクセスしやすいところに立地し、また回答者は全体として経済的にゆとりがあることから、他地域で余暇活動を楽しむことが多いと推測できる。しかし、川崎市における外国人市民の生活環境を理解する上では有益なデータであるといえるだろう。

以下の分析では、川崎市内の観光スポットに関する回答データを用いて、所得、職業上の地位、川崎在住期間、日本在住期間、住居形態（持ち家、賃貸）、日本語能力、子どもの有無が外国人市民の余暇活動にどれくらいの影響を及ぼしているかを明らかにしたい。なお、Q12は「あなたが行ったことのある川崎市の観光スポットはどれですか（MA）」という質問文となっており、このデータからは訪問頻度を確認できないものの、少なくとも川崎市内で余暇活動を楽しめる場所に関する認識を知る手がかりになるだろう。

（１）所得と職業上の地位——経済的・社会的・文化的視点から

図表 112 は、所得と川崎市内における余暇活動の関係を分析した結果である。所得が高いほど、川崎市内における観光地／観光施設を訪問する傾向がある。藤子・F・不二雄ミュージアム、カワスイ川崎水族館、よみうりランドなどはやや高い入園料を支払うので、この傾向は理解できるだろう。ただし、川崎大師、日本民家園、等々力緑地といった大きな支出をとまなわないところにも、所得が高い外国人市民が訪れるという傾向が確認できる。上述したように、このような外国人市民の余暇活動は、経済的要因だけでは十分に説明できないだろう。

■図表 112 所得と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本民家園	等々力緑地	藤子・F・不二雄ミュージアム	カワスイ川崎水族館	よみうりランド	どこにも行ったことがない
500万円未満（n=457）	38.3%	12.3%	14.0%	12.9%	15.5%	31.1%	26.9%
500万円以上1,000万円未満（n=274）	44.5%	17.9%	29.6%	20.8%	20.1%	38.3%	17.2%
1,000万円以上（n=203）	54.7%	24.6%	40.4%	31.0%	25.6%	44.3%	12.8%
全体（n=934）	43.7%	16.6%	24.3%	19.2%	19.1%	36.1%	21.0%

図表 112 の分析結果にみられる傾向は、職業上の地位についても同様に当てはまるかもしれない。図表 113 は、職業上の地位と川崎市内における余暇活動の関係を分析した結果である。「安定的地位」（経営者、会社役員、正社員）の方が「流動的地位」（契約社員、派遣社員など）よりも所得が高いだけではなく、転職や転居が少なく、人間関係が安定的であり、日本の文化・歴史・伝統に関心が高い傾向があることは、すでに確認したとおりであり、川崎市内における余暇活動についてもこのような傾向が反映されているようである。

■図表 113 職業上の地位と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本民家園	等々力緑地	藤子・F・不二雄ミュージアム	カワスイ川崎水族館	よみうりランド	どこにも行ったことがない
安定的地位（n=486）	45.3%	16.0%	28.0%	23.5%	20.8%	36.8%	18.1%
流動的地位（n=328）	39.9%	12.5%	17.7%	14.3%	18.6%	35.1%	26.5%
全体（n=814）	43.1%	14.6%	23.8%	19.8%	19.9%	36.1%	21.5%

（２）川崎市における居住実態

経済的に安定した生活を送っている外国人市民は転居が少ないという想定のもと、次に川崎市居住期間と川崎市内の余暇活動の関係を分析した結果が図表 114 である。川崎市居住期間が長いほど、川崎市内で余暇活動を楽しむという傾向が全体的に示されている。逆に「7 年未満」の 3 割が「どこにも行ったことがない」と回答しており、川崎市をよく知らない（もしくはあまり関心がない）ために、他地域で余暇活動を楽しんでいる可能性がある。

■図表 114 川崎市居住期間と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
7 年未満 (n=632)	28.8%	10.1%	16.0%	13.9%	13.1%	27.8%	30.7%
7 年以上 15 年未満 (n=184)	64.1%	23.4%	34.2%	31.5%	31.5%	45.7%	7.1%
15 年以上 (n=189)	71.4%	29.6%	41.8%	24.3%	24.3%	55.0%	3.7%
全体 (n=1,005)	43.3%	16.2%	24.2%	19.1%	18.6%	36.2%	21.3%

また、図表 114 の分析結果との関連で、日本在住期間と川崎市内における余暇活動の関係を分析したものが図表 115 である。図表 109 の分析結果によれば、日本在住期間が長い外国人は、日本で豊かな生活経験が蓄積し、日本の文化・歴史・伝統に関する知識が広がり、余暇活動を楽しむための幅広い情報にアクセスしやすくなる。このような傾向は、図表 115 の分析結果にも反映されており、川崎市に日本在住期間が長いほど、川崎市内においても幅広く余暇活動を楽しむ傾向があるという傾向が確認できるだろう。

■図表 115 日本在住期間と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
7 年未満 (n=410)	25.6%	8.3%	13.7%	12.2%	11.5%	22.4%	37.6%
7 年以上 15 年未満 (n=270)	44.8%	14.8%	24.4%	23.3%	23.7%	36.7%	14.8%
15 年以上 (n=337)	64.4%	26.7%	35.9%	23.4%	23.7%	51.9%	7.4%
全体 (n=1,017)	43.6%	16.1%	23.9%	18.9%	18.8%	36.0%	21.5%

現在の住居形態にも注目してみよう。住居形態は、川崎市居住期間とも深く関わっている。住居形態は、経済的なゆとりや職業上の安定性を反映しているのみならず、定住意思の有無や将来の人生設計をあらわしている。日本人にせよ、外国人にせよ、賃貸ではなく、住居を購入するのは、川崎市における生活環境の利便性や快適性を評価し、安心して住み続けることができると期待するからであろう。また、持ち家で居住している外国人市民の方が、川崎市に対するシビック・プライド（地域に対する愛着や誇り）が高いと推測できるかもしれない。なお、持ち家で居住していると回答した外国人住民は 32.0%であり、定住化の傾向をうかがうことができる。

以上のことを踏まえた上で、住居形態と川崎市内における余暇活動の関係を分析したものが図表 116 である。この分析結果より、持ち家で居住する外国人市民は、賃貸住宅で生活する外国人市民よりも、川崎市内で余暇活動を楽しんでいる可能性が高いと推測できる。

■図表 116 住居形態と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
持ち家 (n=330)	62.4%	26.7%	37.3%	29.4%	29.4%	46.7%	8.2%
賃貸 (n=651)	34.9%	10.6%	17.5%	14.0%	14.4%	30.6%	26.9%
全体 (n=981)	44.1%	16.0%	24.2%	19.2%	19.5%	36.0%	20.6%

(3) 日本語能力の向上とその効果

川崎市での居住期間や住居形態は、外国人市民の日常生活や余暇活動と関係していると推測できるが、日本の文化・歴史・伝統に関する知識も重要であろう。文化的関心が高い外国人市民は、来日動機、職業、家族形態や人間関係、ライフスタイルがどのようなものであれ、日本語習得の意思を持っていると想定するならば、日本語能力の向上とともに、積極的に余暇活動を楽しむ可能性が高いと推測できる。

図表 117 は、日本語能力と川崎市内における余暇活動の関係を分析した結果である。日本語を話せると回答した外国人市民は、そうではない外国人市民と比べて、川崎市内で余暇活動を楽しむ傾向があると推測できる。日本文化に関心があるから日本語能力を向上させる動機が働き、また日本語能力が高くなれば、幅広い情報にアクセスしやすくなり、日本的なライフスタイルや文化・歴史・伝統に触れる動機が強まる。そして、日本人とネットワークを形成できれば、口コミで地域情報にアクセスし、余暇活動の選択肢が広がる可能性が高くなるだろう。

■図表 117 日本語能力と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
日本語を自由に話せる (n=682)	47.8%	18.9%	28.9%	21.4%	20.8%	39.4%	17.7%
日本語を自由に話せない (n=341)	35.2%	10.3%	13.8%	13.8%	14.4%	29.6%	28.4%
全体 (n=1,023)	43.6%	16.0%	23.9%	18.9%	18.7%	36.2%	21.3%

日本語能力と同様に、余暇活動に影響を及ぼしうる要因として、学歴を挙げることができる。図表 111 の分析結果を示したときに、高学歴者（大卒以上）は、経済的なゆとり、高い日本語能力、幅広いネットワークを有し、文化的関心が高い傾向があることを確認した。

図表 118 は、学歴と川崎市内における余暇活動の関係を分析した結果を表している。表 5 が示したように、高学歴者は「そのほか」よりも積極的に川崎市内で余暇活動を楽しんでいるだろうと想定したが、図表 118 の分析結果によれば、等々力緑地や藤子・F・不二雄ミュージアムをのぞいて、両者のあいだに大きな差はみられなかった。また、両者ともに 2 割くらいが「どこにも行ったことがない」と回答しており、ほとんど差は確認できない。このような分析結果になった原因はよくわからないが、学歴よりも、川崎居住期間や日本語能力の方が川崎市内における外国人市民の余暇活動を説明する上で影響力が大きいという実態をここで示しておきたい。

■図表 118 学歴と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
大卒以上 (n=655)	42.1%	18.3%	27.8%	24.1%	18.2%	35.7%	20.2%
そのほか (n=338)	47.6%	11.8%	18.0%	9.2%	20.1%	37.3%	21.9%
全体 (n=993)	44.0%	16.1%	24.5%	19.0%	18.8%	36.3%	20.7%

(4) 子どもの有無とネットワーク拡大

今後、川崎市内にせよ、他地域にせよ、日本国内で外国人市民の定住化が進み、今後も子どもとともに生活する決断をするならば、仕事中心のライフスタイルを脱し、より豊かな家庭生活を重視したいという動機が高まるだろう。川崎市は、子どもがいる外国人家族にとって住みやすい環境にあるといえるだろうか。図表 119 は、子どもの有無と川崎市内における余暇活動の関係を分析した結果である。子どもがいる外国人家族は、子どもがいない家庭よりも、川崎市内で余暇活動を楽しむという傾向がうかがえる。

■図表 119 子どもの有無と川崎市内における余暇活動

	川崎大師	日本 民家園	等々力 緑地	藤子・F・不二雄 ミュージアム	カワスイ 川崎水族館	よみうり ランド	どこにも行った ことがない
子どもあり (n=356)	56.7%	23.6%	32.3%	27.2%	33.4%	53.4%	9.8%
子どもなし (n=626)	36.1%	12.6%	20.1%	14.4%	11.3%	26.8%	28.1%
全体 (n=982)	43.6%	16.6%	24.5%	19.0%	19.3%	36.5%	21.5%

このような傾向は、いくつかの要因によって説明できる。子どもを連れて遠出をするのは、親の経済的・身体的負担になることから、川崎市内で余暇活動を楽しみたいという動機が強まるだろう。また、日本人、外国人を問わず、近隣地域や学校で子ども同士がネットワークを形成し、余暇活動に関する情報を共有すると、親にそれを伝達する可能性がある。さらには、子どもを介して形成される親同士のネットワークは、市民生活に関する情報共有機能を有し、川崎市内における行動範囲の拡大に寄与するなど、外国人家族の余暇活動に影響を与えていると推測できるだろう。

4 余暇活動を楽しめるまちとその含意

本章では、川崎市に居住する外国人市民の余暇活動を分析し、その結果の考察を試みた。本調査の回答者は、全体として経済的にゆとりがあり、また日本語能力が高い傾向があるなど、日本社会における健康的・文化的な市民生活に適応できているように見える。しかし、すべての外国人市民が同じ経済的・社会的・文化的条件のもとで生きているわけではない。本章では、所得、職業上の地位、日本在住期間・川崎在住期間、住居形態（持ち家、賃貸）、日本語能力、学歴、子どもの有無によって、同国人・日本人とのネットワーク、健康的・文化的な市民生活を送る上で必要な情報アクセス、日本の文化・歴史・伝統に関する知識などは異なり、その結果、余暇活動を積極的に楽しんでいる人とそうではない人がいることを示した。

以上の分析結果は、どのような意味を持つだろうか。異郷の地で活発に余暇活動を楽しむためには、ある程度、その国・地域の人たちとのネットワーク形成、言語習得、文化・歴史・伝統に関する知識が重要になるだろう。このような条件を満たしているのは、日本在住期間・川崎在住

期間が長く、特に定住意思を持った外国人市民である。本章で示したように、このような外国人市民は、日本語能力が高く、日本人とのネットワークを通じて、日本社会や川崎市での市民生活に必要な幅広い知識を蓄積し、仕事中心ではない、文化的なライフスタイルを享受する傾向がある。さらには、外国人市民は、余暇活動を楽しむ過程の中で、日本や川崎市に関する理解を拡大し、深めることができる。余暇活動には、仕事中心の日常生活を越えて、市民生活における社会的・文化的適応を促進するという効果が期待できるだろう。

他方で、日本在住期間が短い外国人市民は、特にライフスタイルが仕事中心になっている状況では、健康的・文化的な市民生活を考える余裕がない可能性がある。行政は、外国人市民が市民生活を送る上でさまざまな重要な情報を提供しているが、もっぱら同国人ネットワークに閉じこもっている場合、正確な情報にアクセスできない場合もありうる。

このように日本での市民生活にまだ不慣れな外国人市民にとって、日本在住期間や川崎市居住期間が長い外国人市民は、社会保障、子どもの教育、文化活動など、生活全般に関する重要な情報源であり、またロールモデルになりうるだろう。日本で長期にわたって生活し、かつ文化的ライフスタイルを重視する外国人市民は、同国人ネットワークの社会的・文化的機能を支えるとともに、同国人を日本社会／日本人ネットワークにつなぎ、多文化ネットワークの形成・発展を促進するハブ的存在として期待できるだろう。

同様に、行政、国際交流協会、外国人市民代表者会議などは、日本社会に溶け込めていない外国人市民を支える上で不可欠である。多文化共生社会の実現を推進すべく、インターネット、パンフレット、ニューズレター、イベントなどを通じて、外国人市民に多言語で情報発信をしている。このような積極的な取組は、地域の外国人ネットワーク／多文化ネットワークと連携することによって、より効果的に外国人市民の健康的・文化的な市民生活を推進することが期待できる。

豊かな余暇活動は、日本社会で生きるために不可欠なものではないかもしれない。しかし、多様な人たちが安心して楽しく生きることができる成熟した多文化共生社会を目指す上で、日本人、外国人を問わず、多くの市民が余暇活動を楽しめる条件をつくっていくことは重要であろう。

(本田 量久)

第3章 多様化する外国人市民家族のかたちと、言語・子育て・教育

1 はじめに

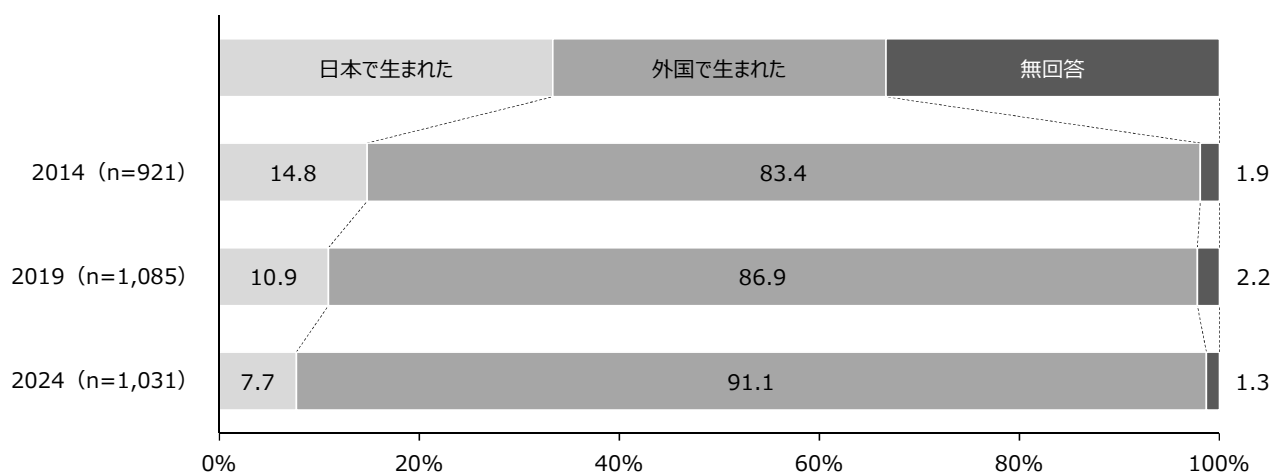
2014年に約20年ぶりに川崎市外国人市民意識実態調査が実施されて以降、今回の調査では「日本で生まれた」外国人市民はこれまでで最少の割合となった。このことは、外国人市民人口が増加し続けている川崎において、外国人市民やその家族形態、生活状況がますます多様化していることを示す指標ともいえるだろう。

以下では、本調査の結果からとらえることができる、川崎市における外国人市民の家族の多様化を踏まえたうえで、子育て・教育に関する課題を考察する。

2 外国人市民家族の「多様化」

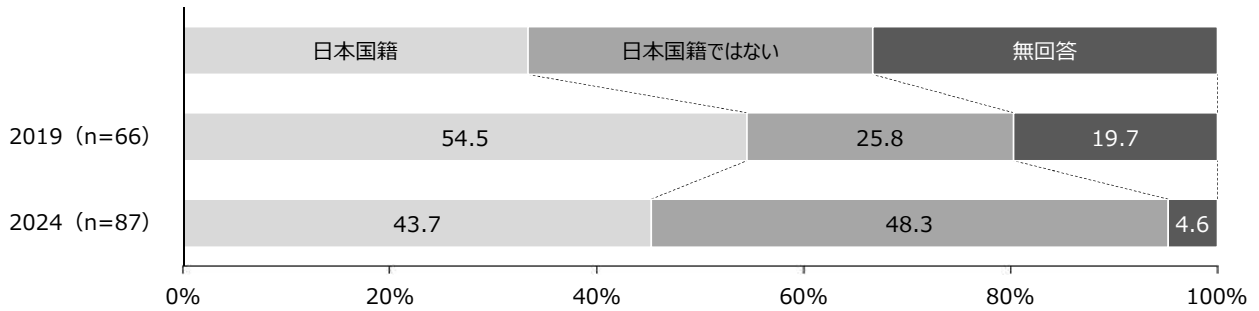
まず、2014年から2024年までの10年間の変化を見ると、「外国生まれ」が83.4%から91.1%へと増加し、逆に「日本生まれ」が14.8%から7.7%へと減少している。各調査ごとに回答者数が異なるため単純な比較はできないが、「日本生まれ」の外国人市民の割合が最少となったことから、傾向として「外国生まれ」の外国人市民の存在感が川崎市において増していることは間違いないだろう。

■図表 120 出生地



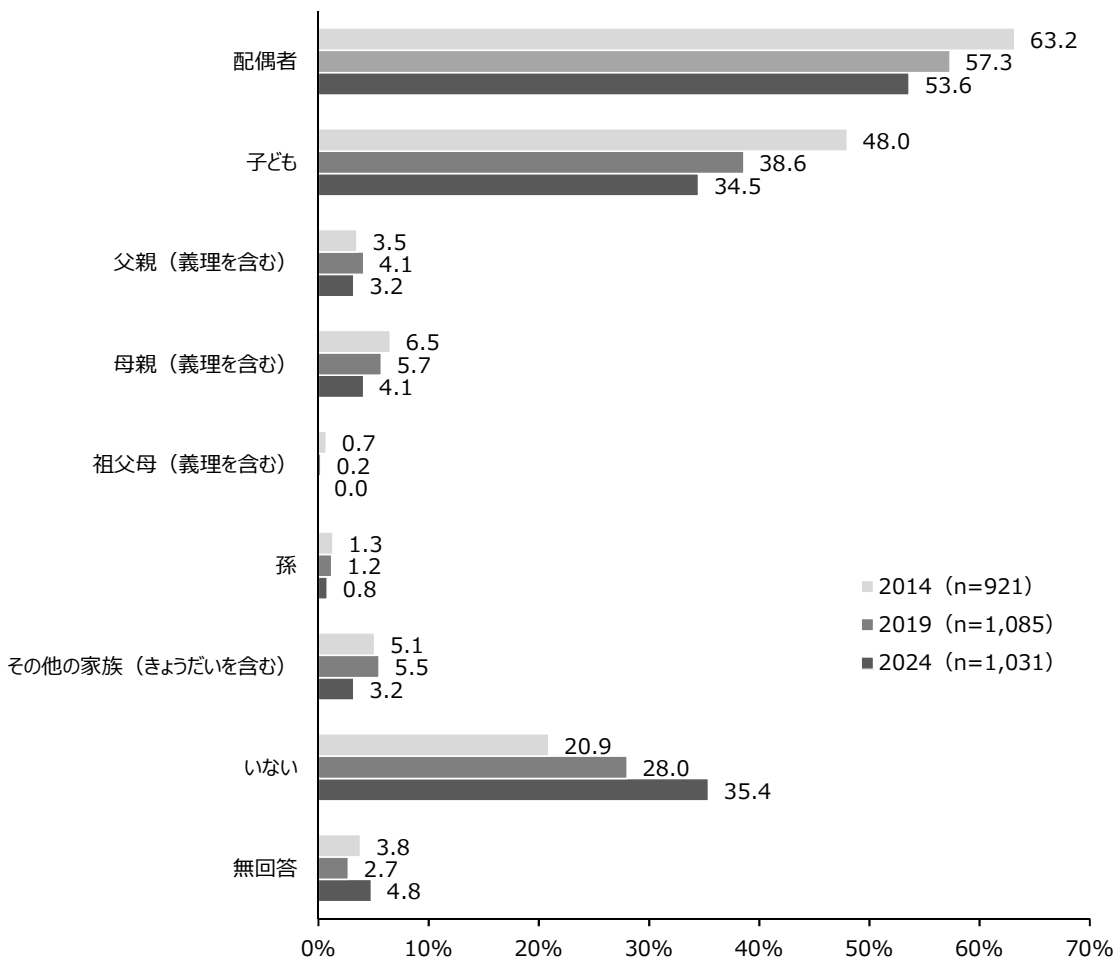
また、配偶者・パートナーの国籍は、今回の調査では「日本国籍」が31.9%、「日本国籍ではない」が62.8%となっている(p. 23 参考6 参照)。2019年の前回調査では、「日本国籍」が39.9%、「日本国籍ではない」が55.0%であったことから、やはり傾向として、外国人市民の配偶者・パートナーの国籍は、「日本国籍」の割合が減るとともに、「日本国籍ではない」の割合が増加していることがわかる。したがって、川崎市においては外国籍と日本国籍のカップルよりも、外国籍同士のカップルが増加している傾向にあることが推測される。たとえばベトナム国籍の市民では、配偶者・パートナーの85.4%が「日本国籍ではない」であり、外国籍同士のカップルの割合がきわめて高いと考えられる(p. 24 図表 12 参照)。また、これまで日本人との国際結婚が多いとされてきたフィリピン国籍の市民においても、「日本国籍ではない」が48.3%、「両方」が4.6%となっており、今回全体の半数を超えていることは、注目すべきであろう。

■図表 121 フィリピン国籍の市民の配偶者・パートナーの国籍



あわせて、単身世帯も増加もしている。「あなたと一緒に住んでいる家族はいますか」という質問で、「いない」（単身世帯）と答えた人の割合は、2014 年では全体の 20.9%であったが、2019 年には 28.0%、2024 年では 35.4%と増加傾向にある。特に今回の調査では、「いない」の割合が、「子ども」と同居している人の割合（34.5%）を、若干ではあるが、はじめて上回った。

■図表 122 同居家族の構成

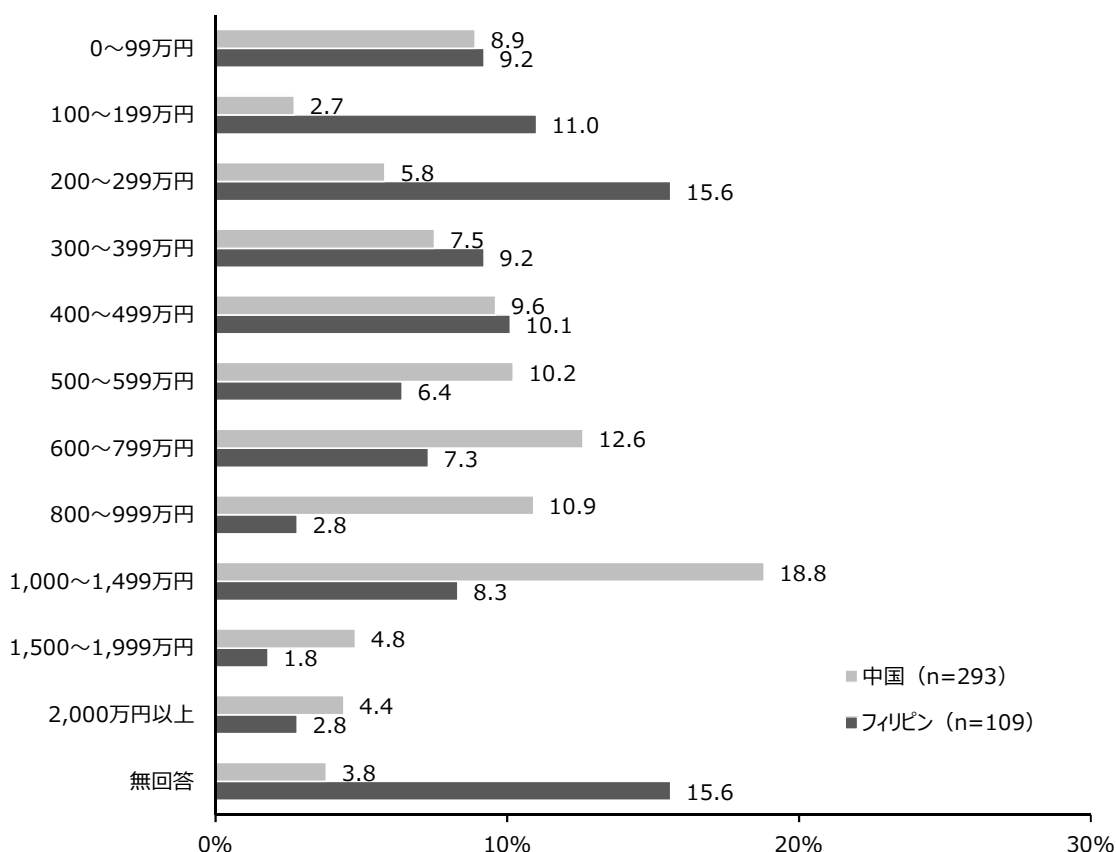


一方で、子どものいる外国人市民の同居する子どもの数に着目してみると、2019 年の前回調査と比べて子どもの数が「2 人」で 32.3%から 40.4%、「3 人」で 5.8%から 7.4%へとそれぞれ増加傾向がみられる。逆に、同居する子どもが「1 人」の割合は、60.4%から 50.1%に減少してい

る（p. 86 参考 37 参照）。このことは、川崎市において外国人市民による家族形成、特に複数の子どもを持つ家族での家族形成が進んでいることのあらわれといえるだろう。単身世帯の増加とともに、複数人の子どもがいる世帯も増加するなど、全体として外国人市民の家族生活の「多様化」傾向が見て取れる。

また、多様化という点においては、世帯年収 1,000 万円以上の世帯が増加しているなど外国人市民世帯間での所得の格差もみられている（p. 27 参考 9 参照）。くわえて、たとえば「中国」では高収入世帯が多く（1,000 万～1,500 万円未満が 18.8%で最多割合）、「フィリピン」では低所得世帯が多い（世帯年収 300 万円未満が 35.8%）といった国籍・地域ごとに異なった傾向もみられている。

■図表 123 中国とフィリピンの世帯年収の分布



3 子どもの国籍と言語・教育

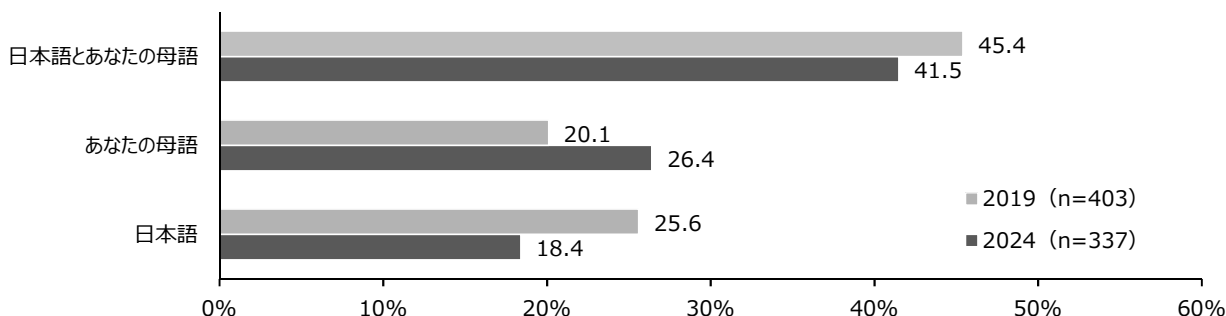
川崎市全体では、日本国籍を「持っていない」子どもが 59.7%と半数以上を占めており、2019 年の前回調査との比較では、日本国籍を「持っている」子どもが 6.0 ポイント減少し、反対に「持っていない」子どもが 6.8 ポイント増加していることから（p. 91 参考 40 参照）、外国人市民全体での「外国生まれ」の割合の増加と、子どもの「外国籍」の割合の増加とが重なった傾向をみせていることがわかる。

特に、フィリピン国籍の親を持つ子ども（1 人め）では、2019 年の前回調査の時点では 62.9%が日本国籍を持っていたのに対して、今回の調査ではその割合は 36.8%へと大きく減少している（p. 92 参考 41 参照）。上述したように、フィリピン国籍の市民の配偶者・パートナーの国籍も、「日本国籍ではない」の割合が増加していることから、フィリピン国籍の市民の家族構成に変化が生じているこ

とが見て取れる。

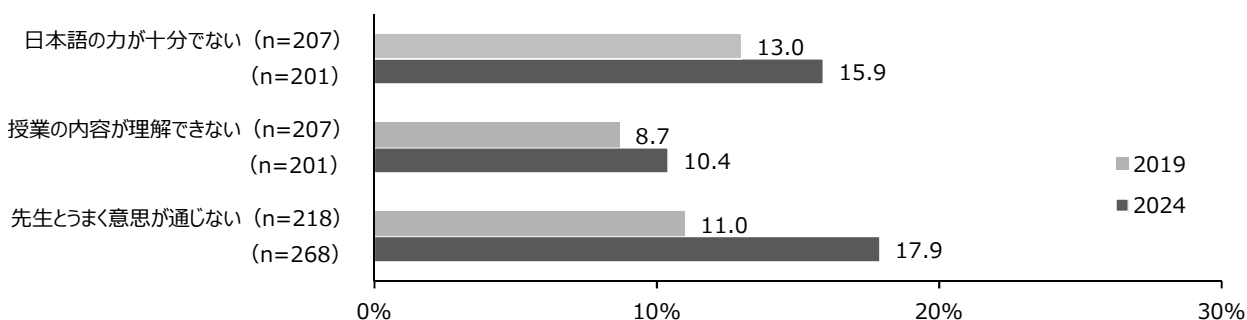
次に、今回の調査回答者の子どもたちの家庭での言語状況を見てみたい。最も多かったのは、「日本語とあなたの母語」で全体の41.5%を占めており、家庭において二言語で生活している子どもが多いことがわかる。次いで「あなたの母語」が26.4%、「日本語」が18.4%と続いており、外国籍親の家庭にあっても日本語中心で生活している家庭が全体の2割弱いることがわかる。しかし、2019年の前回調査では、「あなたの母語」が20.1%、「日本語」が25.6%で、「日本語のみ」の方が「母語のみ」より多かったが、今回の調査では「日本語のみ」よりも「母語のみ」の方が多くなっている。家庭内で日本語を使っていない家族の増加は、外国人市民の中での「外国生まれ」の増加傾向や、「外国生まれ」同士のカップルの増加、そして子どもの「外国籍」の割合の増加と重なる傾向といえるだろう。このことから、地域や学校での子どもおよびその保護者への日本語教育の重要性が高まっていることが示唆される。

■図表 124 家庭で話す言語



実際、第Ⅰ部でも指摘されているように、全体の傾向として外国人市民の日本語能力は低下傾向にある（p. 53 参考 19 参照）。また、「子どもが学校で困っていること」の質問項目では、2019年の前回調査と比べて、「日本語の力が十分でない」「授業の内容が理解できない」といった言語にかかわる項目がやや増加している。また、「保護者として学校の進路について困っていること」についての質問でも、2019年の前回調査と比較してみると、「先生とうまく意思が通じない」との回答が6.9ポイントと大きく増加している。日本語能力の差が、日常の生活の不便さや、子どもの学習状況、ひいては子どもの進路をめぐる学校とのコミュニケーションのあり方を大きく左右していることを考えると、外国人市民家族の「多様化」の中で、子どもと大人の双方にとって、より日本語を学ぶ機会の拡大が重要であることが示唆される。

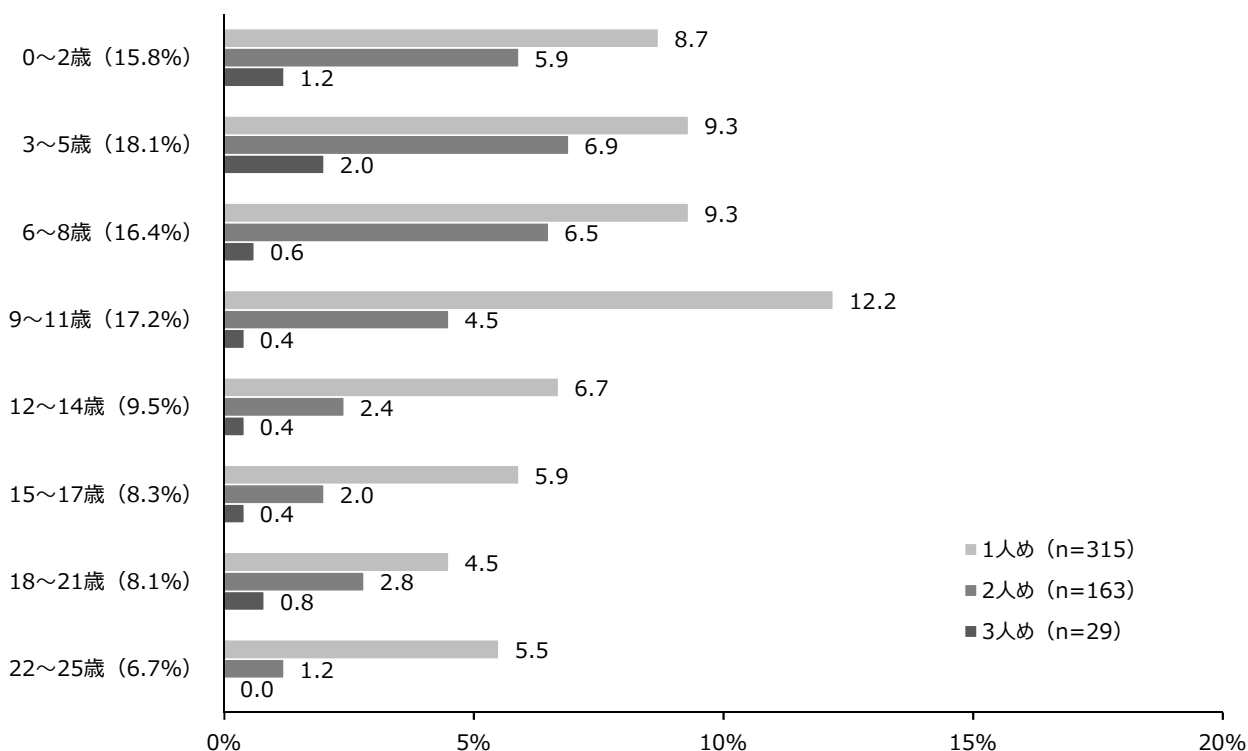
■図表 125 子どもが学校で困っていることと保護者として学校の進路について困っていること



4 子育てをめぐる課題

今回の調査では、「25歳以下の日本で暮らす子どもがいる」と回答した対象者は32.7%で、その子どもの人数の内訳は、「1人」が50.1%で、「2人」が40.4%であった（p. 86 図表 58 参照）。子どもの年齢を見ると、1人めの子どもでは「9～11歳」が12.2%で最も高く、次いで「3～5歳」および「6～8歳」がともに9.3%となっていた。2人めの子どもでは、「3～5歳」が6.9%、「6～8歳」が6.5%、「0～2歳」が5.9%となっており、今回の調査の回答者には、小学生および就学前の子どもを持つ外国籍保護者が多いことが推測される。

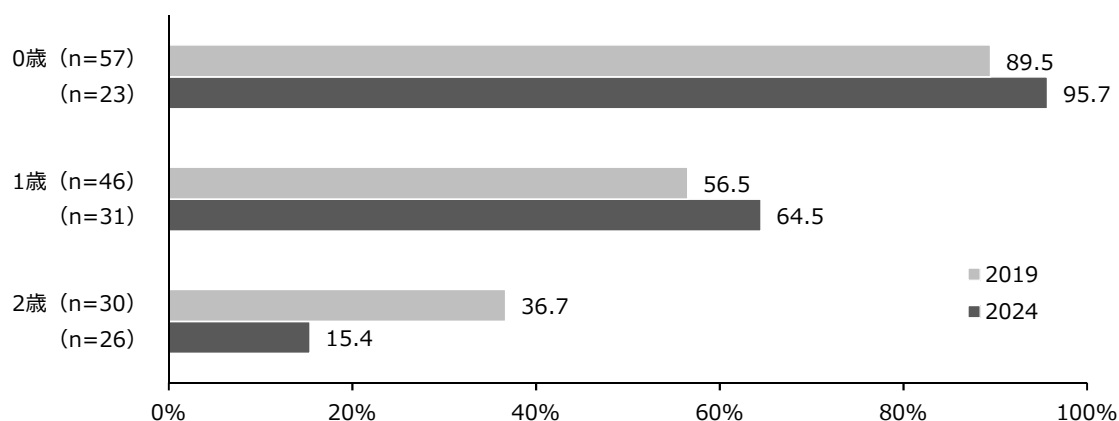
■図表 126 同居している子どもの年齢（n=507）



学校別では、小学校に通う子どもが半数を占めている（p. 96 図表 69 参照）。上述したように、「親が教師と意思疎通ができない」が大きく増加しているが、「お弁当・給食のことで困っている」も2.5ポイント増加しており、給食や食事の問題で困っているというケースも増えている（p. 100 参考 46 参照）。

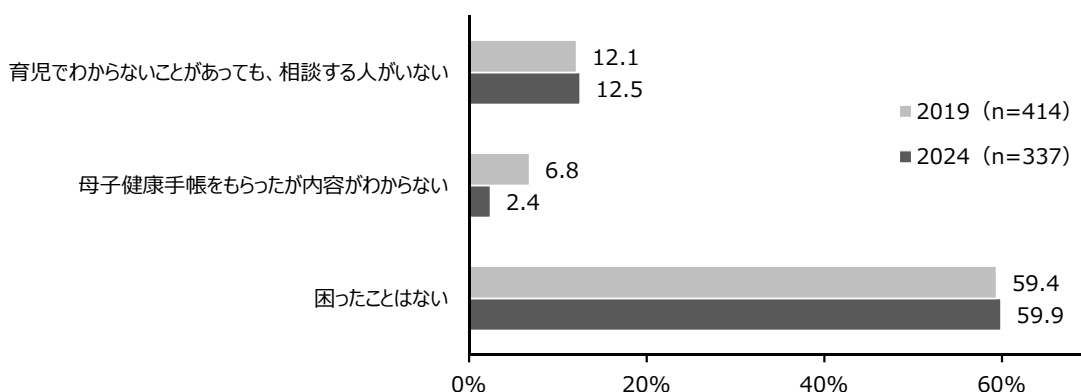
なお、神奈川県全体では就学前の子どもの未就園（保育園にも幼稚園にも通っていない状態）が問題視されつつある。今回の調査においては、3歳以上の子どもで「通っていない」状態はいないが、「0歳」では95.7%、「1歳」では64.5%が「通っていない」状態にあり、その割合はそれぞれ前回調査よりも増加している。逆に、「2歳」では「通っていない」の割合は前回調査よりも減少しているため、0～1歳児の保育が各世帯において課題になっている可能性があるだろう。もっとも保育園・幼稚園にかかわる困りごととして、「子どもを保育園（所）に預けたいのに、入れない」を挙げた割合は、2019年の前回調査の25.4%から16.0%に減少していることから、保育園・幼稚園への入園そのものにおける課題は改善しつつあるのかもしれない（p. 89 参考 39 参照）。

■図表 127 就学前の子どもの年齢と未就園の関係



一方で、「出産・育児」に関して「困ったことはない」と答えた回答者は 59.9%で半数を超えてはいるが、2019 年に実施した前回の調査と同様に「育児でわからないことがあっても、相談する人がいない」という回答が 12.5%と一定数あることは引き続き見逃せない。また、「母子健康手帳をもらったが内容がわからない」と回答した割合は前回調査よりも 4.4 ポイント下がっているが、これは外国人市民代表者会議の提言が活かされたことの効果かもしれない。

■図表 128 出産・育児で困ったこと (MA)



5 本調査から見えてくる課題

最後に、今回の調査からみえてくる家族の「多様化」にともなう、子育て・教育に関する状況と課題をまとめたい。

まず、川崎市内の外国人市民の家族のかたちが多様化していることが確認された。単身世帯の増加とともに、複数人の子どもがいる世帯も増加している。また、外国人市民全体での「外国生まれ」の割合も、子どもの「外国籍」の割合も増加傾向にある。外国人市民の配偶者・パートナーにおいても、外国籍の割合が増加し日本籍の割合が減少していることから、外国籍者同士のカップル間での家族形成が進んでいることがわかる。

このことは、家庭の中で「日本語のみ」を使っている割合が減少し、逆に「母語のみ」の比率が増加している、という家庭内での言語状況のトレンドとも重なっている。これらのことから、地域や学校での子どもおよびその保護者への日本語教育の重要性が高まっていることが示唆さ

れる。川崎市では 2024 年 3 月に「川崎市地域日本語教育推進方針」が策定されているが、方針の中では、日本語学習者の多様なニーズについても指摘されている。地域における日本語教育の多様なニーズが今後も増加するであろうことは、今回の調査における外国人市民家族のかたちの多様化からも、裏づけられる。

また、家族のかたちの多様化の中で、日本語を家庭で使っていない児童生徒の割合の増加は、学校面での教育指導課題に加えて、外国人保護者と学校とのコミュニケーションにつながる課題も生み出している。外国につながる生徒の進路保障が社会的課題となる中で、小学校に通う子どもが中心となっている外国人市民家庭において、今後の進路への不安が解消されていくためにも、地域におけるサポートが必要であることが、あらためて確認されたといえるだろう。

なお、最後に近年増加傾向であるベトナム国籍の市民の特徴について触れておきたい。ベトナム国籍の市民においては、配偶者・パートナーの外国籍の割合も圧倒的に高く、また困った時の相談相手も同国人である割合が高いことから、コミュニティとしての凝集性が高いと考えられる。そうした状況で学齢期の子どもが増える中で、日本語面での課題が、子育てや教育の課題とより密接に関係してくることが十分に予測される。全国レベルで見ても、ベトナム国籍の在留外国人人口は近年急増しており、川崎市においても、外国人市民の国籍・地域構成における比重も高まる中で、今後注目していくべきコミュニティの 1 つであろう。

多言語によるさまざまな行政サービスの拡大や「やさしい日本語」の普及といった課題が、外国人市民家族の多様化の中で、いまいちどその意義を確認されるべきであることがわかる。

(小ヶ谷 千穂)

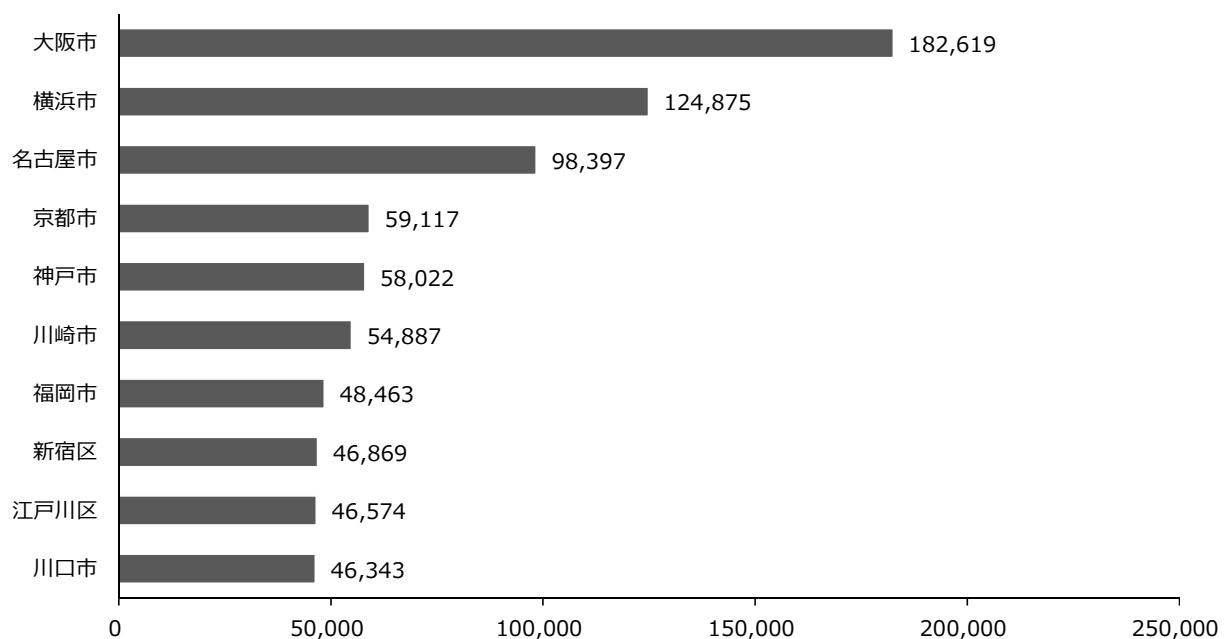
第4章 川崎市に暮らす外国人市民の特徴と推移

1 はじめに

2024年6月末現在、日本の在留外国人人口は3,588,956人となっている。その中で、川崎市は市区町村別外国人住民人口で大阪市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市に次いで第6位となっており、全国的に見ても外国人住民の多い基礎自治体となっている。では、川崎市に暮らす外国人市民は、日本全体の外国人住民と比べてどのような特徴があるのだろうか。また、前回調査からの5年間で川崎市の外国人市民はどのように推移してきたのだろうか。

本章では、統計資料をもとに川崎市に暮らす外国人市民の特徴とこの5年間の推移について、特に国籍・地域と在留資格に着目して見ていく。なお、データに関しては、川崎市については川崎市統計情報から各年12月末現在のものを、日本全体については法務省の在留外国人統計から2019年6月末現在のものを用いることとする。

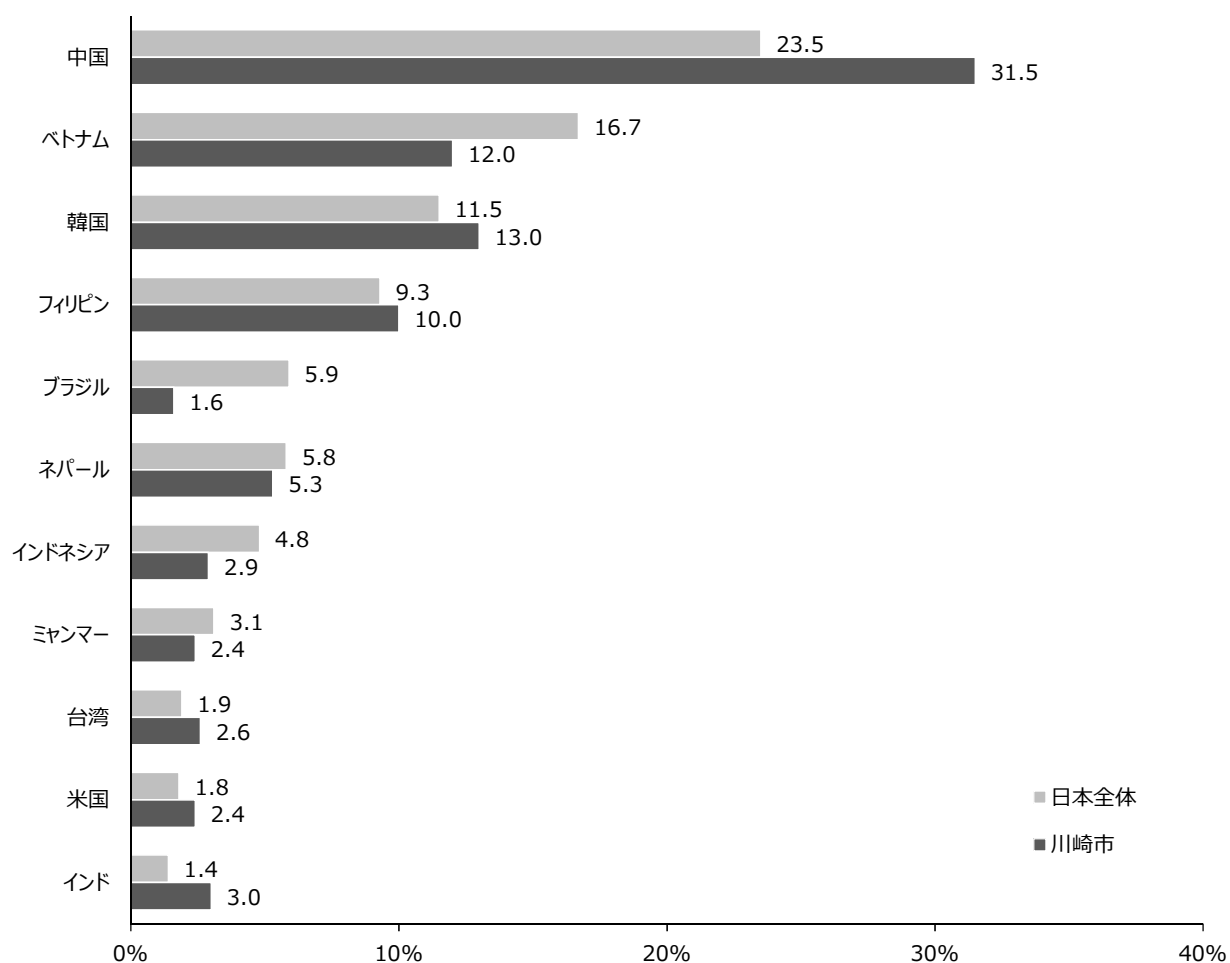
■図表 129 市区町村別外国人住民人口上位10



2 川崎市に暮らす外国人市民の特徴

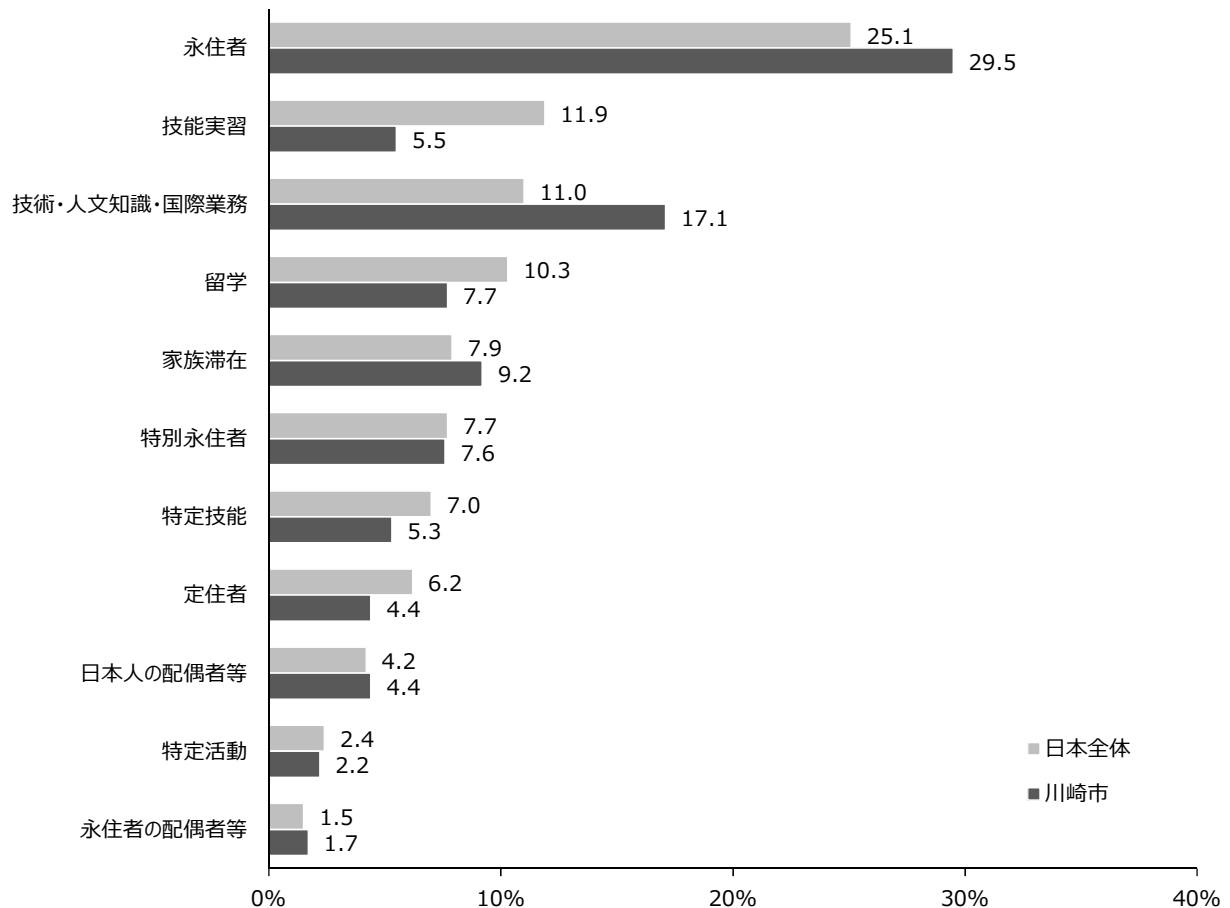
まずは、日本全体と比べた川崎市の外国人市民の特徴について見てみよう。国籍・地域に着目すると、日本全体と比較した場合に川崎市でその割合が大きいのは「中国」「インド」「韓国」で、それぞれ川崎市の方が 8.0 ポイント、1.6 ポイント、1.5 ポイント高い。逆に、川崎市で割合が小さいのは「ベトナム」「ブラジル」「インドネシア」で、それぞれ川崎市の方が 4.7 ポイント、4.3 ポイント、1.9 ポイント低くなっている。順位では、「ブラジル」は日本全体では第 5 位だが、川崎市では第 11 位で上位 10 位には入っていない。逆に、川崎市では「インド」が第 6 位に入っているが、日本全体では「インド」は上位 10 位には入っておらず、第 13 位にとどまっている。

■図表 130 国籍・地域別構成比



では、在留資格ではどのような特徴がみられるだろうか。日本全体と比べて川崎市でその割合が大きいのは「技術・人文知識・国際業務」「永住者」「家族滞在」で、それぞれ川崎市の方が 6.1 ポイント、4.4 ポイント、1.3 ポイント高い。逆に、川崎市で割合が小さいのは「技能実習」「留学」「定住者」で、それぞれ川崎市の方が 6.4 ポイント、2.6 ポイント、1.8 ポイント低くなっている。このうち、特に「技術・人文知識・国際業務」と「技能実習」に関しては日本全体と比べて 6 ポイント以上と顕著に開きがみられる。在留資格という観点で見ると、この「技術・人文知識・国際業務」の高さと「技能実習」の低さというのが、川崎市における外国人市民の大きな特徴だといえるだろう。

■図表 131 在留資格別構成比



3 区ごとの特徴

川崎市は南北に細く伸びる 7 つの行政区から構成されており、区ごとの特色・特徴も大きい。そこで、本節では在留資格に着目しながら、区ごとの特徴について見ていくこととする。まず、29.5%と外国人市民の約 3 割を占める「永住者」について見てみよう。「永住者」では市全体と比べて「幸区」で 5.2 ポイント高く、「多摩区」で 6.0 ポイント低くなっており、「幸区」と「多摩区」では 11.2 ポイントと顕著な開きがみられる。次に、川崎市の特徴のひとつでもある「技術・人文知識・国際業務」についてはどうだろうか。市全体と比べると、「中原区」で 4.8 ポイント、「多摩区」で 3.3 ポイント、「高津区」で 3.1 ポイント高く、逆に「川崎区」では 3.0 ポイント低くなっている。「技術・人文知識・国際業務」に関しては、日本全体と比べるといずれの区でも高くなっているが、特に「中原区」や「高津区」といった中部で高くなっているのが特徴である。続いて、日本全体と比べてやや高く川崎市では第 3 位を占める「家族滞在」について見てみると、市全体と比べて「幸区」で 3.1 ポイント高いものの、その他の区では大きな差はみられなかった。

「留学」についてはどうだろうか。市全体と比べると、「麻生区」で 5.4 ポイント、「多摩区」で 4.0 ポイント高くなっている。一方、「幸区」で 3.4 ポイント、「川崎区」で 1.9 ポイント低くなっており、「留学」に関しては市の北部で高く、南部で低い傾向がみられた。

では、「特別永住者」についてはどうだろうか。「特別永住者」に関しては、市全体と比べると「川崎区」で 2.6 ポイントと 7 区の中で唯一高かった。一方、「麻生区」で 3.2 ポイント、「多摩区」で 2.9 ポイント低くなっており、「留学」とは逆に北部で低く、南部で高い傾向がみられた。日本全体と比べて顕著に低かった「技能実習」についてはどうだろうか。市全体と比べると、「宮

前区」で3.0ポイント、「川崎区」で1.4ポイント高く、逆に「中原区」で2.8ポイント低くなっている。川崎市内では「宮前区」が8.5%で最も高くなっているが、それでも日本全体の11.9%と比べると3.4ポイント低い。

「定住者」では、市全体と比べると「川崎区」で2.0ポイント、「幸区」で0.4ポイント高くなっている。一方、「麻生区」で2.4ポイント、「中原区」で2.0ポイント、「多摩区」で1.4ポイント低くなっており、「定住者」に関しても南部で高く、北部で低い傾向がみられた。「特定技能」に関しては「多摩区」で1.9ポイントとやや高く、「日本人の配偶者等」に関しては「宮前区」で1.8ポイント、「麻生区」で1.6ポイントとやや高かったが、その他の区では市全体と比べて大きな差はみられなかった。また、「特定活動」「永住者の配偶者等」に関しては、そもそも母数が小さいということもあるが、市全体との差は最大でも0.7ポイント以内であった。

■図表 132 在留資格別区別外国人住民人口

		川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市全体
永住者	人	5,964	2,430	2,124	1,810	1,623	1,428	1,122	16,501
	%	29.9	34.7	29.0	27.7	31.8	23.5	28.8	29.5
技術・人文知識・国際業務	人	2,804	1,117	1,598	1,322	772	1,240	685	9,538
	%	14.1	16.0	21.8	20.2	15.1	20.4	17.6	17.1
家族滞在	人	1,922	858	551	498	388	560	335	5,112
	%	9.6	12.4	7.5	7.6	7.6	9.2	8.6	9.2
留学	人	1,171	302	713	553	353	713	513	4,318
	%	5.9	4.3	9.7	8.5	6.9	11.7	13.2	7.7
特別永住者	人	2,029	451	536	448	314	287	171	4,236
	%	10.2	6.4	7.3	6.9	6.2	4.7	4.4	7.6
技能実習	人	1,368	237	198	350	434	336	168	3,091
	%	6.9	3.4	2.7	5.4	8.5	5.5	4.3	5.5
特定技能	人	1,052	290	269	372	285	435	231	2,934
	%	5.3	4.1	3.7	5.7	5.6	7.2	5.9	5.3
定住者	人	1,286	335	178	226	190	183	79	2,477
	%	6.5	4.8	2.4	3.5	3.7	3.0	2.0	4.4
日本人の配偶者等	人	626	271	355	331	314	318	232	2,447
	%	3.1	3.9	4.9	5.1	6.2	5.2	5.9	4.4
特定活動	人	323	138	185	176	126	152	112	1,212
	%	1.6	2.0	2.5	2.7	2.5	2.5	2.9	2.2
永住者の配偶者等	人	437	149	93	88	71	70	41	949
	%	2.2	2.1	1.3	1.3	1.4	1.2	1.1	1.7
その他	人	942	423	516	363	226	353	212	3,035
	%	4.7	6.0	7.1	5.6	4.4	5.8	5.4	5.4
合 計	人	19,924	7,001	7,316	6,537	5,096	6,075	3,901	55,850
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4 外国人住民人口の推移

さて、川崎市の外国人住民人口は、この 5 年間でどのように推移してきたのだろうか。特に、この 5 年のあいだには新型コロナウイルス感染症の流行もあり、それまで年間約 3,000 人ほどのペースで増加していた外国人住民人口も 2020 年 5 月から 2022 年 2 月にかけては減少が続いた。本節ではコロナ禍による影響にも着目しつつ、川崎市における外国人市民人口のこの 5 年間での推移について見ていく。

■図表 133 区別外国人住民人口の推移

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	5 年間の変化	
								増減数（人）	増減率（％）
川崎区	人	16,839	16,734	15,987	16,581	18,228	19,924	3,085	18.3
	％	36.9	36.9	36.5	35.6	35.9	35.7		
幸区	人	5,652	5,535	5,398	5,802	6,300	7,001	1,349	23.9
	％	12.4	12.2	12.3	12.4	12.4	12.5		
中原区	人	6,142	5,960	5,759	6,324	6,650	7,316	1,174	19.1
	％	13.5	13.1	13.1	13.6	13.1	13.1		
高津区	人	5,270	5,346	5,137	5,490	6,020	6,537	1,267	24.0
	％	11.5	11.8	11.7	11.8	11.9	11.7		
宮前区	人	3,785	3,897	3,969	4,312	4,716	5,096	1,311	34.6
	％	8.3	8.6	9.1	9.2	9.3	9.1		
多摩区	人	5,011	4,947	4,666	4,944	5,330	6,075	1,064	21.2
	％	11.0	10.9	10.6	10.6	10.5	10.9		
麻生区	人	2,939	2,942	2,938	3,186	3,550	3,901	962	32.7
	％	6.4	6.5	6.7	6.8	7.0	7.0		
市全体	人	45,638	45,361	43,854	46,639	50,794	55,850	10,212	22.4
	％	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

まずは、区ごとの推移について見てみよう。最も多くの外国人住民が暮らすのは「川崎区」で、2024 年現在では市内の外国人住民人口の 35.7%を占めている。この 5 年間で外国人住民人口が最も増えたのも「川崎区」で、3,085 人増加している。ただし、増減率で見ると、「川崎区」は 18.3%と 7 区の中では最も低い。逆に、増減率が最も伸びたのは「宮前区」の 34.6%で、次いで「麻生区」の 32.7%、「高津区」の 24.0%と続いている。「麻生区」に関してはコロナ禍の 2020 年と 2021 年でもほぼ横ばいで推移しており、「宮前区」に関してはコロナ禍も含めて一貫して増加している。

■図表 134 国籍・地域別外国人住民人口の推移

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	5 年間の変化	
								増減数（人）	増減率（％）
中国	人	16,432	16,148	15,182	15,479	16,514	17,573	1,141	6.9
	%	36.0	35.6	34.6	33.2	32.5	31.5		
韓国	人	7,684	7,426	7,130	7,272	7,188	7,279	△405	△5.3
	%	16.8	16.4	16.3	15.6	14.2	13.0		
ベトナム	人	4,122	4,447	4,406	4,776	5,702	6,692	2,570	62.3
	%	9.0	9.8	10.0	10.2	11.2	12.0		
フィリピン	人	4,655	4,635	4,700	4,968	5,293	5,580	925	19.9
	%	10.2	10.2	10.7	10.7	10.4	10.0		
ネパール	人	1,500	1,531	1,590	1,868	2,277	2,972	1,472	98.1
	%	3.3	3.4	3.6	4.0	4.5	5.3		
インド	人	1,354	1,342	1,275	1,474	1,578	1,668	314	23.2
	%	3.0	3.0	2.9	3.2	3.1	3.0		
インドネシア	人	612	669	628	856	1,233	1,623	1,011	165.2
	%	1.3	1.5	1.4	1.8	2.4	2.9		
台湾	人	1,217	1,156	1,099	1,195	1,285	1,437	220	18.1
	%	2.7	2.5	2.5	2.6	2.5	2.6		
米国	人	1,066	1,045	1,060	1,192	1,305	1,367	301	28.2
	%	2.3	2.3	2.4	2.6	2.6	2.4		
ミャンマー	人	276	315	336	502	786	1,313	1,037	375.7
	%	0.6	0.7	0.8	1.1	1.5	2.4		
その他	人	6,720	6,647	6,448	7,057	7,633	8,346	1,626	24.2
	%	14.7	14.7	14.7	15.1	15.0	14.9		
市全体	人	45,638	45,361	43,854	46,639	50,794	55,850	10,212	22.4
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

次に、国籍・地域ごとの推移について見てみよう。この5年間で最も人口が増えたのは「ベトナム」の2,570人で、次いで「ネパール」の1,472人、「中国」の1,141人と続いている。増減率を見てみると、最も伸びたのは「ミャンマー」の375.7%で、次いで「インドネシア」の165.2%、「ネパール」の98.1%と続いている。コロナ禍による影響を見てみると、多くの国籍・地域で減少している中、「ベトナム」「フィリピン」「米国」はほぼ横ばいで推移しており、「ネパール」「ミャンマー」に関してはコロナ禍も含めて一貫して増加している。

■図表 135 在留資格別外国人住民人口の推移

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	5 年間の変化	
								増減数（人）	増減率（％）
永住者	人	13,477	13,953	14,460	15,096	15,519	16,501	3,024	22.4
	％	29.5	30.8	33.0	32.4	30.6	29.5		
技術・人文知識・国際業務	人	7,505	7,821	7,319	7,866	8,628	9,538	2,033	27.1
	％	16.4	17.2	16.7	16.9	17.0	17.1		
家族滞在	人	4,288	4,146	3,935	4,290	4,732	5,112	824	19.2
	％	9.4	9.1	9.0	9.2	9.3	9.2		
留学	人	4,823	3,894	2,861	3,458	3,904	4,318	△505	△10.5
	％	10.6	8.6	6.5	7.4	7.7	7.7		
特別永住者	人	4,791	4,663	4,543	4,445	4,327	4,236	△555	△11.6
	％	10.5	10.3	10.4	9.5	8.5	7.6		
技能実習	人	1,986	2,057	1,647	1,857	2,550	3,091	1,105	55.6
	％	4.4	4.5	3.8	4.0	5.0	5.5		
特定技能	人	21	101	406	994	1,788	2,934	2,913	13,871.4
	％	0.0	0.2	0.9	2.1	3.5	5.3		
定住者	人	2,100	2,119	2,119	2,174	2,342	2,477	377	18.0
	％	4.6	4.7	4.8	4.7	4.6	4.4		
日本人の配偶者等	人	2,311	2,307	2,268	2,307	2,434	2,447	136	5.9
	％	5.1	5.1	5.2	4.9	4.8	4.4		
特定活動	人	865	950	1,156	895	910	1,212	347	40.1
	％	1.9	2.1	2.6	1.9	1.8	2.2		
永住者の配偶者等	人	687	724	765	816	908	949	262	38.1
	％	1.5	1.6	1.7	1.7	1.8	1.7		
その他	人	2,784	2,626	2,375	2,441	2,752	3,035	251	9.0
	％	6.1	5.8	5.4	5.2	5.4	5.4		
市全体	人	45,638	45,361	43,854	46,639	50,794	55,850	10,212	22.4
	％	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

続いて、在留資格ごとの推移について見てみよう。この5年間で最も人口が増えたのは「永住者」の3,024人で、次いで「特定技能」の2,913人、「技術・人文知識・国際業務」の2,033人と続いている。増減率を見ると、最も伸びたのは「特定技能」の13,871.4%で、次いで「技能実習」の55.6%、「特定活動」の40.1%と続いている。特に、「特定技能」に関しては21人から2,934人へと急増している。コロナ禍による影響を見てみると、「定住者」はほぼ横ばいで推移しており、「永住者」「特定技能」「永住者の配偶者等」に関してはコロナ禍も含めて一貫して増加している。

コロナ禍でも増加した在留資格の人たちがいる一方で、コロナ禍による影響を最も大きく受けたのは「留学」である。コロナ禍の2020年と2021年にかけて、「留学」は年間約1,000人のペースで大きく減少している。2022年からは再び増加に転じているものの、2024年現在でも2019年の水準までは回復していない。また、「特別永住者」に関しては、コロナ禍も含めて年間約100人ほどのペースで減少を続けている。

ところで、「特定技能」に関しては、コロナ禍での入国制限により新規の入国ができなかったにもかかわらず、コロナ禍でも大きく増加しているのはなぜだろうか。コロナ禍でも「特定技能」が大きく増加した要因としては、すでに日本国内に居住し、技能実習2号を修了していた人たちが在留資格を「特定技能」へと切り替えたことがあげられる。また、コロナ禍では「特定活動」も大きく増加しているが、これもコロナ禍での特例措置として「技能実習」からの在留資格の変更が認められたことによるものである。

5 技能実習と特定技能の増加

前節では、区、国籍・地域、在留資格に着目して、5年間の推移について概観したが、この5年間で大きく伸びた在留資格に「技能実習」と「特定技能」がある。「技能実習」も「特定技能」も、日本全体と比べると川崎市の中ではどちらも5%程度とまだ小さい。しかしながら、その増減率を見ればどちらも今後は川崎市でも大きく増加していくことが予想される。そこで、本節では「技能実習」と「特定技能」について、はたしてどのような人たちが増えたのか、国籍・地域に着目して5年間での変化について見てみたい。

■図表 136 技能実習の国籍・地域別内訳推移

		2019	2024	5年間の変化				2019	2024	5年間の変化	
				増減数 (人)	増減率 (%)					増減数 (人)	増減率 (%)
ベトナム	人	1,279	1,707	428	33.5	スリランカ	人	2	18	16	800.0
	%	64.4	55.2				%	0.1	0.6		
インドネシア	人	142	658	516	363.4	ネパール	人	4	16	12	300.0
	%	7.2	21.3				%	0.2	0.5		
フィリピン	人	172	260	88	51.2	バングラデシュ	人	2	10	8	400.0
	%	8.7	8.4				%	0.1	0.3		
ミャンマー	人	54	172	118	218.5	キルギス	人	4	5	1	25.0
	%	2.7	5.6				%	0.2	0.2		
中国	人	202	91	△111	△55.0	ウズベキスタン	人	0	3	3	—
	%	10.2	2.9				%	—	0.1		
カンボジア	人	46	65	19	41.3	インド	人	0	3	3	—
	%	2.3	2.1				%	—	0.1		
タイ	人	60	50	△10	△16.7	ラオス	人	0	2	2	—
	%	3.0	1.6				%	—	0.1		
モンゴル	人	14	31	17	121.4	ブータン	人	5	0	△5	△100.0
	%	0.7	1.0				%	0.3	—		
合 計		人	1,986	3,091			人	1,986	3,091	1,105	55.6
		%	100.0	100.0			%	100.0	100.0		

まずは、「技能実習」について見てみよう。国籍・地域別の内訳を見てみると、最も人数が多いのは「ベトナム」で、「技能実習」のうち2019年では64.4%、2024年では55.2%を占めている。ただし、近年大きく増加しているのは「インドネシア」と「ミャンマー」である。「インドネシア」はこの5年間で516人増えており、これは「ベトナム」の428人を抜いて第1位の増加数である。割合でも、2019年では7.2%だったのが2024年では21.3%となっており、約3倍に伸びている。また、「ミャンマー」もこの5年間で118人増えており、割合でも2019年では2.7%だったのが2024年では5.6%となっており、約2倍に伸びている。一方、大きく減少したのは「中国」で、2019年では10.2%と約1割を占めていたが、2024年では2.9%にまで低下している。

■図表 137 特定技能の国籍・地域別内訳推移

		2019	2024	5 年間の変化				2019	2024	5 年間の変化	
				増減数 (人)	増減率 (%)					増減数 (人)	増減率 (%)
ベトナム	人	17	1,490	1,473	8,664.7	韓国	人	0	6	6	—
	%	81.0	50.8				%	—	0.2		
ミャンマー	人	0	416	416	—	台湾	人	0	5	5	—
	%	—	14.2				%	—	0.2		
インドネシア	人	1	316	315	31,500.0	キルギス	人	0	3	3	—
	%	4.8	10.8				%	—	0.1		
フィリピン	人	0	260	260	—	ウズベキスタン	人	0	3	3	—
	%	—	8.9				%	—	0.1		
中国	人	2	196	194	9,700.0	パキスタン	人	0	2	2	—
	%	9.5	6.7				%	—	0.1		
ネパール	人	1	105	104	10,400.0	イタリア	人	0	2	2	—
	%	4.8	3.6				%	—	0.1		
カンボジア	人	0	36	36	—	マレーシア	人	0	2	2	—
	%	—	1.2				%	—	0.1		
タイ	人	0	29	29	—	バレー	人	0	1	1	—
	%	—	1.0				%	—	0.0		
モンゴル	人	0	21	21	—	ロシア	人	0	1	1	—
	%	—	0.7				%	—	0.0		
スリランカ	人	0	20	20	—	メキシコ	人	0	1	1	—
	%	—	0.7				%	—	0.0		
バングラデシュ	人	0	9	9	—	スペイン	人	0	1	1	—
	%	—	0.3				%	—	0.0		
インド	人	0	8	8	—	チリ	人	0	1	1	—
	%	—	0.3				%	—	0.0		
合 計		21	2,934	2,913	13,871.4		人	21	2,934		
		100.0	100.0				%	100.0	100.0		

次に、「特定技能」について見てみよう。国籍・地域別の内訳を見てみると、最も人数が多いのは「ベトナム」でこの5年間で1,473人増加している。割合を見ても、2019年では81.0%と約8割を占め、2024年では50.8%と約30ポイントほど減らしているもののそれでも「特定技能」の約半数を占めている。また、「技能実習」と同様に「特定技能」でも大きく伸びているのが「ミャンマー」と「インドネシア」である。この5年間で、「ミャンマー」は416人、「インドネシア」は315人増加している。ほかにも、「フィリピン」が260人、「中国」が194人、「ネパール」が104人と大きく増加している。特に、「中国」は「技能実習」では100人ほど減少しているものの、「特定技能」では200人近く増加しており、明らかに傾向の変化がみられる。

また、「特定技能」の場合に特徴的なのは、その国籍・地域の多様性であろう。「技能実習」では、その制度の目的が「人材育成を通じた開発途上地域等への技能、技術又は知識（以下「技能等」という。）の移転による国際協力を推進すること」にあるため、対象国は主に二国間の取決め（協力覚書）を締結した東・東南・南アジアなどの新興国となっている。それに対し、「特定技能」では技能実習2号修了か、または「特定技能測定試験」に合格すればよいため、「韓国」「イタリア」「スペイン」といった技能実習制度の対象国外の人でも取得が可能となっている。

6 おわりに

本章では、統計資料をもとに川崎市に暮らす外国人市民の特徴とこの5年間の推移について見てきた。川崎市の特徴としては、国籍・地域で見ると日本全体と比べて「中国」「インド」「韓国」の割合が大きく、「ベトナム」「ブラジル」「インドネシア」の割合が小さかった。また、在留資格では、日本全体と比べると「技術・人文知識・国際業務」「永住者」「家族滞在」の割合が大きく、「技能実習」「留学」「定住者」の割合が小さかった。

この5年間の推移では、いずれの区でも外国人人口は増加しているものの、特に「宮前区」と「麻生区」で増加率が大きかった。実際、「麻生区」に関してはコロナ禍の2020年と2021年でもほぼ横ばいで推移しており、「宮前区」に関してはコロナ禍も含めて一貫して増加していた。国籍・地域で見ると、人口では「ベトナム」と「ネパール」が大きく増加し、増加率では「ミャンマー」「インドネシア」が大きく伸びていた。また、在留資格で見ると、人口では「永住者」と「技術・人文知識・国際業務」が大きく増加しているものの、増加率では「特定技能」と「技能実習」が大きく伸びていた。その「特定技能」と「技能実習」では、どちらも最も多いのは「ベトナム」であったが、近年の傾向としては「ミャンマー」と「インドネシア」が大きく伸びていた。それゆえ、近年になって「ミャンマー」や「インドネシア」が大きく増加している背景には、「特定技能」と「技能実習」の大幅な増加があるといえるだろう。

また、この5年のあいだには新型コロナウイルス感染症の流行もあり、市全体としてはコロナ禍で外国人住民の人口が減少した期間もあった。ただし、コロナ禍にもかかわらず増加している国籍・地域や在留資格もあり、コロナ禍の影響はすべての外国人市民に一律に及んだわけではないこともわかった。このことは、あらためて「外国人市民」を一括りにしてとらえることの限界や不適切さをあらわしているといえよう。

この5年間の川崎市に暮らす外国人市民の推移からは、以上のような特徴と変化がみられた。5年前の報告書では「ベトナム」と「ネパール」が急増していることが指摘されており、その傾向は今でも続いている。ただし、現在ではそこに「インドネシア」や「ミャンマー」が加わるようになっており、5年という期間でも外国人市民の構成にはトレンドの変化がみられる。その「インドネシア」と「ミャンマー」の増加を後押ししているのは、「特定技能」と「技能実習」の増加であることはすでに指摘したところであるが、「技能実習」の増減率を見ると、今後はさらに「スリランカ」や「バングラデシュ」「ネパール」「モンゴル」などが続いてくる可能性は高いように思われる。

とはいえ、その技能実習制度も2030年までには廃止されることが決まっており、かわりに2027年からは新たに育成就労制度が開始される予定となっている。技能実習から育成就労へと制度が変更することで、川崎市における外国人市民の構成や特徴・傾向にはどのような変化がみられるようになるのだろうか。「特定技能」にせよ「育成就労」にせよ、単に労働力確保のための制度というだけではなく、自治体としては、むしろその制度のもとで働き、暮らす外国人市民たちがどのように変化し、生活者として、また、市民としていかなる意識や関心を持ち、どのようなニーズや課題を抱えるのかということに関心を寄せ、目を向けていく必要があるだろう。

刻一刻と外国人市民をめぐる状況が変化する中で、その時々々の外国人市民の意識や実態を的確にとらえるためにも、この外国人市民意識実態調査を5年に一度のスパンで実施していることの意義はきわめて大きい。それゆえ、今後も引き続き定期的な調査の実施が望まれる。

(高橋 誠一)

第Ⅲ部 参考資料

第1章 自由記述欄への回答一覧

調査票の最後に、川崎市に住んでよかったこと、川崎市への要望などを自由に記述してもらったところ、668人から回答が寄せられた。

自由記述欄への回答一覧の見方について

- ・原則として、すべての記述を原文のまま掲載している。
- ・回答内容は項目を設けて分類しているが、あくまでも便宜的なものである。並びは順不同である。1人が複数の意見や要望を回答しているケースも多く、分割できる場合には分割して分類している。分割が難しい場合には、主な内容で分類している。
- ・[]内は回答者の属性で、[国籍・地域・性別・年代・日本在住年数]となっている。
- ・外国語による記述は、翻訳して載せている。
- ・日本語で記入された自由記述には、明らかな表記の誤り（誤字や脱字）や意味の通りにくい表現などがみられるものもあるが、原文のまま載せている。
- ・事実と異なる誤った認識や不正確な内容が記述されている場合もあるが、原文のまま掲載している（必ずしも事実ではない記述も一部含まれる）。
- ・個人情報への配慮のため、回答内容のうち、個人の特定につながる部分については、一部を省略や伏字（●●）としている。
- ・個人情報への配慮のため、回答者の属性のうち、個人の特定につながるおそれのあるものについては一部を省略している（国籍・地域に関しては、「アジア」などの地域区分としている）。
- ・一部の固有名詞を伏せるだけでは個人・法人あるいは団体の不利益につながる内容の場合には、削除した箇所がある。
- ・誤解あるいは偏見を招くような表現など不適切と思われるような記述に関しては、川崎市の判断で一部削除・修正している。

1 記述回答（ご意見・ご要望）のカテゴリー別まとめ

No.	カテゴリー	件 数
	川崎市に住んでよかったこと	438
1	●自然・住生活環境、ロケーション、交通の便	224
2	●市の施策・施設、行政サービス、職員の対応	62
3	●調査について	23
4	●人間関係	32
5	●その他	75
6	●謝意	22
	要望・意見	557
7	●制度、サービス、支援、手続き	43
8	●施設	40
9	●調査について	8
10	●情報発信・提供、多言語対応、やさしい日本語	57
11	●通訳・翻訳、相談窓口	8
12	●自然、衛生、住生活環境、インフラ	37
13	●生活マナー、ルール	7
14	●ゴミ	7
15	●住宅、住まい	16
16	●医療・病院、福祉	25
17	●防災、災害	2
18	●出産、子育て	21
19	●学校、教育	25
20	●治安	24
21	●差別・偏見、いじめ、ヘイトスピーチ	22
22	●多文化共生、異文化交流、国際理解	18
23	●日本語学習・日本語教育	25
24	●市政参加、地域活動、ボランティア	27
25	●就労、仕事	18
26	●税金、保険、年金	21
27	●物価	12
28	●高齢者、介護	3
29	●交通インフラ	21
30	●その他	26
31	●「なし」といった趣旨のもの 特になし等	44
	計	995

2 カテゴリー別ご意見・ご要望抜粋

川崎市に住んでよかったこと ----- 438 件

●自然・住生活環境、ロケーション、交通の便 ----- 224 件

- ・多摩川を散歩することが好きです。多摩川周辺が好きです。自然を大切にしていきたいです。[台湾・女性・40代・15～19年]
- ・川崎市に住んで良かったです。東京と神奈川の両方に行きやすく、東京都心よりも家賃や物価が安いのでコストパフォーマンスが有利だと思います。自然資源や文化教育の方面にも豊富さがあって、子育てには役に立ててありがたいです。[中国・男性・40代・7～9年]
- ・学校と仕事の関係で川崎に引っ越してきて2年以上たちますが、多摩区周辺環境や緑豊かな風景に満足しています。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・治安がよく、道も綺麗で住みやすく良かった。[ブラジル・女性・20代・10～14年]
- ・交通の便が良いです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・私の住んでいる場所がとても好きです。環境も良く繁華街です。大型ショッピングモールでの買い物が楽しい。(武蔵小杉一帯)[中国・女性・20代・1～3年]
- ・川崎市中原区の居住環境がとても気に入ってます。生活が便利、外国人に対して非常に友好的です。又中原区にはあまり多くの美食スポットがないように感じますが、その他は非常に満足。学業の都合で川崎を離れる予定ですが、ここでの一年間は楽しかった。今後機会があればまたここに住むことを考えたい。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・治安、立地が良い。通勤や外出が日常生活に便利。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎は買い物施設が充実しており、家の近くにも店がある。通勤通学の電車の便も良く、落ち着いた環境です。ありがとう。[ネパール・男性・50代・7～9年]
- ・来日して初めての場所なので川崎市が気に入っています。治安強化。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・川崎市は治安が良くて、外国人市民にも優しい。外国人市民向けの交流イベントが多く開催しているのが良い。[ベトナム・女性・50代・15～19年]
- ・川崎市が好きです。川崎駅の近くは生活がとても便利です。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・いつもお世話になっております。川崎は大きくて便利な街だ。[ブラジル・男性・30代・7～9年]
- ・街路が清潔です。24時間営業のスーパーやコンビニも多く、深夜の買い物にもとても便利です。私の住んでいる地域は外国人が少なく、比較的静かで住みやすいです。今の生活に満足しています。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市は清潔で暮らしやすい街です。いつまでも安心してこの街に長く滞在できるように。[ネパール・女性・20代・1～3年]
- ・都心に近い、交通機関が便利で良かったです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・川崎市に住んで良かったことは、外国籍の方が多く、お土産屋さんや外国人向けの小売店が多い事です。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・東京と横浜の中間にあり、交通の便が良い。休日に訪れたい場所がいくつもあり、生活環境も良く、暮らしやすいです。ショッピングエリアやモールも充実しています。多摩川の花火大会や川崎大師のお祭りなど地元のイベントが盛り沢山で、文化や知識の交流ができます。[ネパール・男性・20代・1～3年]
- ・川崎は交通が便利で、環境も良く、とても良い町です。今住んでいる川崎区は平坦な地形で坂が無いので旅行や生活にとっても便利です。だから川崎に住むことができとても嬉しいです、日本語を一生懸命勉強しているので、出来ることなら川崎の未来のために頑張りたいと思います。[中国・女性・40代・1～3年]
- ・川崎に住んでいると交通がとても便利に感じます。電車、バスでの移動が効率的です。川崎は良い街ですが、もっと外国籍の移住者が増えたらいいと思います。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・川崎市に住んで不便を感じたことはありません。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・仕事場やレジャー地へのアクセスも良く、快適な雰囲気です。道路を走るドライバーはおかしな人もいるが、川崎市は安全な住環境で人々はフレンドリーです。[米国・男性・70代・25年以上]

- ・東京と横浜で働くのに非常に便利です。多くのショッピングモール、ショップ、アミューズメントパークが点在しており、家賃も安く生活しやすいです。[ベトナム・女性・20代・7～9年]
- ・住み心地が最高。交通が便利。道路が綺麗で、運転しやすい。[アジア・女性・30代・10～14年]
- ・川崎市に住んで12年以上になりましたが、とても気に入っています。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・川崎市は交通の便がよく、物価も安いので気に入っています。[中国・女性・30代・1年未満]
- ・私は川崎での生活を楽しんでおり、快適で安全だと感じています。[英国・男性・40代・20～24年]
- ・東京と横浜の間にあり生活しやすく、交通も便利です。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・病院や買い物、交通が便利。中華料理店が沢山あり、中華の食材が手に入れやすい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・川崎市は平坦で住みやすく、快適で居心地がよく、あらゆる生活に適しています。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・街はとても清潔で美しく文明的で快適だと思います。[ベトナム・女性・20代・1～3年]
- ・交通の利便性が高いと思います。[中国・男性・50代・25年以上]
- ・宮前区は治安が良く気に入ってます。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・川崎が好きです。私たちが二番目に長く住んでいる場所です。川崎では緑化が進み私たちに喜ばしいこと。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・綺麗、便利。[ベトナム・女性・10代・1年未満]
- ・交通が便利で、生活圏内にスーパーやドラッグストアなどの施設が多くて良い。[韓国・女性・20代・7～9年]
- ・交通便利、病院も多い、買い物しやすい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・自然が近くにあるので個人的に好きです。[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・通学がどの地域（東京、横浜方面）へも比較的しやすく、ライフステージの変化にも対応しやすいのではと感じることが多々あり、その点は良かったです。ドンドン若い人口が流入しているのもあり、川崎駅周辺のみかもしれませんが活気があるのが住んでいて嬉しいです。[韓国・女性・20代・20～24年]
- ・地元で採れる新鮮な野菜と果物は生活をより健康的で楽なものにしてくれます。[米国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎区在住なので、JR/京急/首都高インター/羽田空港など各移動手段のアクセスが非常によく満足しています。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・買い物や病院へ行くのも便利ですし、外国人が仕事を探す時の指導や手助けも充実しています。[中国・女性・50代・15～19年]
- ・幼少期から川崎市（幸区）に住んでいますが、活気があり、とても良い街だと思います。[韓国・女性・30代・25年以上]
- ・川崎市が大好きです。等々力緑地も大好きです。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・自然環境が良く子育てに最高です。治安が良く、安心して暮らせること。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・川崎市麻生区に住んだ良かった点が2つあります。ショッピングモール、スーパーが多く買い物に便利な点。外出時は新百合ヶ丘駅から25分で新宿に行ける点。アクセス面が便利です。要望は特にありません。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・治安が良く、交通が便利です。子どもための楽しい公園やフレンドリーな学校があるのが助かります。安全な散歩道が多く、散歩やサイクリングに優しい。食事やレストラン、食料品の選択肢が多い。[米国・女性・30代・15～19年]
- ・駅前が賑やかで何でも揃っている。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・公園が多い。[台湾・女性・60代・25年以上]
- ・街が清潔で美しい。治安が良く設備が充実している。[ネパール・男性・20代・1年未満]
- ・東京、横浜へのアクセスもしやすく便利です。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・川崎を彩る緑地や植物が大好きです。毎日駅まで歩いていると、沢山の綺麗な花々を目にします。[米国・女性・20代・1年未満]
- ・東京に近いが家賃や物価は比較的安い。地域が広いので様々な景観をもっていること。川崎駅が好き。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・私は川崎に住むのが好きです。近所は子供を育てるのに最適です。[インドネシア・女性・20代・4～6年]
- ・現在の生活に非常に満足しており、自分自身の生活に適応している。私は川崎市を誇りに思う。[フィリピン・男性・30代・1年未満]

- ・東京より落ち着いてるが活動的な川崎市が好き、東京、横浜にも近いこともよい。[イタリア・男性・20代・1年未満]
- ・川崎市に住んで良かったと思います。東京や横浜のアクセスのしやすく、多摩川や生田緑地など自然環境（畑や果樹園なども）も整っています。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・現在、溝ノ口に住んでおります。緑も多く不便なく生活しています。今後の生活拠点として考えています。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・麻生区に関しては治安が良いと感じている。[ブラジル・男性・30代・25年以上]
- ・川崎市は都市生活と郊外生活が完璧に融合しており、混雑した騒々しい都市ではありません。東京に近く、箱根のような風光明媚な場所もあり、非常に便利だ。[インド・男性・30代・4～6年]
- ・川崎は安全で、人々は親切で礼儀正しい。普段は静かで、この辺りで私にできることはあまりない。[その他・男性・20代・1～3年]
- ・東京に近いから通勤しやすい。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・住みやすい。[韓国・女性・20代・15～19年]
- ・東京に近く、仕事の機会も多いです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・麻生区は自然と公園が多くて素晴らしいと思います。[英国・男性・40代・20～24年]
- ・川崎は海が綺麗で人が親切です。公園もたくさんあり良いと思います。[中国・女性・30代・1～3年]
- ・交通システムが素晴らしいですし、緑豊かな公園が沢山あるのも魅力的です。良質な病院のネットワークも充実しています。[英国・女性・50代・20～24年]
- ・食べ物が豊富で、買い物が便利なので住みやすい。自由、平和、安全な川崎市が良い。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・暮らしやすい、アクセスが良い、羽田空港が近い。[ドイツ・男性・30代・10～14年]
- ・生田緑地、バラ苑へ行ったりして、美しい花、自然の環境、綺麗な空気、ストレス発散、ゆっくり休めます。本当に良かったです。[中国・男性・50代・15～19年]
- ・川崎駅付近はとても便利です。買い物、医療などは充実です。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・都内、電車、高速のアクセスが良いこと。[インド・男性・40代・15～19年]
- ・東京や横浜への移動にとっても便利です。住むには素晴らしい場所です。[オーストラリア・男性・40代・7～9年]
- ・川崎に住んで良かった、とても落ち着いている街で東京に近く、農園もあり治安もよい。[ヨーロッパ・女性・30代・4～6年]
- ・バスの便が良い。商業施設や公共施設が充実してる。多摩川沿岸の風景が綺麗で運動に向いてる。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・川崎は綺麗な街で好きです、川崎は住みやすい。川崎は私にとって第二の故郷です。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・日常生活に必要なあらゆるものが、遠くへ行くことなく手に入るのがいい。私が旅行した都市の中でもとても素晴らしい。[オセアニア・女性・30代・4～6年]
- ・多摩川はスポーツやピクニックができ良い場所だ。[ドイツ・女性・30代・7～9年]
- ・商業施設に近く買い物も便利。又公園や文化センターも近くにあり子供が遊びに行くのに便利などところも気に入っています。[中国・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市は利便性がよく、川崎駅周辺はよくなりつつある。安全性も昔に比べ十分に良くなってる。[ベトナム・男性・30代・15～19年]
- ・ショッピングしやすい、渋谷、品川、横浜などすぐ行ける。子供達が住みやすい所だと思ってます。外国人も一人の社会構成人として頑張っています。温かい視線で見ると嬉しいです。[韓国・男性・30代・4～6年]
- ・クリニックが多くて通いやすいので満足しています。手続きの際は専用の説明書を渡されるので解りやすいです。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・川崎はとても安全で外国人に優しい街です。[タイ・男性・30代・4～6年]
- ・川崎はとても治安が良く、綺麗で整備されている。[オーストラリア・男性・40代・7～9年]
- ・全体として、川崎は子育てや生活する上で快適な環境だと思います。[英国・女性・50代・25年以上]
- ・川崎市はアクセスの便が良く、駅前には多くの店があり、川崎市に住んで良かったと思います。[中国・男性・40代・10～14年]

- ・川崎は住みやすい街だ。[インド・男性・40代・15～19年]
- ・とても便利なエリアだと思います。東京にも、横浜にも近く日帰り旅行にも便利です。近所にはたくさんのローカルショップやレストランがあり、住むには楽しく生活しやすいです。[オーストラリア・女性・20代・1年未満]
- ・川崎は平和的で治安が良く、渋滞も少なく生活しやすいと思います。[インド・女性・20代・1～3年]
- ・沢山の自然や公園、そして果物や野菜を低価格で販売している農家があるのがとても良い。交通機関も便利で助かっています。ショッピングモールも点在しており生活で困ることはありません。[フランス・男性・40代・4～6年]
- ・川崎市は地域が活発で治安が良くて素晴らしいと思います。[韓国・女性・40代・15～19年]
- ・川崎市は治安が良く、生活するには便利だと感じています。[フィリピン・女性・40代・15～19年]
- ・商店街の中に住んでいます。商店が数多くあり、治安も良く、便利な日常生活を送れています。現時点では不満はありません。[韓国・女性・70代・生まれてからずっと]
- ・川崎は住みやすく便利です。[米国・女性・90代・1～3年]
- ・住みやすいと思います。[韓国・男性・20代・1～3年]
- ・好きな街である。環境が良く、いろいろな施設がある。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・様々な路線があり便が良く、住みやすいと感じました。[韓国・女性・40代・7～9年]
- ・川崎は、木々に囲まれた自然豊かな場所で、雰囲気がとても穏やかで親しみやすい場所です。[ベトナム・男性・20代・1～3年]
- ・交通が便利。行政手続きが迅速で簡単。アパートでの生活は快適です。[ベトナム・女性・30代・15～19年]
- ・私の家族は最近幸区●●●に土地と家を購入しました。素敵な美しく清潔で緑豊かな場所です。私たちはこの地域が大好きです。近所の人たちも親切です。[ネパール・女性・30代・10～14年]
- ・美しく平和な街。[ネパール・女性・20代・1年未満]
- ・静かで居心地がよく不便を感じたことがない。ただ坂が多く通勤が辛い、バスに乗れば良いので大丈夫です。[韓国・女性・20代・7～9年]
- ・医療施設はどこにでもあるし、住むには本当に便利な場所だ。[インドネシア・女性・30代・1～3年]
- ・仕事場から近い。交通が便利で東京や横浜にも近い。街が清潔。[中国・男性・30代・1年未満]
- ・川崎駅前は店が多く買い物が便利。羽田空港も近いので川崎は大好きです [アジア・女性・60代・25年以上]
- ・外国語の表記が多くとても便利です。[米国・女性・30代・4～6年]
- ・一般的に、東京ほど賑やかではないし、住みやすいと思う。外国人が多いおかげで、国際色豊かなレストランがたくさんある。[米国・男性・20代・1～3年]
- ・私は川崎市が大好きで、特に川崎駅の近くのエリアが好きです。ほぼ毎日、多くのイベントやパフォーマンスが行われていますいつも何かが起こっていて、街が生き生きとして活気に満ちているように感じます。川崎市は非常に住みやすく、施設も素晴らしく、人々も親切です。来年、子供のインターナショナルスクールのために川崎市を離れる予定ですが、川崎を恋しく思うでしょう。[インド・男性・30代・10～14年]
- ・川崎市の安全性と綺麗なところが大好きです。高津区●●●に住んでいるので、東京にも近くとても便利です。川崎のことを十分わかりませんが、外国人住民のことをよく考えてくれていると思う。要望なしです。[英国・女性・20代・1年未満]
- ・川崎が大好き、風光明媚、人も親切です。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・川崎は東京と横浜に近く、地理的にアクセスしやすい。[米国・男性・60代・25年以上]
- ・川崎市での生活にとっても満足しています。川崎は快適で人々はフレンドリーで、ショッピングには最適な街だと思います。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎が好き、生活が便利また環境がとても安全。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・これまで川崎での暮らしはとても良い。[米国・男性・70代・25年以上]
- ・川崎市に住んでよかったことは交通の便もよく外国人たちが暮らしやすいところだと思う。ほかの地域に比べて災害が少ない方で多少安心して暮らしています。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・緑が多く、東京や横浜へのアクセスも便利だ。[フランス・男性・50代・25年以上]
- ・他市に比べて自転車専用道路が多くて良い。[韓国・男性・30代・4～6年]
- ・川崎市が外国人を人として受け入れてくれる都市であることに感謝している。妻が偶然見つけた賃貸があったのは宮前区だった。宮前区は気持ちよく、緑の多い素晴らしい地域だ。[フランス・男性・40代・10～14年]

- ・住みやすい。[フィリピン・女性・60代・25年以上]
- ・川崎はとても良いところだ。[中国・男性・20代・一]
- ・都会みたいに人が多すぎず、住みやすいところ。[タイ・女性・40代・15～19年]
- ・多摩川は緑が多くとても良い。交通の便が良い（武蔵小杉）デパート多く住みやすい。[英国・男性・30代・4～6年]
- ・公共交通機関へのアクセスがとても良い。[米国・男性・20代・1年未満]
- ・神奈川の他の場所に比べて綺麗で便利です。街の中の施設は東京小平に近い。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・立地が良い、都内や横浜はもちろん成田空港や羽田空港にもアクセスしやすい。JR、東横線、田園都市線、京急線など多くの路線があり交通の利便性がある。沢山の商業施設や飲食店がある一方公園も少なくない、住みやすい。[アジア・女性・40代・7～9年]
- ・川崎市は安全で暮らしやすい場所です。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・自然豊かなところが良い。[韓国・女性・60代・1～3年]
- ・ここ川崎には良いところがたくさんあります。美しい場所であり、アクセスが良く住みやすいです。[フィリピン・男性・30代・1年未満]
- ・日本の●●●●●●●●が素晴らしい、値段も安い、まだ薄給なので助かってる。[インドネシア・男性・20代・1年未満]
- ・川崎駅の利便性が良い。[韓国・男性・30代・生まれてからずっと]
- ・川崎市は交通の利便性が良く、生活しやすいと思います。[中国・男性・50代・25年以上]
- ・川崎市は治安が良い地域だと思います。[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・川崎市に住んで良かった点は4つあります。①家の近くにスポーツセンターがあるので好きな時に運動が出来る。②優しい友人（隣人）に恵まれてよかった。③治安が良くて、いつでも散歩ができる。④ショッピングモールが沢山あるので買い物が便利。最後に日本、川崎市が大好きです。[中国・女性・60代・10～14年]
- ・治安が良くて静かな川崎市が好きです。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・交通利便性が高いと思います。幸区に住んでいますが静かで住み心地がとてもいいです。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・川崎は綺麗、安全、平穩で、とても満足しています。[ベトナム・女性・30代・1～3年]
- ・色々な場所（関西から関東）に住んでいましたが、川崎市は今まで住んできた場所で一番住みやすい街です。[韓国・男性・80代・生まれてからずっと]
- ・生活は便利です。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・行政手続き/交通が便利で、生活インフラが充実しています。[韓国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎での生活は便利で助かっています。さらに便利になると良い。[中国・男性・60代・25年以上]
- ・川崎市は気候と環境がとても良く、市場の管理も素晴らしいです。市民の意識も高く、清掃が行き届いており、市場もきれいです。[ネパール・男性・20代・4～6年]
- ・川崎市の立地はとても便利です。[アジア・女性・40代・15～19年]
- ・地理的に便利なので交通も楽です。[中国・男性・40代・20～24年]
- ・川崎に住んで良かった。環境、サービスも非常に良い。[中国・女性・70代・20～24年]
- ・川崎での生活は良い経験です。環境、都市施設、治安がとても良いです。通信設備はどこでも利用できます。[バングラデシュ・女性・30代・4～6年]
- ・川崎は気候、環境がとても良いです。[バングラデシュ・男性・30代・1～3年]
- ・東京、横浜、千葉への交通の便が良い。[韓国・男性・40代・20～24年]
- ・川崎市は安全、賑やか便利な街です。ずっと住みたい。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市はとても美しい街で、全てにおいて便利だと思います。[ベトナム・男性・20代・1～3年]
- ・ゴミの分別は環境に優しい。住まいも静かで環境が良い。[フィリピン・男性・30代・4～6年]
- ・便利です。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・川崎は住みやすい、東京ほど物価が高くないし、ビジネス街にも近い。またあまり混雑もなく騒々しくない。[フィリピン・男性・30代・4～6年]
- ・外国人が多く差別を受けにくい物産店も料理店が多く、自国（中華料理）だけでなく様々な料理、文化を体験出来る。[中国・男性・30代・10～14年]

- ・川崎市は清潔、安全性、交通の効率性、そして外国人に対して友好的であるため、住みやすい都市です。[アフリカ・女性・20代・1年未満]
- ・川崎市は生活するには良い場所だと思います。[フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市は公園が沢山あり、子供達と利用させて頂いています。[バングラデシュ・女性・30代・1～3年]
- ・静かで穏やかな環境。子供向けの公園の充実。[ネパール・女性・20代・4～6年]
- ・以前住んでいた街より住みやすいと思います。[バングラデシュ・男性・30代・4～6年]
- ・交通機関の利便性が高いと思います。[中国・男性・50代・25年以上]
- ・静か且つ美しい環境の中で、現在のところ問題なく暮らせています。[ネパール・男性・20代・1～3年]
- ・生活する上で市役所が近く、病院、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどが沢山あり助かっています。
[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・規則正しく、清潔感のあるこの町が大好きです。[タイ・女性・50代・7～9年]
- ・とても便利で綺麗な街なので、子育てに適しています。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・交通の利便性が高い。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・生活が便利で好きです。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・買い物にも便利で近隣の方も親切です、長く住むつもりです。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・住みやすい。[韓国・女性・60代・25年以上]
- ・川崎は東京に比べて静かで平和です。日本に引っ越した時、ここで人生を築き、もしかしたらフランスに戻らないかもしれないと感じました。[フランス・男性・20代・4～6年]
- ・比較的外国人に対して環境が良いと思います。都市部にしては物価も安く、最近は町並みも整備されて住みやすくなってきたと思います。[韓国・女性・70代・生まれてからずっと]
- ・川崎市は好きです、買い物も便利で住みやすい。[中国・男性・40代・15～19年]
- ・川崎は自然が豊かで人々も温かく美しい街です。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・穏やかです。[ブラジル・男性・60代・20～24年]
- ・通勤に生活にも本当に便利だ。[インド・男性・20代・1～3年]
- ・交通が便利。[中国・女性・50代・20～24年]
- ・美しい自然、外国人の少なさ。[インドネシア・男性・20代・1年未満]
- ・川崎にはあらゆる施設が揃っています。そのため、暮らしやすいです。[スリランカ・女性・30代・1年未満]
- ・ここに住むのはとても便利です。[カナダ・その他・30代・10～14年]
- ・川崎は交通も便がとても良いので住むのに便利だ。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・安全である。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・綺麗で静か、コンビニにも近い。[フィリピン・女性・30代・1年未満]
- ・私は川崎が大好きです。静かで、美しく、安全です。[スリランカ・女性・30代・4～6年]
- ・川崎は品川まで直通電車が有り便利だ。駅周辺には大型ショッピングモールがいくつも有り買い物にも便利である。[中国・女性・20代・4～6年]
- ・川崎は便利で静かな環境。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・とても便利で全てが近くにあり、とても美しく、ここでの生活を楽しんでいます。[ブラジル・女性・40代・10～14年]
- ・UR団地の制度が良い、特に日本に来たばかりで、部屋が綺麗、住みやすい。[中国・女性・40代・25年以上]
- ・交通が便利である。[韓国・女性・50代・20～24年]
- ・過去10年間で川崎市は良くなりました。東京、横浜、立川、羽田空港保免にアクセスが良い。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・便利な場所にあり、インフラも整っている。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎の良いところは、大きな都市でありながらも非常に住みやすく、人に適した街であるということです。東京に近いので、移動や日常生活に非常に便利です。[イタリア・男性・50代・10～14年]
- ・交通が便利。[韓国・男性・50代・20～24年]
- ・東京のすぐそばで、都会と静けさがうまく融合している感じだ。お店は便利な場所にあり、人々はたいへん歓迎してくれる。[フランス・男性・30代・4～6年]

- ・現在、宮前区に住んでいますがとても住みやすく引っ越して良かったです。[フィリピン・女性・30代・25年以上]
- ・川崎の生活は便利で交通の便も良いので気に入ってます。[中国・女性・40代・7～9年]
- ・以前は東京都練馬区に住んでいたが、それに比べ活気がある街で良かった。[カナダ・男性・30代・20～24年]
- ・ショッピングが便利です。[中国・女性・20代・10～14年]
- ・川崎市はとても住みやすく、環境も良いです。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・何をやるにも便利な川崎での生活が大好きです。[中国・男性・30代・1～3年]
- ・川崎市での生活や買い物、全てが便利で気に入っています。川崎での生活環境がどんどん良くなることを願っています。[中国・男性・50代・25年以上]
- ・川崎市は清潔で治安が良くて安全です。[中国・男性・40代・1～3年]
- ・川崎市は活気があり、手ごろで生活しやすいと思います。[米国・男性・20代・4～6年]
- ・川崎市での生活はとても便利で、病院、スーパー、駅、オフィス、病院が近くにありとても満足しています。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・川崎市の良いところはショッピングモールや病院が近く、交通の利便性が高いところです。[フィリピン・女性・30代・20～24年]
- ・良かった点：1. 全体的な利便性の高さ 2. 鉄道サービスの良さ 3. 川崎市における多くのサービスの優良さ。[ネパール・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市の交通の利便性が高いところが気に入っています。[中国・女性・50代・20～24年]
- ・緑と高台が多いのが好きです。[—・—・—・—]
- ・私は川崎に住むのを本当に楽しんでいます。この街は清潔で、安全に暮らすことができます。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・交通が便利で賑やかなところが好きです。[中国・男性・40代・4～6年]
- ・川崎市は緑地が多く、綺麗で治安が良いところが好きです。公共交通機関やショッピングモールのおかげで生活はとても便利です。[ドイツ・女性・30代・4～6年]
- ・治安が良く、綺麗な緑地が沢山ある川崎市が好きです。[ネパール・男性・40代・15～19年]
- ・川崎市での生活環境は良好です。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・沢山の公園があり、治安が良いので子供たちを安心して遊ばせることができる。公共トイレが綺麗で一般の方も使用可能。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・今現在住んでいる地域が立地が良くて住みやすいと感じています。[インドネシア・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市は、職場へのアクセスも良く、大きなショッピングセンターや医療施設も充実している。[インド・女性・30代・4～6年]
- ・この場所は、価格が手頃な食べ物がたくさんあります。近くには銀行もあり、便利です。私は川崎のこの場所に感謝しています。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市はとても治安が良くて気に入っています。川崎市が好きです。[ネパール・女性・20代・10～14年]
- ・川崎のロケーションが気に入りました。なぜなら、自転車が乗りやすい道だから。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・これからも綺麗で安全な川崎市であるように、宜しくお願い致します。[韓国・男性・40代・10～14年]
- ・川崎での生活は良好です。安全で、安心でき、清潔です。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・武蔵小杉は結構住みやすい、若者世代が集まっているのだと思います。外国人としても住みよい地域だと思います。[韓国・女性・30代・1年未満]
- ・川崎市は東京や横浜からも近く、交通の便もよく、家賃も比較的適切、区役所、税務署の職員は親切です。[中国・女性・30代・4～6年]
- ・東京に近い。(武蔵小杉) 安全、親切。大学。安い。多摩川。[ヨーロッパ・男性・20代・1～3年]
- ・近所が安全で、子供たちが歩いて学校や放課後のプログラム（スイミング・ピアノなど）に通えることがとても嬉しい。[米国・男性・40代・4～6年]
- ・街がとても綺麗。バス/電車の利便性が高い。[インド・男性・40代・1～3年]

- ・川崎市はとても治安が良く、便利だと思うし、住んでいる人達はフレンドリーです。また、ショッピングモールや公園があるのも良い点です。立地も便利で、沢山のインターナショナルスクールがあるのも助かっています。
[インド・女性・30代・4～6年]

●市の施策・施設、行政サービス、職員の対応 ----- 62件

- ・中原区役所の職員がとても親切、特に年金課の年配の女性が親切でした。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・保育と教育における社会的支援と福祉が充実している。[ベトナム・女性・50代・15～19年]
- ・役所の職員も、とても謙虚で親切。[ネパール・女性・20代・1～3年]
- ・区役所の職員さんの対応にも満足しています。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・区役所に住民登録をした後、住民に配布するガイドブックのおかげで、川崎市での生活や活動、組織について理解することができたので、助かりました。そのガイドブックのおかげで外国人を支援する組織をたくさん知ることができました。ありがとうございます。[中国・女性・30代・1年未満]
- ・市役所、行政サービスコーナーで各種手続きをする際、職員さんたちが丁寧に教えてくださいます。皆さんに感謝しています。誠にありがとうございます。[中国・女性・50代・25年以上]
- ・近くに育児センターがありますので育児の不安を相談サポートしてくれる優しい先生方がいます。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・外国人が暮らしやすくするために様々な取組みを積極的に行っている点は素晴らしいです。今後も多様性を尊重する街であり続けることを願います。[ネパール・男性・30代・10～14年]
- ・役所の方がとても親切で感謝してます。公営住宅がきれいなことも素晴らしいと思います。行政の多岐にわたる働きに心から御礼申し上げます。[韓国・男性・40代・25年以上]
- ・川崎市の人々は礼儀正しく、親切で助かっています。[英国・男性・60代・1年未満]
- ・区役所のサービスとスタッフの態度もとても良かった。[インド・女性・30代・1～3年]
- ・本調査を含め、市は外国人への配慮とケアがあり、比較的に外国人の住みやすい街だと感じています。国際交流の機会も多くて良かったです。(学生時代に鶴見学生会館に住んだことがあり、とてもいい思い出となり、日本への好感度が高くなりました)[中国・女性・40代・20～24年]
- ・川崎国際交流センターの外国人支援は良いと思います。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・施設が充実していて、不便なく生活しています。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・川崎市全般に不満はありません、中原区役所の職員さんたちは親切です。[マレーシア・男性・30代・1～3年]
- ・出産後、子育てに戸惑いを感じていました。しかしその後、市民センターの日本語学校で日本語を学びました。より快適に感じます。●●児童文化センターにはよく行きます、本当に助かります。[インドネシア・女性・20代・4～6年]
- ・川崎市は非常に住みやすい市として感謝している。又、川崎市の積極的に多文化共生できる環境を作ろうとする姿がとても素晴らしいと思います。[中国・男性・40代・15～19年]
- ・2014年頃、まだ語学学校に通っていた時、日本の消費税が上がったため、川崎市の補助金を3回受け取らせて頂きました。とても驚いたし、人道的だと思いました。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・外国人市民へ配慮してくれることを、このアンケートや様々な所で感じるたびに、川崎市に住んで良かったと思います。[韓国・男性・20代・1～3年]
- ・近所にスポーツジムが沢山あるのがいいと思います。[韓国・男性・30代・4～6年]
- ・地元政府は、外国人のためのコミュニティ活動を発展させ、語学レッスン（日本語）を無料で提供するなど、改善に努めているのを感じます。[英国・女性・50代・20～24年]
- ・川崎市に住んで16年。区役所での日本語教室はすごく良い取り組みだと思います。ボランティア先生方は親切で、優しく日本語を教えて頂き、また日本の文化、地理、歴史も勉強出来ます。[中国・男性・50代・15～19年]
- ・1年ほど区役所で無料の日本語レッスンを受けていましたが、多忙のため今はやめています。施設は良かったし、ボランティアの人たちはとても親切だった。川崎市に住んでいれば誰でも参加できるのも良かった。[フィリピン・女性・20代・4～6年]
- ・市役所や区役所の職員が親切。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・麻生区役所職員はとても親切に対応してくれ感謝しています、これからも続けていただければ幸いです。[フィリピン・女性・30代・4～6年]

- ・区の職員さんもととても親切で丁寧な対応でした。私は難しい日本語は完全に理解できません。[タイ・男性・30代・4～6年]
- ・市役所主催の日本語教室はとてもよく構成されており、彼らのサポートに感謝しています。川崎は住むにはとても素晴らしい街です。[オーストラリア・男性・40代・7～9年]
- ・川崎市のシステムは素晴らしいです。厳しくなく、また汚れていません。この地域を管理している市長や他の関係者の方々に感謝いたします。[フィリピン・女性・20代・4～6年]
- ・外国人市民の生活を向上するための市の取り組みには感謝しています。[英国・女性・50代・25年以上]
- ・外国人市民への対応がとても親切だなと感じます。このアンケート含め考えてくださり、ありがとうございます。[韓国・女性・30代・生まれてからずっと]
- ・川崎市の良い所は住民税が安く、ごみの回収が無料である点です。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・川崎は住みよい街だと思います。児童手当は子供たちにとって大きな支えになっていて、市役所の職員さんたちは優しく、親切に対応してくれます。川崎市に住んで良かったと思います。[フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・私は国際センターの近くに住んでいますが、手頃な日本語クラスなど、外国人に適切なリソースを提供してくれる素晴らしいセンターです。[米国・男性・30代・1～3年]
- ・幸区の職員の態度が良い。[中国・男性・30代・1年未満]
- ・川崎が外国人住民のために努力しているのは好感が持てる。[米国・男性・20代・1～3年]
- ・川崎は外国人住民を大切にしている。[マレーシア・女性・60代・25年以上]
- ・他県より外国人に優しいと思います。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・川崎市の公共サービスはどれも親切で、すぐ利用でき助かっています。[ベトナム・女性・40代・1～3年]
- ・市の職員はとても親切です。私は日本語が不自由なので、彼らと話したり話したりすることができませんが、彼らは申請書に記入するのを手伝ってくれます。これが、私が幸区に住みを続けている理由のひとつです。[インドネシア・女性・20代・1～3年]
- ・交通機関や公共サービスは良好です。そして、外国人住民へのサポートもあります。[英国・男性・50代・25年以上]
- ・ヘイトスピーチ禁止条例があるところ。本名で公立学校へ通うよう通知がくるなど、アイデンティティを大切にしているところ。神奈川県内でも市民であれば他市より子どもの人権を尊重しようとしてくださるところ。[韓国・女性・40代・25年以上]
- ・区役所に行って手続きする時も職員の方々はとても親切です。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・外国人市民向けサポートも充実しています。川崎市のホームページに生活情報が多く助かっています。[韓国・女性・30代・7～9年]
- ・2年ほど前に川崎市に戻ってきましたが、田島支所で諸々手続きをした際に皆様テキパキと効率良く作業されていて、とても良い印象を受けました。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・特に、市長さんは非常に優秀で、公正な方です。市長さん、ありがとうございます。[ネパール・男性・20代・4～6年]
- ・施設も充実しており、生活しやすい環境です。[アジア・女性・40代・15～19年]
- ・コロナ以降、川崎市地元応援券を販売し、地元の商店や小売店を支援していることはとても良かった。[中国・男性・40代・25年以上]
- ・川崎市は清潔で外国人市民へのサポートが充実しているのがとても良いと思います。[ベトナム・男性・30代・1～3年]
- ・私はこの街に満足してます。社会保障、教育医療制度は非常に充実している。[ベトナム・男性・40代・10～14年]。
- ・人権差別に対する市長、職員の方々の対応の素晴らしさに感動している。川崎に生まれて良かったと、福田市長に非常に感謝しています。市長これからもヘイトスピーチ等に厳しく対処してください。頑張ってください。[韓国・男性・70代・生まれてからずっと]
- ・外国人を助けてくれて、特に障害のある子供たちを助けてくれて本当にありがとう。彼がいつか良い仕事に就けますように。[フィリピン・女性・40代・4～6年]
- ・行政窓口の対応がとても親切で、かつ効率も高いです。[中国・その他・20代・4～6年]
- ・個人的には川崎市の行政に満足している。[韓国・男性・40代・7～9年]
- ・川崎市に住んで良かった。役所やその他の行政窓口の方の態度が親切です。[インドネシア・男性・30代・1～3年]

- ・バスの高齢者フリーパスがあり大変助かっております。おかげで気軽に外出ができます。[韓国・男性・80代・生まれてからずっと]
- ・外国人市民への様々なサポートが良かったと思います。[インドネシア・男性・20代・4～6年]
- ・市役所の職員の方々はいつも親切でフレンドリーです。スポーツ施設も定期的に利用していますが、そこでも皆さん親切で歓迎してくれます。川崎市はとても住みやすい街だと思います。[米国・女性・30代・4～6年]
- ・私に助言や指導をしてくれた行政関係者にはいつも感謝しています。[タイ・女性・40代・4～6年]
- ・行政サービスは親切で利用しやすいと思います。[韓国・男性・30代・20～24年]
- ・川崎の全ての施設のスタッフはいつも親切に対応してくれます。ありがたいです。[ドイツ・女性・30代・4～6年]
- ・病院、図書館など英語対応可能な施設が充実している。[インド・女性・30代・4～6年]
- ・高齢者フリーパス制度はとても良い。[英国・男性・70代・25年以上]

●調査について ----- 23件

- ・こんなアンケート初めて来たんだけど本当にうれしいです。今まで日本で六年住んでたのにやってなかったんです。川崎市長、本当にありがたいです。以上。[ネパール・男性・20代・4～6年]
- ・今回のアンケートで外国人向けのサービスについて初めて知ったことも多かった。もっと宣伝して欲しい。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・今回のアンケート調査は素晴らしいアイデアだと思います。[英国・男性・60代・1年未満]
- ・アンケートありがとうございました。川崎市の一員だと実感した。[インド・女性・30代・1～3年]
- ・このアンケート調査はとても良い取り組みだと思います。8年間日本に住んでいますが、外国人コミュニティのためのアンケートは初めてです。[ブラジル・男性・30代・7～9年]
- ・このような機会をいただき、ありがとうございます。川崎に住み、自分の考えをまとめる良い経験になりました。私は、外国籍市民が地元の文化に触れる機会を持つことは素晴らしいことだと思う。日本語を勉強している私たちでさえ、情報を得るのは難しい。また、言語の違いから、サービスを受けるのが難しいこともある。このような取り組みがあることは、川崎市が外国籍市民の手助けしようと思っているのだろう。[ヨーロッパ・女性・30代・4～6年]
- ・こういったアンケートがあるのは良いことです。川崎市が外国人に気を使っている感じがする。[ドイツ・女性・30代・7～9年]
- ・私は川崎に住むのが大好きだし、今回のアンケート調査のおかげでこの街のことをもっと知れました。今回のアンケート調査に感謝しています。[米国・その他・20代・4～6年]
- ・川崎市は好きです。(日本語は下手です) このアンケート頂き感動してます。頑張ってください。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・外国人住民への配慮に感謝します。[フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・東京で3年暮らし、結婚して配偶者の地元川崎で暮らしてきた、仕事だけで生きてきたので川崎市の政策、外国人に対する配慮、地域サービスなど全く知らずにいた。またアンケートを書きながら良い情報、今後利用したいサービスがあることを知りました。[韓国・男性・30代・15～19年]
- ・アンケート調査ありがとうございました。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・アンケートを頂き感謝してます。[ヨーロッパ・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市は外国人に対してとてもオープンだと感じる。アンケートありがとうございました。今後も交流の機会が増えることを願っています。[英国・男性・20代・1年未満]
- ・このような外国人市民へのアンケート調査を行ってくれる。[韓国・女性・40代・25年以上]
- ・アンケートをお送り頂きありがとうございます。そのお陰で、アンケートで私がまだ知らないことが沢山あると分かりました。もっと調べます。[ベトナム・男性・20代・1～3年]
- ・川崎市に引っ越してきたばかりで川崎市は多様性に感心があると感じていたので、このアンケートはとても嬉しかった。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・アンケート調査ありがとうございました。[ネパール・女性・20代・10～14年]
- ・このようなアンケート調査をして頂きありがとうございました。アンケート調査のお役に立てれば光栄です。[南米・男性・30代・15～19年]
- ・アンケート調査してくださり誠にありがとうございます。[ベトナム・女性・20代・1～3年]

- ・申し訳ないが、私は最近板橋区から引っ越してきたので川崎市について何も知らないです。ですが、このようなアンケート調査を頂けるのは街を動かすことが出来ない外国人としてはとてもありがたいことです。ありがとうございます。[英国・男性・30代・7～9年]
- ・このようなアンケート調査ありがとうございます。[フィリピン・女性・60代・25年以上]
- ・川崎市は活気のある街でとても満足しています。来年も川崎市に留まれることが嬉しい限りです。[ベトナム・女性・20代・1～3年]

●人間関係 ----- 32件

- ・スーパー、病院や薬局での先生やスタッフさんの対応がとても丁寧で親切です。[中国・女性・50代・25年以上]
- ・川崎に住んで16年になりますが、川崎の人はとても親切でフレンドリーだと感じています。[中国・女性・50代・15～19年]
- ・川崎は住むのにとっても便利な所で、川崎の人たちはいつも親切にしてくれます。[米国・男性・30代・4～6年]
- ・病院での医師、看護師さんの対応がとても親切で助かっています。ありがとうございます。[韓国・女性・70代・20～24年]
- ・平和で安全な街です。この街に住んでいる大半の人々が優しいです。[タイ・女性・40代・4～6年]
- ・色々教えてください、良いこと悪いことも。年配の方々がとても優しい。仕事を優しく教えてくれる。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・川崎市に引っ越してきて一年半になりました。子供のサッカーがきっかけで周りの方とも仲良くしています。自分も積極的に地域活動に参加しています。何より周囲の温かい付き合いが一番です。また地域の為に何か出来ることをしたいと思います。[中国・女性・50代・15～19年]
- ・人は親切です。[フィリピン・女性・20代・1年未満]
- ・些細なことでも、近隣の人々が素早く助けてくれる、駅の駐車場から自転車を出すような些細なことでも。親切的な行いが広まるのは、誰かが親切にしてくれる恩返しをすること。[オセアニア・女性・30代・4～6年]
- ・去年引っ越して、知り合いの大家さんは私にとっても親切でした。[フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・色々な人と知り合えてよかった。[朝鮮・女性・60代・生まれてからずっと]
- ・とても平和で良い人ばかり。[スリランカ・女性・40代・7～9年]
- ・職場の人達も親切である。以前外国人に対する嫌がらせでいじめられたこともありましたが、今はとても親切にしてくれるので大丈夫です。ずっと宮前区に住んでいたいです、元の優しい自分に戻れそうです。[フランス・男性・40代・10～14年]
- ・川崎の街に住んでよかったです。静かで人々はお互いを尊重しています。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・ここにすることができて幸運で、たくさんの素晴らしい人たちに会いました。[スリランカ・女性・30代・4～6年]
- ・親切で気配りのある人々は、私たち年配者を助けてくれます。[南米・女性・60代・25年以上]
- ・病院、行政、会社、隣人も親切です。今まで子供たちの先生は、私が理解できるように助けてくれています。(日本語があまり得意ではないため) [ベトナム・女性・40代・10～14年]
- ・川崎市に住むことができてとても幸せです。私の周りの人達はとてもフレンドリーで社交的で、困っている時はいつも助けてくれます。[ベトナム・男性・20代・1～3年]
- ・川崎市の人達は優しい。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・周りの人たちも親切にしてくれます。ありがとうございます。[タイ・女性・50代・7～9年]
- ・皆さん親切で助かっています。川崎市に住んで良かったと思います。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・周りが親切で生活しやすいです。[アジア・男性・20代・4～6年]
- ・身の回りの人達もとても親切です。[中国・男性・40代・1～3年]
- ・川崎市での生活は治安も良くて周りの人たちも親切で助かっています。ありがとうございます。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市は治安が良くて、周りの人達もフレンドリーでここでの生活は本当に楽しいです。(食べ物もおいしい) 川崎は素晴らしいと思います。[米国・男性・30代・1～3年]
- ・日本の方たちはとても親切で助けてくれます。日本(川崎)に住んで本当に良かったと思います。いつもありがとうございます。[インド・男性・20代・1年未満]

- ・私はこの町が大好きです、きれいで緑もあり人々も優しく親切だ、また区役所のスタッフも親切で明るく対応してくれる。とても幸せだ。[インド・女性・30代・1～3年]
- ・ここには外国人の友達がたくさんいて、みんなと一緒に楽しい時間を過ごしています。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・私は川崎市に移り住んで30年になりますが、川崎市はとても綺麗で住んでいる人々はフレンドリーで親切です。この街が尚一層発展することを願っています。ありがとうございました。[スリランカ・男性・60代・25年以上]
- ・同国人、外国人が多く住んでいて安心できる、助け合える。[韓国・女性・40代・15～19年]
- ・中国人が多く住んでいるため同国人のネットワークがある。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・同じ出身国の方が多くて良かったです。[韓国・女性・60代・20～24年]

●その他 ----- 75件

- ・優しい川崎市に住んでいるのは楽しいです。[台湾・女性・20代・1～3年]
- ・ここ日本で家族と共に生涯を過ごそうと思います。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・全体的に川崎市は裕福で多文化・異文化の中で生きる良い人たちの街です。[台湾・女性・30代・4～6年]
- ・川崎が好きです。[中国・女性・20代・4～6年]
- ・川崎が好きで満足している。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・毎年開催している花火大会が大好きです。ドラえものの街が大好きです。[中国・男性・30代・1～3年]
- ・活気があるれてる市です、気楽で生活しやすい。[中国・女性・60代・10～14年]
- ・神奈川の中でも仕事が多く、就職しやすいと感じています。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・川崎市に住むことができて、とても幸せです。[ネパール・男性・40代・10～14年]
- ・川崎市に3ヶ月前に引っ越してきたばかりなので特にありませんが、今のところ川崎市はとても良い街だと思います。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・川崎市が好きです。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・とても良い街だと思います。[ベトナム・男性・30代・1～3年]
- ・川崎市は素敵な街だと思います。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・川崎は住むには素敵な街です。私は以前埼玉、東京に住んだことがありますが、川崎はダントツです。親切に迎え入れてくれてありがとうございます。[米国・その他・20代・4～6年]
- ・川崎市に住んで良かった。[フィリピン・男性・30代・7～9年]
- ・川崎が好きです。[中国・女性・10代・1～3年]
- ・川崎市が好きだ。外国人に対して寛容だし、街も綺麗。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・幸せです。[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・日本はとても美しい国、規則や規制は非常に優れており、差別はありません。災害や危機の際に多くの恩恵もたらされますし、子育てにおいても支援が行われています。日本は物価が高いのは事実ですが、でも沢山の仕事があり、一生懸命働いてれば大丈夫。日本が好きです、感謝してます。[フィリピン・女性・40代・20～24年]
- ・警官が毎日パトロールしてるので安心です。[ヨーロッパ・男性・30代・7～9年]
- ・日本は素敵な国、川崎市も大好きである。[バングラデシュ・男性・30代・1年未満]
- ・川崎市は外国人に対してとてもオープンだと感じる。アンケートありがとうございました。今後も交流の機会が増えることを願っています。[英国・男性・20代・1年未満]
- ・川崎市に住んで良かったと思います。英語教育も充実しています。(小学校1年～中学校3年まで) [スリランカ・女性・40代・1～3年]
- ・川崎市に住んで良かったです。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・川崎市に住んでいますが、何不自由なく生活しています。川崎市に住んでいる皆さんが幸せに暮らせることを願っています。[中国・女性・60代・25年以上]
- ・川崎が好きです。[中国・女性・60代・25年以上]
- ・全て良く、最高です。[ネパール・男性・30代・7～9年]
- ・私は川崎市で生活し、仕事をし、学ぶことができて幸せです！皆さんの助けを願っています。心から感謝します。
[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・普通です。[中国・女性・60代・20～24年]

- ・外国人が多く差別を受けにくい。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・川崎市での生活は非常に満足しています。[ベトナム・男性・20代・7～9年]
- ・夫と息子と幸せに暮らしています。川崎での生活に満足しています。ありがとうございます。[フィリピン・女性・40代・25年以上]
- ・多くの医者は英語を話すことが出来ます。[フィリピン・女性・60代・25年以上]
- ・川崎市が大好きです。[ベトナム・女性・20代・1年未満]
- ・半分の人生川崎で住んでいる。住みやすい、優しい、辛抱。[—・—・—・—]
- ・川崎は住みやすい。[インド・女性・30代・7～9年]
- ・全体的に川崎市での生活は満足しています。[インド・男性・30代・10～14年]
- ・ここ日本に仕事で来たことはとても役に立ちました。ありがとうございました。[フィリピン・男性・30代・7～9年]
- ・物価が安く、色々な所に商店街があった。(なくなりつつあるが) 外国人市民が多かったので差別が他所より少なかった。同じ国籍の人が沢山いて心強かった。経済的に厳しい家庭は住みやすい街だと思う。[朝鮮・男性・70代・生まれてからずっと]
- ・川崎市での生活は満足しています。[ベトナム・男性・30代・1年未満]
- ・私たちはこの街が大好きで、3人目の子供もこの街で生まれた。医師も助産師も本当に高度技術を持ってました。[ヨーロッパ・女性・30代・7～9年]
- ・イベントが多く、季節を感じる事が出来る市です。[韓国・女性・20代・1～3年]
- ・とても美しい街です、川崎が好きです。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・外国人としてUR団地の契約手続きが簡単、条件がすくなく更新も出来、部屋も綺麗。住みやすい。[中国・男性・30代・25年以上]
- ・ここに住んで7年が経ちます。この間、言語以外のすべての面で満足しています。特に健康、教育、清掃面がとても良いと感じています。[ネパール・男性・50代・7～9年]
- ・多摩区に住んでいます。月に一回、外国人子育てについて交流会があってとても助かりました。仕事の都合で参加出来ない時もありますが、不安なこと分からない事を聞けてとても心強く、他の外国人の方とも交流が出来て良かった。[台湾・女性・30代・7～9年]
- ・母も妻も日本人で私も世田谷生まれですが、川崎に来て本当に良かったです。[韓国・男性・70代・生まれてからずっと]
- ・日本に住む外国人に目を向けてくれてありがとう。川崎市に住んで良かったことは、便利なことです。川崎市に住む時間は短いのでよくわからないが、困ったことがない、これも家族のおかげです。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・外国人にとっても福利厚生は充実しており、差別を感じることはありません。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・私は川崎市に住んでいることに満足しています。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市に住むことに満足している。[ベトナム・男性・20代・1年未満]
- ・私は川崎市に住んでいることにとても満足しています。[ベトナム・男性・20代・4～6年]
- ・全てに満足してます。[ベトナム・女性・50代・4～6年]
- ・川崎市での生活を楽しんでいますし、これから川崎市がもっと良くなることを楽しみにしております。[米国・女性・30代・15～19年]
- ・日本に感謝しています。特に川崎市はいい所がたくさんあり、便利です。[タイ・女性・40代・4～6年]
- ・川崎の街はクールで穏やかです。川崎市は最高だと思います。[アフリカ・男性・30代・1年未満]
- ・川崎での生活はとても便利で安全です。不満はありません。ありがとうございます。[フィリピン・男性・20代・1～3年]
- ・川崎市に住んでいて幸せです。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・川崎市に住んで7年になりました。川崎市は第二の故郷だと思っています。今後ますます川崎市が良くなることを願っています。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・治安が良い。経済的支援が充実している。医療制度が充実している [フィリピン・男性・30代・4～6年]
- ・全体的に川崎市に住んで良かったと思います。[フィリピン・女性・30代・4～6年]

- ・小児科では融通の利く看護師/先生方がいます。(私が携帯の翻訳機能を使用し、理解してコミュニケーションを取ってくれた)。日本語は理解できないが、新聞が定期的に発行されているのは驚いた。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・川崎市の生活に満足しています。日本が大好きです。[ネパール・男性・30代・1～3年]
- ・安全で、美しく平和、川崎が大好きです。[インド・女性・30代・1～3年]
- ・外国人が多い、自由。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・川崎市に満足しています。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・川崎大好き。[台湾・男性・30代・10～14年]
- ・私は川崎での生活を満喫してる。[インドネシア・男性・20代・1～3年]
- ・川崎の生活を満喫している。[ベトナム・女性・20代・1～3年]
- ・川崎に住んでいて本当に良かったと思う。[ドイツ・男性・30代・1～3年]
- ・日本の他の都市と比べて川崎市は外国人市民に対する多様性の面で大きく進歩していると思います。以前住んでいた埼玉県での生活より、川崎市での生活を楽しんでいます。[米国・女性・30代・10～14年]
- ・全ては順調です。[ネパール・男性・40代・25年以上]
- ・川崎での生活をとても楽しんでいます。私の地元の●●は素晴らしい街です。ありがとうございました。[米国・男性・60代・7～9年]
- ・川崎市は外国人市民にとって大変住みやすい街です。100周年おめでとうございます！[中国・女性・20代・7～9年]
- ・世界で見ても川崎市は治安がとても良い。川崎市に住んでいる人々は社会に対する責任に重きを置いている。[インド・男性・40代・1～3年]

●謝意 ----- 22件

- ・いつもありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いします。[ブラジル・男性・40代・15～19年]
- ・コロナ禍の際は大変助かりました。ありがとうございました。[ネパール・男性・30代・—]
- ・市役所、行政サービスコーナーのスタッフ、病院や薬局、スーパーのスタッフや医師の皆さんとても丁寧で親切です。心から感謝しております。ありがとうございます。[中国・男性・60代・20～24年]
- ・困ったこともなく暮らしていることに感謝しています。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・来日直後、日本語が一切分からず周囲とコミュニケーションを全くとれませんでした。市立中学校に通いましたが初めての外国籍の生徒で学校側も対応に困っていたかと思います。先生方には日本語の基礎を教えて頂きました。(国語、理科、社会の授業中に職員室で手の空いた先生に教えて頂きました)また教育委員会もポルトガル語を話せる方を派遣させ、私と妹、弟のため週に一回日本語を教えてもらいました。おかげで私たちは今日日本語に困ることなく日本人と変わらぬ生活を送っております。感謝しかありません。[ブラジル・女性・40代・25年以上]
- ・福田市長ありがとうございます。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・月に二回土曜日、川崎市役所は働いているのが大変だと思いますが、まだ有給もらってない職員としては本当に役に立ちます。ありがとうございます。お疲れ様でした。[ミャンマー・女性・20代・1年未満]
- ・気にしてくれてありがとうございます。[フランス・男性・40代・7～9年]
- ・いつも外国人に配慮して頂きありがとうございます。お陰様で私たち外国人も安心して生活を送ることができ大変感謝しております。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・川崎駅や武蔵小杉駅、武蔵新城駅、武蔵溝ノ口駅、公共交通機関(バス、電車)にはとても感謝している。いつもありがとうございます。[米国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎市のシステムは素晴らしいです。厳しくなく、また汚れていません。この地域を管理している市長や他の関係者の方々に感謝いたします。[フィリピン・女性・20代・4～6年]
- ・外国人市民の生活に気を配って下さりありがとうございます。[韓国・女性・20代・10～14年]
- ・私のような外国人を受け入れてた日本の皆さん、川崎市には心から感謝しています。[フィリピン・男性・50代・20～24年]
- ・良い経験をさせていただいた、ありがとうございます。[ヨーロッパ・男性・30代・10～14年]
- ・とても感謝しています。[フィリピン・女性・50代・20～24年]

- ・夫と息子と幸せに暮らしています。川崎での生活に満足しています。ありがとうございます。[フィリピン・女性・40代・25年以上]
- ・まず日本に滞在し、仕事ができている事に感謝しています。川崎での生活は言葉の壁がある為、難しいかと思われましたが、政府からのお便りがある時、翻訳してくれる/助けてくれる友人、職場の同僚がいることに感謝しています。川崎市は清潔で治安が良く快適で、私たちのような外国人市民をサポートしてくださるおかげで私たちの生活はどんどん良くなっています。市長さん初め行政の職員さんたちを信頼しています。誠にありがとうございます。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・ありがとうございます。[マレーシア・女性・30代・10～14年]
- ・仕事も頂き嬉しい、感謝しています。[ベトナム・男性・20代・4～6年]
- ・川崎市に感謝しています、ありがとうございます。[米国・男性・50代・25年以上]
- ・私は、川崎市が外国人に手を差し伸べようと本当に最善を尽くしていること、そして人々の生活に本当に興味を持っていることに感謝しています。言語は一般的に日常生活の大きな部分であり、言語を理解しコミュニケーションが取れない人々にとっては本当に苦勞です。助けてくれる努力に心から感謝します。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・川崎だけでなく、日本全体でのすべての支援と助けに感謝しています。同胞を代表して感謝申し上げます。安全で快適な生活を感じることができるのは、私にとって非常にありがたく、恵まれたことです。そして、政府の住宅に住めることは大きな助けとなっています。ありがとうございます。[フィリピン・女性・60代・25年以上]

要望・意見 ----- 557件

●制度、サービス、支援、手続き ----- 43件

- ・退職後に親を日本に呼び寄せる制度が導入されると良いのですが、そうしないと介護の為に帰国しなければならない。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・古着回収などの拠点、業務をもっと増やしてほしいです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・帰化申請中です。帰化申請の手続きが多いし、必要期間も長い。一部の係員の専門性が余りにも不十分です。日本では市役所の係員はいつも優しいですが、入管局と法務局（国籍課）の係員はちょっと素っ気ない態度が気になります。中国に戻ったような感じがあります。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・運転免許の更新の流れはとてもスムーズですが、休日は申請する人が多いので行列がとても長いです。休日の受付時間を延長してもらえると助かります。[台湾・女性・30代・4～6年]
- ・日本に住んでいる外国人のための制度や政策をもっと充実させてほしい。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・市民向けの色々な手当が充実してくるとより良くなると思います。（市民向けの施設割引やリサイクルイベントなど）[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・私どもは南部線高架事業で移動して中原区から高津区参りました。その当時の担当の方々は一軒一軒粘り強く、理解を求める姿勢でした。今は何か簡単に法の変更、指定等で市民に理解を求める姿勢が足りない様な気がします。[韓国・男性・60代・生まれてからずっと]
- ・（麻生区役所）不満に思うことは何もないが、区役所でのオンラインの手続きが出来るサポートがあれば、もっといいと思う。[インド・女性・30代・1～3年]
- ・婚姻後の夫婦への支援等が全く無いようで不安です。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・路上のゴミが多すぎるので、ゴミの回収頻度をもっと増やして欲しいです。[タイ・女性・40代・4～6年]
- ・川崎市は交通の利便性が高く、清潔感がある美しい街だと思いますが、物価が高いです。市が経済的圧迫を軽減するために、外国人市民への家賃補助や補助金対象者の条件を整えることが必要だと思います。[ベトナム・女性・20代・7～9年]
- ・外国人親子に関しての福利が増えることを望んでいます。[台湾・女性・30代・7～9年]
- ・マイナンバーカードの申請と住宅増設の為に管理事務所に行ってきました。スタッフはとても親切で効率的でした、しかし、2階スペースは非常に混雑しており、指示が複雑、サインするのが多く、また席が足りません。新しい管理ビルでこの問題が改善されることを願っています。[米国・男性・40代・4～6年]
- ・低所得者への資金、住宅の補助をお願いします。[ネパール・男性・30代・4～6年]

- ・川崎市のサービスは良いですが、ハローワークで仕事を辞めるという制度を利用出来ないのは不愉快でした。通訳がありますが、適切なタイミングで対応できないようです。[ネパール・男性・40代・7～9年]
- ・外国人のため精神衛生施設にもっとアクセスできるようになれば最高だ。精神障害者の支援は、社会から黒い羊のレッテルを貼られるようなものではなかった、専門家のところに行き、人生で悩んでいることについて話し合う。特に若い人たちが、他に選択肢がないと思って自分の人生を語っているのを見るのは悲しいこと。[オセアニア・女性・30代・4～6年]
- ・要望としては在留カード、健康保険証、マイナンバーカードを同時に取得できるようにした方がいい。（より簡単に）[オーストラリア・女性・20代・1年未満]
- ・給付金は条件無しで全市民に配布して欲しいです。[フィリピン・女性・20代・15～19年]
- ・行政サービス、高額医療費補助などを充実させる。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・通常の勤務時間外に市民向けのサービスを利用できるようにしてください。それが市役所や医療の解決策です。[ヨーロッパ・男性・30代・1～3年]
- ・各種手続きの待ち時間を短くして欲しい。[中国・女性・10代・1～3年]
- ・要望は在留カードは市役所とか区役所で更新出来るようにして欲しい。日本で30年間住んでいる外国人（私）も高齢化は進んでいます。6年間に一回の更新で品川まで行くのは大変です。[アジア・女性・60代・25年以上]
- ・行政が整っているのかは疑問です。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・行政の手続きをもっとオンラインでできるようにする。[英国・男性・30代・4～6年]
- ・東京みたいな福利があったらいいのに。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・川崎市に結婚補助金というのがないのが残念。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・外国人サポートを万全に。在留相談。[フィリピン・男性・20代・10～14年]
- ・外国人にとって川崎市から助成金などあれば助かります。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・申請書類（戸籍、税金等）をオンラインやDXにしてほしいです。[台湾・男性・40代・10～14年]
- ・東京などに比べて市民への還元が少ない。【韓国・男性・30代・生まれてからずっと】
- ・市民税が高い割に普段還元を受けていると実感がわからないため、ふるさと納税で税金が他県に流失してしまう大きな理由になると思う。横浜市にも住んだことがあるが、外国人でも行政コーナーを利用しやすかったし、住みやすかった。[中国・男性・40代・25年以上]
- ・役所の窓口受付時間を延長してほしいです。19:00まで（曜日限定でも構いませんので）[朝鮮・女性・60代・生まれてからずっと]
- ・経済的に厳しいので手当を受給させてください。[ベトナム・男性・30代・1年未満]
- ・政府は国民の生活環境を改善するために継続的に努力している、また外国人が声を上げる機会を増やしてる、さらに努力して欲しい。福田市長には感謝している。今後は減税、また手続きの簡素化、税制改革を望みます。働きながら子育てしている家庭にもっと協力をお願いしたい。ありがとうございました。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・低所得者世帯を支援する。[インド・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市はネットで色々な手続きが出来ることを知り良かった。しかし、区役所での転入手続きは12時から18時半までと長時間待たされた。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・区役所の土曜日営業を増やして欲しい。[台湾・女性・30代・7～9年]
- ・外国人に援助を行う前に、彼らの背景や目的を確認し、支援が必要かどうかを判断してください。[フィリピン・女性・70代・25年以上]
- ・市から支援金を受けたいです。[ベトナム・男性・30代・1～3年]
- ・市の保有するデータの有効活用、デジタル化、手続きのオンライン化へ、例えば、毎年保育園経由で提出する就労証明と現状届の廃止、オンライン化、小児医療のデジタル化（現状はサイズが大きくて不便と感じます。)[中国・女性・30代・20～24年]
- ・生活スタッフや市立病院の医師・看護師の対応は素晴らしかったです。尊厳を持って対応してくれました。しかし、●●●●●●●●●●は全く役に立ちませんでした。税金の無駄遣いだと思います。ハローワークと市役所があれば十分です。私には「天下り先」のように感じます。[ブラジル・男性・60代・25年以上]
- ・全てがとても良いと思います。川崎市による多くの支援を期待しております。[ベトナム・女性・30代・7～9年]

- ・補助金を受け取っていません。日本政府が私が補助金を受け取ることができるかどうかを検討してほしいです。
[ベトナム・女性・20代・4～6年]

●施設 ----- 40件

- ・買い物や娯楽でラゾーナ川崎によく行きます。多摩区にもこのような商業施設が出来ること願ってます。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・バドミントン出来る場所を探していますがスポーツセンターがとても遠いのもっと多く設置して欲しい。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・子供が使いやすい室内施設を増設してほしい。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・アクティビティ体験があまり無いため、川崎市との繋がりを感じません。[ベトナム・女性・20代・7～9年]
- ・川崎市民ミュージアムについて：川崎市の歴史が全て解ります。一日も早い再開を願っています。[中国・男性・40代・25年以上]
- ・プールセンターのような運動施設があればいいと思います。大人も習い事がしたいです。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・犬を飼う方が増えたため、ドッグラン施設などを作ってほしいです。[台湾・女性・60代・25年以上]
- ・●●●●●●のような安くて大きいスーパーがあればより便利で助かります。[ネパール・男性・20代・1年未満]
- ・綺麗な公園もたくさんありますが子供達が成長し、互いに絆を深める遊具などがあればいいなと思っています。
[ベトナム・女性・20代・1～3年]
- ・川崎は住むにはリラックスできていい場所ですが、川崎のどこかに祈祷室（礼拝堂）を建設して頂けたらありがたいです。[マレーシア・女性・20代・4～6年]
- ・プール場が少ない。泳ぎが好きですが、川崎市に引越してからはプール場がない為、スイミングを辞めました。プール場を増やして頂くとありがたいです。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・要望としては市民施設（スポーツセンター）の使用料金を少し安くして頂ければと思います。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・大島に住んでいますが、桜川公園を利用します。草が伸び放題早く刈って欲しいです。大師公園はここまで伸びていないので桜川公園も頻繁に草刈りを行ってほしいです。子供達も中に入って遊べてません。市が管理することになり、伸びるようになったとき聞きましたが素晴らしい公園ですので草刈りをよろしくお願いします。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・人生100年の時代にあたり、人と人のふれあいやコミュニケーションを増やしたり、体を鍛えたりするような公共施設（例えば、温水プール、スポーツ施設）をもっと増やして欲しいと望みます。[中国・女性・60代・10～14年]
- ・ドックランなど犬の為の施設を増やす。[オーストラリア・男性・40代・10～14年]
- ・もっと子育てしやすい街になれば良いと思う。例：本格的に音楽を勉強する子供はホールの練習が不可欠で横浜市では各ホールが各安値段で「ピアニストの夢」のようなサービスを提供していますが、川崎市は「音楽の街」ですが各ホールが全然子供へのアクセスチャンスを提供していません。是非、ご検討頂ければ幸いです。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・川崎区には成人や社会人にも使用できる図書館や無料の勉強スペースが無くて困っています。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・大型商業施設や遊園地の建設をしてほしい。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・新百合ヶ丘により良い新しい図書館があると良い。[英国・女性・50代・20～24年]
- ・今多摩区画整理しています。新しいビルが多く出ています。でも登戸は大きなデパートがないので買い物が不便です。登戸人口 214,470 人、溝ノ口人口 136,000 人、新百合ヶ丘人口 106,000 人、溝ノ口と新百合ヶ丘、丸井などデパートあります。登戸には無いので新しくデパート等建設して頂ければもっと住みやすい街になると思います。[中国・男性・50代・15～19年]
- ・友人や子供と一緒にバスケットをするために学校の体育館施設の予約をもっと簡単にしてほしいという要望です。私が外国人だからかどうかはわかりませんが、何度電話をかけても返事がありません。[オーストラリア・男性・40代・7～9年]

- ・要望としては、今現在、多摩区に住んでいますが、大型のショッピングモールがあればいいと思います。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・子供が無料で遊べる所を増やしてほしいです。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・スポーツ施設を増やしてほしいです。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・公園の整備はとても古くて、遊具をもっと更新して欲しいです。子供文化センターも古くて少ないです。もっと小さい子供たちが遊べる空間が欲しいです。(東京に比べると本当に少なすぎて悲しいです) [台湾・女性・30代・10～14年]
- ・子連れでいける場所がもっとあっても良いと思う。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・ショッピングセンターがラゾーナ川崎しかないので増やして欲しい。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・子供たちが遊べる施設をもっと増やして欲しい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・子供が遊べる施設をもっと増やしてください。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・屋外で運動出来る場所(大きな公園)があればもっと良い。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・川崎市に住んで7年以上経ちましたが、特に不便を感じません。唯一不満に思ったことは、川崎駅周辺に建物や空間を楽しめる図書館等の施設がないことです。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・大人向け野外フィットネス器具が欲しい。鉄棒など、高さのあるものを設置して欲しい。[ロシア・男性・20代・1～3年]
- ・川崎市の良いところで長く住みたい。施設を改善し続ける。[インドネシア・男性・20代・7～9年]
- ・川崎市の映画館が少ない。中心部の溝ノ口、武蔵小杉など住民の密度が高いのに映画館がありません。映画館の配置が欲しい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・交通は比較的便利ですが、武蔵小杉、武蔵溝ノ口駅のような大きな駅の中心に関してはまだ不十分に感じます。古い施設を改修するか、新たに建設して欲しいです。緑地や公園をもっと増えれば、さらに良いと思います。[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・要望としては川沿いに公営のバスケットコートが出来たら嬉しいです。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・要望としては、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオのような大型テーマパークができたらいいと思います。高津区や宮前区にも大型商業施設が増えてほしいです。[中国・男性・40代・1～3年]
- ・子供のために無料の課外活動施設があれば、なお望ましいです。[ネパール・男性・30代・7～9年]
- ・公園を増やしてほしい。スポーツ施設を増やしてほしい。(バドミントンができるコートなど) [中国・男性・40代・4～6年]
- ・スポーツクラブを探すのに苦労した。[ヨーロッパ・男性・20代・1～3年]

●調査について ----- 8件

- ・またこのようなアンケートがあれば、もう少し大きい返信封筒にして欲しい。[インド・男性・50代・25年以上]
- ・アンケートの返信用封筒が少し小さく感じます。[ヨーロッパ・女性・30代・7～9年]
- ・私の文章を読んで返信用封筒はA4サイズがよい。[ヨーロッパ・男性・50代・25年以上]
- ・アンケートとるなら、その内容から現実的に実践しないと意味がない。アンケートしたら満足することのないように。色々なことをするとは思いますが外国人として実感がないのが事実です。[韓国・男性・50代・20～24年]
- ・このアンケートは日本語と英語以外の言語で用意するべきです。[マレーシア・女性・40代・20～24年]
- ・このアンケートは解答用紙(1～2枚)用意した方がいいかもしれません。[中国・女性・50代・20～24年]
- ・アンケート調査ありがとうございます。アンケートの内容が少し多いような気がします。[中国・女性・40代・25年以上]
- ・返信が遅くなり申し訳ありません。[オーストラリア・男性・50代・—]

●情報発信・提供、多言語対応、やさしい日本語 ----- 57件

- ・外国人へ提供されたサービスがまだ知られていないことが多いと思います。せっかく造成したサービスなので周知されて欲しいと思います。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・ペーパーレス化を希望します。特に、年金の追納・納付申請時。宜しく願い致します。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・川崎市に満足している。銀行、郵便局で外国語のサポートを受けたい。[インド・男性・30代・7～9年]

- ・1度目の結婚、出産、離婚後、0歳児1歳児を連れて母子家庭になりました。当時支援があるにも関わらず何も知らずとても苦労した。友達に母子家庭の人がいて色々教えてくれて役所へ、その時来なかったら児童扶養手当とか終了してもらえなかった事を知らなかった。とても不親切だと思った。全然支援の事を知らなかった。[韓国・女性・60代・生まれてからずっと]
- ・せっかく外国人市民を重視して、色々施策していますので、もっと見える化、周知して頂きたいです。外国人市民として、より良い市へ、国際色豊かな未来都市になるように貢献していきたいと思っています。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・市のウェブサイト情報が掲載されていない。[米国・女性・40代・10～14年]
- ・書類、その更新に関する情報をもっと入手しやすいホームページにして欲しい。[イタリア・男性・20代・1年未満]
- ・市の外国語／コミュニティ・サービスを紹介するパンフレットを郵送すべきだと思う。[米国・女性・30代・7～9年]
- ・外国人に特化したニュースレターや雑誌が創刊されれば、有益だろう。[インド・男性・30代・4～6年]
- ・この4年間、宮前区に住んでしまいましたが、特に不自由はなかったですが、1つだけ困ったことがあります。私は無料クーポンを使ってがん検診を受けたが、日本語が通じないかもしれないので行くのも電話するのも怖いです。
(私の日本語は、特に医学用語に関しては、上手ではありません) 将来的に無料パンフレットに英語表記をお願いします。[マレーシア・女性・30代・7～9年]
- ・外国人を対象としたイベントや活動が知れるようにしてほしい。[韓国・男性・20代・1～3年]
- ・区役所でのより親切なサービスや英語でのアクセスしやすい区のウェブサイトがあれば助かります。[インドネシア・女性・20代・1～3年]
- ・提案として、月刊誌(川崎市政だより)英語版があると助かります。ありがとうございました、よろしくお願いします。[ヨーロッパ・女性・30代・4～6年]
- ・もし可能ならば英語版の新聞や情報を送って欲しい。[フィリピン・女性・20代・1年未満]
- ・このアンケートをオンラインで実施することで、紙の使用量を減らし、印刷や郵送などの経費を節約することができます。エコであること、そしてSDGsであること。川崎市役所のホームページを英語で公開してください。バイリンガル税理士のリストを税務のホームページにあげて欲しい。[インド・男性・50代・25年以上]
- ・①英語での道路標識②農協での英語対応③私達は取り残されてると考えてる。[インド・女性・20代・1～3年]
- ・市役所で英語を対応できる職員さんがいてくれると助かります。[イタリア・男性・30代・1～3年]
- ・要望としては町内会のウェブサイトがあれば、様々な活動を知ることが出来るし、連絡先も分かるので助かります。[フランス・男性・40代・4～6年]
- ・川崎市役所には外国人職員が必要です。[ネパール・男性・20代・7～9年]
- ・市民やリーダーと共に活動に参加するための情報や、起業やビジネスを始めるための情報を求めます。[ヨーロッパ・男性・30代・1～3年]
- ・公的な表示やルールが日本語だけでなく英語でも書かれることを望む、又公共施設には英語ができるスタッフがいてほしい。[インドネシア・女性・30代・1～3年]
- ・自宅に届く書類はすべて多言語でなければならない。ホームページは、画面上で翻訳されたものを使用できるためそれほど重要ではない、こうした種類のアンケートはインターネット上で行われるべき。[ヨーロッパ・男性・50代・25年以上]
- ・期待すること:自分のキャラクターIPを作成し、一日観光の公式ガイドブックを作成して配布すること(ネット、交通要点の観光版)川崎を工業都市とする単一のイメージを変えたい。[中国・男性・30代・1年未満]
- ・川崎に引っ越したばかりなので私は外国人のサービスを受けていません。郵便で何かが送られてくるかどうかはわかりません。SNSは、川崎のコミュニティサービスをより多くの外国人に知ってもらう簡単な方法かもしれません。[米国・女性・30代・4～6年]
- ・4月から住んでいます。色々なことがわかりません。[アフリカ・男性・40代・10～14年]
- ・川崎市はもっと安全で、利便性があり、活気があることを広めないといけない、なぜなら、川崎に住んだことのない多くの人々は、川崎が30～40年前の川崎と同じだと感じているからだ。[インド・男性・30代・10～14年]
- ・税務署や重要な書類は英語表記で、かつ補足説明されていると助かります。[フィリピン・男性・40代・4～6年]
- ・バス停や銀行などの公共施設は、ベトナム語での案内や書類をお願いしたい。[ベトナム・女性・20代・4～6年]

- ・各種のイベント参加ができるようにお知らせ方法も多様化して頂けたら幸いです。[中国・女性・60代・25年以上]
- ・もっと英語のサポートがあればと思います、ウェブサイト、この点についてはすでに多くの進展が見られます。川崎市の職員の皆さん、ありがとうございます。[フィリピン・男性・30代・4～6年]
- ・都市に関する手紙や重要な情報は各自宅に郵送されるべきです、情報は英語でも提供され、理解しやすいようにすべきです。外国人に優しいビジネスや医療サービスのリストを提供することも役立ちます、これによって、他の都市に援助やサービスを求めて転居することを防ぐこともできる。[アフリカ・女性・20代・1年未満]
- ・川崎市がこんなにも外国人市民のために色々な政策をしているのを知っている外国人市民が少ないように思います。そもそも「外国人市民へこんなサービスがあるよ」と周知しないと意味がありません。それと地域社会の各アクティビティやイベントに外国人市民を呼んでほしいです。(国際交流系ではなく日本人でも行っている一般的なイベント) [マレーシア・男性・20代・4～6年]
- ・郵送されてくる重要書類は英語か他の言語で簡単な説明や解説が書いてあると助かります。[米国・女性・10代・1～3年]
- ・要望としては今よりも多くの場所で英語でのサポートをお願いします。(わくわくプラザ等) [インド・男性・30代・10～14年]
- ・川崎市が外国人のためにこのようなことをしてる事に驚き、入区の時にこのような案内があればと思います。アンケートの情報を参考させていただきます。ありがとうございます。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・一部の地域では日本語以外の言語での案内がありません。これは大きな問題です。全市に提供してください。外国人、特に初めての人にとって非常に困難です。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・川崎市は住民向けEメールを設立する必要がある。政府からのメッセージが早く読めますから。[中国・男性・30代・25年以上]
- ・提出が必要な書類も英語版が必要です。[フィリピン・男性・20代・1年未満]
- ・外国人にもっと情報を提供して欲しい。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・公共の場所にもっと英語の表示が増えると良いと思います。特に外国人向けの情報が充実することが望ましいです。[フィリピン・女性・40代・15～19年]
- ・イタリア語での情報提供を希望する。[イタリア・男性・50代・10～14年]
- ・外国人市民のために、新しいウェブサイトの更新(すべての情報が英語表記されているもの)をお願いします。[スリランカ・男性・40代・7～9年]
- ・役所等のスタッフの英語力の向上を希望します。[中国・男性・20代・1年未満]
- ・川崎市の情報をもっとよく知るために英語でのウェブサイトが欲しいです。[インド・女性・40代・1～3年]
- ・私が提案したいのは、日本語の文章がもっとわかりやすくなることです。英語の説明を追加して、私のような外国人が理解しやすくなるようにしてください。どうもありがとうございます。[フィリピン・女性・30代・20～24年]
- ・唯一の要望として、すべての重要な書類を英語でも送っていただけるとありがたいです。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・外国人として川崎市に住むことは素晴らしいことです。このようなイベントを定期的 to 実施し、より詳細な情報を掲載したリーフレットを提供してほしい。[インド・男性・20代・4～6年]
- ・病院では英語が話せる/理解できる先生、看護師さんがいてくれると助かります。[フィリピン・女性・60代・25年以上]
- ・川崎のパンフレットは日本語のものしか見たことがない、スペイン語はもっと少ない。[ペルー・男性・50代・15～19年]
- ・公式文書を通じて、川崎市民とのコミュニケーションをより一層向上させてください。また、川崎市にある様々な施設について多くの市民がまだ認知していないため、その認知度を高める取り組みを進めてください。[インド・女性・30代・4～6年]
- ・私は長い間川崎に住んでいますが、外国では非常に人気のある場所です。人々にもっと情報を提供できるように、外国語に翻訳する必要があります。出来ればこのプログラムには主要国で働く外国人情報源が含まれ、外国人向けの翻訳サービスが多数提供されることです。[ベトナム・女性・30代・1年未満]

- ・英語でのコミュニケーションもいただけるとありがたいです。重要な情報を日本語で素早く読むのは難しいです。
[インド・男性・40代・10～14年]
- ・英訳はAIを使えば簡単。[ヨーロッパ・男性・20代・1～3年]
- ・外国人市民向けに、所得税/年金制度/医療制度/介護制度など簡単な日本語で説明するセミナーがあれば良いと思います。若い外国人家族向けには教育制度/保育制度についてのセミナーがあると良いと思います。[ドイツ・女性・60代・25年以上]
- ・税務署での英語対応をしてほしいです。[米国・女性・40代・10～14年]
- ・アラビア語を対応言語に追加してほしい。アラブ人の外国人や観光客の数が大幅に増加しているため。また、アラビア語は様々な国の公用語でもあるため。[アフリカ・女性・30代・1～3年]
- ・区役所に英語の話者がいれば非常に助かります。[フィリピン・男性・20代・1年未満]

●通訳・翻訳、相談窓口 ----- 8件

- ・川崎市の「ごみアプリ」の翻訳。翻訳が難しいニュースレターのために、メールで送ってくれた方が翻訳しやすいです [マレーシア・男性・30代・1～3年]
- ・地元のスポーツ大会やイベントの英語でのサポートを。[オーストラリア・男性・40代・10～14年]
- ・週数回短期間でしたら外国人サポート可能です。(英語、ヒンディ語、日本語の通訳) [インド・男性・40代・15～19年]
- ・LINEでの市役所の相談窓口がほしいです。[中国・男性・30代・1～3年]
- ・外国人向けの医療通訳（電話やSNS）を支援してほしい。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・要望としては通訳のサポート体制を充実してほしいです。特に病院では通訳してくれる人が必要です。[フィリピン・男性・50代・20～24年]
- ・もっと相談する窓口があって良いと思う。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・要望としては区役所での通訳と日本教室がもっと増えるとありがたいです。[フィリピン・男性・30代・1～3年]

●自然、衛生、住生活環境、インフラ ----- 37件

- ・街を綺麗にしてほしいです。安全な環境を求めます。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・すべて良かったと思います。二子橋は狭すぎると感じます、改築は難しいと思いますが、できたら嬉しいです。
[中国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎市がもっと発展して、川崎駅周辺がより綺麗になることを期待しています。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・川崎市側の多摩川緑道を整備して頂いていることがありがたいです。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・どこ行っても鳩が多くて大変気持ち悪い。特に川崎駅前、最悪。[韓国・女性・一・4～6年]
- ・公園の遊具を増やして欲しい。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・川崎市で住むのが楽だったが、小田急線の駅が古すぎだと思います。生田、百合ヶ丘などスーパーが少なく、登り坂とか大変です。古い駅の周りの環境を整備して、もっと便利になれば助かります。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・鳥の糞が酷い。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・駅まで歩いて行けるような日陰のある歩道を増やしてほしいです [マレーシア・男性・30代・1～3年]
- ・公園のトイレ設備の充実（おむつ交換台を備えたトイレを増やして頂ければと思います）。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・川崎に住む前は、横浜に住んでいましたが、また横浜に戻りたいと思っています。川崎は東京に近くていいと思いますが、川崎には家族で過ごせるような公園や緑地が少ないので、もっとあればいいのと思います。[ヨーロッパ・女性・30代・7～9年]
- ・多摩川沿岸をきちんと整備してほしい。公園を綺麗にしてほしい。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・住むにはなかなか良い所だ。しかし南武線沿い（中原区役所前）の遊歩道は、日陰がなく非常に暑い。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・期待：衛生面は改善されてると思う。路上でネズミ、ゴキブリに遭遇した事がある。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・街灯を増やして欲しい。[インドネシア・女性・50代・25年以上]
- ・もっと衛生的になって欲しい。[中国・女性・40代・20～24年]

- ・上海などでは、地球温暖化対策として住宅の屋根に太陽光パネルを設置している。夏場には屋根の下層部が涼しくなり、エネルギー効率が高まるというものです。川崎の住宅でも採用してみたいかだろうか。[中国・男性・70代・25年以上]
- ・川崎ではインフラへの建設投資が多く見受けられ、素晴らしいことと思いますが、緑地が少なく、街には木々や緑がほとんどありません。気候変動に対応するため、市、政府には夏の暑さを和らげる緑地やクールゾーンの整備に注力してほしいです。例えば、市営のプール、公園、噴水、道路沿いの緑地帯を増やす、裏庭のある物件を増やしたりしてほしいです。[ドイツ・男性・30代・4～6年]
- ・川崎市には綺麗な河川があります。より良くしていくために河川沿岸の緑化をおねがいします。地球の環境保護のために小さな努力からしていきましょう。[ネパール・男性・30代・7～9年]
- ・自分は川崎大師に持ち家（戸建て）に住んでいますが地域的に年配の方が多いかもしいのですが、元々観光スポットの川崎大師が経済も人も元気のない街の印象でした。地域の再開発に注力した方がいいかもしれません。又、年配の方が多いいせいで全体的に保守的なイメージが強いです。若い人をもっと入れてください。[中国・男性・40代・15～19年]
- ・街灯がもっとあれば良い。[台湾・女性・20代・1年未満]
- ・川崎を安全でクリーンな場所にするために、これからも良い仕事を続けてください。[マレーシア・女性・60代・25年以上]
- ・要望は登戸周辺が不便すぎる。[中国・男性・20代・一]
- ・鉄道騒音の規制 [中国・男性・20代・7～9年]
- ・街路樹を増やしてほしいが毎年伐採するのはやめてほしい。中原区に新幹線の駅を。[英国・男性・30代・4～6年]
- ・川崎区に緑地を増やしてほしいです。南渡田地区の整備を早期に完成してほしいです。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・工業地帯の大気汚染を適切に改善してほしいです。[中国・男性・40代・20～24年]
- ・道が狭すぎる。[韓国・男性・40代・20～24年] [英国・男性・30代・25年以上]
- ・光化学スモッグの対策と改善策をお願いします。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・川崎は好きですが、坂が多く、道幅が幅が狭いのが難点。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・宿河原の歩行者用信号は変わるのに時間がかかりすぎて、誰も使いません。不便なので、もっと早く変わらせて。[カナダ・その他・30代・10～14年]
- ・国道409号と6号の交差点（大師橋駅）エレベーターを作って欲しい。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・川崎の空気の質については心配です。[中国・女性・40代・7～9年]
- ・水質や大機汚染についてもしっかりと管理されることで、市民がより安心出来る事を望んでいます。[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・川沿いは害虫が多くて困っています。外出の際怖いですが、何か解決策があればお願いします。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・川崎駅周辺の衛生面の向上。[中国・男性・40代・4～6年]
- ・現在住んでいるのは中原区です。交通が便利で買い物や病院なども便利です。しかし最近駅周辺のお店がどんどん閉店してしまったので心配です。[ベトナム・女性・30代・10～14年]

●生活マナー、ルール ----- 7件

- ・自転車のマナーが悪い方が多い。取締りを強化してほしい。（自転車専用道路を利用していない、歩道を走行している＊特に武蔵小杉周辺）[台湾・女性・60代・25年以上]
- ・川崎は住むのにとっても便利な所で、川崎の人たちはいつも親切にしてくれます。日本人と快適に交流する方法を学ぶのは難しいかもしれない。だから公共の場やその他の社会的な場面で何が許容されるかについての情報は役に立つと思います。[米国・男性・30代・4～6年]
- ・要望としては路上喫煙、タバコのポイ捨てなどを厳重に取り締まってほしいです。[ネパール・男性・40代・10～14年]
- ・中原区（特に武蔵小杉周辺）は交通量が多いので、自転車が歩道を猛スピードで走行しており、危険を感じております。是非とも取り締まりをお願いします。[マレーシア・男性・60代・25年以上]

- ・川崎市では路上喫煙の防止に関する条例は施行されていませんが、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てに遭遇する事が多く、取り締まっているようにも見受けられないです。住環境として良くないと感じます。改善をお願いします。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・通勤、退勤時の自転車のマナーが悪い。[ロシア・男性・40代・1～3年]
- ・川崎市には自転車が多くて、マナーが悪いです。逆走、早いスピードで乗る方が多く取り締りして欲しい。[マレーシア・男性・40代・25年以上]

●ゴミ ----- 7件

- ・川崎市のゴミ分別は非常にめんどくさい。分別がない日本の他の都市の規制を採用するのがベストだろう。[米国・男性・30代・1～3年]
- ・私の住んでいる地域ではゴミが増えているので、学校の授業にボランティア活動（ゴミ拾い等）を取り入れたら地域全員ののためになると思います。そうすることで地域社会への認識と協力も深まると思います。[英国・女性・50代・20～24年]
- ・川崎駅周辺にゴミが散乱してる。外国住民にゴミ分別の家庭内パンフレットを郵送する。（多言語）[中国・男性・20代・1～3年]
- ・ゴミ捨てボックス増えて欲しい。私の今のマンションはゴミボックスがなくて毎朝カラスが広げたゴミがとて多くて汚いです。[韓国・女性・ー・4～6年]
- ・廃棄物処理の改善。[ネパール・女性・20代・4～6年]
- ・全体的に川崎市が大好きですが、川崎駅周辺でゴミが散見しているように感じます。綺麗にしてほしいです。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・綺麗な街を作って欲しい、ゴミを捨てないで。（タバコの吸い殻など）[韓国・女性・50代・20～24年]

●住宅、住まい ----- 16件

- ・家賃が高い。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・東京や横浜の喧騒から離て、仕事がしやすく、住みやすいです。しかし、住宅価格や生活費はほとんど変わらないので、これらを改善することは良いことだと思います。[ネパール・男性・20代・1～3年]
- ・5年前、15年前にも川崎で住居を探していましたが、外国人であることを理由に断られ続けてきました。年収が足りていても、大企業に勤めていても、永住者でも、女性でも意味がありません。住居を探す際の問題点は沢山あると思います。[ー・ー・ー・ー]
- ・外国人市民向けの住宅情報サービスがほしいです。[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・川崎市は住みやすいけど住宅価格が高い、家を買って日本に長く住みたいけど中々買えない。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・自分のアパートを借りるとき保証人を見つけるのは非常に困難です。[フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・自治体の管理者の皆様、いつもお世話になっております。私は川崎が他の日本の場所より安全で幸せだと感じていますが、川崎は家賃が高いため市営住宅の抽選に応募しています。家賃が少し安くなると助かります。[ネパール・男性・30代・15～19年]
- ・公共の住宅を提供してもらえることになった。[フィリピン・女性・90代・4～6年]
- ・外国人市民の住宅支援を充実させてほしい。[中国・女性・30代・1～3年]
- ・外国人向けの住宅は非常に限られており、貸主が外国人に対して物件を貸すのを躊躇するので。[中国・女性・30代・1～3年]
- ・外国人市民や高齢者が安く住める施設が欲しいです。[朝鮮・男性・70代・生まれてからずっと]
- ・住むためのマンションやアパートを探すのは大変です。外国人として、住民の理解が深まり、住む場所を探す際に市の支援が得られることを願っています。[フィリピン・女性・30代・20～24年]
- ・日本で不動産業者を通してアパートを借りる際、外国人はしばしば不当な手数料を請求され、損をすることがあります。特に、飲食店と不動産業者との契約において、保証金は退去時に返還すると記載されていますが、実際には返還されないことが多々あります。これは、将来的に大きなトラブルを引き起こす可能性があります。このような飲食店と不動産業者が賃貸契約時・退去時に返還すべき金額を、紛争なく、退去の3ヶ月前に返還することを義務付ける法律の改正が必要であると強く感じています。[ネパール・女性・20代・15～19年]

- ・私は現在、不動産業で働いています。外国人のお客様に賃貸物件を紹介する際、外国人であることを理由に入居できない物件が多く見受けられます。オーナー様がよく心配しているのは入居者様とコミュニケーションが取れない、日本のルールを守らない等です。もし川崎市がこの様なケース事態に注力して頂いて居住者支援センターのような窓口を設置して、万トラブルが発生した場合は、オーナー様のサポートをしてもらえる体制を整えて下されば、外国人のお客様を受け入れてもらえるオーナー様も増えると思います。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・まず第一に、外国人のためにご尽力いただきありがとうございます。次に、私の在留資格は「特定活動」であり、給与が家賃と比べて少し低いため、公営住宅やより安いアパートへの引っ越しに関する情報があまりありません。単身者向けの公営住宅には有利な選択肢がないと聞きました。もし可能であれば、どうすればより安いアパートを借りることができるか教えていただけますか？また、外国人向けのポイント制度についても教えてください。この制度は特に日本の大学院を修了した外国人にとって有益であると聞きました。運転免許証とそれに関連する資格で、永住ビザや他の種類のビザを取得することはできますか？[アジア・女性・30代・1～3年]
- ・川崎市での生活はとても好きです。要望としては、日本語教室の充実や一戸建て住宅への太陽光発電システムの設置の促進/補助をしてほしいと思っています。[中国・女性・40代・7～9年]

●医療・病院、福祉 ----- 25件

- ・医療機関に関する情報を取得しやすくしてほしい。[台湾・女性・30代・4～6年]
- ・現在直面している最大の問題はどこで医療予約をすればいいのか分からない事です。[中国・女性・20代・1年未満]
- ・提案：市立病院の診察、治療が長い。待ち時間が長いのを市は改善してしてください。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市の医療保険料が安くなって欲しい。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・子供と高齢者の医療保険料を少し下げてほしいです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・要望としては子供の医療費は高校卒業までの無償化を望みます。[中国・女性・40代・1～3年]
- ・私は薬局勤務なのですが生活保護の方は先発品を選べずジェネリックと決めているのに違和感を覚えます。[韓国・男性・60代・生まれてからずっと]
- ・各種病院に優秀な先生をおいてほしいです。[台湾・女性・60代・25年以上]
- ・なぜ私達、介護者には何の援助もないのでしょうか？私達介護者にも助けが必要です。(ヘルパーには様々な手当があるみたいですが、少なく困っています) [—・—・—・—]
- ・現在、私は妊娠中で高額な医療費について心配があります。[フィリピン・女性・30代・7～9年]
- ・市の健康診断についてもっと情報がほしいです、会社の医療制度を安心して使用できません。[米国・女性・40代・10～14年]
- ・英語での医療機関のサービスの提供を望みます。[米国・女性・30代・7～9年]
- ・要望としては高校生まで医療費の無償化を提言します。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・健康保険料の引き下げをお願いします。[ネパール・男性・20代・1年未満]
- ・Q26の出産、育児での困りごとに関して、海外では無痛分娩が一般的であるが、川崎区内に初産で出来る施設が少なすぎます。出来たとしても諸条件がつきものですし。出産の辛さを軽減できるような病院の体制を整えてもらいたいです。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・病院は、私が病気であるにもかかわらず、入院や治療を拒否した。[マレーシア・男性・20代・4～6年]
- ・一番困っていることは長男が自閉症で西部地域療育センターを受診したのですがよくわからない事です。医療機関の使い方をよく知らないで小児科病院へ行ったのですが満員で予約が取れないと言われました。今は自宅にいます、有効な治療を受けることができません。私だけではないとは思いますが市全体として精神科医が少なくなってるので行政がこのような子供を助けて欲しい。社会復帰できればと思うのです。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・病気の高齢者が元気に過ごせるように助けてほしい。[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・病院、クリニックでの英語のサポート。[インド・女性・30代・7～9年]
- ・大学生の医療費を無料にしてほしいです。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・川崎に住むのは好きですが、健康のためのワクチン接種キャンペーンを行うべきであり、ワクチンが全ての人に無料で提供されるべきだと思います。[ブラジル・女性・50代・20～24年]

- ・健康に関してですが、理解されていないと感ずることがあります。ほかに何も症状がなく1か月ぐらい咳が続いたんですが、薬をもらうだけで検査をしてもらえませんでした。日本人の同僚も僕の彼女も驚いていました。[フランス・男性・30代・4～6年]
- ・生活しやすい川崎市が好きです。けれどもこれからの老後の生活に不安を感じています。子供がいなため介護が必要になった時心配です。年金も少なく介護サービスを受ける余裕はありません。川崎市からの援助は何かしらあるのでしょうか？教えて頂きたいです。[ネパール・女性・60代・15～19年]
- ・HPVワクチンを申請/接種したいのですが、どうしたいのか分からない。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・日本で年を取るフィリピン人のために、川崎にコミュニティができることを願っています。もし可能ならば、フィリピン人のための老人ホームが無料で提供されることを望んでいます。ありがとうございます。[フィリピン・女性・50代・25年以上]

●防災、災害 ----- 2件

- ・災害が少なく安心しています。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・要望としては防災訓練を行って欲しい。[ドイツ・女性・30代・4～6年]

●出産、子育て ----- 21件

- ・子育ての支援をもっと手厚くすべき。(外国人関係なく、全般) [中国・男性・30代・20～24年]
- ・子育てについての政策をもっと増やしてほしい。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・東京のように子育て手当をもっと充実してほしい。子供の保育園の相談がしやすくなってほしいです。[ベトナム・女性・30代・20～24年]
- ・子供手当は3～4万円だと助かります。[ネパール・男性・30代・—]
- ・子育て政策をもう少し頑張って欲しいです。東京都に追随して欲しい。現在は持ち家でないので将来的には都内に居を構えることも考えてます。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・川崎市への要望ですが、保育園の保育料を下げて頂きたいです。川崎市は近隣エリアの自治体の中で一番保育料が高く設定されていてとても残念です。所得による差別のない子育て世帯に配慮した政策を期待しております。
[ネパール・男性・30代・10～14年]
- ・まだ子供はいませんが、育児しやすい街であればいいなと思います。[中国・男性・30代・1～3年]
- ・子供たちが自然の中で遊び、学べるような屋外活動も開催して頂ければ幸いです。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・子供への支援がもっと増えると良い。東京と比べ支援がもっと良くなると良い。ファミリー層の流入が活発になると思う。(東京に近く、住居費が勝ってるので) [韓国・女性・30代・10～14年]
- ・保育等の補助金を充実させて欲しい。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・育児支援をもっと充実させてほしいです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・子育て支援事業にもっと取り組んでほしいです。川崎市独自の給付をしてほしいです。[韓国・男性・30代・生まれてからずっと]
- ・子育ての支援金を増やしてほしいです。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・子育て支援を充実させる。[インド・男性・40代・15～19年]
- ・これからも多くの人々が居住していくと感ずる。そのため子育て支援制度をより多く検討する必要があると思う。教育、保育の場を増やし、施設の教育方針が時代にふさわしくなるように進展していく必要があると思う。[ベトナム・男性・30代・15～19年]
- ・育児向けの補助と援助をもっと実際の家庭にしっかりと行きわたることを望みます。生活が大変です。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・【子育て支援】市長が長く代わっていないので目新しい事業を行っていない。[韓国・男性・30代・生まれてからずっと]
- ・1歳児から預けられる託児所を知りたい。[インド・女性・30代・7～9年]
- ・オムツの支給など、母親のサポートが薄い。[タイ・女性・40代・15～19年]
- ・子供が3人いるので子育てが大変です。保育園の延長代が高いです。延長代を考えて欲しいです。宜しく願い致します。[ベトナム・女性・30代・10～14年]

- ・川崎市は治安が良くて便利で、街も綺麗で気に入っていますが、市の待遇には不満があります。児童手当が少ない、医療制度も限られている、学生手当が都内と大きく差があるなど。子育て世帯にとっては非常に大きな問題なので都内への引越しを考えています。[中国・女性・40代・20～24年]

●学校、教育 ----- 25件

- ・所得制限なしの高校無償化。[中国・女性・40代・10～14年]
- ・子供の給食費無償化へ。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・高校までの学費、医療費の支援。[中国・男性・40代・20～24年]
- ・最近教育費が高く生活にストレスを感じている。東京、大阪のように高校/大学の授業料無償化を早く実現して欲しい。将来の世代が一生の恩恵を受けれるように。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・高校生医療費助成や学費助成制度の拡充、対象範囲の拡大など。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・東京都の様に高校の学費について補助があれば良い。[韓国・男性・40代・生まれてからずっと]
- ・川崎市は自然環境も良く、住みやすい街です。ですが現在、東京へ引っ越そうと思っています。高校の学費支援がその理由です。川崎は子育てには良い場所ですが、物価が高い地域です。東京のように学費支援が充実したらいいなと思います。[韓国・女性・40代・15～19年]
- ・川崎市が共生社会のモデル都市となるよう、より一層の施策をお願いします。未来を担う外国籍の子供の教育、特に民族学校に対する支援、補助金の支給増額に力を注いでほしい、支給において偏見と差別にならないようにすべきです。[朝鮮・男性・80代・生まれてからずっと]
- ・息子の小学校からのお知らせが毎日来るので、日本語での対応に時間がかかり困ってます。[ヨーロッパ・女性・30代・7～9年]
- ・学校の夏、冬休み期間中の昼食の提供を有料でもして欲しい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・中学校からもっと教育費を応援してもらいたい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・小学校のPTA制度にプレッシャーを感じています。任意とのことですが、本当に不参加でもいいものなのか戸惑っています。出来れば廃止にするか、全員ではなく志願者のみの活動にしてほしいです。(毎年、保護者全員にアンケートがきます。一度参加しないとダメなような気がします)[中国・女性・40代・15～19年]
- ・多くの外国人が日本の大学での教育に興味を持っている。IT教育など、英語での教育本が出版されれば助かる。[インド・男性・30代・4～6年]
- ・私立小/中学校を多く開校してほしい。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・中高生の学費支援の充実。[中国・女性・50代・20～24年]
- ・小学校の給食の無償化を望みます。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・インターナショナルスクールの学費に免税措置を与えて。[インド・男性・50代・25年以上]
- ・いじめやその他の問題で学校にいけない子供たちのための英語教師やリスニング教師を組織してほしいです [フィリピン・女性・30代・4～6年]
- ・川崎はインターナショナルスクールをもっと増やすべき。その点は遅れている。[インド・男性・30代・10～14年]
- ・小学校の給食代を無料にしてください。[台湾・女性・30代・10～14年]
- ・子供の教育費が高いのもっと子供の教育について補充制度が充実すればいいなと思っています。中学校から私立に行くお子さん学費が高いので補助制度があれば助かると思っています。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・子育て支援対策として所得制限なしで小中高（公立・私立問わず）の授業料の無償化を実施してほしい。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・生活費は東京より安い、東京は私立高校の無償化であるのに、川崎には利点がない。[韓国・女性・40代・7～9年]
- ・朝鮮学校を無償へ！[朝鮮・女性・30代・生まれてからずっと]
- ・正直に言って、川崎に住むことは日本の他の場所と大して変わらない。川崎での生活には満足しているが（治安が良くて）、息子の教育方針について懸念点があります。世界中が正しい教育を受ける権利を満たすために、子供たち（移民）に言語サポートを提供する準備を進めている中、私たち移民は、早くから英語での良い教育を勧めている他の国の人達に比べ、大きな遅れをとっていると感じます。[インド・男性・40代・10～14年]

●治安 ----- 24 件

- ・私は中原区に住んでいますが、一年半くらいで安全のことが不安でありまして、実際は二回バイクを盗まれて、一回は見つかったのですが二回目はみつからなくて。時々武蔵小杉駅で自分のバイクを見かけています、コソ泥がまだ自由に使っている。ナンバーをつけずに道を走っていますが、警察さんが全然調べてもらえない。[ベトナム・男性・20代・7～9年]
- ・夜中にバイクがうるさいです。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・治安強化。[中国・男性・40代・20～24年]
- ・街道には夜になると暴走族が出没しとても騒がしいです。取り締まってもらいたいと思います。[中国・男性・30代・7～9年]
- ・●●●書店の充実、反社会的勢力や風俗店の減少、緑化や公共交通機関の整備を望みます。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・川崎はとても便利で、地域愛、つながりを感じますが、治安問題は長年の課題でもあります。[一・一・一・一]
- ・暴走族のバイクの騒音が大変迷惑している。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・夜間パトロール強化。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・詐欺犯や周辺の悪者を減らすことが出来ます。[中国・男性・20代・4～6年]
- ・深夜に第一京浜で時々車の暴走音がする [中国・男性・20代・1～3年]
- ・川崎駅の東口側が怖いです。パチンコ客は多い、保育園、外語専門学院、学童保育のすぐ隣にパチンコ店があり、ゴミも多い、市に何回も連絡したが中々改善出来ません。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・防犯カメラをつけて欲しい。[インドネシア・女性・50代・25年以上]
- ・外国人が増加するにつれ犯罪件数が増える事はとても残念ですが、誠実に生活している人が大半だと思います。同じ目線で見て欲しくない。[ベトナム・男性・30代・15～19年]
- ・外国人とは関係ありませんが、他県から川崎市へ引越身としては、ホームレスの片が多くて驚いています。夜間は少し怖いです。[韓国・女性・30代・生まれてからずっと]
- ・夜間、バイクの騒音/救急車のサイレン音がうるさい。[ロシア・男性・40代・1～3年]
- ・治安が悪く私の財布を拾った人が中身を全て持ち去りました。[中国・女性・20代・1～3年]
- ・治安の評判が良くないので、会社に勤めていても不安になることが多いです。治安に関しては改善、向上してほしいです。そしたら東京在住の独身女性にも川崎市への移住をお勧め出来るようになると思います。[韓国・女性・30代・7～9年]
- ・暴走族（第一京浜）がうるさい。取り締りを強化して欲しい。[中国・男性・30代・10～14年]
- ・夜間のバイクの暴走行為を何とかしてほしいです。[中国・男性・20代・1～3年]
- ・風俗店が多すぎです。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・現在の様な安全、安心な街作りを！ [ネパール・男性・30代・7～9年]
- ・川崎駅東口をもっと安全に、明るくして欲しい。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・要望ではないですが、10～20代の暴走行為（バイク）して人々をよく見かけるので少し怖い。[フィリピン・女性・30代・25年以上]
- ・治安を強化して欲しい。[中国・男性・30代・1～3年]

●差別・偏見、いじめ、ヘイトスピーチ ----- 22 件

- ・より人種を尊重し、差別がない社会へ。闇の部分も光を照らしてほしい。[中国・女性・40代・20～24年]
- ・外国人であることを理由に警察官の対応が日本の方との差を感じる。[ネパール・男性・30代・—]
- ・外国人に対しての偏見をなくし、多様化を受け入れてほしいです。これは市政の職員だけでなく、市民全体も受け入れてくれないと外国人にとっての本当の住みやすさは実現できないと思います。かつて「あなた達外国人のせいで日本が無茶苦茶になった」と言われたこともあるのでそのような考え方が無くなれば良いと思います。
[中国・女性・40代・15～19年]
- ・市役所の職員は外国人にもっと友好的であるべきです。過去に助けを求めた際に拒否されたり、嘲笑されたりした経験があります。改善を望みます。[中国・男性・20代・4～6年]
- ・ヘイトスピーチ等に関する対策を早くして欲しい。[韓国・男性・80代・生まれてからずっと]

- ・令和になり、現在でもたまに見かけるが【在絆会】のような差別的な集会を許しているのか理解に苦しみます。表現の自由、集会の自由等の兼ね合いもあるのだろうが、あんなものを偶然にでも目にした子供達はどのような感情になり、何を学ぶというのか。外国籍の子供ならば恐怖や憎しみに支配されて言葉を失うだろう。あのような集会は取り締まるべきです。[韓国・男性・50代・生まれてからずっと]
- ・警察の方の対応は、外国人男性への偏見・差別を感じる。問題がある際、声や体格が大きい為なのか。複数人で囲まれて恐怖を感じたことがある。(事情を知らない周囲から見れば「悪い外国人」として見られて恥をかいた) その際コロナ禍にも関わらず、その一人の警察の方はマスクもつけずに私に大きな声で話かけ続けた。問題というのはUberEatsの仕事をしている際、Uberの大きな配達員の鞆をどこに置かで他の配達員の方と喧嘩になった時です。私は外国人で警察に囲まれているのでその場の悪者でした。そこで荷物置きルールはお店の方や警察の方に平等にすべての方に注意してもらいたいです。きちんとルールを守って仕事したいと思っている外国人もいることをわかって欲しい。そのお店の前の道路でバイクを止め注文を待っている配達員にルール違反を警察の方が注意して欲しいです。[フランス・男性・40代・20~24年]
- ・川崎市営バスに乗った際に何度も経験していますが、マイク越しに乗客に無礼な言い方や説教をする運転手さんがいます。大勢の人が乗っているバスの中で個人に対して失礼な言い方をするのは許し難いことです。ガラの悪い運転手さんへの教育をしっかりとしてほしいです。[韓国・女性・50代・25年以上]
- ・外国人へのいじめや差別のない社会にしてください。外国人だから日本人だからとこだわりのない良い社会にしてください。自由も平和も欲しいです。[フィリピン・女性・20代・生まれてからずっと]
- ・時には中国語でしゃべった時、周りの人が白い目で見える。中国に帰れと言われたこともある。外国人に不親切な市民が多いと感じます。改善して欲しいです。差別発言と差別行為。[中国・女性・30代・7~9年]
- ・川崎市に住んでみて特に支障はありません。日常レベルの会話ができ、行政での手続きも不便はありませんでした。しかし、次のフェーズ(子供ができた時)に不安を感じております。学校の質、治安等、川崎市の努力の可視化はうかがえますが、社会的スティグマ(差別、偏見)はどうしても解消しにくいと思います。[マレーシア・男性・30代・7~9年]
- ・外国籍住民に対する差別的言動の解消に向けて、引き続き対策をお願いします。[韓国・男性・60代・生まれてからずっと]
- ・最近のニュースのせい(風評被害)で私達ベトナム人が差別されることがありますが、どの国の人でも良い人も悪い人もいると思うので、ベトナム人に対する見方を変えてくれたら安心します。[ベトナム・女性・20代・1年未満]
- ・日本は文化的で礼儀正しい先進国です。川崎市は生活費がとても高いですが、住む価値のある場所です。しかし、川崎市に限らず日本全体で外国人に対する差別が依然として存在しています。日本政府および川崎市当局がこの状況を収束させるための措置を講じてくれることを願っています。[ベトナム・女性・30代・7~9年]
- ・特にありませんが、日本の行政の方と対面する際、若干疑いの目で見られているように感じることがあります。しかし、犯罪者でも誰であっても法の下で適切に対処されるべきです。[ネパール・男性・30代・7~9年]
- ・将来、社会が私たちを何の差別もなく受け入れてくれることを願っています。[フィリピン・その他・60代・20~24年]
- ・住民が平和に暮らし、外国人を大切にすることで、特に若い外国人に対するいじめを避けることができる。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・川崎では外国人に対する差別を観察しました。川崎警察は外国人に対して十分な配慮がなく、地方政府のイメージもあまり良くありません。[インド・男性・40代・10~14年]
- ・在日朝鮮、韓国の人たちが日本の方々と同じように税金を納めているのに、なぜ子供たちが差別を受けるのか理解ができません。弱い者いじめです。朝鮮学校も無償化の対象に。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- ・年金事務所などでご年配の方からのカスタマーハラスメントと受け取れるような言動で対応することがありました。凄く不快な気持ちです。[韓国・女性・40代・15~19年]
- ・祖母が病院に行った際の対応が酷かった。「自国で治療を受けろ」などと暴言を吐かれた。自国で治療できないから来たのに、入局管理局にも同じような対応をされた。[中国・女性・20代・15~19年]

●多文化共生、異文化交流、国際理解 ----- 18 件

- ・川崎市に住んでいるのは東京よりもずっと落ち着いた街だから。ただ日本文化に関連した文化的なイベントが少ないように思う。もっとお盆のお祭り見てみたい。夏祭り、秋祭りなど日本文化をもっとみせてくれるようなイベントがあれば良いと思う。[ブラジル・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市に住んで満足している。文化的交流があれば参加したいと思っています。(時間があれば) [ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・海外から来た人が日本社会に溶け込めるよう、社会活動をもっと充実させて欲しい。[中国・男性・20代・1年未満]
- ・川崎市がもっと外国人を受け入れてくれることを願っています。[中国・男性・40代・10～14年]
- ・外国人の交流の場を作って欲しい。[中国・女性・30代・15～19年]
- ・川崎市は在日に他の都市より比べ理解がある都市だと思います。私の母は日本国籍で以前川崎市が交通災害保険を実施していた時、外国籍である為、母以外に案内は来ませんでしたが比較的外国人に理解があると思います。[韓国・男性・60代・生まれてからずっと]
- ・周囲に外国籍の方が多く精神的に安心します。子どものクラスにも外国籍の友達がいる、より多くの文化に触れることができ良かったと思います。[韓国・女性・40代・15～19年]
- ・(適切に人にコンタクトを取る方法がわかりません) 川崎市はもっと外国人を歓迎し、オープンであってほしい(あまり関わらないし、時々目を合わせない) 人々が出会い、文化交流できるような特別な日を設けることで解決できるかもしれない。[その他・男性・20代・1～3年]
- ・出来るのなら次は外国人に日本の文化を教えてくれる日本人が増えて欲しいです。その様にすれば外国人は困らないと思います。あるいは仕事の間と外国人も日本で趣味が出来る様にして欲しい。マイナンバーカードの申請と住宅増設の為に管理事務所に行ってきました。[フィリピン・女性・20代・生まれてからずっと]
- ・川崎での生活はとても満足しています。ただ日本人の友達を作る機会がほしいです。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・近所の人たちは、インド料理を屋内で料理することを快く思っていない。何度も私たちに文句を言ってくる。インド料理を作るのは難しい。[インド・男性・40代・10～14年]
- ・要望があるとしたら外国人市民への配慮をお願いします。[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・各国の人々と交流ができるイベントを開催してほしいです。[中国・女性・60代・25年以上]
- ・イスラム教のイベントに参加してください。学校や幼稚園はハラール食について知りません。イスラム教徒の学生にとって非常に重要です。学校に相談し、ハラールメニューを提供してください。[バングラデシュ・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市で生活するにはとても良い場所です。とても清潔で日本人は親切です。ただもっと簡単に日本の方とコミュニケーションが取れる方法があればいいのですが、[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・外国人、日本人も含めた活動を期待したい。(国際色豊かな料理とか、お祭りとか) [ペルー・女性・50代・25年以上]
- ・こんにちは。川崎市はとても気に入っていますが、外国人向けに行われていること、特に日本人との交流についての情報をもっとあればいいと思います。[フランス・男性・30代・4～6年]
- ・私達に欠けているのは国際的な交流だと思うので、異なる地域/国の人々が参加できるオープンなイベント交流を市が開催してくれると嬉しい限りです。[インド・男性・40代・10～14年]

●日本語学習・日本語教育 ----- 25 件

- ・区役所の提供している日本語のレッスンに参加したいのですがサイトではレッスンの内容や具体的な情報がないため参加するのが少し怖い。具体的な授業の内容やレッスン形式を教えてください。(授業なのかディスカッションなのか) [中国・女性・20代・1～3年]
- ・より地域の人たちとコミュニケーションをとるため、子供たちの言語スキルを向上させるために外国人市民に向けての日本語教室がほしいです。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・外国人のための日本語授業についてもっと情報が欲しいです。日本語の勉強を続けたいと思います。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・日曜日や早朝に日本語教室があればいいなと思います。[米国・女性・40代・10～14年]

- ・週末に日本語を話す友達を作りたい。[インド・男性・30代・4～6年]
- ・日本語を学ぶためには費用がかかるので、上級者向けの無料授業（JLPT N2/N3）や低料金の授業があればありがたいです。[バングラデシュ・女性・30代・1～3年]
- ・日本語の学習が必要である。[ネパール・男性・30代・4～6年]
- ・日本語を習いたいが、子供が小さく難しいのでアクセスしやすい所にあれば良いと思っている。[韓国・女性・30代・1～3年]
- ・外国人向けの日本語学校（教室）があれば助かります。[フィリピン・女性・20代・7～9年]
- ・川崎区に日本語教室がない。[その他・女性・—・1～3年]
- ・要望としては、無料で学べる日本語検定講座があったらいいなと思います。[ベトナム・女性・40代・1～3年]
- ・日本語や漢字の書き方をもっと勉強したいので無料の学校があると助かる。[フィリピン・女性・50代・20～24年]
- ・日本語教室を増やしてほしいです。[中国・女性・30代・1～3年]
- ・毎週日曜日に無料の日本語教室に通いたい。[フィリピン・男性・30代・4～6年]
- ・市役所に中級～上級コースの日本語教室があれば助かります。[バングラデシュ・女性・30代・1～3年]
- ・私は心から日本語をもっと勉強したいと思っており、私たちのような外国人が日本の文化や生活を学び習得できるよう、市当局が外国人の日本語学習を支援するプログラムを構築してくださることを願っています。私の意見をお読みいただきありがとうございます。[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・外国人向け日本語教室重要です、もっと数が増えることを希望します。[中国・男性・30代・25年以上]
- ・日本語を学びたい。[フィリピン・女性・30代・1年未満]
- ・外国人向けの日本語教室はもっと多く開催して欲しい。[中国・女性・40代・25年以上]
- ・川崎市でも週末に日本語教室を開いてほしい。[中国・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市に住んでいて幸せです。要望としては区役所での通訳と日本教室がもっと増えるとありがたいです。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・オンラインで利用できる言語学習サポートがあればいいなと思います。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・要望としては、オンラインで学習できる日本語教室ができれば嬉しいです [フィリピン・女性・30代・4～6年]。
- ・外国人である私に対して日本語の無料の授業があるといいです。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・もっと日本語教師だけでなく、外国人が日本語を練習したり学んだり出来る場所を増やして欲しい。[中国・女性・30代・4～6年]

●市政参加、地域活動、ボランティア ----- 27件

- ・将来はより多くの外国人市民が市、区の会議に役員として参加出来るような案が出たら幸いです。よろしく願います。[中国・男性・40代・7～9年]
- ・参政権はいつ与えていただけるのか？特別永住者にはその権利があると思う。（日本の方と同等に税金を納めているのだから）国政がだめでも地方選挙はなんとか選挙権を与えてもらいたい、切に思います。日本で暮らしていくのだから。[韓国・男性・70代・生まれてからずっと]
- ・川崎市外国人市民代表者会議に参加して、より良い意見を提案したいです。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・中原区の区民祭りなど増やす。手頃なスポーツイベントを増やす。[オーストラリア・男性・40代・10～14年]
- ・ボランティア活動があれば是非とも教えていただきたいです。少しでも人の役に立てると嬉しいです。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・近年は新築住宅が増え、その分クリアラインは下がっている。外国人住民も含め、この地域でもっと清掃意識を高め、清掃活動を行いたい。[インド・男性・40代・15～19年]
- ・私は川崎フロンターレの大ファンです。川崎フロンターレのフロン太君の郵便ポストや川崎フロンターレ内の宣伝等、日常生活で川崎フロンターレが感じられるのはファンとしてとても良いことだと思います。[インド・男性・40代・15～19年]
- ・私たちの近隣で行われているボランティア、社会活動についてもっと知り学びたいと思ってます宜しくお願い致します。感謝しております。[中国・女性・40代・7～9年]
- ・良い市だと思います。機会があれば色々なことに参加したい、宜しくお願い致します。[アフリカ・男性・40代・10～14年]

- ・外国人市民にもっとコミュニティ参加しやすい環境を整えてほしい。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・私は自営業をしながら川崎市や多摩区のためボランティアで食事を提供する活動をしたかったのだが、韓国よりはるかに高い税金（所得税、固定資産税、消費税、住民税、年金）のため、生きていくことだけで精一杯だ。善意をもっていても出来ずにいます。結局は夢で終わってしまうのかと、少しでも改善されれば良いと思っています。
[韓国・男性・30代・15～19年]
- ・外国人市民は日本市民と同じように納税しているにも関わらず、地方参政権がないのはおかしいと思います。国の安全や政治の混乱などを考慮するのであれば厳しい条件付き（犯罪歴0件、日本に住んで10年以上）での参政権を認めてはどうかと思います。[中国・男性・20代・4～6年]
- ・外国人が自由に交流出来る参加活動が多くなれば良いと思う。[韓国・男性・20代・1～3年]
- ・私たち家族は川崎市の社会活動にもっと参加したいと思っています。[ヨーロッパ・女性・30代・7～9年]
- ・外国人でも参加出来るボランティアや講演会などがあればとても嬉しい。[台湾・女性・20代・4～6年]
- ・多くのイベントにボランティアとして参加している、もっと積極的に参加したい。[インド・男性・20代・1～3年]
- ・外国人が参加出来る活動を増やす。[中国・男性・30代・25年以上]
- ・川崎市の活動に参加したい。ガーデニングや他の趣味を始めたい。[フィリピン・女性・30代・1年未満]
- ・川崎をもっと熱くするイベント「まつり」を開催できればと思います。[中国・女性・20代・4～6年]
- ・日本で、特に川崎市で、選挙に参加したり投票したりしたいものだ。[フィリピン・女性・50代・25年以上]
- ・外国人がもっと参加出来る社会活動が増えることを願ってます。[ペルー・女性・50代・25年以上]
- ・日本の在住期間が10～20年と長く住んでいる人に関しては選挙権を与えてほしい。[中国・女性・40代・7～9年]
- ・地方選挙への選挙権があればと思います。[中国・女性・30代・20～24年]
- ・日本で生まれた在日なので特に困る事はありませんが、長年日本に住んで税金は相当払っていて税金だけはバッチリとるのに選挙権がないのはおかしいと思う。少なくとも日本で生まれた在日（特別永住者）には選挙権があって当たり前だと思う、早急に見直して欲しい。[ドイツ・女性・30代・4～6年]
- ・日本社会ともっと関わりたいのですが、その機会が見つかりません。[インド・男性・40代・10～14年]
- ・世界の常識的に、選挙権は自国民（日本国籍）のみでいいと思います。[スリランカ・男性・50代・20～24年]
- ・フェスティバルのスケジュールや概要があれば嬉しい、できれば参加したい。[ドイツ・男性・30代・1～3年]

●就労、仕事 ----- 18件

- ・テレビやNHKニュースなどで、外国人に関する悪いニュースや外国人差別の事件をよく目にしています。これは、皆さんが日本に行くために多くのお金を借りていることが主な原因だと思いますが、現在の日本の経済は良くないので、それが労働者の経済的困難につながり、多くの残念なことが起きています。もし市が労働環境を改善し、外国人労働者の収入を増やすことができれば、そういった状況は改善されると思います。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市の企業が外国人にもっと多い仕事のチャンスを与える。[台湾・女性・30代・1～3年]
- ・外国人向けの仕事が少ない。[中国・女性・20代・7～9年]
- ・少ない給料の中から母国の両親、日本に住んでいる家族の面倒をみなければいけないので賃金を上げてほしいです。[ネパール・男性・30代・一]
- ・要望を挙げるならば、50代前後の人たちの教育制度が充実すれば良いと思います。仕事向けの技能、スキルなど。
[中国・女性・40代・20～24年]
- ・川崎で仕事を探しているのですが、どうしたらいいのかわかりません。[タイ・男性・30代・7～9年]
- ・外国人向け就職フェスティバルの開催（定期的イベントは外国人が参加しやすいです）。[ベトナム・女性・30代・4～6年]
- ・技能実習生に対する経済的支援をさらに増やしてほしいです。物価が高く、ガス代/電気代の支払いなどあり、給料はほとんど残りません。（為替レートも低い）SSW（特定技能労働者）も同じ問題を抱えていると思うので賃金の底上げをお願いします。[フィリピン・女性・30代・1～3年]
- ・外国人も日本でどんどん働いて欲しいです。[フィリピン・女性・20代・生まれてからずっと]
- ・川崎は安全で友好的な都市です。しかし、市は私たちの生活や収入についてあまり気にかけていません。私は2022年に妊娠しましたが、つわりが酷くて仕事に行けなくなりました。その際、支援して貰う、又は在宅での仕事を紹介して貰えるよう市にお願いしましたが、何の支援も得られませんでした。当時の私にとって生活は非常に厳

しく、経済的負担が大きかったので日本での出産を諦めました。市長様、私の意見を聞いてくださりありがとうございます。できれば、私たちのような主婦向けの在宅アルバイトもサポートして欲しいと思っております。[ベトナム・女性・20代・4～6年]

- ・私は母国の家族を養うために日本に来ました。父は病気で弟は学校に通っているのでお金が必要です。もう少し賃金を高くしてほしいです。[ベトナム・女性・20代・1～3年]
- ・ハローワークでの外国人の対応をもっと充実させてほしいです。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・要望：実習生の賃金を上げて欲しい。[フィリピン・女性・20代・1年未満]
- ・2020年から現在まで、全体的に良いのですが、外国人の収入と支出のバランスを取る必要があると感じています。[ネパール・女性・40代・10～14年]
- ・家族を養うために給料を上げてほしい。[ベトナム・男性・30代・1年未満]
- ・政府がベトナム人にもっと配慮してくれることを願っています。なぜなら私は日本で長期的な仕事がしたいからです。しかし、給料が低いので、生活はまだ困難です。感謝いたします。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・家族滞在ビザでの就労時間はなぜ1週間に28時間以上越してはいけないのか？経済的に厳しいので28時間以上の労働を認めてほしいです。[バングラデシュ・女性・30代・4～6年]
- ・今の給料では家族を養っていくのは厳しいので、賃金を上げて欲しいです。[アジア・男性・20代・1～3年]

●税金、保険、年金----- 21件

- ・年金システムがよくわかってなく手帳も捨ててしまい、そのうち役所から通知が来る様になり、役所に電話をかけ年金はいらないから通知しないでと言ったら外国人も日本に住んでいたら誰でも払うのが義務だと言われ払い始めた10年間だけ。[韓国・女性・60代・生まれてからずっと]
- ・市民税が高い。[ロシア・男性・40代・1～3年]
- ・税金が高いと思います。[中国・男性・30代・4～6年]
- ・住民税を安くして欲しい。[中国・男性・40代・4～6年]
- ・住んでいる麻生区はお金持ちが多く、所得が高いので税金も高い。住民税は高すぎる。妥当な金額でないと思うが、川崎北部はこれだけ納税しているのだから、子供への補助金、私立学校への学費免除など、東京都と同じようなメリットを享受したい。情報ありがとうございます。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・減税をお願いします。[フィリピン・男性・30代・7～9年]
- ・川崎市での生活には満足していますが、賃金がとても安い/税金の種類が多い/外国人市民に対する住民控除が高いことが不満です。低所得の外国人市民に対する税金を軽減して下さい。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・市への要望としては、自営業者の税金をもう少し安くしてほしいです。[米国・男性・70代・25年以上]
- ・2023年11月に京都から川崎市に引っ越してきました。私は留学生で固定収入がありません。そのため今の国民健康保険料が高すぎて私には負担できません。中原区役所の職員さんにその旨を説明しましたが、2022年分の非課税証明書の提出をお願いされましたが、今現在私は大学生で大学の勉強をしながら京都へ行って証明書を発行することはできません。職員さんにもその旨を伝えたのですが対応してもらえません、どうすればいいのでしょうか？[中国・女性・20代・1～3年]
- ・年金制度がまったく理解できません。区役所で登録したときに誰も説明してくれませんでした。生活費が増えていのに、給与は増えていません。ありがとうございました。[スリランカ・女性・30代・4～6年]
- ・個人的には、市役所から年金制度についてもっと知りたいと思っています。[インド・女性・20代・4～6年]
- ・税金が高くて生活が苦しい。[バングラデシュ・男性・40代・4～6年]
- ・フリーランスのため、税務情報を英語で提供してください。フォームの記入方法がわからないことがあります、私の日本人の友達にとっても複雑です。[スリランカ・女性・30代・4～6年]
- ・住民税について解りやすい情報を提供してほしいです。[インド・男性・20代・4～6年]
- ・年金の制度も理解したいですし、自分の国に帰る予定もあるので。[フィリピン・男性・30代・1～3年]
- ・ご提案させて頂きたいと思うのは次の二つです。まず、健康保険です、日本に今年初めて来て住んでいるので日本国内での収入がないため、最初からその情報をに基づいて正確な金額が算定されればより便利になるのではないかと思います。二つ目は東京都港区から引っ越しましたが、港区には外国人専用国民年金案内があったため、こういう事も参考にしてください。よろしくお願い申し上げます。[韓国・女性・30代・1年未満]

- ・川崎の税金は高く、サポートも東京ほど良くありません。これにより、東京への移転を考えるようになっていきます。インド人コミュニティは高額所得層が多く、川崎での税負担も少し高いですが、川崎市は江戸川区のようにインド人を積極的に促進していません。このため、インド人にとって川崎はあまり魅力的ではなくなっています。
[インド・男性・40代・10～14年]
- ・日本は税金も高く、物価も高い。[バングラデシュ・男性・30代・1年未満]
- ・減税政策があれば良いと思います。[中国・女性・30代・4～6年]
- ・給料が低く、生活が厳しいのに、税金が高額で困っています。[南米・男性・50代・10～14年]
- ・税金を納めているので、市長・市議会議員の被選挙権を認めてほしいです。[韓国・女性・20代・生まれてからずっと]

●物価 ----- 12件

- ・川崎市での生活はとても良く、治安が良くて清潔ですが、あらゆるサービスや物価の上昇、円安の進行により、働くことがますます困難になっています。[ベトナム・男性・30代・7～9年]
- ・民生品の価格が年々上昇しています。[タイ・女性・40代・4～6年]
- ・物価が高い。[中国・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市では食料品の値段が高いと思います。私達外国人は残業時間が限られているため給料が少ないので、少しでも食費が抑えられると助かります。[ベトナム・女性・20代・1年未満]
- ・物件価格（不動産価格）が非常に高く、特別なサポートもありません。（外国人にとっては）[ベトナム・女性・30代・7～9年]
- ・おはようございます。川崎での生活は美しく清潔で明るいですが、物価の上昇と円の低い価値は私たち外国人に悪影響を及ぼしています。労働者として、この影響を和らげるためのプログラムがあることを願っています。[フィリピン・男性・30代・1年未満]
- ・物価が高い。生活に関わっている商品、食物の価格を安くして下さい、お願いします。[中国・女性・30代・7～9年]
- ・食品価格は高く、税金も増えている。政府の補助金が出ることを期待している。[インドネシア・男性・30代・1～3年]
- ・燃料が値上がりし、商品もすべて値上がりしていますが、基本給は増えていません。川崎市が困難な状況にある家族を支援する政策を持っていることを願っています。よろしくお願いします。[ベトナム・男性・30代・4～6年]
- ・周りの人たちは親切で助かっています。ただ家賃、物価が高いので生活は厳しい状況です。[ベトナム・女性・20代・4～6年]
- ・食費が高い。[バングラデシュ・女性・30代・4～6年]
- ・川崎市は交通の利便性が高く生活しやすいですが、物価を安くしてほしいです。[中国・女性・50代・10～14年]

●高齢者、介護 ----- 3件

- ・要望としては老後の介護サービスの紹介は不明。また定年後再雇用などの制度も不明、資料はどこから見れるかわかりやすい紹介など欲しい。[中国・女性・40代・15～19年]
- ・ご高齢の方の一人暮らしの方が沢山いると思うので、工夫をしてほしいです。（コミュニティを作してほしい）
[—・—・—・—]
- ・高齢者の介護保険はもっと受けやすいようにしてほしい。[中国・女性・30代・15～19年]

●交通インフラ ----- 21件

- ・鉄道の踏切は、車や自転車で通行する人に不便を強いる。30、40分以上待たされることもしばしばだ。[ブラジル・男性・30代・7～9年]
- ・バスの本数を増やしてほしいです。[中国・女性・30代・10～14年]
- ・もっと交通の便がよければと思います。[中国・女性・20代・4～6年]
- ・バスの本数ももう少し増やしてくれると助かります。[中国・男性・30代・15～19年]
- ・新百合ヶ丘駅とあざみの駅のブルーライン延長期待しています。[ブラジル・男性・30代・25年以上]

- ・35 年前に来日、120 万人が 150 万人に増えたことにより、南武線の交雑状況が酷いです、何とかしてほしいです。
[韓国・女性・70 代・25 年以上]
- ・南武線、しばしば満員で身動き取れず最悪です。南部線はまずい。それほど頻繁ではありませんが、とても詰め込まれていますこんなに小さな列にたくさんの人がいます。[ドイツ・女性・30 代・7～9 年]
- ・南武線については、混雑がひどくなってきているので、矢向駅について横浜市と協議してほしい。[フランス・男性・50 代・25 年以上]
- ・川崎大師線の地下鉄工事を早く完工して欲しい。[韓国・男性・40 代・20～24 年]
- ・コミュニティバスの運行が必要だ。[韓国・女性・60 代・1～3 年]
- ・川崎駅、武蔵小杉駅、溝の口駅などの主要な駅から発車する市バスの運行時間を、午後 11 時 30 分または午前 0 時まで延長することを検討してください。通勤者が安全にかつ時間通りに帰宅するのに役立ちます。[カナダ・男性・30 代・1～3 年]
- ・新百合ヶ丘をはじめ、道路の渋滞改善して欲しい。[中国・男性・30 代・10～14 年]
- ・南野川の近くに市バスの停留所を設置してほしい。多くの方が仕事に行くために利用しています。どうぞよろしくお願いいたします。[フィリピン・女性・50 代・15～19 年]
- ・南武線の長編成化、高架化を積極的に進んで欲しい。[台湾・女性・30 代・7～9 年]
- ・地下鉄の駅はいつ出来ますか。[タイ・女性・30 代・4～6 年]
- ・小田急バスに加えて、よみうりランドモールと稲田堤を結ぶバスの増便が必要だ。[ロシア・男性・30 代・7～9 年]
- ・JR 南武線の快速を通勤時間にも入れてほしいです。JR 南武線は踏切が長い間（5～10 分）開かないことがあります、基準を見直してほしいです。[韓国・男性・30 代・20～24 年]
- ・全体的な生活は比較的便利だが、休日の交通渋滞はより深刻だ。[中国・男性・30 代・4～6 年]
- ・特急が通過する駅にホームゲートを設置するよう、小田急電鉄に働きかけてほしい。[英国・男性・70 代・25 年以上]
- ・十分な交通、インフラを整備して欲しいと願っています。[インドネシア・男性・20 代・1～3 年]
- ・京王線から小田急線に交通手段が欲しい。府中などの西東京側に向かう際に一度新宿まで行かなければならないのが不便。[韓国・女性・20 代・20～24 年]

●その他 ----- 26 件

- ・わたしのことがありません。[ベトナム・男性・30 代・7～9 年]
- ・ATM の 24 時間営業は可能ですか。[中国・男性・40 代・1～3 年]
- ・ボランティアの英語教師をお探しなら是非お願いします。日本にバイリンガルの子供が増えることを願ってます。全年齢対象の無料英語教室をお願いします。[フィリピン・女性・30 代・4～6 年]
- ・他の東京の地域と同様、高齢化や出生数の低下などは避けて通れない道だと思いますが、持続可能な街を目指して頑張ってください。[韓国・女性・20 代・20～24 年]
- ・市議員の人数と報酬が多すぎると感じています。[韓国・女性・50 代・生まれてからずっと]
- ・川崎が好きです。川崎市があらゆる面でより便利になることを期待している。[中国・女性・30 代・7～9 年]
- ・市役所はじめ行政サービスの職員さんたちは親切で助かっていますが、入管のスタッフの態度は非常に悪かったです。[中国・女性・30 代・7～9 年]
- ・川崎はとても安全で外国人に優しい街です。区の職員さんもとても親切で丁寧な対応でした。私は難しい日本語は完全に理解できません。[タイ・男性・30 代・4～6 年]
- ・政権政党である自民党の裏金問題をはじめ日本の政治が腐りきっているので行政の職員もアルバイト的な仕事を時間内でやればそれで良いと思っているのでしょうか。仕方ないと思います。何もかもこの国は腐りきってます。この国が 1945 年 8 月 15 日（6 日、9 日）のような事態を招かないとクズ政治は修正しないし、裏でアメリカが主導した自由党と民主党が自由民主党という 55 年体制が今の日本にした、最悪の国。[韓国・男性・50 代・生まれてからずっと]
- ・日本語能力試験 N1 合格しました。[中国・女性・50 代・15～19 年]
- ・今年 3 月に引っ越してきました。まだ、沢山の事分かりません。[中国・女性・40 代・20～24 年]
- ・(国レベルだが、在留資格は仕事に繋がっているので、日本に住み続けていけるのか心配です) 外国人としての生活、特に最近ではポピュリズム的な政治家の発言に対し不安だらけ。川崎市として、この不安の解消に向けた支

援（日本に住み続けたい人への）、コミュニケーションを充実してほしいです。[マレーシア・男性・30代・7～9年]

- どんな人でも住みやすい川崎になれば良いと思ってます。[韓国・女性・50代・生まれてからずっと]
- 時にこの2～3年新築マンションが多くでき、川崎市の人口が増えていて、一部の駅が更に混雑となっている。要望としては人口密度の管理をして頂きたい。[アジア・女性・40代・7～9年]
- 全体的に満足していますが、川崎市のオフィスや銀行では外国人への対応があまり良くないと感じています。各オフィスに外国人スタッフがいれば、もっと良くなると思います。[ネパール・男性・20代・4～6年]
- 私は海外で仕事をしており、月に一度は川崎の自宅へ帰ります。そのため、日本で銀行口座を開設することができません。何度も試しましたがダメでした。銀行口座がないと日本の携帯電話の申し込みもできないし、デジタルアプリでの支払いもできないので、とても不便です。願わくば、この問題を調べてほしい。[アジア・男性・50代・25年以上]
- 外国人にとって住みやすい街にしようとするのは何のためでしょうか？外国人の労働力が欲しい？外国人の投資家に川崎を投資してもらうため？目的を明確にしてから、行動することが重要だと思います。経済の活性化を求め、外資の投資を誘致したいなら、積極的に経済産業省と入管が連携を深めて、川崎を経済特区に指定してもらうよう努力すべきです。また新たに外国人市民を川崎に移住するには、地方銀行、不動産会社との連携をとり、口座開設等の手続きを容易にする必要があると思います。[中国・女性・30代・10～14年]
- ビジネスオーナーとして、他の方々のビジネス発展を支援できれば光栄です。しかし、日本語の話す能力が難しさをもたらしています。[フランス・男性・20代・4～6年]
- 出産数向上及び出生率向上のため独身者に対するお見合い制度または交流する機会を強制する。[中国・男性・20代・生まれてからずっと]
- 特殊技能労働者が永住ビザを取得できるよう願っています。[フィリピン・男性・30代・7～9年]
- 今回の10万円支援における10万円支援金を受けたいと思います。私は日本に来たばかりでまだ日本語が上手ではないので、インターネットサービスを間違えて登録し、予期せずお金を失ってしまいました。そのため、現在はお金が不足し困窮しています。ありがとうございます。[ベトナム・男性・20代・1年未満]
- 【不満・不安】現在の日本円とフィリピンペソのレートが非常に低いことについて不安が高まっている。[フィリピン・男性・30代・4～6年]
- 婚活支援を自治体が運営してほしいです。[台湾・男性・30代・7～9年]
- 今問題になっている、PFAS（有機フッ素化合物）が気になります。[—・—・—・—]
- 無利子ローン。[インド・男性・30代・7～9年]
- コウモリが私のアパートに入ってきたとき、助けを呼ぶのに苦労した、民間の会社に頼むしかなかった。[英国・男性・70代・25年以上]

●「なし」といった趣旨のもの 特になし等 ----- 44件

第2章 調査票

I. あなたのふだんの生活^{せいかつ}についてうかがいます。

Q1 あなたは川崎市^{かわさきし}にどれくらい住^すんでいますか。(1つに○)

(1) _____年^{ねん}

(2) 1年^{ねん}より短^{みじか}い

(3) 生まれてからずっと

Q2 あなたは市^しが出^だしている次^{つぎ}のような案内^{あんない}を知^しっていますか。また、利用^{りよう}した(読^よんだ)ことがありますか。(それぞれ1つに○)

	利用 ^{りよう} した(読 ^よ んだ)ことがある	知っているが利用 ^{りよう} した(読 ^よ んだ)ことはない	知らない
A. 「川崎市 ^{かわさきし} に住 ^す む外国人 ^{がいこくじん} の皆さん ^{みな} へ」 (窓口 ^{まどぐち} ・問 ^と い合わせ先 ^{あき} のリスト)	1	2	3
B. 「市政 ^{しせい} だより」	1	2	3
C. 「備 ^{そな} える。かわさき」(防災 ^{ぼうさい} 情報 ^{じょうほう})	1	2	3
D. 外国語 ^{がいこくご} 版 ^{ばん} 「母子健康 ^{ぼしけんこう} 手帳 ^{てちょう} 」	1	2	3
E. 「外国人 ^{がいこくじん} 市民 ^{しみん} 代表 ^{だいひょう} 者 ^{しゃ} 会議 ^{かいぎ} ニューズレター ^{にゅーずれたー} 」	1	2	3

Q3 あなたは次^{つぎ}のような市^しの施設^{しせつ}を知^しっていますか。また、利用^{りよう}したことがありますか。(それぞれ1つに○)

	利用 ^{りよう} したことがある	知っているが利用 ^{りよう} したことはない	知らない
A. 市民館 ^{しみんかん} (または教育文化会館 ^{きょういくぶんかかいかん})	1	2	3
B. 図書館 ^{としょかん}	1	2	3
C. こども文化センター ^{こどもぶんかせんたー}	1	2	3
D. 川崎市国際交流センター ^{かわさきしこくさいこうりゅうせんたー}	1	2	3
E. 川崎市ふれあい館 ^{かわさきしふれあいかん}	1	2	3
F. 川崎市平和館 ^{かわさきしへいわかん}	1	2	3
G. 行政サービスコーナー ^{ぎょうせいサービスこーなー}	1	2	3
H. かわさき多文化共生プラザ ^{たぶんかきょうせいふらざ}	1	2	3

Q4 あなたは次のような市のサービスや制度（仕組み）を知っていますか。 また、利用したことがありますか。（それぞれ1つに○）

	利用した ことがある	知っているが 利用したことは ない	知らない
A. 識字・日本語学級（市民館ほか）	1	2	3
B. 外国人窓口相談（川崎市国際交流センターの 多文化共生総合相談ワンストップセンター）	1	2	3
C. サンキューコールかわさき （市政に関する問い合わせ・相談、英語対応可）	1	2	3
D. 川崎市居住支援制度	1	2	3
E. かわさきのお医者さん （川崎市ウェブサイト上の病院検索システム）	1	2	3
F. 市立病院への医療通訳派遣制度（MIC かながわ）	1	2	3
G. 保健所の健康診断	1	2	3
H. 多言語医療問診票（川崎市ウェブサイト上）	1	2	3
I. 人権オンブズパーソン （子どもの人権・男女平等にかかわる人権の侵害に ついて相談できる）	1	2	3
J. 区役所窓口のテレビ通訳	1	2	3

Q5 あなたは日常生活に必要な情報をどこで聞いたり調べたりしていますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|--------------------------------|--------------|
| (1) 知り合いから | (2) テレビ | (3) ラジオ |
| (4) インターネット（検索） | (5) SNS (X, Facebook, LINE など) | (6) 市のホームページ |
| (7) 市・区の窓口、市政だより | (8) 川崎市国際交流センター | (9) 回覧板 |
| (10) 自分の職場、団体、学校 | (11) 教会・宗教施設 | (12) 大使館、領事館 |
| (13) その他 [] | | |

Q6 あなたが自由に話せる言葉は次のうちどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| (1) 日本語 | (2) 中国語 | (3) 韓国・朝鮮語 |
| (4) 英語 | (5) ポルトガル語 | (6) スペイン語 |
| (7) フィリピン語 | (8) タイ語 | (9) ベトナム語 |
| (10) ヒンディー語 | (11) ネパール語 | (12) インドネシア語 |
| (13) その他 [|] | 語 [] 語 |

Q7 あなたは日本語がどれくらいできますか。(それぞれ最もよく当てはまるもの1つに○)

<聞く・話す>

- | | |
|---------------------|---------------|
| (1) 問題なく聞いたり話したりできる | (2) 日常会話ならできる |
| (3) 単語だけはわかる | (4) ほとんどできない |

<読む・わかる>

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1) 問題なく読める | (2) ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる |
| (3) ひらがな、カタカナならわかる | (4) 漢字ならわかる |
| (5) ほとんど読めない | |

<書く>

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| (1) 問題なく書ける | (2) 簡単な漢字、ひらがな、カタカナが書ける |
| (3) 漢字のみ書ける | (4) ひらがな、カタカナが書ける |
| (5) パソコンやスマートフォンなどの機械を使えば書ける | |
| (6) ほとんど書けない | |

Q8 あなたは、今、日本語を学んでいますか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------------|
| (1) 学んでいる | → Q8-1にお進みください |
| (2) 学んでいない | → Q8-2にお進みください |

Q8-1 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 独学で(教科書やテレビ等) | (2) 独学で(インターネットやアプリ等) |
| (3) 通信教育で | (4) 無料の日本語教室で |
| (5) 有料の日本語教室で | (6) 家族から学んでいる |
| (7) 職場で学んでいる | (8) 友人・知人(日本人)から学んでいる |
| (9) 友人・知人(日本人以外)から学んでいる | (10) 周りの会話を聞いて覚えている |
| (11) その他 [|] |

→ Q9にお進みください

Q8-2 にほんご まな 日本語を学びたいですか。(1 つに○)

(1) にほんご まな 日本語を学びたい

(2) にほんご まな おも 日本語を学びたいとは思わない

Q9 あなたは にほんご ふじゆう 日本語が不自由なために、次のようなとき づま 困った経験がありますか。

さいきん ねんかん こま 最近1年間に づま 困った経験があるものを選んでください。(当てはまるものすべてに○)

(1) きんじょ 近所づきあいで

(2) でんしゃ ばす の 電車やバスに乗るとき

(3) にちじょうせいかつ か もの 日常生活や買い物で

(4) やくしょ てつづ 役所での手続きで

(5) ゆうびんきょく ぎんこう 郵便局・銀行での手続きで

(6) しごと 仕事をさがすとき

(7) びょうき 病気になったとき

(8) がっこう せんせい しょくいん はな 学校の先生や職員と話するとき

(9) その他 [

] (10) づま 困ったことはない

Q10 あなたが ひごろ 日頃、かぞく いがい 家族以外でよくつきあう人たちは、次のうちどれにあたりますか。(最も近いもの1 つに○)

(1) にほんじん 日本人

(2) どうこくじん 同国人

(3) どうこくじん いがい がいいくじん 同国人以外の外国人

(4) どの人たちともよくつきあう

(5) だれ 誰ともつきあいがいい

Q11 あなたは せいかつ こま 生活で困っていることがある場合、だれ 誰(どこ)に相談しますか。(当てはまるものすべてに○)

(1) かぞく しんせき 家族・親戚

(2) にほんじん ゆうじん ちじん 日本人の友人・知人

(3) どうこくじん ゆうじん ちじん 同国人の友人・知人

(4) どうこくじん いがい がいいくじん ゆうじん ちじん 同国人以外の外国人の友人・知人

(5) し く そうだんまどぐち 市・区の相談窓口

(6) くに けん そうだんまどぐち 国・県の相談窓口

(7) かわさきしこくさいこうりゅうせんたー 川崎市国際交流センター

(8) NPO

(9) ぼらんてぃあ ボランティア

(10) しゅうきょうだんたい 宗教団体

(11) その他 [

] (12) そうだん ひと 相談できる人はいない

(13) づま 困ったことはない

Q12 あなたが行ったことのある川崎市の観光スポットはどれですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) 東海道かわさき宿交流館 | (2) 川崎浮世絵ギャラリー |
| (3) 生田緑地 | (4) 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム |
| (5) 川崎市立日本民家園 | (6) 川崎大師 |
| (7) カワスイ 川崎水族館 | (8) 等々力緑地 |
| (9) ミューザ川崎シンフォニーホール | (10) 川崎市岡本太郎美術館 |
| (11) かわさき宙と緑の科学館 | (12) よみうりランド |
| (13) 工場夜景 | (14) どこにも行ったことがない |

Q13 あなたは、休日どのように過ごしていますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 何もしないで家でゆっくりする | (2) テレビや録画番組を見る |
| (3) パソコン、インターネット、ゲームなど | (4) 軽い運動やスポーツ |
| (5) 家族と家で過ごす | (6) 家族と外出する |
| (7) 日本人の友人などとの交際 | (8) 同国人の友人などとの交際 |
| (9) 教会・宗教施設に行く | (10) 趣味・娯楽(読書、映画、カラオケなど) |
| (11) 学習活動(日本語教室など) | (12) 鑑賞・見物(美術館、神社・お寺など) |
| (13) スポーツ観戦 | (14) ショッピング |
| (15) ドライブ | (16) 地域活動への参加 |
| (17) ボランティア活動 | (18) 旅行(日帰り) |
| (19) 旅行(宿泊) | (20) その他 [] |
| (21) 休日はほとんどない | |

II. あなたのお住まいと安全・安心についてうかがいます。

Q14 あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| (1) 持ち家(一戸建て) | (2) 持ち家(マンション) |
| (3) 賃貸(一戸建て) | (4) 賃貸(マンション・アパート) |
| (5) 公営住宅 | (6) 社宅または会社借り上げの賃貸住宅 |
| (7) その他 | |

Q15 あなたは川崎市で住居をさがすとき、次のような経験をしたことがありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 公営住宅に応募する方法がわからなかった
- (2) 保証人が見つからなかった
- (3) 入居の申し込みに必要な書類をそろえるのが難しかった
- (4) 外国人であることを理由に物件を紹介してもらえなかった
- (5) 外国人であることを理由に入居を断られた
- (6) その他 []
- (7) 困った経験はない

Q16 あなたは災害が起きたときのために次のようなことをしていますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 家族との連絡方法を決めている
- (2) 飲み水や食料を準備している
- (3) 避難するとき必要なもの(携帯ラジオ、懐中電灯、薬、小銭など)を準備している
- (4) 家具を固定して倒れないようにしている
- (5) 防災訓練に参加している
- (6) 市の緊急情報サービス(メールニュースかわさき)に登録している
- (7) かわさき防災アプリをインストールしている
- (8) Safety tips(災害時情報提供アプリ)をインストールしている
- (9) その他していること []
- (10) 特に何もしていない

Q17 あなたは最近1年間に次のような不安や危険を感じたことがありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 住んでいる地域の治安についての不安
- (2) 家族など身近な人からあなたが暴力をふるわれる不安・危険
- (3) 外国人であることを理由にあなたが暴力をふるわれる不安・危険
- (4) 外国人であることを理由に脅迫や差別的な暴言を受ける不安
- (5) 外国人を攻撃するようなインターネットやSNSの書き込みを見て感じる不安・危険
- (6) その他 []
- (7) 不安や危険を感じたことはない

III. 医療・保険・福祉についてうかがいます。

Q18 あなたは病気やケガをしたとき、たいていどうしますか。(1つに○)

- (1) ひとりで病院・医院に行く
- (2) 家族に付き添ってもらって病院・医院に行く
- (3) 家族以外の人に付き添ってもらって病院・医院に行く
- (4) 病院・医院には行かず、薬を飲む
- (5) 何もしない

Q19 あなたは最近1年間で、病気になったときに次のような困った経験はありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 病院についての情報がなくて困った
- (2) 医者にみてもらうとき、言葉がよく通じなかった
- (3) 病院の対応に差別を感じた
- (4) 薬の説明がわからず、困った
- (5) 女性の医者がいなくて困った
- (6) 医療費が高かった
- (7) 相談できる人がいなくて困った
- (8) その他 []
- (9) 困ったことはない

Q20 あなたは現在、どのような健康保険(医療保険)に入っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 勤め先の健康保険(本人として) | (2) 勤め先の健康保険(家族として) |
| (3) 国民健康保険(本人として) | (4) 国民健康保険(家族として) |
| (5) 公的保険以外の保険(海外旅行保険など) | (6) 入っているが、どの保険がよくわからない |
| (7) 入っていない | |

Q21 あなたは現在、どのような年金に入っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 厚生年金など勤め先の年金 | (2) 国民年金 |
| (3) 外国の公的年金 | (4) その他の年金 |
| (5) 入っているが、どの年金がよくわからない | (6) 入っていない |

— 213 —

IV. 子育て・教育についてうかがいます。

Q25 あなたは現在、25歳以下の日本に住んでいるお子さんがいますか。いる場合は人数もお答えください。

- (1) いる (____人)
- (2) いない

Q26 あなたは出産・育児について、次のようなことで困ったことがありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 母子健康手帳をもらったが内容がわからない
- (2) 妊娠中に定期検診を受けられなかった
- (3) 出産のための入院中に言葉が通じなくて困った
- (4) 分娩の費用が高くて困った
- (5) 育児でわからないことがあっても、相談する人がいない
- (6) 予防接種の案内があっても、よくわからない
- (7) その他 []
- (8) 困ったことはない

Q27 あなたは保育園(所)・幼稚園について、次のようなことで困ったことがありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 子どもを保育園(所)に預けたいのに、入れない
- (2) 保育園(所)の保育時間(預かってもらえる時間)が短すぎる
- (3) 一時保育(必要なときに預かってもらう)サービスを希望しても利用できない
- (4) 保育園(所)や幼稚園で保育士・先生とうまく意思が通じない
- (5) 保育園(所)や幼稚園で子どもが仲間はずれになったり、いじめられたりした
- (6) 保育園(所)の保育料が高い
- (7) その他 []
- (8) 困ったことはない

Q28 お子さん1人ずつについて、年齢、日本国籍を持っているかどうか、現在通っている（または最後に通った）学校（保育園・幼稚園を含む）の種類を教えてください。お子さんが4人以上の場合は、上から3人めまでについてお答えください。

	年齢 （ねんれい）	日本国籍 （にほんこくせき） （1つに○）	通っている学校または施設の種類 （それぞれ当てはまるもの1つに○）
ひとり 1人め	— 歳 （さい）	(1) 持っている (2) 持っていない	(1) 通っていない (2) 保育園（所） (3) 幼稚園 (4) 日本の学校 (5) 外国系・民族系の学校 (6) その他の学校 a. 小学校 b. 中学校 c. 高校 d. 専門学校 e. 短期大学 f. 大学・大学院 i. 全日制 ii. 定時制 iii. 通信制
ふたり 2人め	— 歳 （さい）	(1) 持っている (2) 持っていない	(1) 通っていない (2) 保育園（所） (3) 幼稚園 (4) 日本の学校 (5) 外国系・民族系の学校 (6) その他の学校 a. 小学校 b. 中学校 c. 高校 d. 専門学校 e. 短期大学 f. 大学・大学院 i. 全日制 ii. 定時制 iii. 通信制
にん 3人め	— 歳 （さい）	(1) 持っている (2) 持っていない	(1) 通っていない (2) 保育園（所） (3) 幼稚園 (4) 日本の学校 (5) 外国系・民族系の学校 (6) その他の学校 a. 小学校 b. 中学校 c. 高校 d. 専門学校 e. 短期大学 f. 大学・大学院 i. 全日制 ii. 定時制 iii. 通信制

Q29 あなたがお子さんと家庭で話す言語はどれですか。（1つに○）

- | | |
|----------------|---------------------|
| (1) 日本語 | (2) あなたの母語 |
| (3) 日本語とあなたの母語 | (4) 日本語とあなたの母語以外の言語 |
| (5) その他 | |

Q30 【小学生以上の年齢のお子さんが、公立の小・中学校に通っていない（通わなかった）方にうかがいます。】

お子さんが公立の小・中学校に通わない（通わなかった）理由は次のどれですか。（当てはまるものすべてに○）

- (1) 日本の公立学校の規則や活動の仕方（部活動なども含む）がよくない
- (2) 日本の受験競争や受験を重視する考え方になじめない
- (3) 差別やいじめにあう心配があった
- (4) 国際的な教育を受けさせたほうがよいと思った
- (5) 自分の民族の言葉や文化を学んでほしかった
- (6) 子どもが日本語がわからないため
- (7) 公立の学校を希望したが、入れなかった
- (8) その他 []

Q31 【お子さんが小・中・高校に通っている方にうかがいます。】

お子さんは、学校で現在、次のようなことで困ったり悩んだりしていますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| (1) 日本語の力が十分でない | (2) 授業の内容が理解できない |
| (3) 外国にルーツがあることで、いじめられる | (4) 先生、職員の配慮が足りない |
| (5) 友達がいない | (6) 不登校になった |
| (7) その他 [] | (8) とくに困っていることはない |

Q32 あなたが、お子さんの学校と進路について困っていることや不安なことはありますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (1) 先生とうまく意思が通じない | (2) 子どもとうまく言葉が通じない |
| (3) 学校からのお知らせの内容がわからない | (4) お弁当・給食のことで困っている |
| (5) 学費が高い | (6) 進学できるかどうか不安 |
| (7) 学習支援を利用したいが情報がない | (8) 日本の学校の仕組みがよくわからない |
| (9) 進路について子どもと意見が合わない | (10) 不登校 |
| (11) 仕事をさがす時、差別にあうのではないかと不安 | |
| (12) その他 [] | (13) とくに困ったこと、不安なことはない |

Q33 お子さんは学校で民族名(外国のルーツを表す名前)を名のっていますか。それとも日本名(通名)がある場合、それを名のっていますか。

- (1) 民族名を名のっている (日本名は持っていない)
- (2) 民族名を名のっている (日本名も持っている)
- (3) 日本名を名のっている (民族名も持っている)
- (4) 日本名を名のっている (民族名は持っていない)
- (5) 日本名・民族名どちらにも読める名前を名のっている
- (6) その他 []

V. 地域などでの活動、市政参加についてうかがいます。

Q34 あなたは仕事以外で次のような活動に参加していますか。(当てはまるものすべてに○)

- (1) 町内会・自治会の活動
- (2) 学校の保護者会(PTA)の活動
- (3) 異文化交流活動
- (4) 教会など宗教施設での活動
- (5) 支援を必要とする人たちのためのボランティア活動(例: 子育て、福祉、外国人)
- (6) その他の活動 []
- (7) 参加していないが、参加したい気持ちがある
- (8) 参加していないし、参加したいと思わない

Q35 川崎市には外国人市民の市政参加を進めるための「川崎市外国人市民代表者会議」があります。外国人市民が地域で生活するなかで感じている問題などについて話し合い、市長に提言を出します。あなたはこの会議について知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 聞いたことはあるがよく知らない
- (3) 知らない

Q36 外国人が暮らしやすい社会にするために、次のようなことは重要だと思いますか。（それぞれ1つに○）

	とても じゅうよう 重要である	じゅうよう 重要である	じゅうよう 重要ではない	わからない
A. 外国籍の市民が市長・市議会議員への選挙権を持つ	1	2	3	4
B. より多くの外国人市民が市・区の会議に委員として参加する	1	2	3	4
C. より多くの外国人市民が町内会やPTAの役員として活動する	1	2	3	4
D. より多くの外国人市民が役所の職員や学校の教職員として働く	1	2	3	4
E. より多くの外国人市民がNPO・ボランティア団体で活動する	1	2	3	4

VI. あなたのお仕事についてうかがいます。

Q37 あなたが現在、働いている職場でのあなたの地位（立場）は次のどれにあたりますか。仕事がつ以上ある場合は、主なものの1つに○、仕事を持っていない方は「無職」の中から選んでください。在学中の方はアルバイト等をしていても、「学生」を選んでください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| (1) 自営業主（経営者） | (2) 会社役員 |
| (3) 正社員 | (4) 契約社員・嘱託（期限付き） |
| (5) 派遣社員 | (6) 臨時・パートタイマー、アルバイト |
| (7) 技能実習生 | (8) その他 [] |
| (9) 無職（仕事を探している） | (10) 無職（仕事を探していない） |
| (11) 学生 | |

→ (9)～(11)の方はQ40にお進みください

Q38 現在のお仕事の種類は次のどれにあたりますか。（2つ以上ある場合は主なものの1つに○）

注：在留資格とは関係なく、仕事の内容で選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| (1) 企業・施設の経営、管理職 | |
| (2) 専門・技術職（エンジニア、看護師、保育士、介護福祉士など） | |
| (3) 語学教師 | (4) 通訳・翻訳 |
| (5) 事務職（営業等の業務を含む） | (6) 工場の工員 |
| (7) 店員（販売） | (8) 接客サービス業（ウェ이터・ウェイトレスなど） |
| (9) ハウスキーパー | (10) 運転手・配達員、清掃員 |
| (11) その他のサービス職（ホームヘルパー、調理人、美容師など） | |
| (12) 建築土木作業員 | (13) その他の職業 [] |

Q38-1 あなたの勤め先の規模はどのくらいですか。会社全体の従業員数を答えてください。（1つに○）

- | | | | |
|-----------|------------|--------------|------------|
| (1) 1～29人 | (2) 30～99人 | (3) 100～299人 | (4) 300人以上 |
|-----------|------------|--------------|------------|

Q39 あなたは現在の仕事について、次のようなことで困ったり不満に感じたりしていますか。（当てはまるものすべてに○）

- (1) 日本語でのコミュニケーションがうまくいかない
- (2) 賃金（収入）に不満がある
- (3) 労働時間が長い
- (4) 安全性、衛生面など、職場の環境に不満がある
- (5) 職場の人間関係がよいくない
- (6) 外国籍であるために差別的な扱いを受ける（例：配属・昇進）
- (7) その他 []
- (8) 困っていることや不満はない

VII. 行政の対応と市への要望についてうかがいます。

Q40 川崎市役所やその他の行政窓口の対応をどう感じていますか。（1 つに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 親切である | (2) どちらかといえば親切である |
| (3) どちらかといえば不親切である | (4) 不親切である |

Q41 市の対応について、あなたは次のようなことが重要だと思いますか。（それぞれ1 つに○）

	とても 重要である	じゅうよう 重要である	じゅうよう 重要ではない	わからない
A. 役所などで外国人市民に対応できる仕組みを整える	1	2	3	4
B. 通訳の制度を充実させる	1	2	3	4
C. 役所内で外国語の表示をもっと増やす	1	2	3	4
D. 1 つの窓口で複数の手続きができるようにする	1	2	3	4
E. 職員が外国人市民についてもっとよく理解する	1	2	3	4
F. 市のホームページの表記や内容をもっとわかりやすくする	1	2	3	4

Q42 あなたは川崎市の多言語による情報提供について、次のような取り組みは重要だと思いますか。
(それぞれ1つに○)

	とても じゅうよう 重要である	じゅうよう 重要である	じゅうよう 重要ではない	わからない
A. やさしい日本語による表記	1	2	3	4
B. るびつき日本語による表記	1	2	3	4
C. 外国語への翻訳	1	2	3	4

VIII. あなたご自身のことについてうかがいます。

F1 あなたが現在、住んでいるのはどの区ですか？

- (1) 川崎区 (2) 幸区 (3) 中原区 (4) 高津区
(5) 宮前区 (6) 多摩区 (7) 麻生区

F2 あなたの性別を教えてください。

- (1) 男 (2) 女 (3) その他

F3 あなたの年齢はいくつですか。

____ 歳

F4 あなたの国籍（地域）は次のどれですか。

- (1) 中国 (2) 韓国 (3) 朝鮮 (4) フィリピン
(5) ベトナム (6) ネパール (7) インド (8) 台湾
(9) アメリカ (10) ブラジル (11) タイ (12) ペルー
(13) インドネシア (14) イギリス (15) その他 ()

F5 あなたはどこのお生まれですか。

- (1) 日本で生まれた (2) 外国で生まれた

F6 あなたは日本にどれくらい長く住んでいますか。 全部合わせて (通算で) 教えてください。

- (1) 1年より短い (2) 1～3年 (3) 4～6年 (4) 7～9年
(5) 10～14年 (6) 15～19年 (7) 20～24年 (8) 25年以上
(9) 生まれてからずっと

F7 あなたは現在、結婚していますか。(1つに○)

- (1) 結婚している
(2) 以前、結婚していたが今はしていない (離別または死別した)
(3) 結婚していないが、パートナーがいる (事実婚)
(4) 結婚したことがなく、パートナーもいない → F8 へ

F7-1 配偶者またはパートナーは日本国籍の方ですか (でしたか)。(1つに○)

- (1) 日本国籍 (2) 日本国籍ではない (3) 両方

F8 あなたと一緒に住んでいる家族はいますか。 次のうち当てはまる方すべてに○をつけてください。
また、あなたを含めて全部で何人ですか。

- (1) 配偶者 (2) 子ども ____人 (3) 父親 (義父を含む)
(4) 母親 (義母を含む) (5) 祖父母 (義理を含む) (6) 孫
(7) その他の家族 (きょうだいを含む) (8) いない

ご自分を含めて全部で____人

F9 あなたの世帯 (一緒に住んでいる家族) の全員の年収 (1年間の収入、税込み) は次のどの範囲ですか。(1つに○)

- (1) 0～99万円 (2) 100～199万円 (3) 200～299万円
(4) 300～399万円 (5) 400～499万円 (6) 500～599万円
(7) 600～799万円 (8) 800～999万円 (9) 1,000万円～1,499万円
(10) 1,500万円～1,999万円 (11) 2,000万円以上

F10 あなたの^{ざいりゅうしかく}在留資格は次のどれですか。

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|---|--|
| (1) 特別永住者 ^{とくべつえいじゅうしゃ} | (2) 永住者 ^{えいじゅうしゃ} | (3) 日本人の配偶者等 ^{にほんじん はいぐうしゃとう} | (4) 永住者の配偶者等 ^{えいじゅうしゃ はいぐうしゃとう} |
| (5) 定住者 ^{ていじゅうしゃ} | (6) 留学 ^{りゅうがく} | (7) 技術・人文知識・国際業務 ^{ぎじゆつ じんぶんちしき こくさいぎやうむ} | |
| (8) 研究 ^{けんきゅう} | (9) 教育 ^{きょういく} | (10) 企業内転勤 ^{きぎやうないてんきん} | (11) 家族滞在 ^{かぞくたいざい} |
| (12) 技能実習 ^{ぎのうじっしゅう} | (13) 特定技能 ^{とくていぎぎのう} | (14) 特定活動 ^{とくていかつどう} | (15) 介護 ^{かいご} |
| (16) その他 [|] | | |

F11 あなたの^{さいしゅうがくれき}最終学歴は次のどれにあたりますか。(1つに○、^{ざいがくちゅう}在学中も含めます。)

- | | |
|--|--|
| (1) 大学院 (日本で) ^{だいがくいん にほん} | (2) 大学院 (日本以外で) ^{だいがくいん にほんいがい} |
| (3) 大学 (日本で) ^{だいがく にほん} | (4) 大学 (日本以外で) ^{だいがく にほんいがい} |
| (5) 短大・専門学校 (日本で) ^{たんだい せんもんがっこう にほん} | (6) 短大・専門学校 (日本以外で) ^{たんだい せんもんがっこう にほんいがい} |
| (7) 高校 (日本で) ^{こうこう にほん} | (8) 高校または後期中等教育 (日本以外で) ^{こうこう こうきちゅうとうきょういく にほんいがい} |
| (9) 中学校 (日本で) ^{ちゅうがっこう にほん} | (10) 中学校程度 (日本以外で) ^{ちゅうがっこうていど にほんいがい} |
| (11) 小学校 (日本で) ^{しょうがっこう にほん} | (12) 小学校程度 (日本以外で) ^{しょうがっこうていど にほんいがい} |
| (13) 学校にはほとんど行かなかった ^{がっこう} | |

IX. ^{かいとうらん}回答欄に^{ちよくせつ}直接ご記入^{きにゆう}ください。^{げんご}言語は自由です。

^{かわさきし}川崎市に住んでよかったことはありますか。それはどのようなことですか。
または、^{かわさきし}川崎市への^{ようぼう}要望などがありますか。

<質問は以上です。調査へのご協力^{きょうりよく}ありがとうございました。>

第3章 外国人市民に関する統計資料

- 国籍・地域の表記および区分については、法務省の在留外国人統計に基づいた。
- 統計資料の数値に関しては、表記のない限り、標本抽出時点（2024年6月）のものを掲載した。

■国籍・地域および居住区別回収結果

		市内人口	(構成比)	母集団人口	(構成比)	標本数	(構成比)	有効回収 標本数	(構成比)	有効 回収率
市全体		53,240	(100.0%)	47,629	(100.0%)	5,000	(100.0%)	1,031	(100.0%)	20.6%
国籍・地域	アジア	47,294	(88.8%)	42,125	(88.4%)	4,379	(87.6%)	863	(83.7%)	19.7%
	中国	17,021	(32.0%)	14,609	(30.7%)	1,541	(30.8%)	293	(28.4%)	19.0%
	韓国	7,257	(13.6%)	6,878	(14.4%)	709	(14.2%)	123	(11.9%)	17.3%
	朝鮮	401	(0.8%)	378	(0.8%)	36	(0.7%)	9	(0.9%)	25.0%
	ベトナム	6,246	(11.7%)	5,695	(12.0%)	565	(11.3%)	123	(11.9%)	21.8%
	フィリピン	5,406	(10.2%)	4,765	(10.0%)	520	(10.4%)	109	(10.6%)	21.0%
	ネパール	2,580	(4.8%)	2,185	(4.6%)	216	(4.3%)	43	(4.2%)	19.9%
	インド	1,660	(3.1%)	1,367	(2.9%)	143	(2.9%)	33	(3.2%)	23.1%
	インドネシア	1,396	(2.6%)	1,321	(2.8%)	127	(2.5%)	25	(2.4%)	19.7%
	台湾	1,356	(2.5%)	1,276	(2.7%)	141	(2.8%)	37	(3.6%)	26.2%
	ミャンマー	971	(1.8%)	950	(2.0%)	99	(2.0%)	7	(0.7%)	7.1%
	その他アジア*1	3,000	(5.6%)	2,701	(5.7%)	282	(5.6%)	61	(5.9%)	21.6%
	ヨーロッパ	1,951	(3.7%)	1,858	(3.9%)	220	(4.4%)	63	(6.1%)	28.6%
	アフリカ	414	(0.8%)	363	(0.8%)	35	(0.7%)	5	(0.5%)	14.3%
	北米	1,692	(3.2%)	1,613	(3.4%)	175	(3.5%)	43	(4.2%)	24.6%
	米国	1,351	(2.5%)	1,279	(2.7%)	144	(2.9%)	37	(3.6%)	25.7%
	その他北米	341	(0.6%)	334	(0.7%)	31	(0.6%)	6	(0.6%)	19.4%
	南米	1,623	(3.0%)	1,449	(3.0%)	168	(3.4%)	32	(3.1%)	19.0%
	ブラジル	892	(1.7%)	809	(1.7%)	88	(1.8%)	20	(1.9%)	22.7%
	その他南米	731	(1.4%)	640	(1.3%)	80	(1.6%)	12	(1.2%)	15.0%
	オセアニア	225	(0.4%)	216	(0.5%)	23	(0.5%)	10	(1.0%)	43.5%
	無国籍	6	(0.0%)	5	(0.0%)	—	—	—	—	—
	(空欄)*2	35	(0.1%)	—	—	—	—	—	—	—
	その他*3	—	—	—	—	—	—	4	(0.4%)	—
	無回答	—	—	—	—	—	—	11	(1.1%)	—
居住区	川崎区	18,943	(35.6%)	16,563	(34.8%)	1,728	(34.6%)	328	(31.8%)	19.0%
	幸区	6,593	(12.4%)	5,698	(12.0%)	595	(11.9%)	116	(11.3%)	19.5%
	中原区	6,962	(13.1%)	6,410	(13.5%)	712	(14.2%)	159	(15.4%)	22.3%
	高津区	6,350	(11.9%)	5,820	(12.2%)	562	(11.2%)	120	(11.6%)	21.4%
	宮前区	4,910	(9.2%)	4,479	(9.4%)	458	(9.2%)	94	(9.1%)	20.5%
	多摩区	5,717	(10.7%)	5,252	(11.0%)	575	(11.5%)	113	(11.0%)	19.7%
	麻生区	3,765	(7.1%)	3,407	(7.2%)	370	(7.4%)	91	(8.8%)	24.6%
	無回答	—	—	—	—	—	—	10	(1.0%)	—

*1：F4で「その他」を選択し、「イギリス香港」「香港」「マカオ」と記入した者（5人）を含む

*2：出生による経過滞在者

*3：F4で「その他」を選択した者のうち、国籍・地域が未記入だった者

■ 国籍・地域別居住区別人口

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	合 計
アジア	17,649	6,156	5,918	5,412	4,101	4,921	3,137	47,294
中国	6,645	2,533	2,162	1,626	1,208	1,606	1,241	17,021
韓国	2,822	848	1,063	819	629	647	429	7,257
朝鮮	157	47	62	52	36	32	15	401
ベトナム	2,711	646	549	749	573	744	274	6,246
フィリピン	2,073	617	593	717	584	616	206	5,406
ネパール	883	570	359	308	91	313	56	2,580
インド	623	187	159	184	94	134	279	1,660
インドネシア	342	118	179	215	240	168	134	1,396
台湾	316	175	297	190	148	122	108	1,356
ミャンマー	323	122	90	100	121	144	71	971
その他アジア	754	293	405	452	377	395	324	3,000
ヨーロッパ	160	150	447	353	305	278	258	1,951
アフリカ	60	28	43	67	70	97	49	414
北米	119	104	404	349	264	251	201	1,692
米国	97	87	330	269	219	183	166	1,351
その他北米	22	17	74	80	45	68	35	341
南米	926	131	104	124	125	125	88	1,623
ブラジル	510	39	52	63	77	87	64	892
その他南米	416	92	52	61	48	38	24	731
オセアニア	15	19	41	41	38	42	29	225
無国籍	1	0	0	0	1	3	1	6
(空欄)	13	5	5	4	6	0	2	35
総 計	18,943	6,593	6,962	6,350	4,910	5,717	3,765	53,240

■居住区別・男女別・年齢別人口（1/2）

		0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳
川崎区	男	355	436	309	343	1,042	1,563	1,395	1,095
	女	361	383	273	261	788	1,190	1,170	1,052
	計	716	819	582	604	1,830	2,753	2,565	2,147
幸区	男	157	134	116	100	280	464	543	404
	女	141	126	108	106	192	408	475	395
	計	298	260	224	206	472	872	1,018	799
中原区	男	119	89	47	79	381	679	656	456
	女	74	83	74	105	357	632	573	380
	計	193	172	121	184	738	1,311	1,229	836
高津区	男	96	82	62	68	407	685	600	378
	女	88	81	70	97	335	469	447	331
	計	184	163	132	165	742	1,154	1,047	709
宮前区	男	82	80	45	85	324	440	410	306
	女	67	67	47	59	223	327	361	248
	計	149	147	92	144	547	767	771	554
多摩区	男	101	78	45	95	465	675	511	366
	女	84	65	49	72	363	474	433	265
	計	185	143	94	167	828	1,149	944	631
麻生区	男	68	60	48	55	309	370	310	193
	女	61	48	41	52	233	298	256	170
	計	129	108	89	107	542	668	566	363
総 計	男	978	959	672	825	3,208	4,876	4,425	3,198
	女	876	853	662	752	2,491	3,798	3,715	2,841
	計	1,854	1,812	1,334	1,577	5,699	8,674	8,140	6,039

■国籍・地域別・男女別・年齢別人口（1/2）

		0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳
中国		579	875	696	551	1,520	2,475	2,319	2,293
韓国		100	100	100	151	464	635	686	613
朝鮮		5	8	4	9	12	8	12	23
ベトナム		284	175	70	314	1,440	1,837	1,343	472
フィリピン		169	207	157	174	223	560	687	539
ネパール		213	86	59	77	280	552	541	354
インド		135	100	45	18	160	240	352	264
インドネシア		35	26	9	35	459	416	214	80
台湾		29	28	17	13	96	197	248	223
ミャンマー		11	4	2	19	223	370	220	55
その他アジア		133	85	65	54	353	595	554	336
ヨーロッパ		37	28	21	32	163	325	391	307
アフリカ		21	14	9	8	18	56	74	64
米国		26	23	16	58	156	172	217	183
その他北米		4	6	5	2	10	42	84	55
ブラジル		16	24	29	29	70	96	88	90
その他南米		18	20	28	32	34	74	68	61
オセアニア		3	3	2	1	17	24	42	25
無国籍		1	0	0	0	1	0	0	2
空欄		35	0	0	0	0	0	0	0
総 計	男	978	959	672	825	3,208	4,876	4,425	3,198
	女	876	853	662	752	2,491	3,798	3,715	2,841
	計	1,854	1,812	1,334	1,577	5,699	8,674	8,140	6,039

■居住区別・男女別・年齢別人口（2/2）

40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳～	合 計
786	507	421	355	292	187	155	147	9,388
852	639	95	618	433	302	195	343	8,955
1,638	1,146	1,116	973	725	489	350	490	18,943
300	198	149	113	78	48	42	52	3,178
350	270	245	209	156	107	43	84	3,415
650	468	394	322	234	155	85	136	6,593
303	186	132	111	91	57	36	43	3,465
310	223	199	162	135	78	41	71	3,497
613	409	331	273	226	135	77	114	6,962
279	182	131	95	82	39	24	51	3,261
265	202	207	169	121	90	46	71	3,089
544	384	338	264	203	129	70	122	6,350
207	139	124	84	71	54	40	30	2,521
228	175	163	151	117	65	46	45	2,389
435	314	287	235	188	119	86	75	4,910
198	132	117	92	75	32	21	22	3,025
207	182	141	151	97	43	28	38	2,692
405	314	258	243	172	75	49	60	5,717
167	112	96	68	55	32	21	24	1,988
161	114	113	75	66	40	20	29	1,777
328	226	209	143	121	72	41	53	3,765
2,240	1,456	1,170	918	744	449	339	369	26,826
2,373	1,805	1,763	1,535	1,125	725	419	681	26,414
4,613	3,261	2,933	2,453	1,869	1,174	758	1,050	53,240

■国籍・地域別・男女別・年齢別人口（2/2）

40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳～	合 計
1,898	1,221	875	641	569	309	108	92	17,021
567	550	626	537	526	443	430	729	7,257
21	18	37	24	33	45	46	96	401
183	42	35	15	15	9	6	6	6,246
537	503	596	613	295	111	23	12	5,406
211	123	53	21	7	2	1	0	2,580
167	83	49	29	11	5	1	1	1,660
45	35	17	16	3	4	2	0	1,396
159	76	69	53	46	47	28	27	1,356
30	9	15	5	3	5	0	0	971
222	159	134	158	103	37	6	6	3,000
216	152	99	73	38	23	30	16	1,951
49	30	20	21	16	10	4	0	414
126	75	80	63	59	37	28	32	1,351
23	30	27	23	15	7	5	3	341
73	69	74	72	75	46	20	21	892
55	56	104	81	47	27	17	9	731
30	30	23	8	8	7	2	0	225
1	0	0	0	0	0	1	0	6
0	0	0	0	0	0	0	0	35
2,240	1,456	1,170	918	744	449	339	369	26,826
2,373	1,805	1,763	1,535	1,125	725	419	681	26,414
4,613	3,261	2,933	2,453	1,869	1,174	758	1,050	53,240

■ 国籍・地域別・在留資格別人口（1/2）

	永住者	特別 永住者	技術・ 人文知識・ 国際業務	技能実習	特定技能	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等	定住者	留学	家族滞在	介護	高度 専門職	企業内 転勤
中国	7,312	15	2,668	84	169	450	476	673	2,037	1,506	7	627	131
韓国	1,501	3,835	929	0	2	265	43	119	250	120	0	37	16
朝鮮	6	390	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0
ベトナム	470	0	1,182	1,619	1,260	92	20	36	441	766	39	48	13
フィリピン	2,471	2	454	204	181	423	203	921	28	238	14	9	58
ネパール	156	0	629	12	67	20	43	41	217	1,029	3	2	2
インド	257	0	741	0	4	11	16	16	8	403	0	62	12
インドネシア	104	0	195	524	221	53	5	17	93	99	6	14	3
台湾	509	6	393	0	4	91	12	31	158	60	0	33	8
ミャンマー	35	0	230	147	220	18	2	35	119	34	1	3	17
その他アジア	700	3	727	166	84	210	40	116	326	416	1	37	12
ヨーロッパ	552	9	539	8	7	308	18	32	182	95	0	34	12
アフリカ	119	1	93	0	0	41	9	28	26	45	0	6	0
米国	322	9	337	0	0	244	8	20	218	70	0	9	3
その他北米	106	1	90	0	0	56	2	3	24	13	0	5	0
ブラジル	531	0	18	0	0	96	22	199	6	9	0	0	0
その他南米	440	0	21	0	2	60	22	152	10	8	0	2	0
オセアニア	71	2	41	0	0	49	1	5	13	8	0	5	1
無国籍	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
空欄*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 計	15,663	4,273	9,288	2,764	2,221	2,490	943	2,448	4,156	4,919	71	933	288

■ 主な国籍・地域別外国人人口の推移（1999 年 3 月～2024 年 3 月）（1/2）

	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)
中国	3,925	4,100	4,714	5,452	6,092	6,658	6,774	7,391	8,192	9,202	10,003	10,423
韓国・朝鮮	8,868	9,076	9,252	9,427	9,358	9,266	9,152	9,118	9,239	9,450	9,539	9,290
韓国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベトナム	155	158	180	209	235	262	274	339	435	553	584	617
フィリピン	1,950	2,142	2,326	2,640	2,879	3,280	3,319	3,494	3,722	3,863	3,939	3,891
ネパール	53	53	65	97	118	118	128	142	142	180	307	325
インド	181	212	340	471	558	664	674	797	870	982	1,178	1,192
インドネシア	245	199	228	218	227	217	245	280	302	329	305	308
台湾	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
米国	609	584	630	645	675	685	727	764	782	754	821	797
ミャンマー	61	62	62	73	83	87	88	86	95	102	110	124
その他	4,411	4,329	4,568	4,967	5,126	5,425	5,443	5,414	5,521	5,599	5,797	5,647
総計	20,458	20,915	22,365	24,199	25,351	26,662	26,824	27,825	29,300	31,014	32,583	32,614
比率	1.66%	1.69%	1.78%	1.90%	1.97%	2.05%	2.05%	2.10%	2.18%	2.25%	2.33%	2.32%

■ 国籍・地域別・在留資格別人口（2/2）

医療	研究	教授	教育	芸術	宗教	報道	経営・管理	興行	技能	文化活動	研修	特定活動	未取得	合 計
36	3	16	1	5	0	0	243	3	272	6	0	281	0	17,021
3	0	11	1	2	3	0	20	16	1	0	0	83	0	7,257
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	401
4	1	2	0	0	0	0	19	0	12	0	1	221	0	6,246
2	1	1	59	0	2	0	0	0	4	2	0	129	0	5,406
0	0	1	1	0	0	0	52	0	276	0	0	29	0	2,580
0	9	4	10	0	0	0	8	0	84	2	0	13	0	1,660
2	0	4	0	0	2	0	2	0	6	0	0	46	0	1,396
3	1	1	2	0	0	0	18	1	0	1	0	24	0	1,356
0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	106	0	971
1	5	6	5	1	0	0	13	0	69	2	0	60	0	3,000
0	3	27	21	0	2	2	4	4	3	13	0	76	0	1,951
0	1	2	18	0	0	0	1	0	0	1	0	23	0	414
0	3	23	61	2	5	0	3	4	4	1	0	5	0	1,351
0	1	6	23	1	1	0	1	0	0	0	0	8	0	341
0	1	2	0	0	0	0	0	5	1	0	0	2	0	892
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	731
0	1	7	7	0	0	1	2	2	2	0	0	7	0	225
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35
51	30	114	209	11	15	3	388	35	735	28	1	1,128	35	53,240

■ 主な国籍・地域別外国人人口の推移（1999年3月～2024年3月）（2/2）

2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
10,611	10,486	9,716	9,956	10,787	11,527	12,905	14,182	15,410	16,606	15,807	15,072	15,779	16,833
9,066	8,654	8,060	7,922	7,812	7,842	7,979	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	7,558	7,621	7,663	7,355	7,089	7,297	7,227
—	—	—	—	—	—	—	516	503	475	454	436	420	413
649	695	773	936	1,294	1,868	2,309	2,857	3,448	4,398	4,625	4,312	4,970	5,887
3,836	3,852	3,564	3,653	3,771	3,898	4,037	4,226	4,441	4,700	4,651	4,713	5,062	5,382
326	360	357	418	531	740	938	1,129	1,295	1,541	1,556	1,607	1,920	2,452
1,155	1,038	962	807	774	826	915	1,069	1,208	1,431	1,323	1,293	1,522	1,641
280	286	231	240	279	341	412	454	509	656	669	640	923	1,360
—	—	429	590	745	841	937	1,033	1,115	1,237	1,127	1,107	1,231	1,335
779	746	682	650	733	779	828	959	1,018	1,078	1,098	1,081	1,281	1,415
122	105	87	73	87	116	117	161	212	294	330	355	548	893
5,322	4,899	4,261	4,326	4,517	4,799	5,041	5,443	5,855	6,329	6,173	6,055	6,839	7,403
32,146	31,121	29,122	29,571	31,330	33,577	36,418	39,587	42,635	46,408	45,168	43,760	47,792	52,241
2.25%	2.17%	2.02%	2.03%	2.13%	2.66%	2.43%	2.62%	2.80%	3.06%	2.93%	2.84%	3.10%	3.37%

川崎市外国人市民意識実態調査 報告書

令和7（2025）年3月

川崎市市民文化局市民生活部多文化共生推進課
〒210－8577 川崎市川崎区宮本町1番地
電 話 044（200）2846